

大東市埋蔵文化財調査報告第15集

御 領 遺 跡

—御領地区土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—

1999年3月

大東市教育委員会

御 領 遺 跡

—御領地区土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—

1999年3月

大東市教育委員会



A地区 A 1区第1遺構面全景（南から）



A地区 A 2区第2遺構面、A 3・4区第1遺構面全景（南から）



A 1 区 S I - 101 土器出土状況（南東から）



同上 細部出土状況



A 2 区 土層断面（北西から）



A 2 区 SD-102 土層断面（南から）



B地区 第1遺構面全景（西から）



B地区 SP-204柱材残存状況



B地区 SD-201土器出土状況

序 文

大阪府の東部に位置する大東市は、東に飯盛山などを含む生駒山系があり市域の約3分の1を占めています。また、西の平野部では寝屋川、恩智川、生駒山系から派生する権現川、谷田川、鍋田川などの中小河川が流れおり、古来から豊かな自然環境を織り成してきました。

その中において、文化遺産も数多く残されており、代表的なものでは弥生時代の集落跡である中垣内遺跡、古墳時代の堂山古墳群、戦国の梶雄とされる三好長慶の居城であった飯盛城など、著名な遺跡が多く存在しています。

この度、報告することになりました御領遺跡はこれまで詳細なことはあまり知られていませんでしたが、今回の発掘調査によって、鎌倉時代の終わりから南北朝・室町時代に至る集落跡の存在が明らかになりました。このことにより、時代がかわる激動の時期にあって当時の人々がどのような暮らしをしていたか、また社会の構造がどのように変化していくかを知るうえで貴重な成果を得ることができました。

今後、これらの成果を公開、活用することにより、市民共有の財産として生かしていきたいと考えています。また、この報告書が本市の歴史や文化を知るための基礎資料として多くの方々に利用されるとともに、学術研究においてもご活用いただければ幸いです。

最後になりましたが、発掘調査の実施、また報告書作成にあたりご協力を賜りました土地所有者ならびに地元の方々、関係機関、関係各位に厚くお礼申しげます。

また、市民の皆様方におかれましては今後とも本市の文化財保護行政にご理解、ご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成11年3月

大東市教育委員会
教育長 北本慶三

例　　言

1. 本書は、大東市御領地内における地区画整理事業に伴う発掘調査報告書である。
2. 調査は御領地区画整理組合より委託を受け、大東市教育委員会が実施した。
3. 発掘調査および整理作業は、大東市教育委員会歴史民俗資料館、中達健一を担当者として実施した。
調査期間、面積等は本文中に記載している。
4. 発掘調査に係る費用については御領地区画整理組合がこれを負担した。記して感謝の意を表する。
5. 発掘調査および報告書作成にあたっては、下記の諸氏よりご指導、ご教示を賜った。記して感謝の意を表する。(敬称略・順不同)
橋本 実・尾崎明幸(大東市文化財保護委員)、野島 稔(四條畷市立歴史民俗資料館)、守屋雅史(大阪市立美術館)、太田基久(交野市立交野第2中学校)
6. 現地調査、整理作業にあたっては下記の諸氏の協力を得た。(敬称略・五十音順)
岩上直子、大谷 聰、甲斐範浩、川崎昌美、小堀直子、谷崎光子、樋口里美、宮田八重子、村尾奈津子、森石千枝子、吉野正泰
7. 本書の執筆、編集は中達が行なった。
8. 本調査における写真測量、基準点・水準点測量は阪急航空株式会社が実施した。
9. 本調査で出土した一部木製品等の保存処理、樹種鑑定、分析については元興寺文化財研究所に委託した。
10. 調査において作成した写真、実測図、カラースライド等は大東市立歴史民俗資料館において保管している。広く利用されることを希望する。

本文目次

序文

例言

第1章 調査に至る経緯と経過	1
第2章 調査の方法	5
第3章 位置と環境	7
第4章 調査成果	
第1節 A地区の調査成果	
第1項 基本層序	15
第2項 A1区の調査成果	
1. 第1遺構面	15
2. 第2遺構面	39
第3項 A2区の調査成果	
1. 第1遺構面	57
2. 第2遺構面	62
3. 第3遺構面	76
第4項 A3区の調査成果	
1. 第1遺構面	99
2. 第2遺構面	108
第5項 A4区の調査成果	
1. 第1遺構面	115
2. 第2遺構面	115
第6項 A地区の集落関係遺構	118
第2節 B地区的調査成果	
第1項 基本層序	131
第2項 調査成果	
1. 第1遺構面	132
2. 第2遺構面	140
3. B地区的集落関係遺構	145
第5章 まとめ	150

挿図目次

第1図 土地区画整理事業計画地位置図	1
第2図 範囲確認調査トレンチ位置図	2
第3図 範囲確認調査出土遺物	3
第4図 調査区位置図	4

第5図	A地区調査区区割図	5
第6図	B地区調査区区割図	6
第7図	大東市位置図	7
第8図	市内遺跡分布図	9・10
第9図	A地区土層断面図(1)	11・12
第10図	A地区土層断面図(2)	13・14
第11図	A1区 SD-101遺物出土状況図	16
第12図	A1区 SD-103遺物出土状況図	16
第13図	A1区 SD-101出土遺物	17
第14図	A1区 SD-107平面・断面・遺物出土状況図	18
第15図	A1区 SD-103・106・107出土遺物	18
第16図	A1区 SK-116遺物出土状況図	20
第17図	A1区 SK-116出土遺物	21
第18図	A1区 SK-118・125出土遺物	23
第19図	A1区 SK-134平面・断面・遺物出土状況図	23
第20図	A1区 SK-134出土遺物	24
第21図	A1区 SK-156平面・断面・遺物出土状況図	26
第22図	A1区 SK-149・153・156・157出土遺物	27
第23図	A1区 SE-101平面・断面・遺物出土状況図	29
第24図	A1区 SE-101出土遺物	29
第25図	A1区 SI-101遺物出土状況図	30
第26図	A1区 SI-101出土遺物(1)	31
第27図	A1区 SI-101出土遺物(2)	32
第28図	A1区 SI-101出土遺物(3)	33
第29図	A1区 SI-101出土遺物(4)	34
第30図	A1区 SI-101出土遺物(5)	35
第31図	A1区 SI-101出土遺物(6)	36
第32図	A1区 SX-101遺物出土状況図	37
第33図	A1区 SX-101・102出土遺物	37
第34図	A1区 第1遺構面柱穴(S P)	38
第35図	A1区 第1遺構面柱穴(S P)出土遺物	39
第36図	A1区 SD-102断面図	39
第37図	A1区 SD-102遺物出土状況図(1)	39
第38図	A1区 SD-102遺物出土状況図(2)	40
第39図	A1区 SD-102出土遺物	41
第40図	A1区 SD-201断面・遺物出土状況図(1)	42
第41図	A1区 SD-201遺物出土状況図(2)	43
第42図	A1区 SD-201出土遺物(1)	44

第43図	A 1 区	S D - 201出土遺物(2).....	45
第44図	A 1 区	S D - 201出土遺物(3).....	46
第45図	A 1 区	S D - 203断面・遺物出土状況図.....	47
第46図	A 1 区	S D - 204断面・遺物出土状況図.....	48
第47図	A 1 区	S D - 202・203・204出土遺物.....	48
第48図	A 1 区	S K - 202平面・断面・遺物出土状況図.....	49
第49図	A 1 区	S K - 202出土遺物.....	50
第50図	A 1 区	S K - 204断面・遺物出土状況図.....	51
第51図	A 1 区	S K - 207平面・断面・遺物出土状況図.....	51
第52図	A 1 区	S K - 204・210出土遺物	52
第53図	A 1 区	北端落込み201出土遺物.....	53
第54図	A 1 区	南端落込み201出土遺物.....	53
第55図	A 1 区	第2 遺構面柱穴 (S P)	54
第56図	A 1 区	包含層・その他出土遺物(1)	55
第57図	A 1 区	包含層・その他出土遺物(2)	56
第58図	A 2 区	S K - 117出土遺物.....	58
第59図	A 2 区	S K - 124平面・遺物出土状況図.....	59
第60図	A 2 区	桶平面・断面図	60
第61図	A 2 区	S X - 101出土遺物.....	61
第62図	A 2 区	東端落込み101出土遺物.....	61
第63図	A 2 区	第1 遺構面柱穴 (S P)	62
第64図	A 2 区	S D - 102断面図.....	62
第65図	A 2 区	S D - 102・103出土遺物	63
第66図	A 2 区	S D - 105遺物出土状況図.....	64
第67図	A 2 区	S D - 105出土遺物.....	64
第68図	A 2 区	S D - 206遺物出土状況図(1).....	65
第69図	A 2 区	S D - 206遺物出土状況図(2).....	65
第70図	A 2 区	S D - 206・207出土遺物	66
第71図	A 2 区	S K - 133出土遺物.....	67
第72図	A 2 区	S K - 134平面・断面・遺物出土状況図.....	67
第73図	A 2 区	S K - 134・136出土遺物	68
第74図	A 2 区	S K - 136平面・断面・遺物出土状況図.....	69
第75図	A 2 区	S K - 137平面・断面・遺物出土状況図.....	69
第76図	A 2 区	S K - 147平面・断面・遺物出土状況図.....	70
第77図	A 2 区	S K - 147出土遺物(1).....	71
第78図	A 2 区	S K - 147出土遺物(2).....	72
第79図	A 2 区	S K - 212出土遺物.....	73
第80図	A 2 区	S K - 212・230平面・断面・遺物出土状況図	75

第81図	A 2 区	S K - 231・235平面・断面・遺物出土状況図	75
第82図	A 2 区	S K - 229・230・231・235出土遺物	76
第83図	A 2 区	S X - 201出土遺物	76
第84図	A 2 区	第2遺構面柱穴（S P）	76
第85図	A 2 区	第2遺構面柱穴（S P）出土遺物	76
第86図	A 2 区	S D - 302遺物出土状況図(1)	77
第87図	A 2 区	S D - 302断面・遺物出土状況図(2)	77
第88図	A 2 区	S D - 302出土遺物(1)	78
第89図	A 2 区	S D - 302出土遺物(2)	79
第90図	A 2 区	S D - 302出土遺物(3)	80
第91図	A 2 区	S D - 303断面・遺物出土状況図	81
第92図	A 2 区	S D - 302・304遺物出土状況図	81
第93図	A 2 区	S D - 304断面・遺物出土状況図	82
第94図	A 2 区	S D - 303・304出土遺物	83
第95図	A 2 区	S D - 304出土遺物	84
第96図	A 2 区	S D - 305出土遺物	84
第97図	A 2 区	S D - 306出土遺物	85
第98図	A 2 区	S D - 308出土遺物	85
第99図	A 2 区	S D - 309断面・遺物出土状況図	85
第100図	A 2 区	S D - 309・310出土遺物	86
第101図	A 2 区	S D - 313断面・遺物出土状況図	87
第102図	A 2 区	S D - 313出土遺物(1)	88
第103図	A 2 区	S D - 313出土遺物(2)	89
第104図	A 2 区	S K - 302・304・307出土遺物	90
第105図	A 2 区	S K - 315遺物出土状況図	90
第106図	A 2 区	S K - 313・315出土遺物	91
第107図	A 2 区	S K - 316遺物出土状況図	91
第108図	A 2 区	S K - 316出土遺物	92
第109図	A 2 区	S K - 317出土遺物	92
第110図	A 2 区	S E - 301平面・断面図	93
第111図	A 2 区	S E - 301出土遺物	94
第112図	A 2 区	S X - 301出土遺物	95
第113図	A 2 区	南端落込み301出土遺物	95
第114図	A 2 区	第3遺構面柱穴（S P）出土遺物	95
第115図	A 2 区	第3遺構面柱穴（S P）	95
第116図	A 2 区	包含層・その他出土遺物(1)	96
第117図	A 2 区	包含層・その他出土遺物(2)	97
第118図	A 2 区	包含層・その他出土遺物(3)	98

第119図	A 3 区	S D - 103遺物出土状況図	99
第120図	A 3 区	S D - 103出土遺物	100
第121図	A 3 区	S D - 106・109出土遺物	100
第122図	A 3 区	S K - 107平面・断面・遺物出土状況図	101
第123図	A 3 区	S K - 103・107出土遺物	102
第124図	A 3 区	S K - 115平面・断面・遺物出土状況図	102
第125図	A 3 区	S K - 115出土遺物	103
第126図	A 3 区	S K - 128平面・断面・遺物出土状況図	104
第127図	A 3 区	S K - 128出土遺物	104
第128図	A 3 区	S K - 150平面・断面・遺物出土状況図	106
第129図	A 3 区	S K - 147・150出土遺物	106
第130図	A 3 区	第1遺構面柱穴 (S P)	107
第131図	A 3 区	第1遺構面柱穴 (S P) 出土遺物	107
第132図	A 3 区	S D - 203出土遺物	108
第133図	A 3 区	S D - 203・204断面図	109
第134図	A 3 区	S D - 204遺物出土状況図	109
第135図	A 3 区	S D - 204出土遺物(1)	110
第136図	A 3 区	S D - 204出土遺物(2)	111
第137図	A 3 区	S D - 208出土遺物	112
第138図	A 3 区	S K - 205出土遺物	112
第139図	A 3 区	S K - 215出土遺物	113
第140図	A 3 区	第2遺構面柱穴 (S P)	113
第141図	A 3 区	包含層・その他出土遺物	114
第142図	A 4 区	S D - 101出土遺物	115
第143図	A 4 区	S D - 202遺物出土状況図	115
第144図	A 4 区	S D - 202出土遺物	116
第145図	A 4 区	S K - 202出土遺物	116
第146図	A 4 区	南端落込み201・西端落込み201出土遺物	117
第147図	A 4 区	包含層出土遺物	117
第148図	S B - 101	平面・断面図	118
第149図	S B - 102	平面・断面図	118
第150図	A 地区	第1面掘立柱建物配置図	119
第151図	A 地区	第2面掘立柱建物・柵列配置図	120
第152図	S B - 201	平面・断面図	122
第153図	S B - 202	平面・断面図	122
第154図	S B - 203	平面・断面図	122
第155図	S B - 204	平面・断面図	122
第156図	S B - 205	平面・断面図	123

第157図	S B - 206平面・断面図	123
第158図	S B - 207平面・断面図	123
第159図	S B - 208平面・断面図	123
第160図	S B - 209平面・断面図	125
第161図	S B - 210平面・断面図	125
第162図	S B - 211平面・断面図	125
第163図	S B - 212平面・断面図	125
第164図	S B - 213平面・断面図	126
第165図	S B - 214平面・断面図	126
第166図	A地区第3面掘立柱建物・柵列配置図	127
第167図	S B - 301平面・断面図	128
第168図	S B - 302平面・断面図	128
第169図	S B - 303平面・断面図	130
第170図	S B - 304平面・断面図	130
第171図	S B - 305平面・断面図	130
第172図	S B - 306平面・断面図	130
第173図	S B - 307平面・断面図	130
第174図	B地区南壁断面図	131
第175図	B地区 S D - 105遺物出土状況図	133
第176図	B地区 S D - 105出土遺物	134
第177図	B地区 S K - 111平面・断面図	136
第178図	B地区 S K - 114平面・断面図	136
第179図	B地区 S K - 122平面・断面図	137
第180図	B地区 S K - 114・122出土遺物	137
第181図	B地区 S P - 1163平面・断面・礎石出土状況図	139
第182図	B地区 S P - 1211出土遺物	139
第183図	B地区 S D - 201断面図	140
第184図	B地区 S D - 201遺物出土状況図	140
第185図	B地区 S D - 201出土遺物	141
第186図	B地区 S D - 202断面図	141
第187図	B地区 S D - 202出土遺物	142
第188図	B地区 S K - 204平面・断面図	142
第189図	B地区 S K - 205平面・断面図	143
第190図	B地区 S K - 205出土遺物	143
第191図	B地区 第2遺構面柱穴(S P)・出土遺物	144
第192図	B地区 包含層・その他出土遺物	144
第193図	B地区第1遺構面掘立柱建物配置図	145
第194図	S B - 101平面・断面図	146

第195図	S B - 102平面・断面図	146
第196図	S B - 103平面・断面図	146
第197図	S B - 104平面・断面図	146
第198図	S B - 105平面・断面図	147
第199図	S B - 106平面・断面図	147
第200図	S B - 107平面・断面図	147
第201図	S B - 108平面・断面図	147
第202図	S B - 109平面・断面図	148
第203図	S B - 110平面・断面図	148
第204図	S B - 111平面・断面図	148
第205図	S B - 112平面・断面図	148
第206図	S B - 201平面・断面図	149
第207図	B地区第2遺構面掘立柱建物配置図	149

表 目 次

出土遺物観察表	153
---------	-----

図 版 目 次

巻頭カラー図版 1	A地区 A 1区第1遺構面全景（南から）
	A地区 A 2区第2遺構面、A 3・4区第1遺構面全景（南から）
巻頭カラー図版 2	A 1区 S I - 101土器出土状況（南東から）
	同上 細部出土状況
巻頭カラー図版 3	A 2区 土層断面（北西から）
	A 2区 S D - 102土層断面（南から）
巻頭カラー図版 4	B地区 第1遺構面全景（西から）
	B地区 S P - 204柱材残存状況
	B地区 S D - 201土器出土状況

図版 1 A地区 遺構全景 A 1・3・4区第1遺構面、A 2区第2遺構面

図版 2 A 1区 遺構(1)

1. 第1遺構面北部全景（南西から） 2. 第1遺構面南部全景（東から）

図版 3 A 1区 遺構(2)

1. S D - 101遺物出土状況（南から） 2. S D - 103（西から）
3. S D - 103遺物出土状況（北から） 4. S K - 116遺物出土状況（北から）

図版 4 A 1区 遺構(3)

1. S K - 156（南から） 2. S K - 156遺物出土状況（東から）
3. S E - 101（南から） 4. S E - 101遺物出土状況（東から）

図版5 A 1 区 遺構(4)

1. S I -101 (北西から)
3. S I -101遺物出土状況② (南東から)
5. S I -101遺物出土状況④ (東から)

図版6 A 1 区 遺構(5)

1. S P -1103 (南から)
3. S P -1209 (南から)
5. S P -1356 (南から)

図版7 A 1 区 遺構(6)

1. 第2遺構面北部全景 (南東から)

図版8 A 1 区 遺構(7)

1. S D -102 (北西から)
3. S D -102遺物出土状況② (南から)

図版9 A 1 区 遺構(8)

1. S D -201 (北西から)
3. S D -201遺物出土状況① (東から)

図版10 A 1 区 遺構(9)

1. S D -203 (北から)
3. S K -202 (東から)

図版11 A 1 区 遺構(10)

1. S K -202遺物出土状況① (北から)
3. S K -204 (南から)

図版12 A 1 区 遺構(11)

1. S K -208断面
3. S K -210断面 (西から)

図版13 A 1 区 遺構(12)

1. S P -250 (南から)
 3. S P -268 (南から)
 5. S P -271 (南から)
2. S P -252 (南から)
 4. S P -270 (南から)
 6. S P -275 (南から)

図版14 A 2 区 遺構(1)

1. 第1遺構面全景 (北西から)
3. S K -117遺物出土状況 (東から)

図版15 A 2 区 遺構(2)

1. 桶 (西から)
3. S X -101遺物出土状況 (東から)

図版16 A 2 区 遺構(3)

1. 東端落込み101 (北西から)
 3. S P -162 (西から)
2. S P -127 (南から)
 4. S P -164 (南から)

2. S I -101遺物出土状況① (南東から)

4. S I -101遺物出土状況③ (東から)

2. S P -1198 (南から)

4. S P -1301 (南から)

6. S P -1448 (南から)

2. 第2遺構面南部全景 (東から)

2. S D -102遺物出土状況① (南から)

2. S D -201断面 (北西から)

4. S D -201遺物出土状況② (東から)

2. S D -203遺物出土状況 (南から)

4. S K -202断面 (東から)

2. S K -202遺物出土状況② (北から)

4. S K -204遺物出土状況 (北から)

2. S K -209断面 (北から)

2. S P -252 (南から)

4. S P -270 (南から)

6. S P -275 (南から)

2. S K -117 (東から)

2. S X -101〔畝状遺構〕 (北から)

5. SP-176銭貨出土状況（北から）

図版17 A 2区 遺構(4)

1. 第2遺構面南部全景（北西から）

3. SD-102断面（南から）

図版18 A 2区 遺構(5)

1. SD-105（南から）

3. SD-206（西から）

図版19 A 2区 遺構(6)

1. SK-134（西から）

3. SK-147（北から）

図版20 A 2区 遺構(7)

1. SP-230（北から）

3. SP-2128（南から）

5. SP-2140（南から）

図版21 A 2区 遺構(8)

1. 第3遺構面北部全景（南西から）

2. SD-102（南西から）

図版22 A 2区 遺構(9)

1. SD-302（北西から）

2. SK-136（北から）

3. SD-302遺物出土状況②

4. SK-147遺物出土状況（北から）

5. SD-302遺物出土状況④

2. SP-269（南西から）

4. SP-2132（南から）

6. SP-2141（南から）

図版23 A 2区 遺構(10)

1. SD-303（西から）

2. SD-303遺物出土状況（西から）

3. SD-304・305（西から）

4. SD-304遺物出土状況

図版24 A 2区 遺構(11)

1. SD-309（南から）

2. SD-313（北西から）

3. SD-313断面（南から）

4. SD-313遺物出土状況

図版25 A 2区 遺構(12)

1. SE-301（北から）

2. SE-301（北から）

図版26 A 2区 遺構(13)

1. SE-301井筒（北から）

2. SE-301井筒内遺物出土状況

3. SP-315（南から）

4. SP-333（東から）

5. SP-334（南から）

6. SP-335（南から）

図版27 A 3区 遺構(1)

1. 第1遺構面全景（南東から）

2. SD-102（南から）

3. SD-103遺物出土状況（南から）

1. SK-105（西から）

2. SK-106（南から）

3. SK-107（北から）

4. SK-150（南から）

図版29 A 3 区 遺構(3)

1. SK-115 (北西から)
3. SK-115遺物出土状況② (北西から)
2. SK-115遺物出土状況① (北西から)
4. SK-115遺物出土状況③ (北西から)

図版30 A 3 区 遺構(4)

1. SP-124 (南から)
3. SP-1147 (西から)
5. SP-1227 (南東から)
2. SP-147 (南から)
4. SP-1225 (南から)
6. F 4 区 銭貨出土状況 (西から)

図版31 A 3 区 遺構(5)

1. 第2遺構面全景 (南から)
3. SD-204断面 (南から)
2. SD-204 (南から)
4. SD-204遺物出土状況 (南東から)

図版32 A 3 区 遺構(6)

1. SD-208 (西から)
3. SK-203 (西から)
2. SD-208断面 (西から)
4. SK-203断面 (東から)

図版33 A 3 区 遺構(7)

1. SP-207銭貨出土状況 (西から)
3. SP-212 (西から)
5. SP-230 (南から)
2. SP-210 (南から)
4. SP-229 (南から)
6. SP-232 (南から)

図版34 A 4 区 遺構(1)

1. 第1遺構面全景 (東から)
3. 第2遺構面全景 (北から)
2. SD-101銭貨出土状況 (西から)
4. SD-202 (東から)

図版35 A 4 区 遺構(2)

1. SD-202断面 (西から)
3. SK-202 (西から)
2. SD-202遺物出土状況 (南から)
4. SK-202遺物出土状況 (北から)

図版36 A 地区 遺構 (掘立柱建物)

1. SB-101 (東から)
2. SB-102 (南から)

図版37 B 地区 遺構(1)

1. 第1遺構面全景

図版38 B 地区 遺構(2)

1. 第1遺構面全景 (西から)
3. SD-103 (南から)
2. SD-101・102 (南から)

図版39 B 地区 遺構(3)

1. SD-105 (南から)
3. SD-107 (西から)
2. SD-105遺物出土状況 (南から)
4. SP-1163 (南から)

図版40 B 地区 遺構(4)

1. 第2遺構面全景 (西から)
3. SD-201遺物出土状況 (北から)
2. SD-201 (南から)

図版41 B 地区 遺構(5)

1. SD-202断面 (南から)
2. SB-201 (北から)

3. S P - 204 (南から)

- 図版42 範囲確認調査出土遺物
図版44 A地区出土遺物(2) 瓦器椀
図版46 A地区出土遺物(4) 瓦器皿・土師器皿
図版48 A地区出土遺物(6) 土師器皿
図版50 A地区出土遺物(8) 土師質土器・須恵器
図版52 A地区出土遺物10 瓦質土器
図版54 A地区出土遺物12 陶器
図版56 A地区出土遺物14 輸入陶磁器・ミニチュア土器
図版58 A地区出土遺物16 瓦
図版60 A地区出土遺物18 木製品
図版62 A地区出土遺物20 木製品
図版64 A地区出土遺物22 石製品
図版66 B地区出土遺物(1) 瓦器椀・土師器皿・須恵器・瓦質土器
図版68 B地区出土遺物(3) 磁器・瓦・木製品・金属製品

4. S P - 223 (南から)

- 図版43 A地区出土遺物(1) 瓦器椀
図版45 A地区出土遺物(3) 瓦器椀
図版47 A地区出土遺物(5) 土師器皿
図版49 A地区出土遺物(7) 土師器皿
図版51 A地区出土遺物(9) 上師質土器・須恵器
図版53 A地区出土遺物11 瓦質土器・陶器
図版55 A地区出土遺物13 輸入陶磁器
図版57 A地区出土遺物15 ミニチュア土器・磁器
図版59 A地区出土遺物17 土製品
図版61 A地区出土遺物19 木製品
図版63 A地区出土遺物21 石製品
図版65 A地区出土遺物23 金属製品・その他
図版67 B地区出土遺物(2) 陶器・輸入陶磁器

付 図

付図 1 A地区第1面 (A 2区第1遺構面)

付図 2 A地区第2面 (A 1・3・4区第1遺構面、A 2区第2遺構面)

付図 3 A地区第3面 (A 1・3・4区第2遺構面、A 2区第3遺構面)

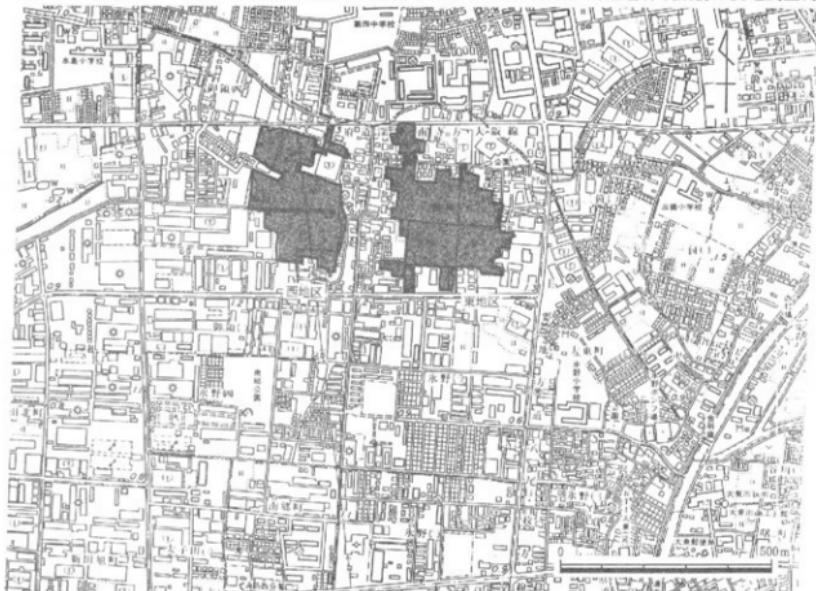
付図 4 B地区第1遺構面

付図 5 B地区第2遺構面

第1章 調査に至る経緯と経過

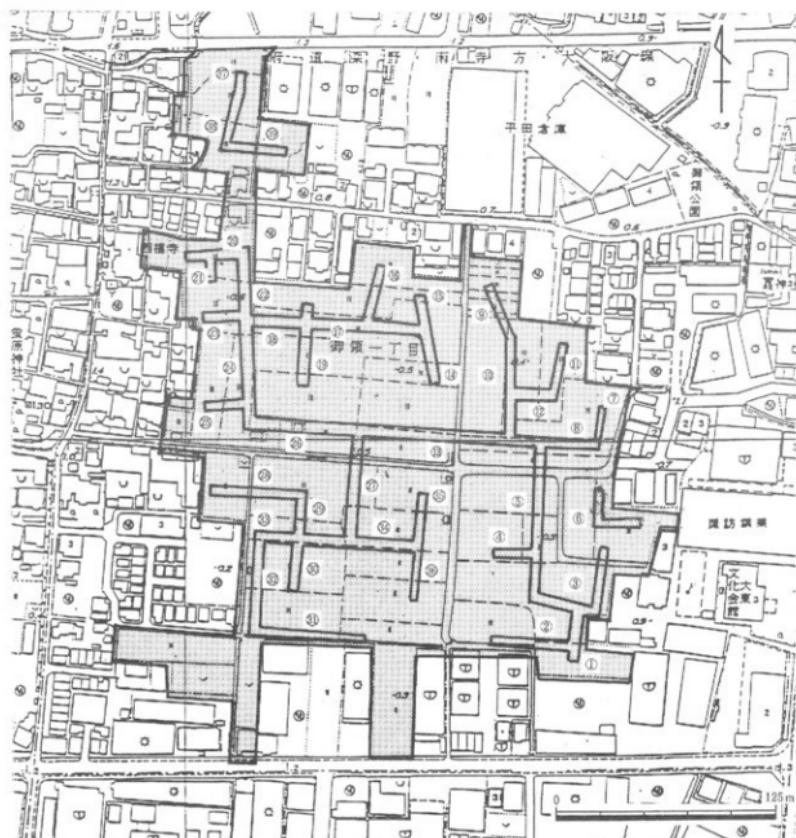
大東市御領地区は市域の北西部に位置し、近年まで主に水田・畠地として利用されてきた農業地域であった。現在はスプロール化の影響を周辺に受けながらも、その景観は損なわれず、特に段倉・水郷など河内地方特有の低湿地風景が市域で唯一残されているところでもあり、住民および行政など関係機関が「水路の街」として歴史的景観と共存した街作りを進めている。

このような状況において将来の市街化にそなえた土地区画整理事業も計画されることになり（第1図）、平成5年認可、および同年に大東市御領地区画整理事業組合が設立された。この事業計画に伴い御領地区画整理事業事務局である土木課（平成7年度より都市政策室が担当）より埋蔵文化財の取り扱いに対する問い合わせが教育委員会になされた。その事業内容から教育委員会では事業対象地の東地区（6.2ha）が御領遺跡（周知の埋蔵文化財包蔵地）の範囲内にかかるため、東地区においては文化財保護法に基づく範囲確認調査の必要がある旨を報告し、法的手続きを経て平成6年3月7日～平成6年7月25日にかけて実施した（第2図）。その調査の結果、部分的に中世の集落跡が確認されたため新たに保存協議を重ねることとなり、最終的に計画変更は困難であることから発掘調査を実施することになった。調査対象地は先の調査内容から2ヶ所（A地区・B地区）設定し（第4図）、1次調査としてA地区的道路部分（A1区、608m²）、2次調査としてA地区的宅地部分（A2～4区、1606.15m²）とB地区（宅地部分、810.52m²）を実施した。調査期間は1次調査を平成7年3月1日～平成7年4月27日、2次調査を平成7年5月29日～平成7年10月16日にかけて行なった。また整理作業・報告書作成業務は現地調査終

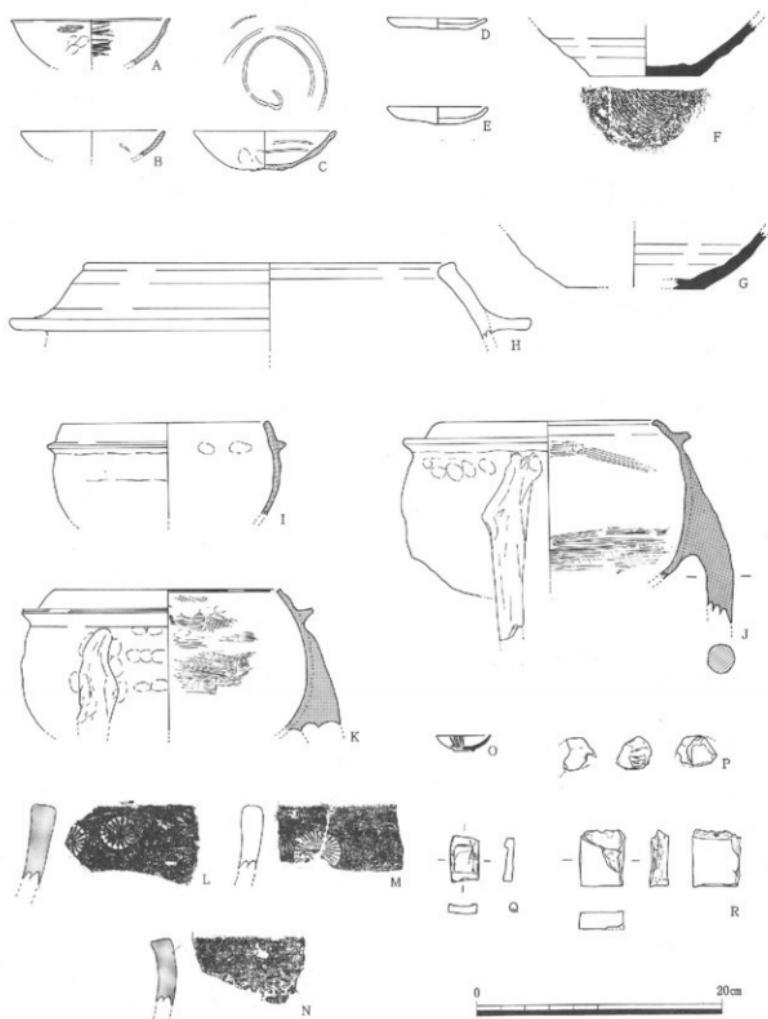


第1図 土地区画整理事業計画地位置図

了後、大東市立歴史民俗資料館において行い、書の刊行をもって発掘調査事業のすべてが完了したものである。



第2図 範囲確認調査トレンチ位置図



第3図 範囲確認調査出土遺物



第4図 調査区位置図

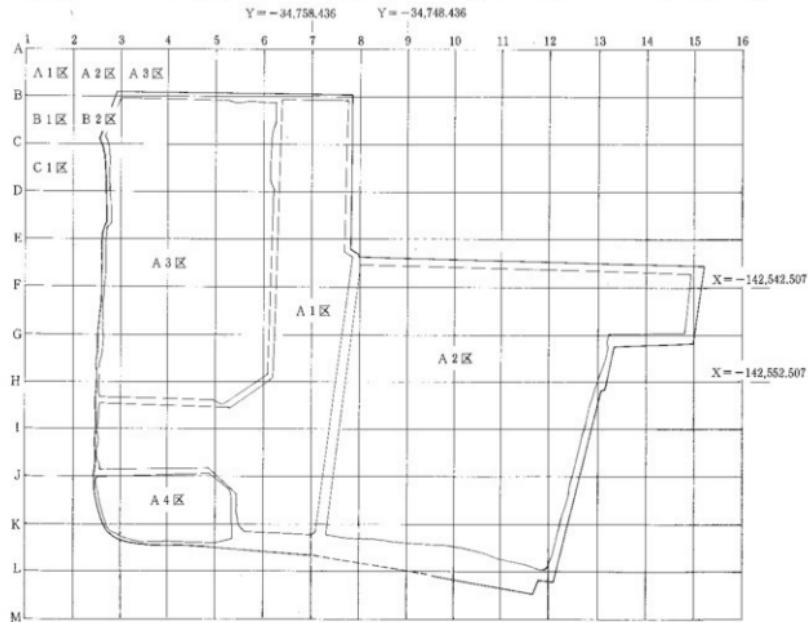
第2章 調査の方法

前章で述べたように、調査はA地区の道路部分、A地区的宅地部分、B地区と順次行なってきたが、掘削に関しては盛土、耕作土、床土までをバックホーによる重機で行い、以下、人力によって層位毎に掘削を行い、遺構面を検出しながら地山層に至るまで繰り返し行なった。

記録作業については、まず地区割りを行なったが、A地区、B地区それぞれにおいて国土座標第VI系にもとづいた座標軸により調査区全体を囲み、それを5m毎に等分して5m四方の区画を設定した。区画の呼称は南北ラインに数字、東西ラインにアルファベットを順次付して各交点を記号化し、北西隅の交点を用いた(第5、6図)。包含層の遺物の取り上げ、報告書における記述についてはすべてこれを使用している。

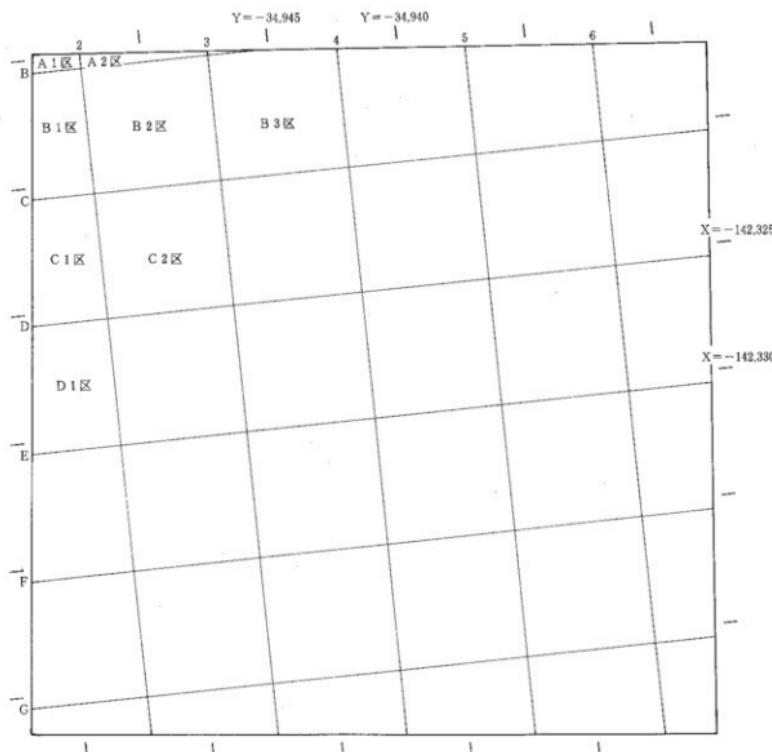
次に調査に伴う各種記録については、重要な遺構の平面実測は航空写真測量により図化し、その他の遺構面については平板測量を実施した。また必要に応じて遺物の出土状況、土層の堆積状況などの図面の作成及び写真撮影を行なった。図面の作成にあたってはすべて国土座標第VI系の座標値、水準についてT、P、(東京湾標準潮位)を使用している。また、写真撮影では6×7の中型カメラ、35mmの小型カメラで行い、小型カメラでは特に白黒フィルムのほかにカラーフィルムを用いてスライドなども作成した。

遺構番号については、各地区でそれぞれ単独に付与した。特に、A地区においては調査過程の関係か



第5図 A地区調査区区割図

ら分断されたため1～4区に細別し、これについてもそれぞれの区で単独に付与している。また、層位別に検出された遺構についてはそれぞれの区において遺構面を示す数字を遺構番号の頭に冠している。



第6図 B地区調査区区割図

第3章 位置と環境

御領遺跡は大阪府大東市御領1丁目周辺にかけて所在し、東西約320m、南北約320mの広がりをもつと推定されている遺跡であった。これまでには弥生土器及び古墳、奈良、鎌倉時代の須恵器、瓦器などが採集されていたことから弥生～中世の散布地として周知はされていたが、本格的な発掘調査の機会もなく、詳細な内容については明らかにされていない遺跡であった。

地理的には原始、古代においては河内湾、河内潟、河内湖などの中に位置し、また近世においても深野池の西側に立地したことから標高もほとんどない低地で、遺跡の西側が自然堤防を形成していることから遺跡の大部分は後背低地に地形分類されている。以下、周辺の遺跡を中心とした歴史的推移を概観する。

旧石器時代の遺跡は今のところ確認されていないが、旧石器時代終末から縄文時代早期にかけて使用されたと考えられている有舌尖頭器が北条遺跡で出土、宮谷古墳群内で採集されている。

縄文時代においても北新町遺跡、城ヶ谷遺跡、鍋田川遺跡などで中～晚期の土器が出土しており、遺跡の存在は推定されても明確ではなかった。しかし、1994～95年に実施した中垣内遺跡の調査において市域で初めて北白川C式の深鉢を伴う中期後半の遺構が確認されており、今後の調査に期待されるところである。

弥生時代の遺跡では、中垣内遺跡で前～中期の集落跡、北条西遺跡においても集落に伴うであろうと思われる前期の溝、土坑が検出されており、当時の河内潟東岸部における集落の在り方を考察するうえで重要な遺跡である。また後期の遺跡としては明確ではないが、各遺跡から土器が比較的にまとまって出土することから集落の存在は推定できる。特に、中垣内遺跡、その東に位置する鍋田川遺跡で検出した自然河川からは完形の土器が多く出土しており、これらの遺跡から東方約1kmに位置する国見高地性遺跡が後期の集落遺跡としての可能性が高いものと考えられる。

古墳時代に入ると、市域においても多数の古墳が造営されるようになる。前期の古墳は確認されていないが、中期では堂山1号墳、峯垣内古墳、後期に入ると群集墳が多数造営されるようになり、堂山古墳群、墓谷古墳群、宮谷古墳群、北条古墳群、寺川古墳群、大谷古墳群などがある。特に、中期の堂山1号墳からは三角板皮綴短甲、衝角付胄、鐵刀、鐵鎌など、多量の鐵製武器、武具類が出土しているこ



第7図 大東市位置図

とから首長墓的性格の強い古墳と考えられており、市域における古墳時代を考えるうえで重要な古墳である。また集落関係では、中垣内遺跡、鍋田川遺跡、北新町遺跡、北条西遺跡、メノコ遺跡などで確認されている。中垣内遺跡、鍋田川遺跡では占骨、刻骨が出土していることから非常に祭祀色の強い遺跡と考えられており、また北新町遺跡では倉庫と推定される大規模な掘立柱建物が検出されている。そして、これらの古墳時代の集落の特徴としては初期須恵器、韓式系土器の出土が目立つことで、特にメノコ遺跡では鳥足文を施す土器など百濟系の遺物が出土しており、当時の河内湖の東縁部に位置することを要因とした渡来人の往来の頻繁さを示すものであろう。

奈良～平安時代では寺川遺跡、元粉遺跡で集落跡が確認されており、特に寺川遺跡では平安時代中頃から後半にかけての井戸が多数検出されているが、その中の井戸の一つに径80cm、長さ1.2mの丸太を削り抜いて井筒として使用していた例は注目される。また、奈良時代においては寺川遺跡では「白麻呂」と墨書きされた土器が出土し、北新町遺跡では人面墨書き土器、美濃の刻印のはいった須恵器片などが出土していることから郡衙的性格の集落が点在していたものと推定される。

中世にはいると北新町遺跡で12～13世紀の居館跡と推定される大規模な集落跡が確認されており、今回、調査を実施した御領遺跡で13～14世紀頃の集落跡が確認されたことから市域における中世の様相も次第に明らかになりつつある。また、特筆すべきものとしては北新町遺跡から12世紀前半に製作された和鏡が出土している。

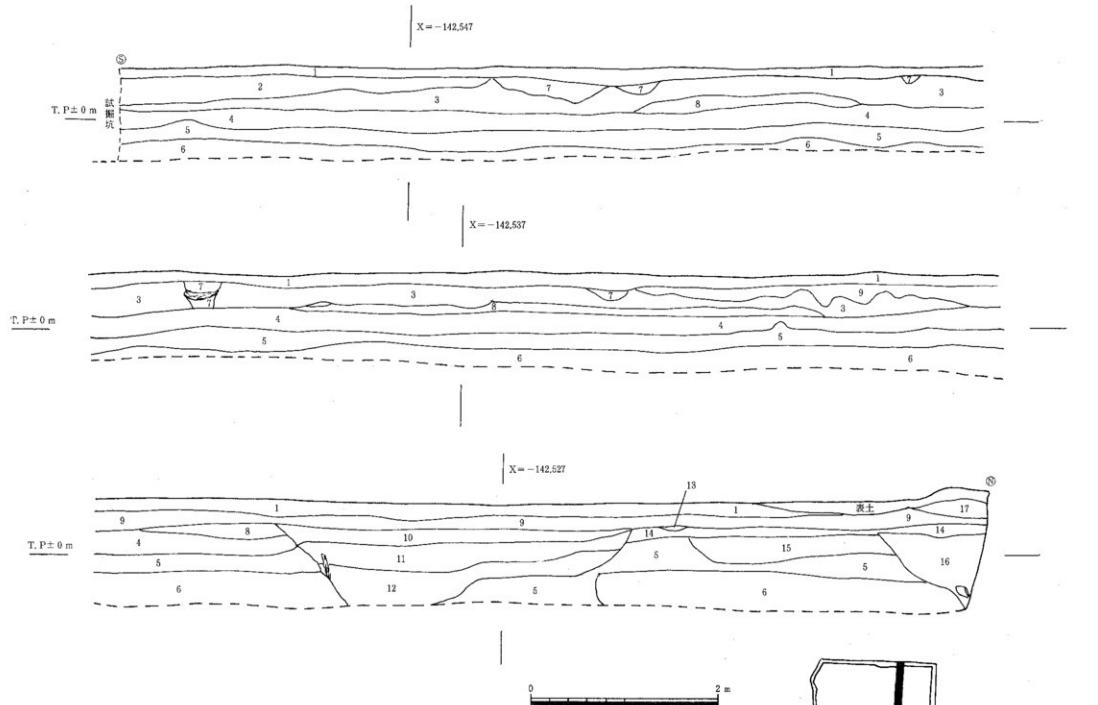
中世も後期に入ると城が築かれるようになるが、市域内では三好長慶の居城であった飯盛城、またその出城であった野崎城、キリシタン大名三箇サンチョの居城であった三箇城などが文献などにより知られるところではあるが、考古学的には明らかにされていないのが現状で今後の調査に期待されるところが大きい。

近世では、大坂城再築に伴う石垣用採石場である石切場跡遺跡や、また宝永元年（1704）の大和川村替工事を契機として新田開発が盛んになるが、その経営、管理のために設けられた施設として平野屋に深野南新田会所などが残されている。東大阪市には国の史跡指定をうけ、うち本屋など5棟の建物が重要文化財に指定されている鴻池新田会所が残されているが、これらを中心とした農業経営が市域および周辺においても盛んであったことがうかがわれる。

1 若宮遺跡	35 桜塚遺跡
2 國見高地性遺跡	36 桜塚堂山遺跡
3 七ツ原古墳	37 水道堀上水堀遺跡
4 中町内遺跡	38 鶴井山遺跡
5 光妙遺跡	39 三箇遺跡
6 網田川遺跡	40 水野遺跡
7 太鼓山遺跡	41 新造山地遺跡
8 電閣ハ・サカ遺跡	42 北条東古墳群
9 電閣遺跡	43 石切山遺跡
10 福運寺遺跡	44 尾崎城跡
11 メノ遺跡	45 北新町遺跡
12 家永城跡	46 大谷古墳群
13 市水道寺川配水塔古墳	47 大阪城残石
14 船橋遺跡	48 船橋遺跡
15 ヤリ山古墳	49 鎌谷古墳群
16 斧崎遺跡	50 斧崎遺跡
17 福澤山古墳	51 城ヶ谷古墳
18 北条北遺跡	52 寺川糸井遺跡
19 宮谷山古墳群	53 野崎多里山遺跡
20 大谷北古墳	54 伊聞マツカ遺跡
21 北条北古墳	55 中垣内山遺跡
22 北条北古墳	56 宮脇東遺跡
23 北条古墳	57 梶原辻・室庭跡
24 城の越上の段古墳	
25 城の越古墳	
26 室山上古墳	
27 室山下古墳	
28 室山古墳群1号墳	
29 室山古墳群2号墳～8号墳	
30 六地蔵古墳	
31 十林寺古墳	
32 寺川古墳群	
33 寺川古墳	
34 西諸福遺跡	

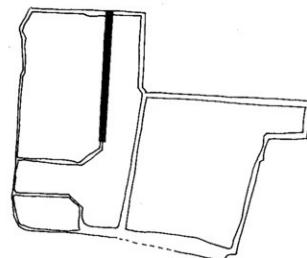


第8図 市内遺跡分布図

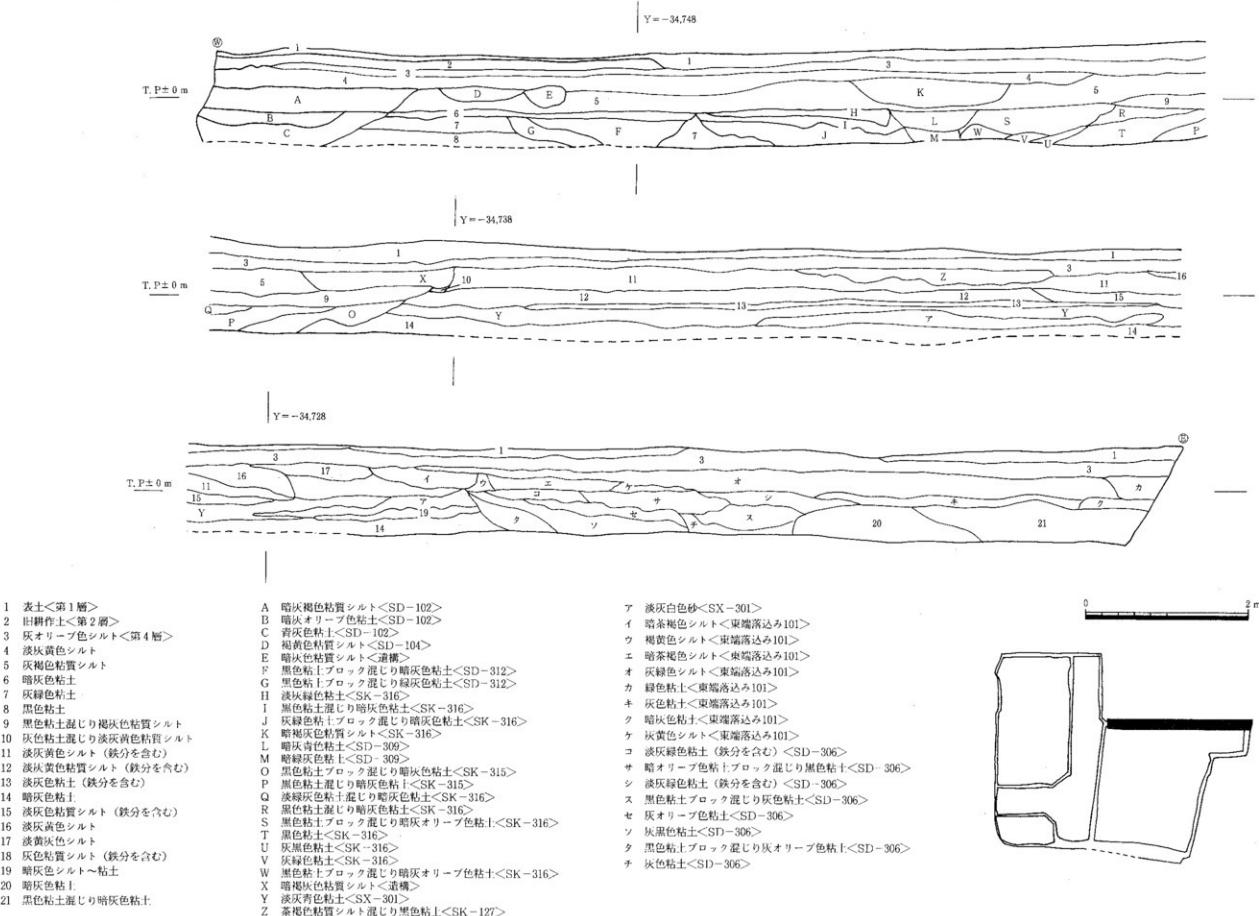


- 1 暗褐色土<包含層>
- 2 灰色砂質土(灰褐色砂質土ブロックを含む)<SX-101>
- 3 黄灰色シルト(鉄分、マンガンを含む)<第1面ベース層>
- 4 黄褐色粘質シルト<第2面ベース層>
- 5 灰綠色粘土
- 6 黑色粘土(植物遺体を含む)
- 7 灰色砂質土<遺構>
- 8 淡灰黄色シルト(鉄分、マンガンを含む)
- 9 暗灰褐色粘質シルト(鉄分、マンガンを含む)<包含層>

- 10 淡灰黄色シルト<SD-201>
- 11 黑色粘土(灰オーリーブ色粘土ブロックを含む)<SD-201>
- 12 黑色粘土<SD-201>
- 13 灰色シルト<遺構>
- 14 明褐色粘質シルト<第2面ベース層>
- 15 にぶい灰綠色粘土<SK-212>
- 16 灰色粘土<北端落込み>
- 17 灰褐色土



第9図 A地区土層断面図(1)



第10図 A地区土層断面図(2)

第4章 調査成果

第1節 A地区の調査成果

第1項 基本層序（第9、10図）

今回の調査においては2～3面の遺構面を層位的に確認することができた。以下、基本的な層序について述べる。

第1層 現代の表土。層厚0.05～0.1m程度である。

第2層 近現代の耕作土で、調査区全域にほぼ認められた。層厚0.1m前後で、この層までを機械掘削の対象とした。

第3層 灰褐色～暗灰褐色土。A 1・3・4区に認められる層で第1遺構面の上層にあたる。層厚0.1～0.2mで、この層をベースとした遺構は認められなかった。

第4層 灰オーリーブ～褐黄色シルト。A 2区のみに認められた層で、東、南部においてはこの層をベースとした遺構が検出されており、A 2区での第1遺構面ベース層にあたる。層厚は0.1～0.2mである。また、東部においては還元化されているところもあり、部分的に緑灰色を呈していた。

第5層 淡灰黄色～黄灰色シルト・粘質シルト。調査区全域に認められ、A 1・3・4区における第1遺構面、A 2区における第2遺構面にあたる。層厚0.2～0.3mである。また、A 2区の東部においては第4層同様に還元化されているところがあり、部分的に緑灰色を呈していた。

第6層 黄褐色粘質シルト。A 1区西側・A 3・4区にかけて認められる層で、それぞれの第2遺構面ベース層で、いわゆる考古学でいう地山層にあたる。層厚は0.2m前後である。

第7層 灰緑色粘質シルト～粘土。第6層の下層で、調査区全域に認められた。A 1区東側からA 2区にかけての遺構面にあたり、それぞれの第2遺構面、第3遺構面のベース層にあたる。第6層同様に地山層にあたるものである。

第8層 黒色粘土。地山層の下層であり調査対象外であるが、今回の調査における基本的堆積層として最終的に確認した層である。部分的に植物遺体を含むところもみられた。層厚は確認し得なかった。

第2項 A 1区の調査成果

1. 第1遺構面

基本層序1～3層を除去し、基本層序5層をベース面として検出した。溝、土坑、井戸、柱穴などを検出し、それに伴い、遺物も多数出土している。標高はT.P.+0.2～0.3mを測る。

〔溝〕

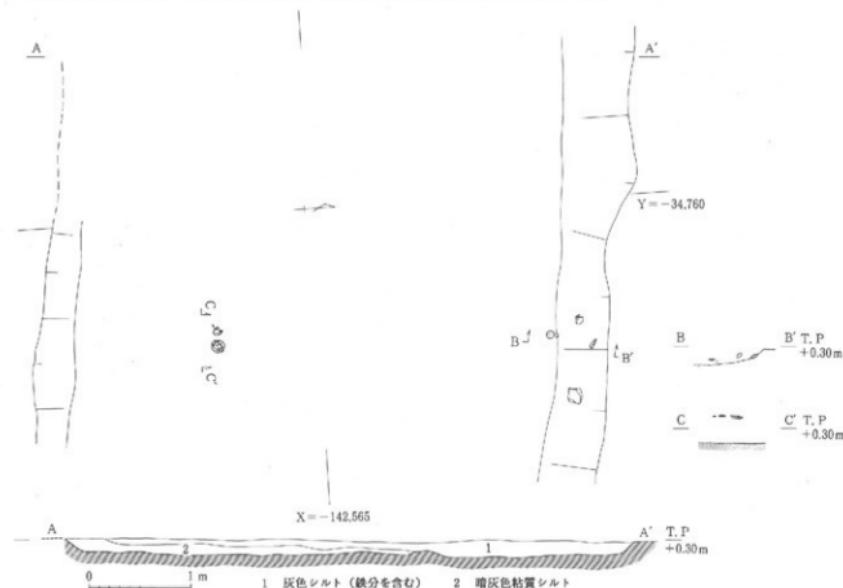
SD-101（第11、13図）

調査区南部で検出し、ほぼ東西に走る。同区のSD-109、A 2区のSD-207、A 3区のSD-102、A 4区のSD-101各遺構と一連をなすもので、全体的には調査区西・南側を取り囲む状況を呈するものである。今回の検出では幅広で浅く、幅5.5m、深さ0.19mを測る。埋土は3層で灰～暗灰色シルト、粘質シルトが主体をなす。遺物は瓦器梶、土師器皿、東播系須恵器鉢、瓦質羽釜・火鉢、陶器の他、硯、砥石、錢貨、火を受けた石なども出土している。

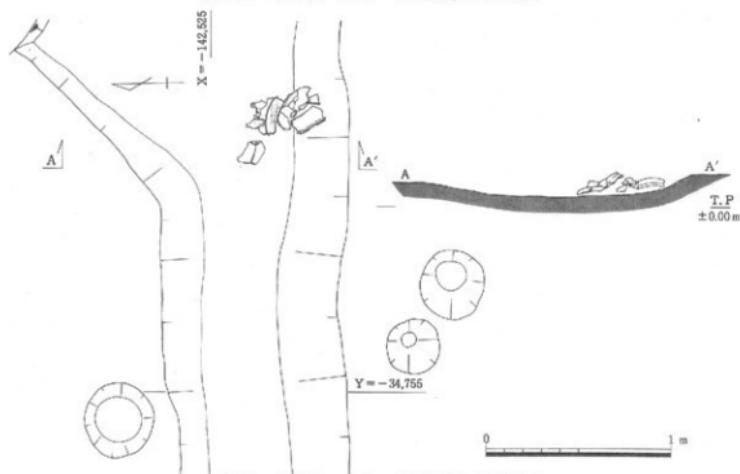
SD-103（第12、15図）

調査区北側B 6～7区にかけて検出し、ほぼ東西に走る。調査区外へ伸びるため規模は明らかでな

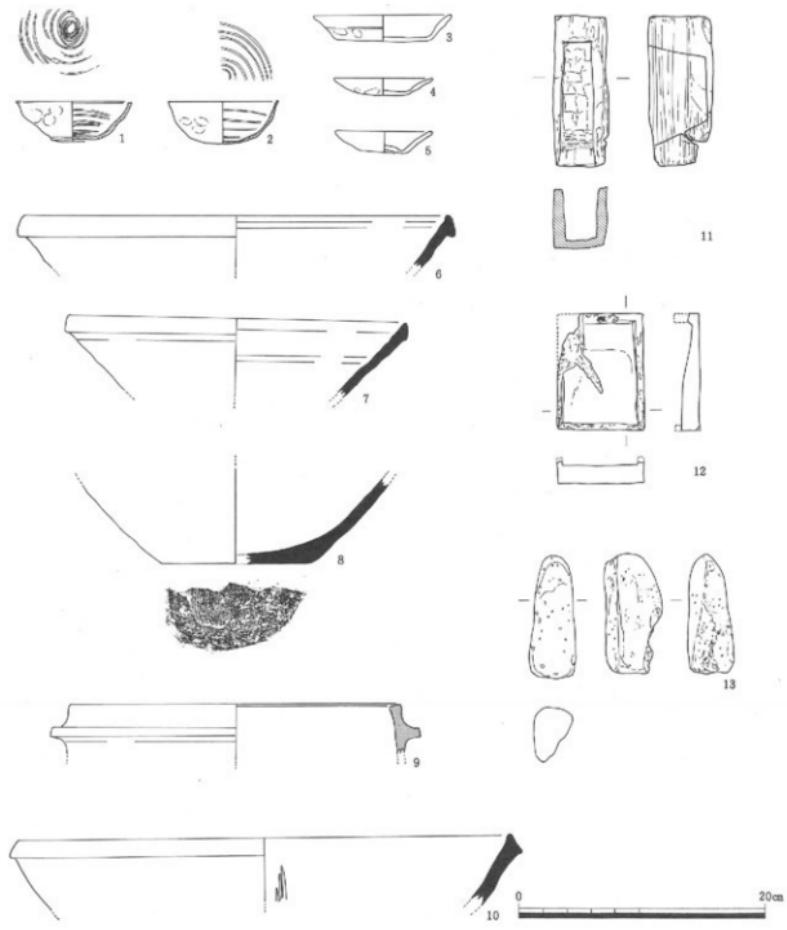
いが、幅1.3m、深さ0.17mを測る。埋土は2層で黒色粘質シルト、黒色粘土ブロックを含む黄褐色粘質シルトである。遺物は土師器皿、瓦質羽釜、陶器などが出土している。



第11図 A 1区 SD-101遺物出土状況図



第12図 A 1区 SD-103遺物出土状況図



第13図 A 1 区 SD-101出土遺物

SD-104

E～F 6区にかけて検出し、ほぼ南北に走る。検出長1.55m、幅0.35m、深さ0.22mを測る。埋土は1層で淡灰黄色粘質土である。遺物は瓦器楕、土師器皿などが出土している。

SD-106(第15図)

H 5～6、I 5～6区にかけて検出し、ほぼ南北に走る。検出長0.83m、幅0.5m、深さ0.09mを測

る。遺物は出土していない。

SD-107 (第14、15図)

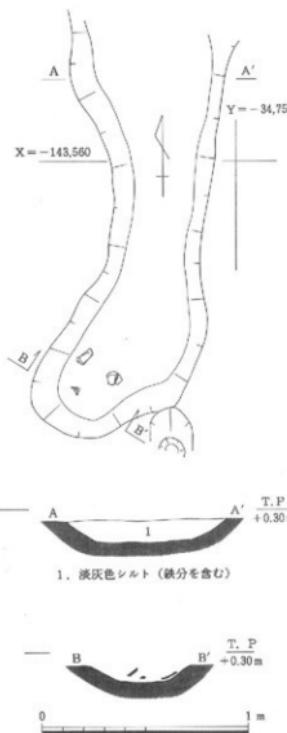
H 6～I 7 区にかけて検出し、ほぼ南北に走る。検出長7.6m、幅0.75m、深さ0.06mを測り、埋土は1層で鉄分を含む淡灰色シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿、白磁皿などが出土している。

SD-108

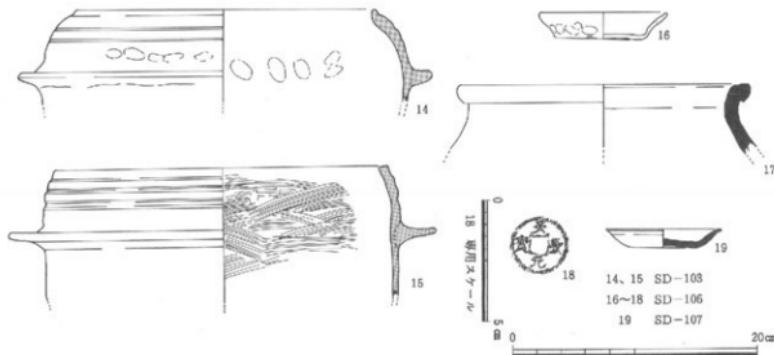
H 6～7 区にかけて検出し、ほぼ東西に走る。規模は確認トレンチに切られているため明らかでないが、検出長7.1m、深さ0.36mを測る。埋土は2層で淡灰色シルト、灰黄色粘質土である。遺物は瓦器椀、土師器皿、瓦質土器、陶器などが出土している。

SD-109

H 2～3、I 2～3 区にかけて検出し、ほぼ南北に走る。先述のSD-101などと一連をなすものである。幅1.9m、深さ0.2mを測り、埋土は2層でそれぞれ鉄分を含む灰色シルト、暗灰色粘質シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿、須恵器、瓦質土器、陶器の他、銭貨が1点出土している。



第14図 A 1 区 SD-107平面・断面・遺物出土状況図



第15図 A 1 区 SD-103・106・107出土遺物

[土坑]

SK-101

C 6 区で検出した。SK-102、SP-131に切られているため、形態、規模は明らかでないが、深さ 0.17m を測る。遺物は土師器皿、瓦質土器などが出土している。

SK-102

C 6 区で検出した。形態は不整な隅丸長方形を呈し、長径1.35m、短径0.6m、深さ0.26mを測る。埋土は 2 層で灰黄色粘質シルト、黒灰色粘質シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿、東播系須恵器、瓦質羽釜などが出土している。

SK-103

C 6 ~ 7 区にかけて検出した。形態は不定形を呈し、最大長2.4m、最大幅1.0m、深さ0.1mを測る。埋土は 1 層で暗灰黄色粘質シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿などが出土している。

SK-104

C 6 区で検出した。形態は不定形を呈し、最大長1.35m、最大幅1.15m、深さ0.13mを測る。埋土は 1 層で鉄分を含む淡灰色粘質シルトである。遺物は土師器皿が出土している。

SK-105

D 6 区で検出した。形態・規模は側溝に切られており、また A 3 区にも続かないため明らかでない。埋土は 1 層で鉄分を含む暗灰色粘質シルトである。遺物は出土していない。

SK-106

E 7 区で検出した。形態は不整な隅丸正方形を呈し、径0.75m、深さ0.16mを測る。埋土は 1 層で SK-105 と同様である。遺物は瓦器椀、土師器皿などが出土している。

SK-107

D、E 6 区にかけて検出した。形態は不整な梢円形を呈し、長径は SP-196 に切られているため明らかでないが短径0.35m、深さ0.085mを測る。埋土は 1 層で鉄分を含む灰色粘質シルトである。遺物は瓦器椀、土師器などが出土している。

SK-108

E 6 区で検出した。形態は不整な円形を呈し、径0.6m、深さ0.04mを測る。埋土は 1 層で淡灰黄色シルトである。遺物は瓦器椀、土師器などが出土している。

SK-109

E 6 区で検出した。形態は隅丸正方形を呈し、径0.75m、深さ0.08mを測る。埋土は 1 層で SK-108 と同様である。遺物は土師器が出土している。

SK-110

F 6 区で検出した。形態は不定形を呈し、最大長0.8m、最大幅0.6m、深さ0.06mを測る。埋土は 1 層で鉄分を含む灰色粘質シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿、瓦質土器などが出土している。

SK-111

F 6 区で検出した。形態は不整な隅丸正方形を呈し、長径1.2m、短径0.6m、深さ0.115mを測る。埋土は 1 層で淡灰黄色粘質シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿、瓦質土器などが出土している。

SK-112

F 6 区で検出した。形態は不整な梢円形を呈し、長径0.75m、短径0.55m、深さ0.06mを測る。埋

土は1層で鉄分を含む灰色粘質土である。遺物は瓦器碗、土師器皿、瓦質土器などが出土している。
SK-113

F 6～7区にかけて検出した。形態はほぼ椭円形を呈し、長径0.7m、短径0.5m、深さ0.11mを測る。埋土は1層で灰色粘質シルトである。遺物は瓦器碗、土師器皿などが出土している。

SK-114

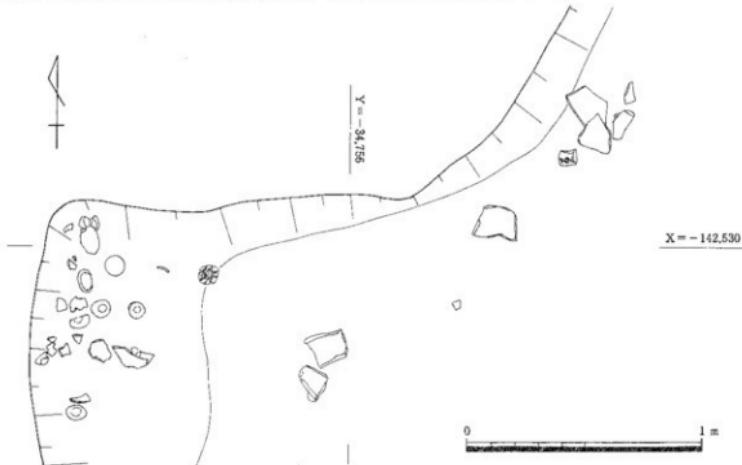
F 6区で検出した。形態は不定形を呈し、最大長2.5m、深さ0.06mを測る。埋土は1層で鉄分を含む灰色シルトである。遺物は瓦器碗、土師器皿、瓦質土器などが出土している。

SK-115

C 7区で検出した。形態・規模は調査区外に広がるため明らかでない。埋土は1層で鉄分を含む灰黄色粘質シルトである。遺物は出土していない。

SK-116(第16、17図)

B、C 7区にかけてSX-101の底面において検出した。形態は不定形を呈するが、規模は調査区外に広がるため明らかでない。埋土は1層でぶい茶褐色粘質シルトである。遺物は瓦器碗、土師器皿、東播系須恵器鉢、瓦質土器、青磁、丸瓦の他、焼土塊なども出土している。



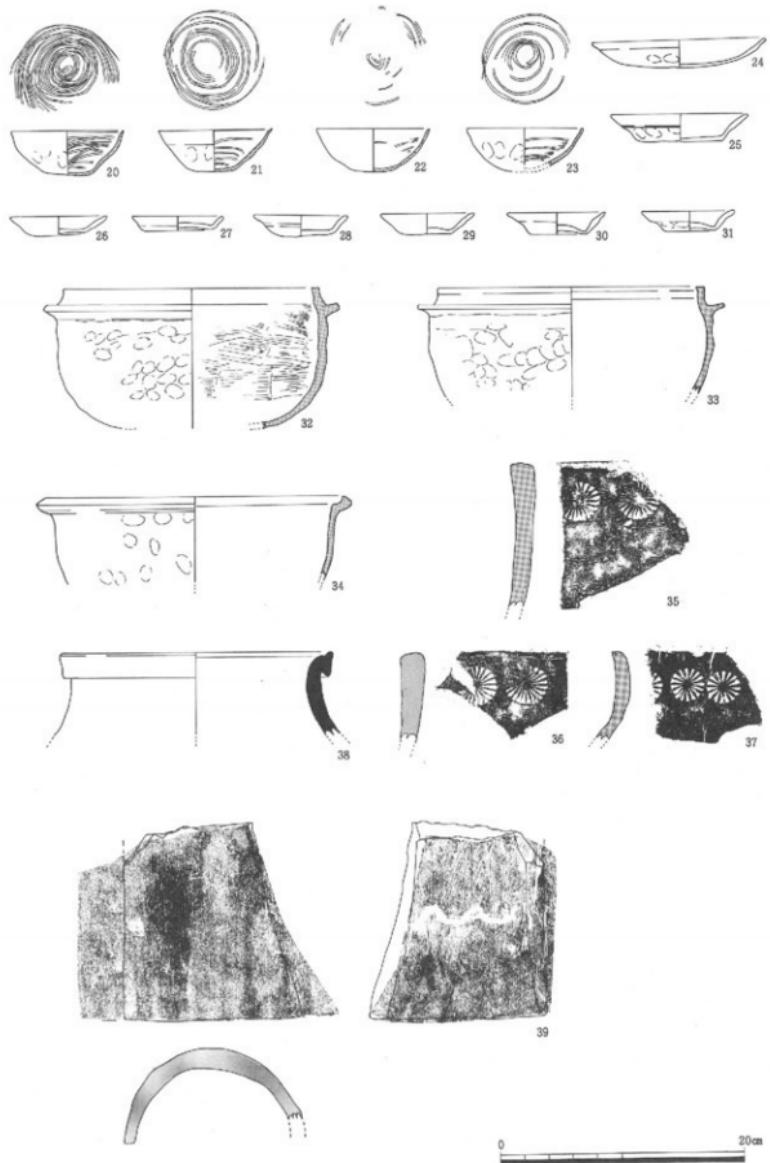
第16図 A 1区 SK-116遺物出土状況図

SK-117

C 7区でSX-101の底面において検出した。形態は椭円形を呈し、長径0.8m、短径0.45m、深さ0.35mを測る。埋土は1層で黒色粘質シルトのブロックを含む灰黄色粘質シルトである。遺物は出土していない。

SK-118(第18図)

D、E 7区にかけて検出し、落ち込み状の土坑としたが、SI-101から東にかけてなだらかに落ち込んでいく様相を呈していることからSI-101と一連のものとして捉えるべきかもしれない。遺物は瓦器碗・皿、土師器皿、東播系須恵器鉢、陶器、白磁がまとめて出土している他、炭、焼土塊など



第17図 A 1区 SK-116出土遺物

も出土している。

S K - 119

D、E 7 区にかけてSX-101の底面において検出した。形態はほぼ隅丸長方形を呈し、長径0.55m、短径0.25m、深さ0.1mを測る。埋土は1層で鉄分を含む灰色粘質シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿などが出土地していいる。

S K - 120

E 7 区でSX-101の底面において検出した。形態はほぼ隅丸長方形を呈し、長径0.55m、短径0.3m、深さ0.14mを測る。埋土は1層で暗灰色粘質シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿、東播系須恵器、瓦質土器などが出土している。

S K - 121

E 7 区で検出し、土坑としたが、A 2 区の調査で検出したSD-102の肩部にあたると思われる。埋土は1層で灰黄色粘質シルトである。遺物は土師器皿、瓦質土器などが出土している。

S K - 122

E 7 区で検出した。形態は不定形を呈し、最大長2.2m、深さ0.11mを測る。埋土は1層で鉄分を含む灰色粘質土である。遺物は出土していない。

S K - 123

F 6 区で検出した。形態は不整な隅丸長方形を呈し、長径0.55m、短径0.25m、深さ0.14mを測る。埋土は1層で鉄分を含む灰色粘質シルトである。遺物は出土していない。

S K - 124

F 7 区でSX-101の底面において検出した。形態は不整な橢円形を呈し、長径0.6m、短径0.25m、深さ0.12mを測る。埋土は1層で鉄分を含む暗灰色粘質シルトである。遺物は出土していない。

S K - 125 (第18図)

F、G 7 区にかけてSX-101の底面において検出した。形態・規模は側溝に切られたため明らかでないが、最大残存長1.25m、深さ0.07mを測る。埋土は1層で鉄分を含む淡灰色粘質シルトである。遺物は出土していない。

S K - 126

G 6 区でSX-101の底面において検出した。形態・規模は試掘トレーニチに切られているため明らかでないが、おそらく隅丸長方形を呈するものと思われ、最大残存長2.7m、短径1.6m、深さ0.26mを測る。埋土は2層で灰黄色シルト、暗灰色粘質シルトである。遺物は出土していない。

S K - 127

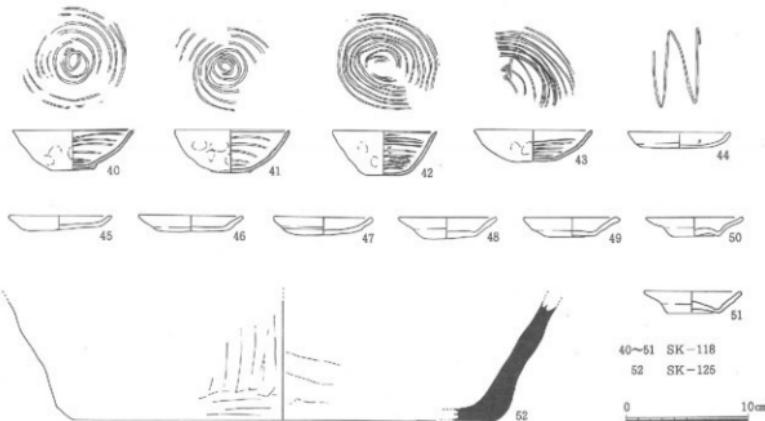
E 7 区でSX-101の底面において検出した。形態は不整な橢円形を呈し、長径0.55m、短径0.2m、深さ0.04mを測る。埋土は1層で鉄分を含む灰色粘質シルトである。遺物は出土していない。

S K - 128

H 3 区で検出した。形態は若干側溝に切られているが、ほぼ隅丸長方形を呈するものと思われ、最大残存長1.0m、短径0.5m、深さ0.07mを測る。埋土は1層で鉄分を含む淡灰色シルトである。遺物は出土していない。

S K - 129

H 3 区で検出した。形態はほぼ隅丸長方形を呈し、長径0.65m、短径0.55m、深さ0.06mを測る。



第18図 A 1区 SK-118 + 125出土物

埋土は1層で鉄分を含む灰色シルトである。遺物は瓦器楕、土師器皿などが出土している。

SK-130

F 3～4区にかけて検出した。鋤溝に切られる。形態は不定形を呈し、最大長1.3m、最大幅1.0m、深さ0.06mを測る。埋土は1層で鉄分を含む淡灰色シルトである。遺物は出土していない。

SK-131

E 4区で検出した。形態は不整な楕円形を呈し、長径0.55m、短径0.3m、深さ0.1mを測る。埋土は1層で鉄分を含む淡灰色シルトである。遺物は瓦器楕、土師器皿などが出土している。

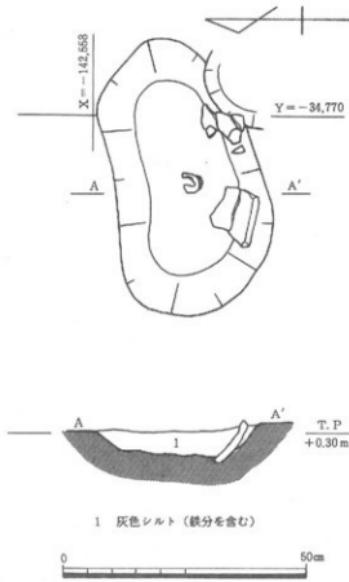
SK-132

E 4区で検出した。形態はやや不整な開丸長方形を呈し、長径0.6m、短径0.3m、深さ0.08mを測る。埋土は1層で鉄分を含む淡灰色シルトである。遺物は土師器皿が出土している。

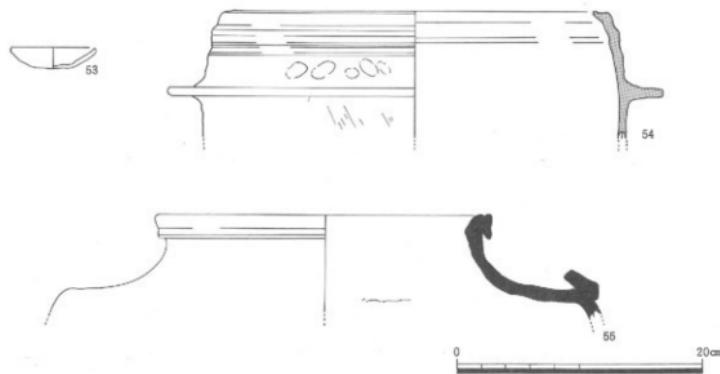
SK-133

H 4～I 4区にかけて検出した。形態は不定形を呈し、最大長1.4m、深さ0.08mを測る。埋土は1層で黒色粘質土ブロックを含む灰黄色粘質シルトである。遺物は出土していない。

SK-134 (第19、20図)



第19図 A 1区 SK-134平面・断面・遺物出土状況図



第20図 A 1区 SK-134出土遺物

I 4区で検出した。形態は不整な梢円形を呈し、長径0.55m、短径0.3m、深さ0.1mを測る。埋土は1層で鉄分を含む灰色シルトである。遺物は比較的まとまって出土しており、瓦器榠、土師器皿、東播系須恵器、瓦質羽釜、常滑などの陶器が出土している他、焼土塊なども出土している。

SK-135

I 4区で検出した。形態は不整な円形を呈し、径1.0m、深さ0.1mを測る。埋土は1層で鉄分を含む灰色シルトである。遺物は瓦器榠、土師器皿などが出土している。

SK-136

H 4～5、I 4～5区にかけて検出した。形態は不定形を呈し、最大長2.1m、深さ0.1mを測る。埋土は1層で黒色粘質土シルトを斑点状に含む灰黄色粘質シルトである。遺物は出土していない。

SK-137

H 5で検出した。側溝に切られる。形態は不定形を呈し、検出最大長1.6m、深さ0.02mを測る。埋土は1層で淡灰褐色シルトである。遺物は出土していない。

SK-138

H 5区で検出した。形態は梢円形を呈し、長径0.65m、短径0.35m、深さ0.1mを測る。埋土は1層で淡灰黄色粘質シルトである。遺物は出土していない。

SK-139

H 5～I 5区にかけて検出した。形態は隅丸方形を呈し、径1.0m、深さ0.41mを測る。埋土は2層でそれぞれ黒色粘質シルトを斑点状に含む灰色粘質シルト、暗灰色粘質土である。遺物は瓦器榠、土師器皿、須恵器、陶器などが出土している。

SK-140

H 5～I 5区にかけて検出した。SK-142を切る。形態は不整な隅丸長方形を呈し、長径1.45m、短径0.55m、深さ0.115mを測る。埋土は1層で灰黄色粘質シルトである。遺物は瓦器榠、土師器皿、瓦質土器などが出土している。

SK-141

I 5 区で検出した。SK-142に切られる。形態は不定形を呈し、最大長1.8m、深さ0.55mを測る。埋土は1層で鉄分を含む灰黄色シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿などが出土している。

S K-142

I 5 区で検出した。SK-141を切り、SK-140に切られる。形態は不整な隅丸長方形を呈し、長径1.7m、短径1.2m、深さ0.075mを測る。埋土は1層で鉄分を含む淡灰黄色シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿、瓦質土器などが出土している。

S K-143

I 4 ~ 5 区にかけて検出した。形態は楕円形を呈し、長径0.9m、短径0.65m、深さ0.045mを測る。埋土は1層で鉄分を含む淡灰色シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿などが出土している。

S K-144

H 5 ~ I 5 区にかけて検出した。鋸溝に切られる。形態は不定形を呈するものと思われ、最大残存長2.5m、深さ0.075mを測る。埋土は1層で炭を多量に含んだ灰色シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿、東播系須恵器、瓦質羽釜が出土している他、焼土塊も多数含んでいた。

S K-145

H 5 ~ 6 区にかけて検出した。形態は不整な隅丸長方形を呈し、長径0.9m、短径0.5m、深さ0.04mを測る。埋土は1層で鉄分を含む灰色シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿、東播系須恵器が出土している。

S K-146

H 5 ~ 6 区にかけて検出した。形態は不整な楕円形を呈し、長径0.65m、短径0.45m、深さ0.06mを測る。埋土は1層で鉄分を含む灰色シルトである。遺物は出土していない。

S K-147

H 5 ~ 6 区にかけて検出した。SK-148を切る。形態は不定形を呈し、最大長1.5m、深さ0.13mを測る。埋土は1層で鉄分を含む灰色シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿などが出土している。

S K-148

H 5 ~ 6 、 I 5 ~ 6 区にかけて検出した。SK-147を切られる。形態は不定形を呈し、最大長1.25m、深さ0.5mを測る。埋土は1層で鉄分を含む灰色シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿などが出土している。

S K-149 (第22図)

H 6 ~ I 6 区にかけて検出した。形態は不整な楕円形を呈し、長径0.7m、短径0.25m、深さ0.2mを測る。埋土は2層で灰色シルト、黒色粘質シルトブロックを含む灰黄色粘質シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿などが出土している。

S K-150

I 5 ~ 6 区にかけて検出した。形態はほぼ円形に近い楕円形を呈し、長径1.4m、短径1.25m、深さ0.08mを測る。埋土は1層で鉄分を含む淡灰黄色シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿、瓦質土器などが出土している。

S K-151

H 6 区で検出した。SK-156に切られる。形態は不定形を呈するものと思われ、最大長0.6m、深さ0.22mを測る。埋土は1層で灰黄色粘質シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿などが出土している。

S K - 152

H 6～7区にかけて検出した。SD-107、SK-161を切る。形態は不定形を呈するものと思われ、最大長0.6m、深さ0.06mを測る。埋土は1層で鉄分を含む灰色粘質シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿などが出土している。

S K - 153（第22図）

I 7区で検出した。形態は側溝に切られたため明らかではないが、ほぼ隅丸長方形を呈するものと思われ、残存長径1.4m、短径0.7m、深さ0.11mを測る。埋土は1層でマンガンを含む淡灰色シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿の他、石、木片なども出土している。

S K - 154

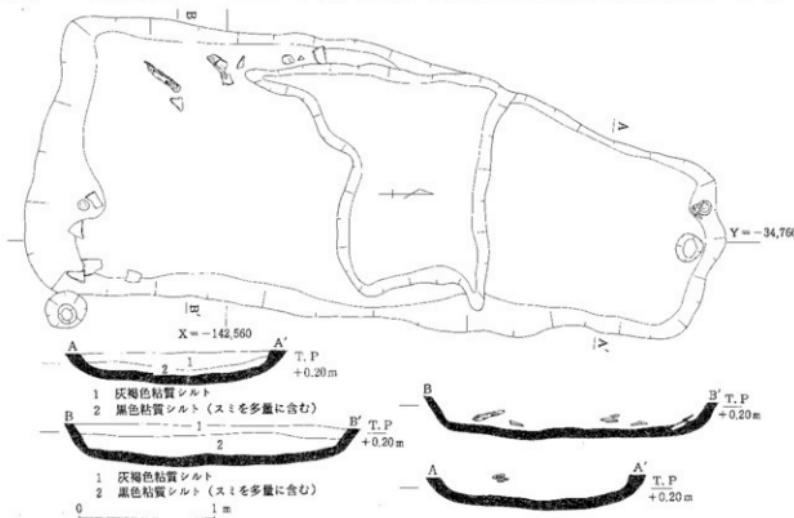
I 7区で検出した。形態は不整な円形を呈し、径0.65m、深さ0.11mを測る。埋土は1層で鉄分を含む灰色粘質シルトである。遺物は比較的まとまって出土しており、瓦器椀、土師器皿、須恵器、瓦質土器などが出土している。

S K - 155

I 6区で検出した。SK-156を切る。形態は不定形を呈し、最大長1.6m、深さ0.05mを測る。埋土は1層で鉄分を含む灰色粘質シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿、須恵器、瓦質土器の他、鉄片、焼土塊なども出土している。

S K - 156（第21、22図）

H 6～I 6区にかけて検出した。SK-155に切られる。形態は不整な隅丸長方形を呈し、長径5.0m、短径2.0m、深さ0.27mを測る。今回の調査においては大型の土坑である。埋土は2層で灰褐色粘質シルト、黒色粘質シルトであるが、下層では大量の炭を含んでおり得意な様相を示している。遺

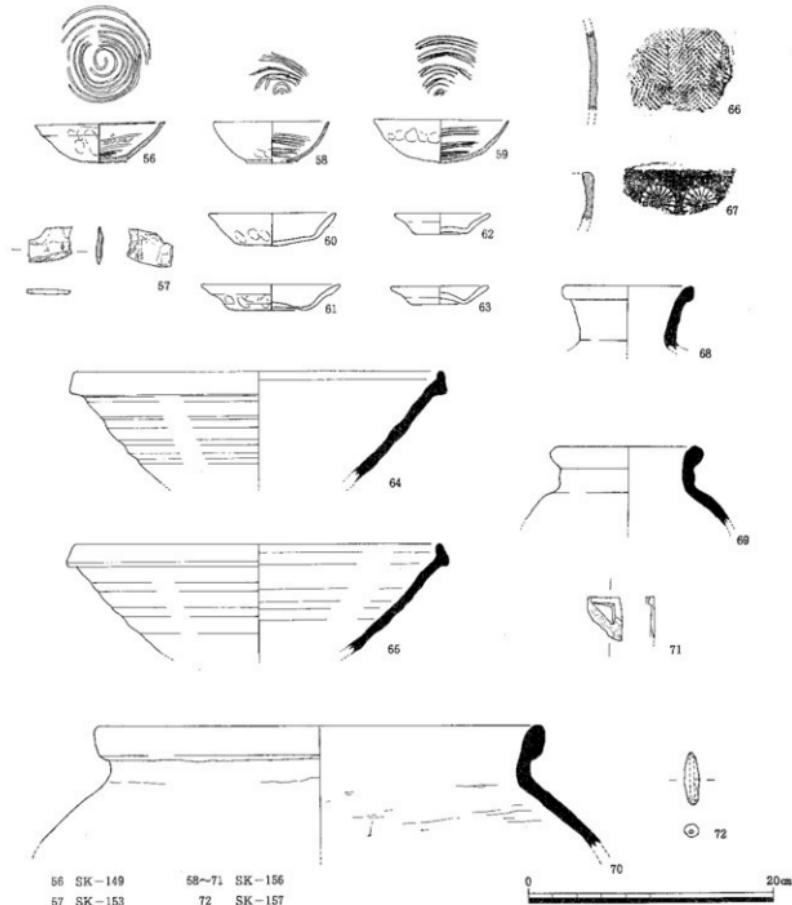


第21図 A 1区 S K - 156平面・断面・遺物出土状況図

物はまとまって出土しており、瓦器碗、土師器皿、須恵器、瓦質土器、青磁の他、焼土塊、火を受けている石なども出土している。

SK-157

16区で検出した。SK-156、SK-162に切られる。形態は不定形を呈するものと思われ、最大残存長1.7m、深さ0.29mを測る。埋土は2層で灰色シルト、黒色粘質シルトブロックを含む灰黄色粘質シルトである。遺物は土師器皿、須恵器、土鍬などが出土している。



第22図 A 1区 SK-149・153・156・157出土遺物

S K - 158

H 6 区で検出した。形態は不整な楕円形を呈し、長径0.65m、短径0.5m、深さ0.06mを測る。埋土は1層で淡灰黄色シルトである。遺物は出土していない。

S K - 159

I 6 区で検出した。形態は楕円形を呈し、長径0.4m、短径0.25m、深さ0.03mを測る。埋土は1層で灰色粘質シルトである。遺物は出土していない。

S K - 160

I 5 区で検出した。形態は不整な隅丸長方形を呈し、長径0.95m、短径0.55m、深さ0.175mを測る。埋土は2層で灰色シルト、鉄分を含む灰黄色粘質土である。遺物は出土していない。

S K - 161

H 6 ~ 7 区にかけて検出した。SD-107に切られる。形態は不定形を呈するものと思われ、最大残存長1.8m、深さ0.07mを測る。埋土は1層で灰色粘質シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿、瓦質土器などが出土している。

S K - 162

I 6 区で検出した。SK-156に切られる。形態は不定形を呈し、最大残存長1.7m、深さ0.21mを測る。埋土は2層で鉄分を含む灰色シルト、灰黄色粘質シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿などが出土地していいる。

S K - 163

I 5 区で検出した。形態は不整な楕円形を呈し、長径0.6m、短径0.3m、深さ0.11mを測る。埋土は1層で暗灰色粘質シルトである。遺物は出土していない。

S K - 164

I 4 区でSX-201の底面において検出した。形態は楕円形を呈し、長径0.55m、短径0.35m、深さ0.15mを測る。埋土は2層で鉄分を含む灰色シルト、灰黄色粘質シルトである。遺物は出土していない。

S K - 165

I 3 区で検出した。SX-102を切る。形態は不整な楕円形を呈し、長径0.65m、短径0.5m、深さ0.13mを測る。埋土は1層で鉄分を含む暗灰色粘質シルトである。遺物は出土していない。

S K - 166

H 5 区でSK-144の底面において検出した。形態は楕円形を呈し、長径0.45m、短径0.25m、深さ0.05mを測る。埋土は1層で鉄分を含む淡黄色粘質シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿の他、焼土塊なども出土している。

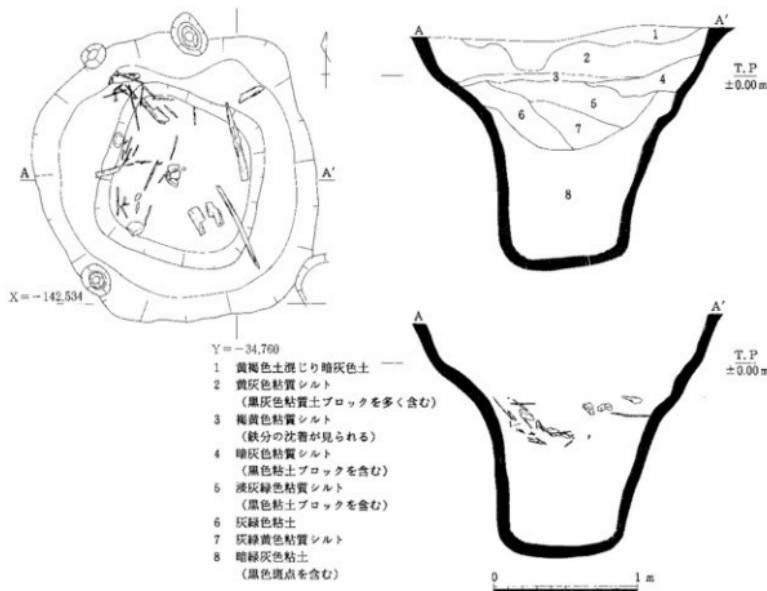
S K - 167

I 2 区で検出した。形態は調査区外へ広がるため明らかではないが、最大残存長0.65m、深さ0.21mを測る。遺物は出土していない。

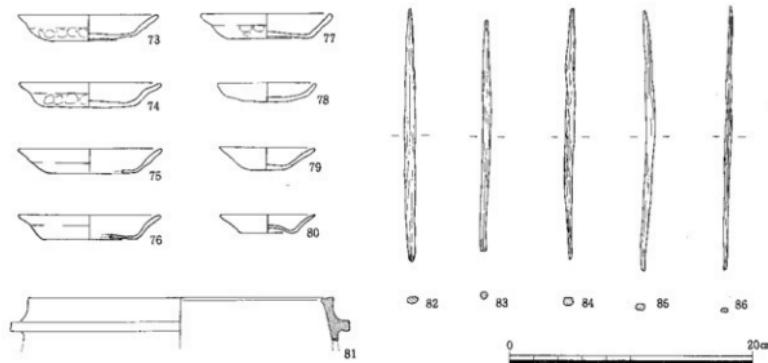
〔井戸〕

S E - 101 (第23、24図)

C 6 区～D 6 区にかけて検出した。形態はほぼ円形を呈し、径2.0m、深さ1.5mを測る。断面形は深さ0.5m付近で段を形成しており、それより下部は平面形を隅丸形状に、やや狭まりながらもその形状を保っていた。おそらく井戸枠材を有していたものと思われ、廃棄時に抜き取ったものであろ



第23図 A 1 区 SE-101平面・断面・遺物出土状況図



第24図 A 1 区 SE-101出土遺物

う。ただその痕跡については確認しえなかった。埋土は有段部を境に上層、下層に大別され、上層では黄灰～緑灰シルトを主体とした7層を確認したのとは対照的に、下層は暗緑灰色粘土層のみであった。遺物は瓦器椀、土師器皿、須恵器、瓦質土器、陶磁器や箸などの木製品が出土しているが、ほと

などが上層からの出土であり、特に下層の上面においてまとまった出土状況を示している。このような土層の堆積状況、土器の出土状況など今回の検出状況は井戸を廃棄する過程を考える一例として良好な資料になると思われる。

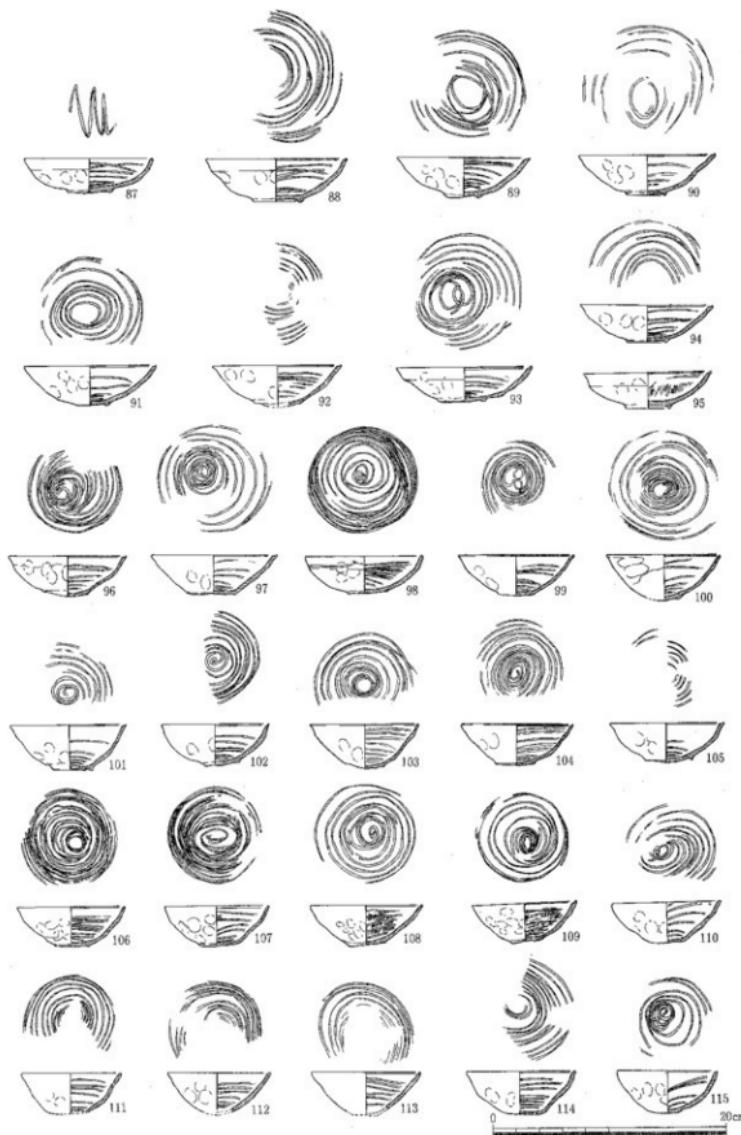
〔土器集積遺構〕

S I - 101 (第25~31図)

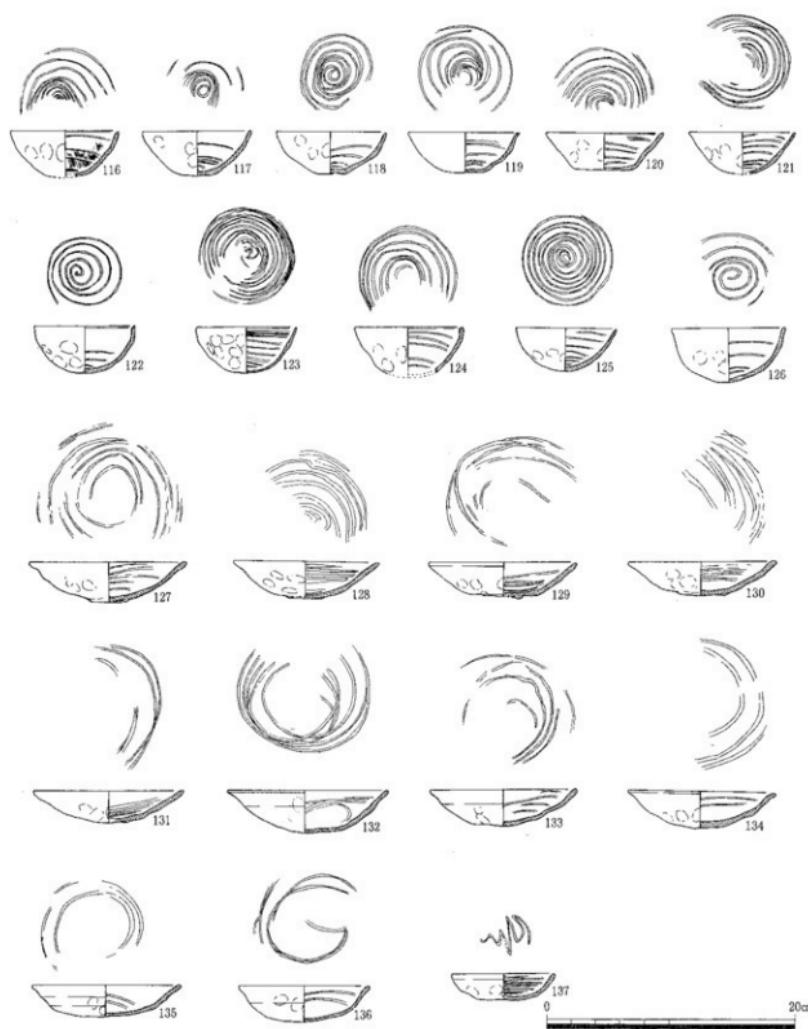
調査区北部、D 6 ~ 7 区にかけて検出した。SX-101の範囲内であり、掘削後全容が明らかになつたもので、範囲は南北3.8m、東西4.6mを測り、数ブロックに密集しながらほぼ全域に散乱する状況



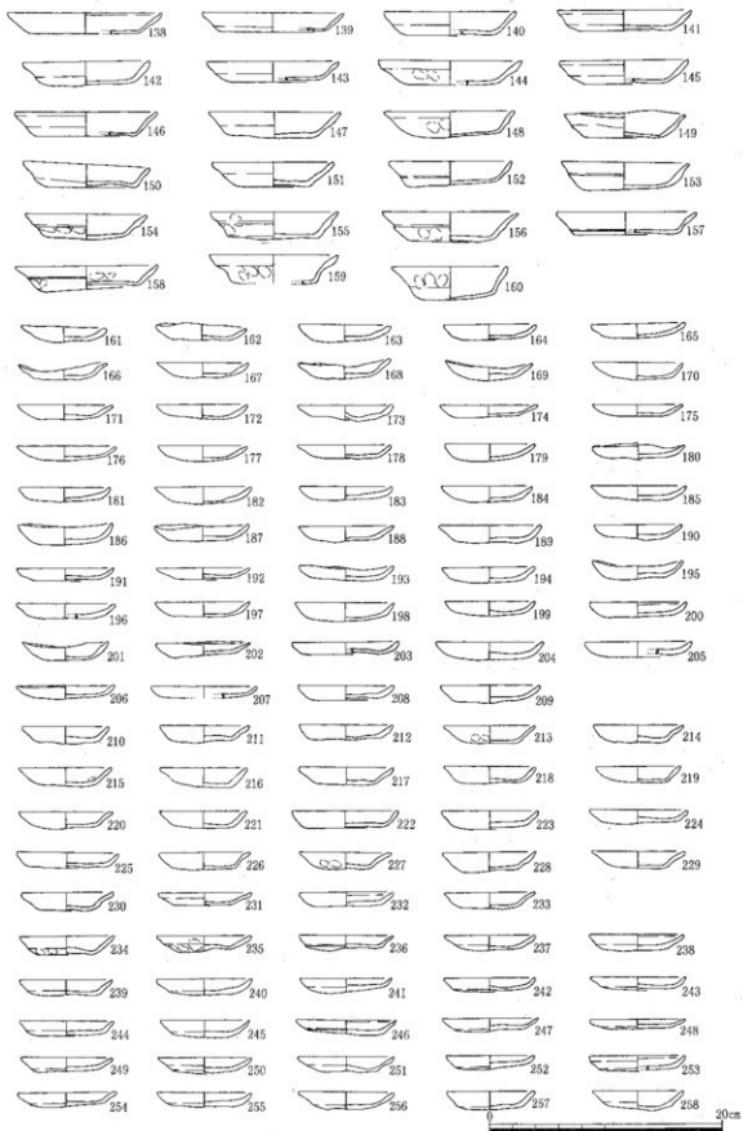
第25図 A 1区 S I - 101遺物出土状況図



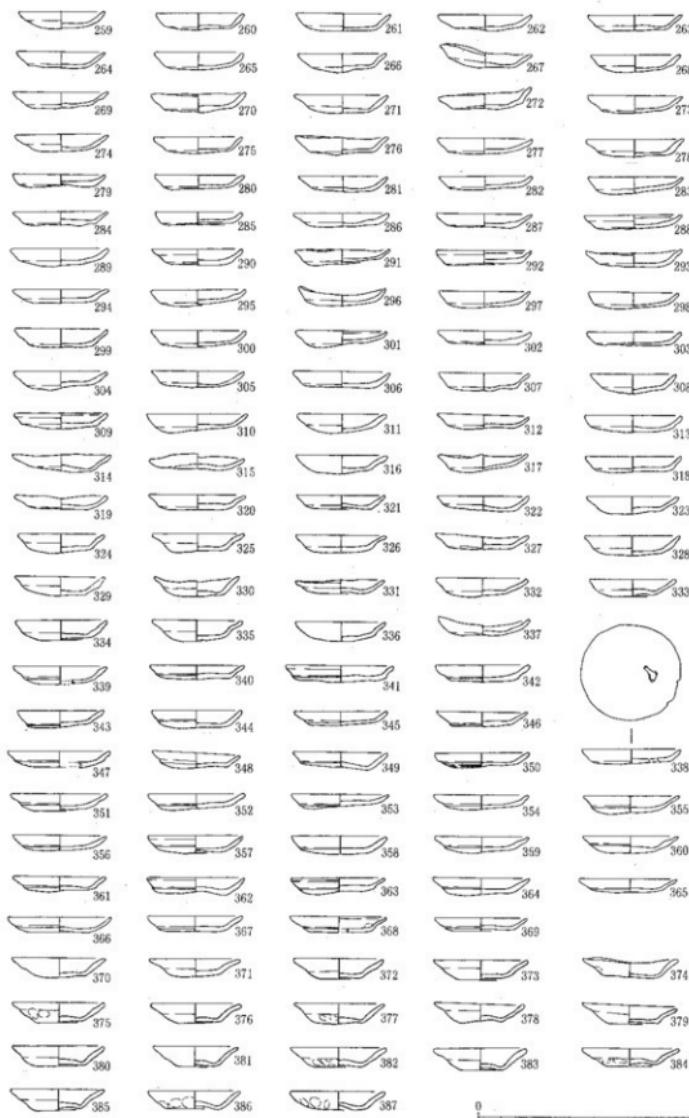
第26図 A 1区 S I - 101出土遺物(1)



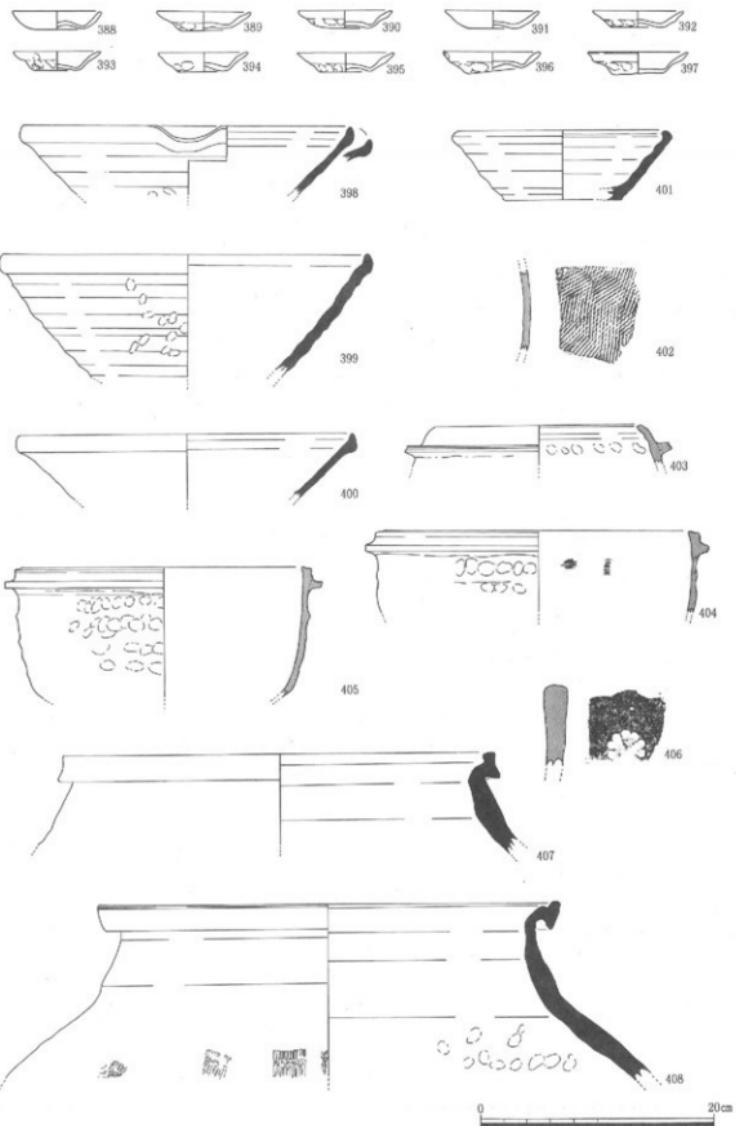
第27図 A 1区 S I -101出土遺物(2)



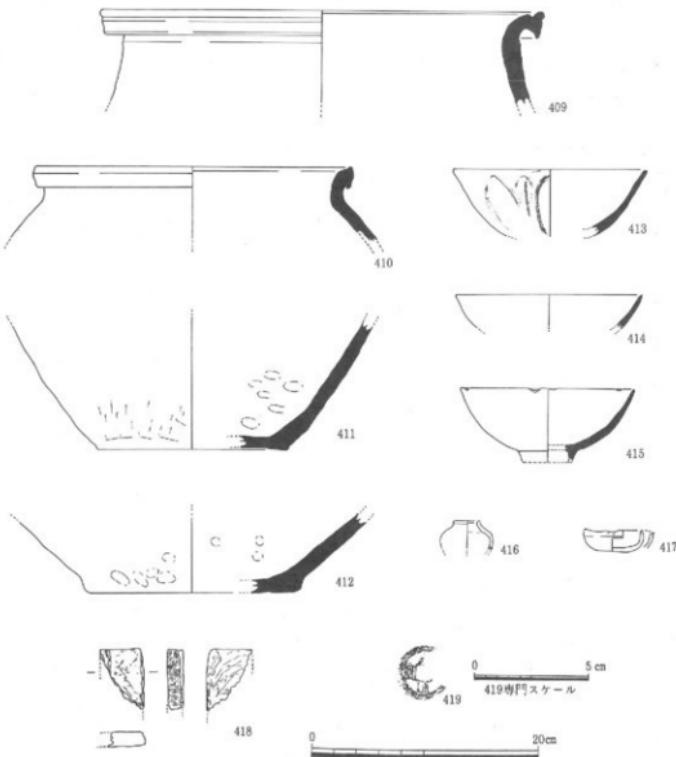
第28図 A 1区 S I -101出土遺物(3)



第29図 A 1区 S I - 101出土遺物(4)



第30図 A 1区 S I - 101出土遺物(5)



第31図 A 1 区 S I - 101出土遺物(6)

であった。遺物は須恵器、瓦質土器、陶器なども出土しているが、量的にはわずかで瓦器椀、土師器皿が大半を占めており、特に土師器皿の完形品が目立った。また、型式的には時期差が認められるが、出土状況からみる限り一括廃棄されたものと考えられる。

〔落込み状遺構〕

S X - 101 (第32、33図)

調査区北半部西側全般にかけて検出し、A 2 区の北西部にまで及ぶ広範な落ち込み状の遺構である。規模は最深部で0.33mを測る。埋土は褐灰色粘質シルト、黒灰色系の粘質シルトが主体をなす。遺物は瓦器椀、土師器皿、須恵器、瓦質土器、陶器、輸入陶磁器、土鍋、砥石などが出土している。

S X - 102 (第33図)

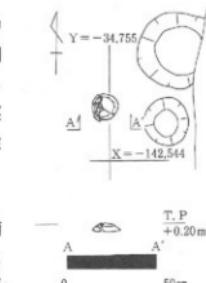
調査区南西部、H 2、I 3～4区にかけて検出した。SD-101に切られる。規模は最深部で0.15mを測る。埋土は鉄分、マンガンを含む灰褐色粘質シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿、須恵器、瓦質土器、陶器などが出土している。

(柱穴群 (SP))

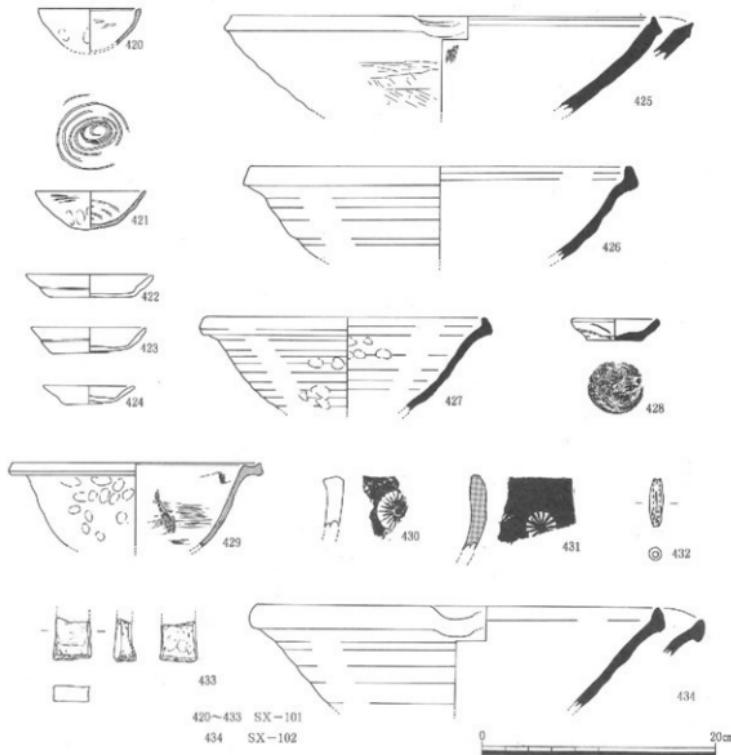
調査区全域にわたって非常に多数の柱穴 (SP) を検出した。その中には建物や柵を構成するものも認められるが、これらについては他の調査区と一連を成すものもあり、A地区調査区全体の中で一括して後述したいと思う。また、個別においては土器埋納遺構と考えられるもの、実際に柱材の残存するもの、礎石、礎板が残されているものなどが多数検出されている(第34図)。

[鋤溝群]

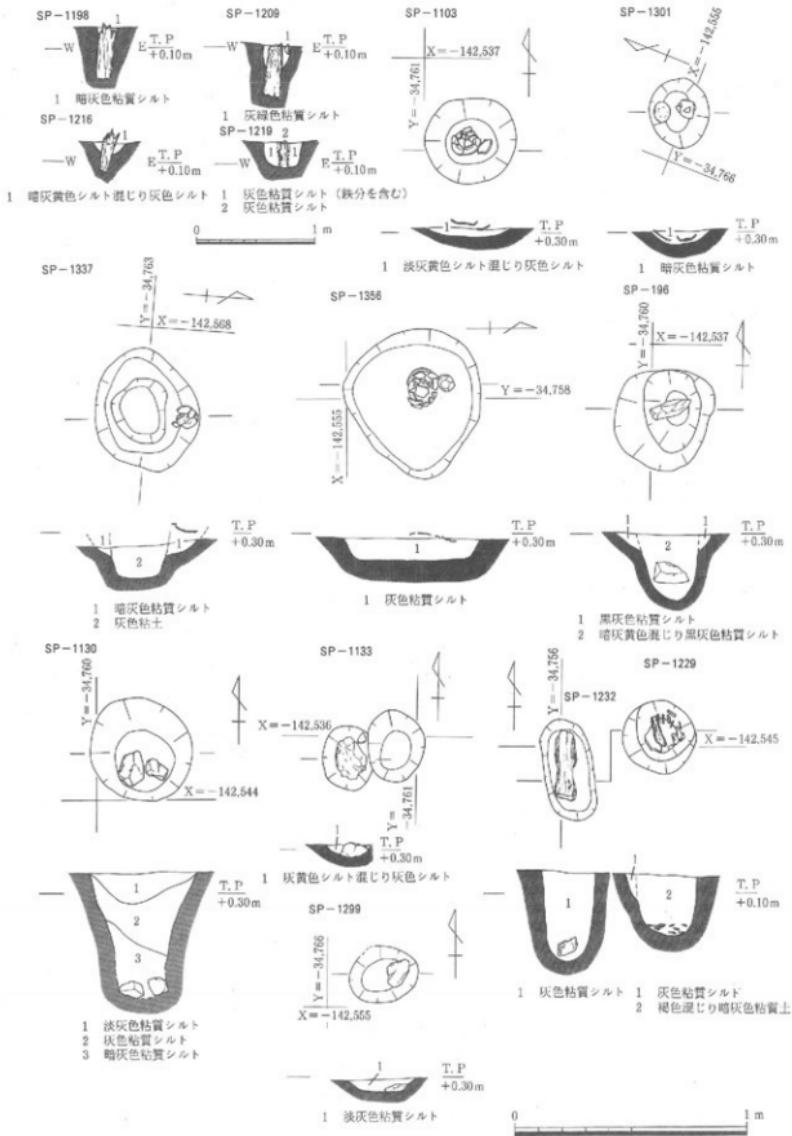
調査区南部を中心に検出した。東西に走るものも若干みられるが、南北に走るものが主体をなす。規模は幅0.15~0.2m、深さ0.05m前後を測る。時期的にも近世以降と考えられる新しいものであるが、特に5~6m間隔で規則的に検出された南北に走る鋤溝はさらに時期の下るものであろう。



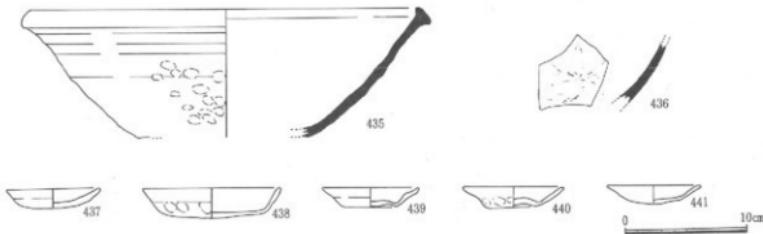
第32図 A 1区 SX-101
遺物出土状況図



第33図 A 1区 SX-101・102出土遺物



第34図 A 1区 第1遺構面柱穴 (S P)



第35図 A 1 区 第1遺構面柱穴 (SP) 出土遺物

2. 第2遺構面

基本層序第5層を除去し地山層である基本層序第6、7層をベース面として検出した。第1遺構面同様に遺構、遺物が検出、出土している。標高はT.P.+0~0.1mを測る。

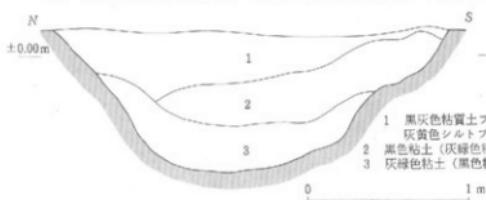
〔溝〕

SD-102 (第36~39図)

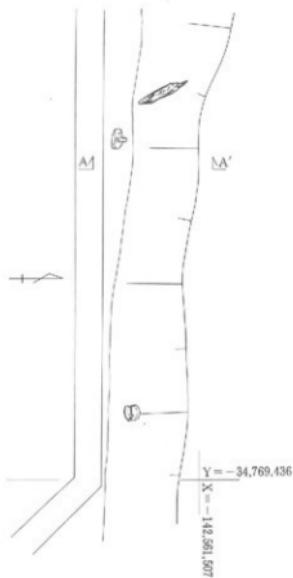
SD-101の底面北側で検出し、ほぼ東西に走る。周辺の調査からみて第2遺構面に相当するものであり、同区のSD-203、A 2 区のSD-305、A 3 区のSD-205、A 4 区のSD-201各遺構と一連をなすもので、全体的には第1遺構面のSD-101同様、第2遺構面における調査区西・南側を取り囲む状況を呈するものである。幅2.6m、深さ0.85mを測り、埋土は3層で、灰緑色粘土、黒色粘土が主体をなす。遺物は瓦器椀、土師器皿、東播系須恵器鉢、瓦質羽釜・三足釜・火鉢・陶器類の他、磁石、火を受けた石、種なども出土している。

SD-201 (第40~44図)

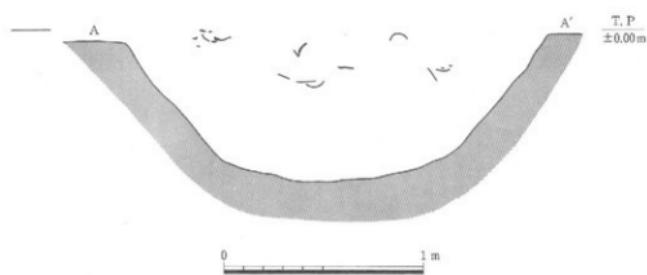
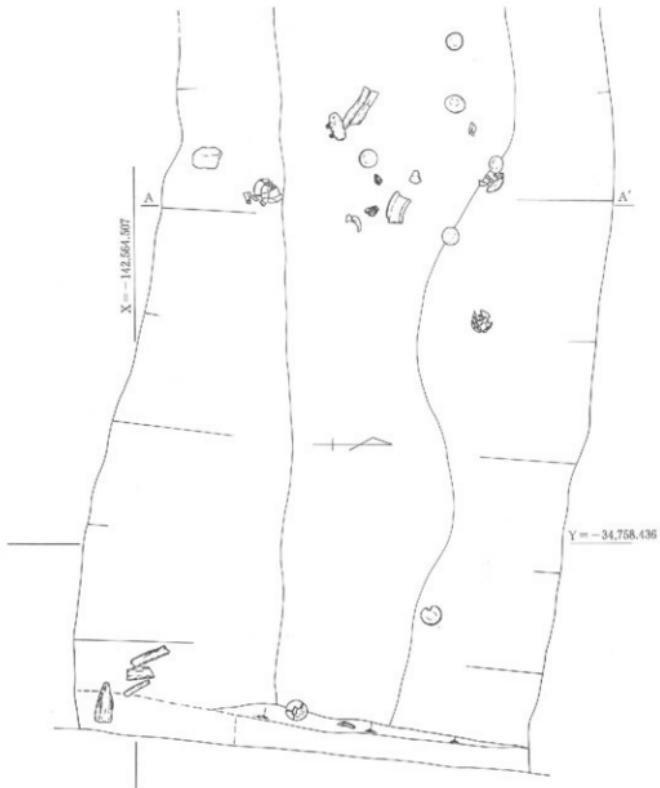
調査区北側で検出し、ほぼ東西に走りながら屈曲して南南東に向かって走る。A 2 区のSD-313、A 3 区のSD-208と一連をなすもので、全体的には調査区北側を取り囲む状況を呈している。形態は不定形な様相を呈しており、最大幅5.3m、深さは東端で0.45m、西端で0.59mを測り、約0.15m程



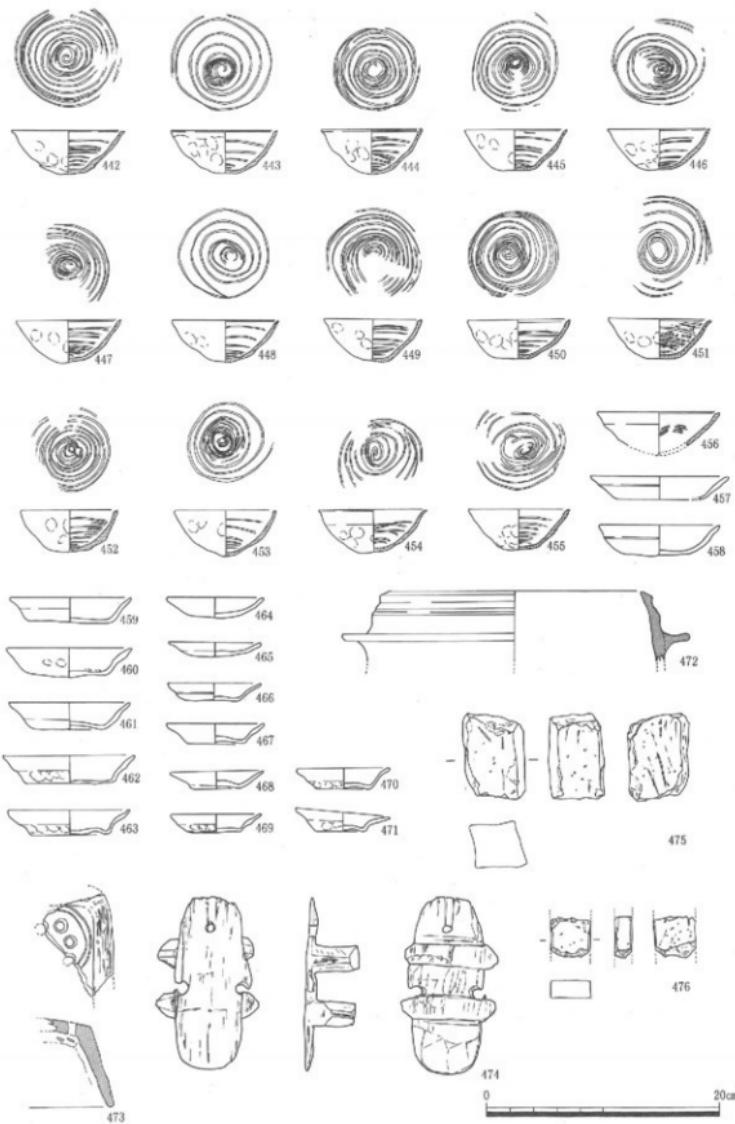
第36図 A 1 区 SD-102断面図



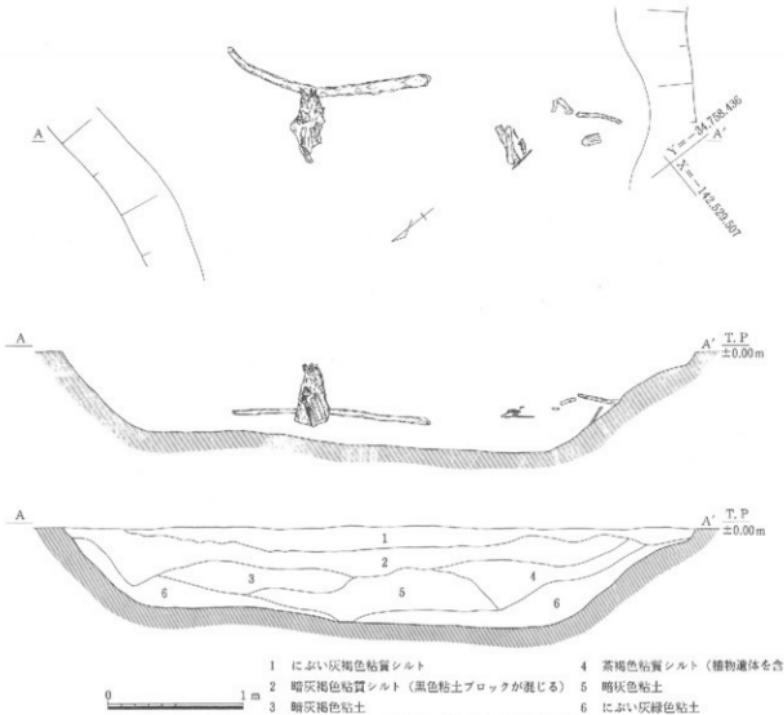
第37図 A 1 区 SD-102遺物出土状況図



第38図 A 1区 SD-102遺物出土状況図(2)



第39図 A 1区 SD-102出土遺物



第40図 A 1区 S D - 201断面・遺物出土状況図(1)

側に向かって深くなる様相を示している。埋土は6層に分層され、灰褐色の粘質シルト～粘土、灰～灰緑色粘土である。遺物は比較的まとまって出土しており、瓦器椀、土師器皿、東播系須恵器鉢、瓦質羽釜、陶器、白磁皿の他、炭、火を受けた石なども出土している。

S D - 202

J 5～K 5区にかけて検出し、ほぼ南北に走る。SD-102、104、SK-202に切られているため規模は明らかでないが、幅1.35m、深さ0.12mを測る。埋土は1層で灰オリーブ色粘質シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿、須恵器、瓦質土器、陶器などが出土している。

S D - 203 (第45、47図)

H 2～3、I 2～3区にかけて検出し、南北に走る。A 3区のSD-205、A 4区のSD-202と一連をなすもので、調査区周辺を取り囲む状況を呈するものである。幅1.85m、深さ0.5m～0.6mを測り、埋土は4層で灰色系の粘質シルト、粘土が主体をなす。遺物はまとまって出土しており、瓦器椀、土師器皿、東播系須恵器、瓦質羽釜、陶器などが出土している。

S D - 204 (第46、47図)

J 5区で検出し、南北に走る。SD-202を切る。幅0.55m、深さ0.2mを測り、埋土は炭を含む藁と

思われるものが充填していた。
遺物は土師器皿が出土している
が、遺構の性格は明らかでない。

〔土坑〕

SK-201

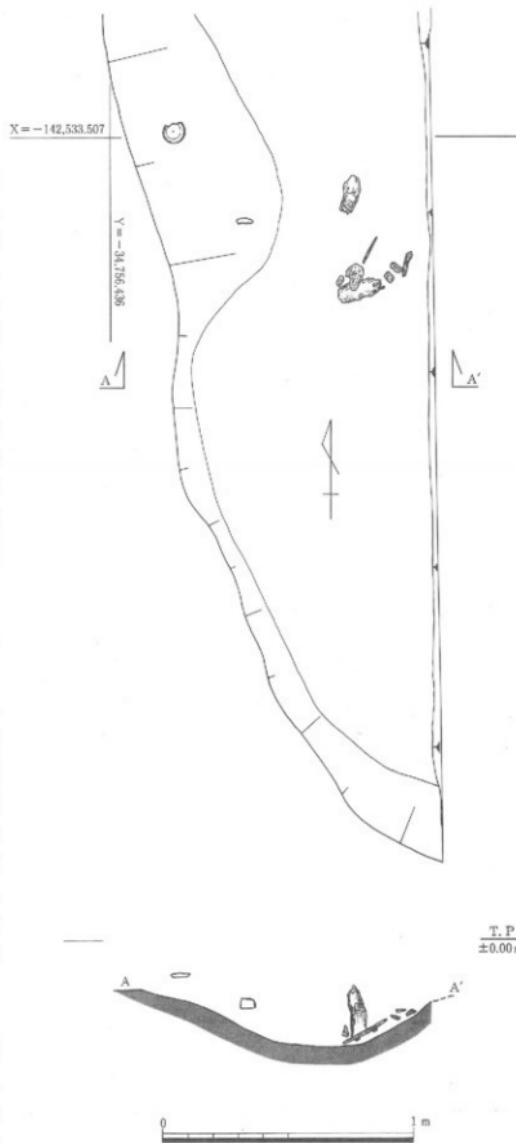
J 5 区で検出した。A 4 区の
SK-204 と同一をなすものであ
る。A 4 区においては削平が顕
著であるため規模差を生じてい
るが、およそ形態、規模につい
ては隅丸長方形を呈し、長径
2.4m、短径2.0m、深さ0.55m
を測るものである。埋土は2層
で黒色シルトを斑点状に含む灰
オリーブシルト、黒色粘土及び
淡灰黄色粘土のブロックを含む
灰青色粘土である。遺物は瓦器
椀、土師器皿の他、木片、炭な
ども出土している。

SK-202 (第48、49図)

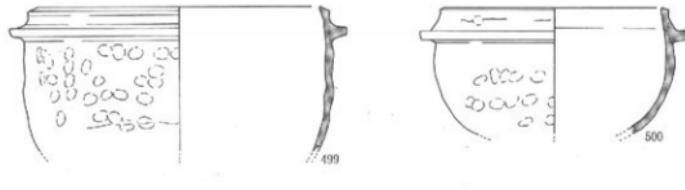
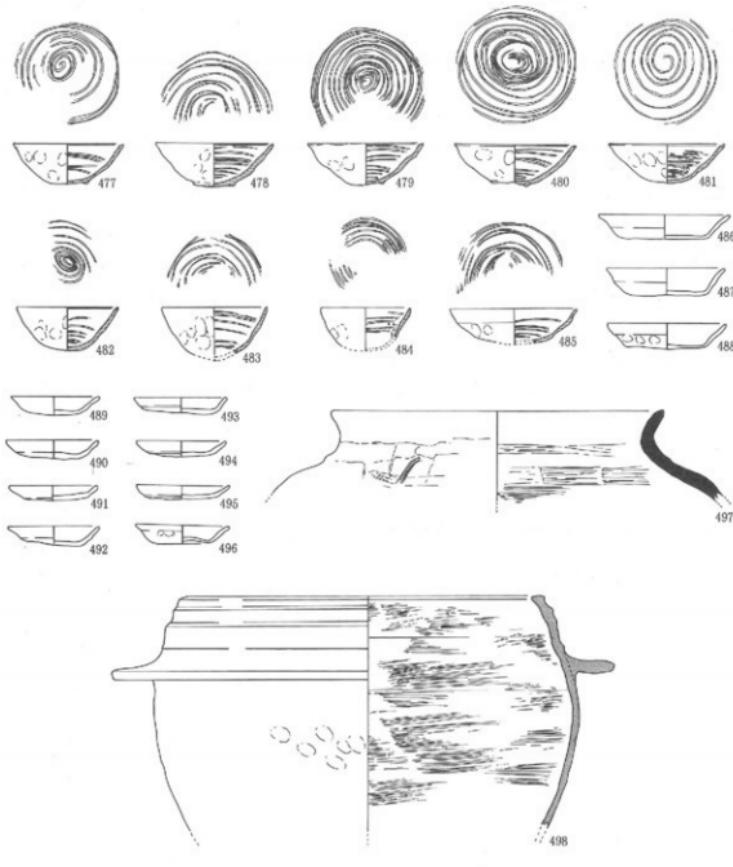
J 5～6、K 5～6 区にかけ
て検出した。SD-202を切る。
形態は不整な隅丸長方形を呈する
ものと思われ、長径2.4m、短径
1.3m、深さ0.89mを測る。埋
土は5層でオリーブ灰色～黒灰
色の粘質シルト、粘土が主体を
なす。遺物はまとまって出土して
おり、瓦器椀、土師器皿・羽釜、
束縛系須恵器、瓦質三足釜の
他、木片、種子なども出土して
いる。

SK-203

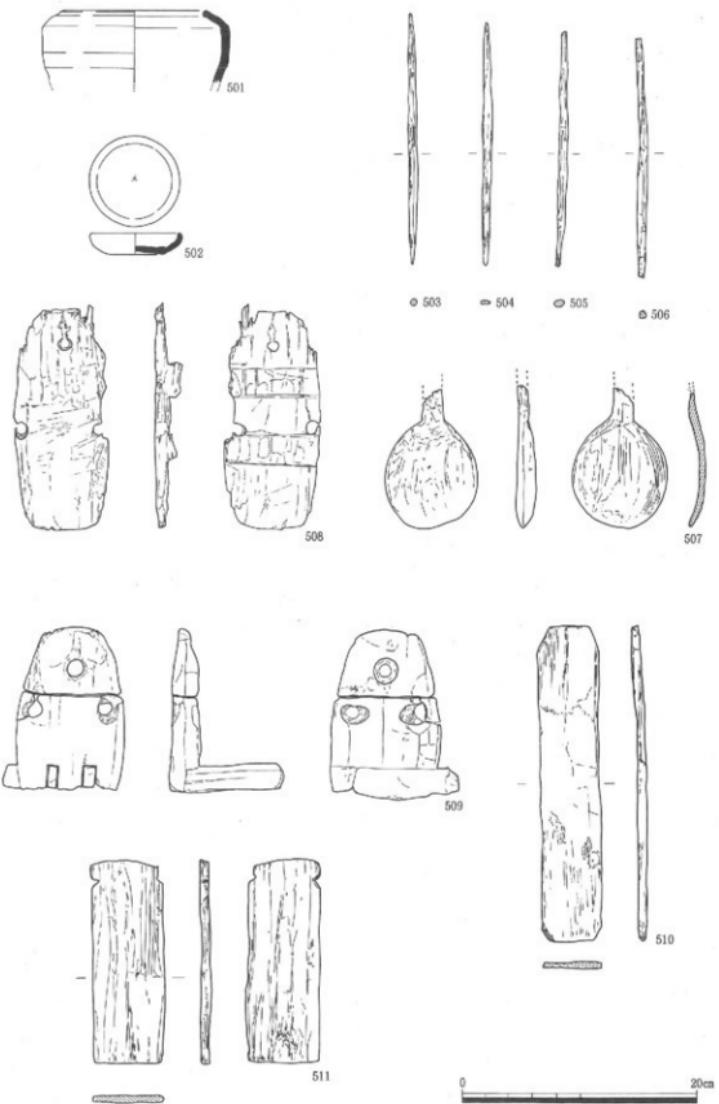
K 5 区で検出した。南端落込
み201に切られているため形態、
規模は明らかでないが、残存長
0.7m、深さ0.11mを測る。埋
土は1層で淡灰緑シルトである。



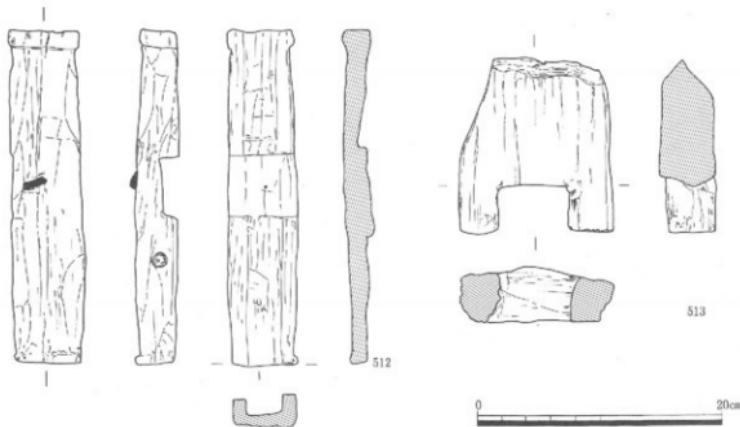
第41図 A 1 区 SD-201 遺物出土状況図(2)



第42図 A 1区 SD-201出土遺物(1)



第43図 A 1区 SD-201出土遺物(2)



第44図 A 1 区 SD-201出土遺物(3)

遺物は出土していない。

S K - 204 (第50、52図)

J 6～K 6区にかけて検出した。形態は不整な長方形を呈し、最大長3.3m、最大幅1.5m、深さ0.32mを測る。埋土は1層で黒色粘土のブロックを含む暗灰オーリーブ色粘質シルトである。遺物は比較的まとまって出土しており、瓦器椀、土師器皿・陶器の他、種子類なども出土している。

S K - 205

H 3～I 3区にかけて検出した。SD-203に切られているため形態、規模は明らかでないが、不定形を呈するものと思われる。埋土は1層で黒色粘土のブロックを含む灰緑色粘質シルトである。遺物は土師器皿が出土している。

S K - 206

I 6区で検出した。形態はほぼ円形を呈し、径1.2m、深さ0.12mを測る。埋土は1層で黄灰色シルトである。遺物は出土していない。

S K - 207 (第51図)

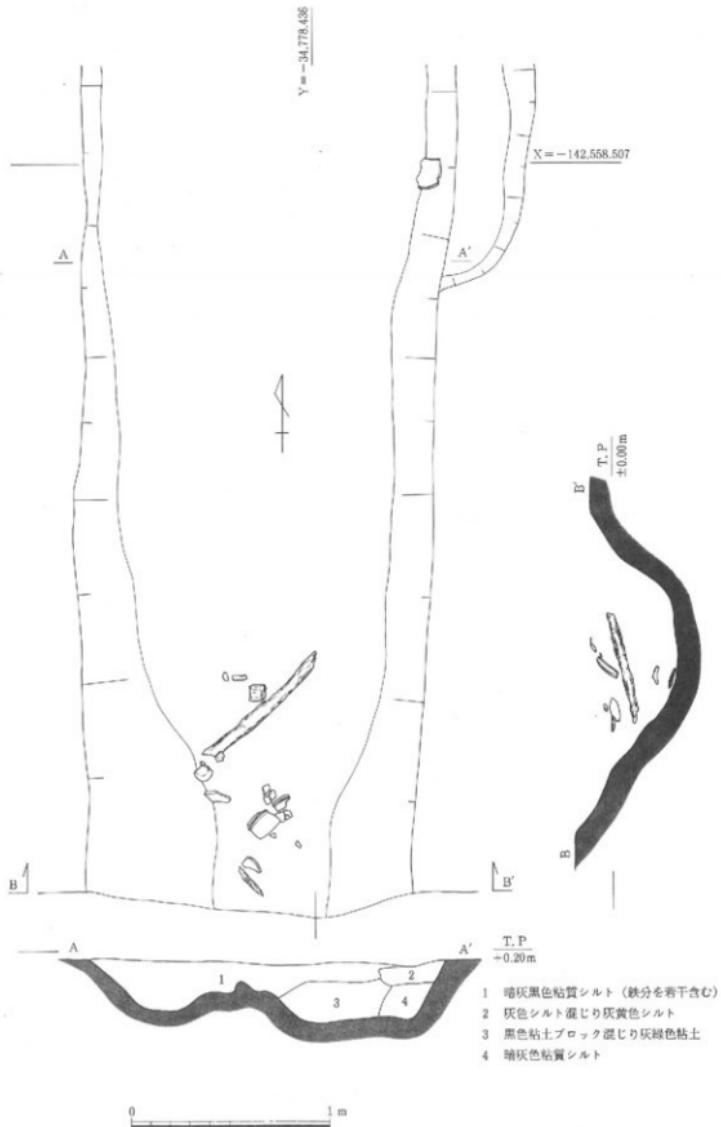
H 5～I 5区にかけて検出した。形態は不整な橢円形を呈し、長径0.75m、短径0.62m、深さ0.18mを測る。埋土は2層で黄灰色シルト、黒色粘土を斑点状に含む緑灰色粘質シルトである。遺物は瓦質羽釜が出土している。

S K - 208

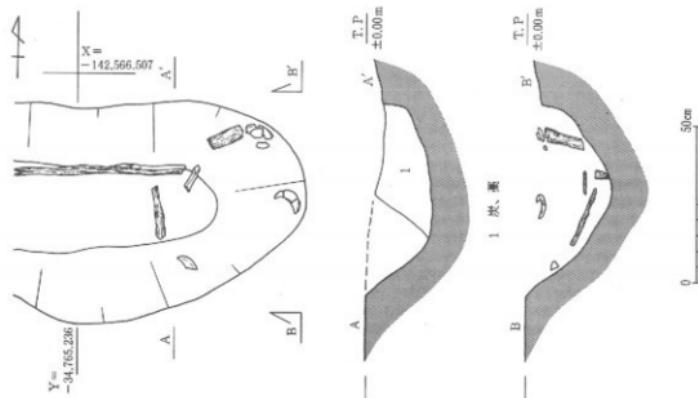
I 6区で検出した。形態は隅丸長方形を呈し、長径2.55m、短径0.8m、深さ0.5mを測る。埋土は3層で黒色粘土などをブロックに含む灰緑色系の粘質シルト、粘土である。遺物は土師器皿、束縛系須恵器などが出土している。

S K - 209

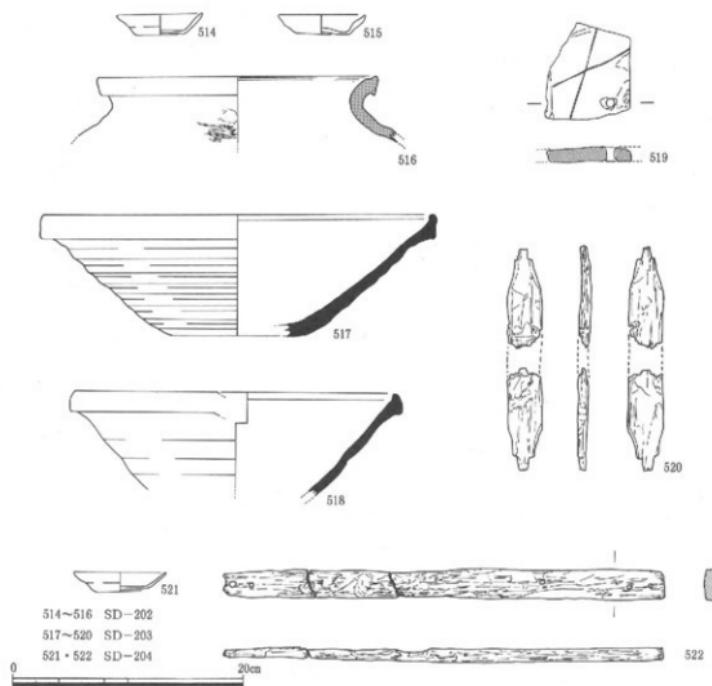
G 6区で検出した。形態は試掘トレンチに若干切られてはいるが、ほぼ隅丸長方形を呈するものと



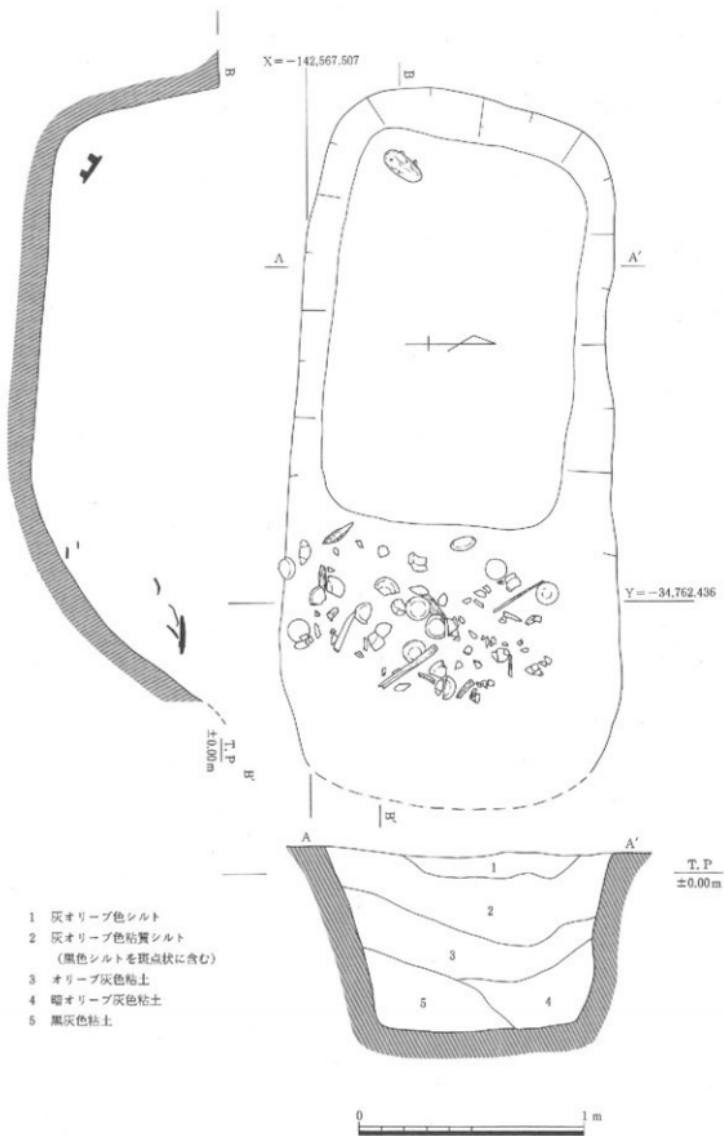
第45図 A 1区 SD-203断面・遺物出土状況図



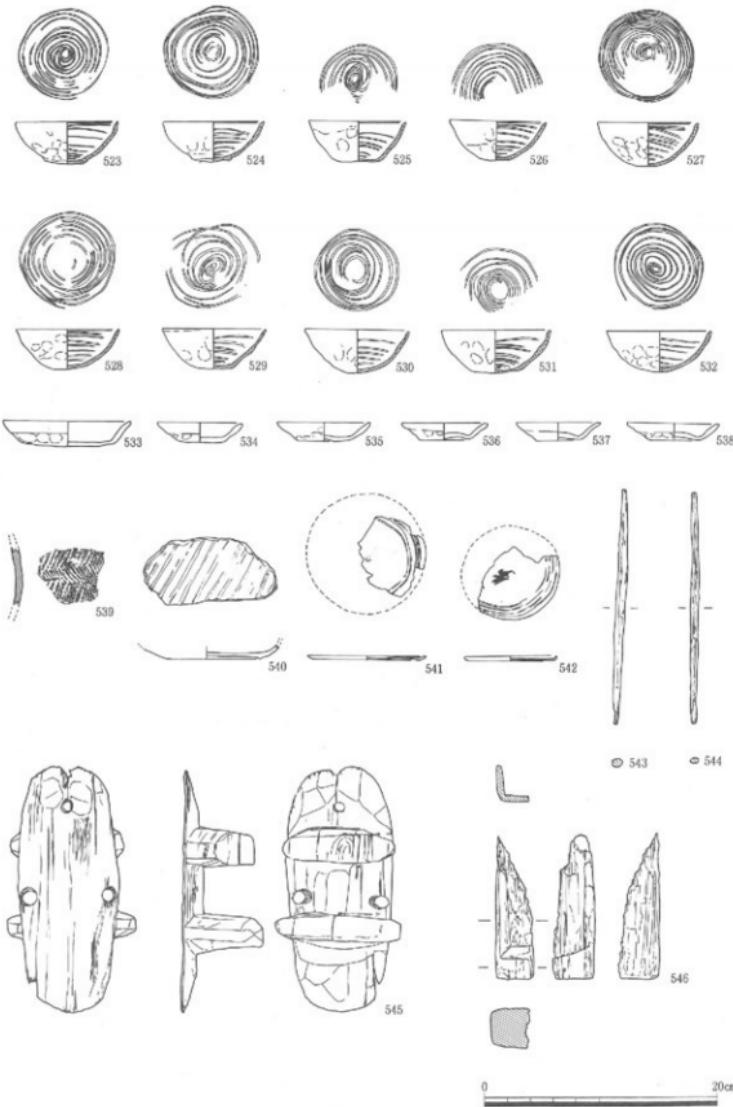
第46図 A 1区 SD-204断面・遺物出土状況図



第47図 A 1区 SD-202・203・204出土遺物



第48図 A 1区 SK-202平面・断面・遺物出土状況図



第49図 A 1 区 SK-202出土遺物

思われ、長径2.43m、短径1.2m、深さ0.85mを測る。埋土は4層で灰色系の粘質シルト、粘土が主体をなす。遺物は出土していない。

SK-210 (第52図)

G 7区で検出した。形態は側溝に切られたもののおそらく隅丸長方形を呈するものと思われ、残存長径2.1m、短径1.9m、深さ1.1mを測る。埋土は5層で黒色粘土などをブロックを含む灰色系の粘質シルト、粘土が主体をなす。遺物は瓦器楕、土師器皿、東播系須恵器、瓦質土器、陶器、輸入陶磁器などが出土している。

SK-211

E 6区で検出した。形態は橢円形を呈し、長径0.6m、短径0.4m、深さ0.11mを測る。埋土は1層で灰青色粘質シルトである。遺物は出土していない。

SK-212

B 6区で検出した。形態は側溝に切られたもののおそらく隅丸方形を呈するものと思われ、径2.0m、深さ0.2mを測る。埋土は1層で黒色粘土のブロックを含む暗灰褐色粘質シルト～粘土である。遺物は出土していない。

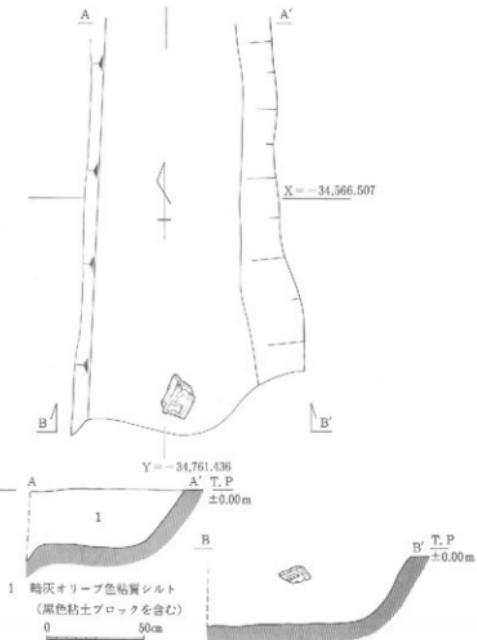
〔落込み状遺構〕

北端落込み201 (第53図)

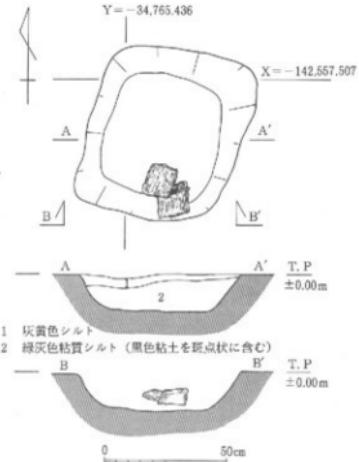
調査区北端において近年まで利用されていた農業用水路（井路）に落ち込んでいくもので、当時においても水路があり、その肩部である可能性が高いものと思われる。最深部で0.3mを測り、埋土は1層で暗灰褐色粘質シルト～粘土である。遺物は土師器皿、須恵器、瓦質練鉢・火鉢、陶器、瓦などが出土している。

南端落込み201 (第54図)

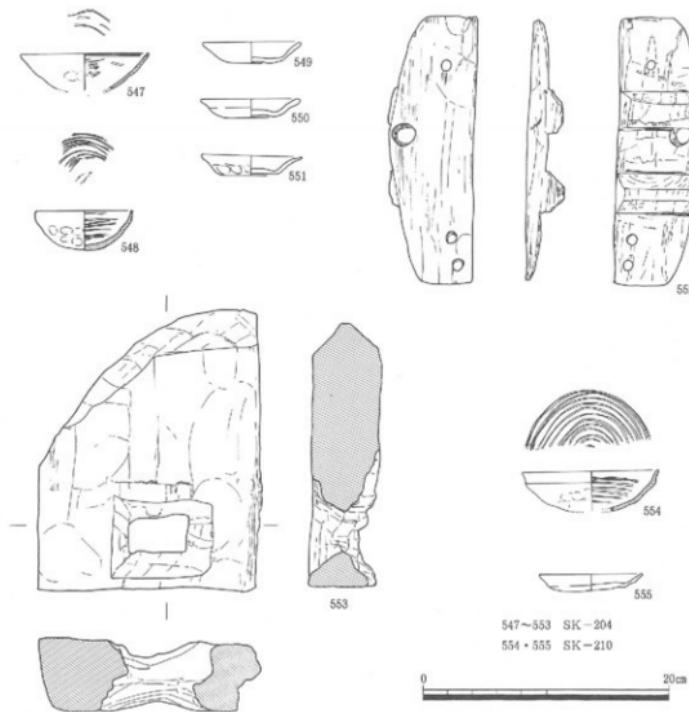
調査区南端において北端落込み201と同じ様相を示すものである。最深部で0.69mを測り、埋土は1層で灰色粘土である。遺物は土師質羽釜、瓦質三足釜・火鉢、陶磁器の他、土錘なども出土している。



第50図 A 1区 SK-204断面・遺物出土状況図



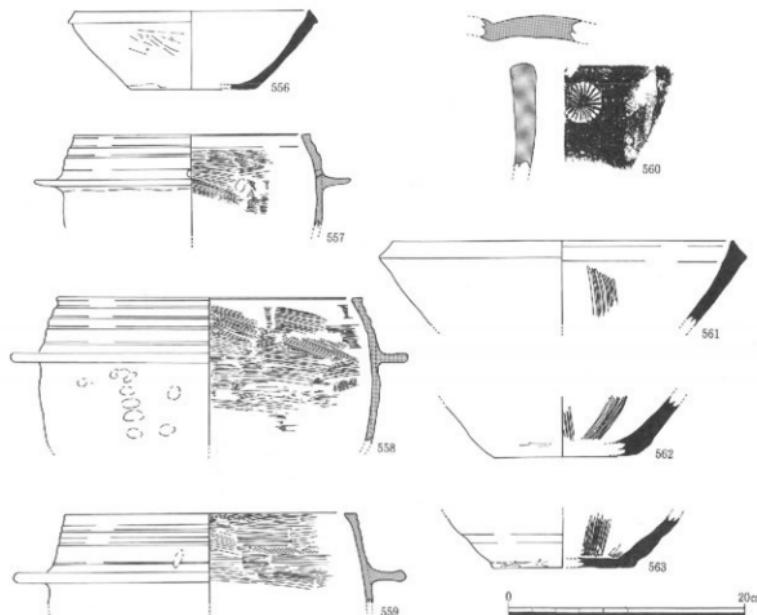
第51図 A 1区 SK-207平面・断面・遺物出土状況図



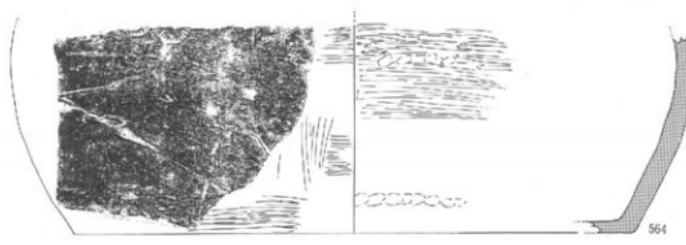
第52図 A 1区 SK-204・210出土遺物

〔柱穴群 (SP) 〕

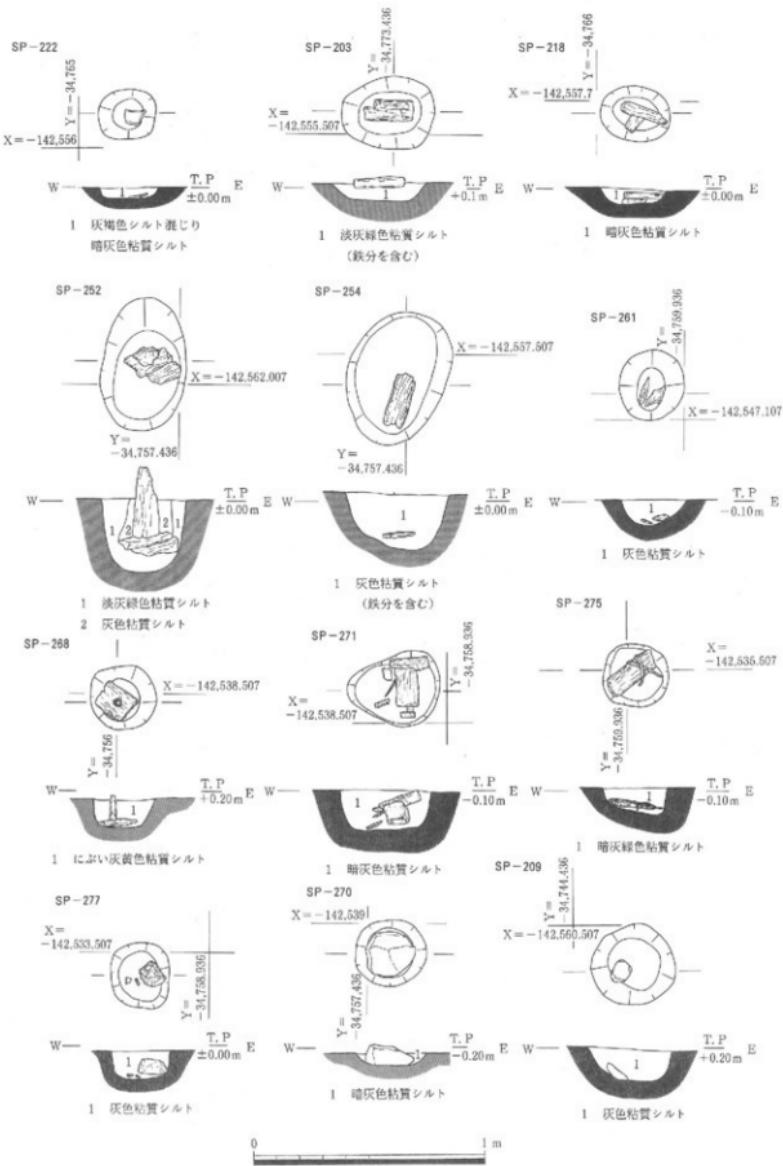
総数78基を検出した。第1遺構面に比べると激減するが、内容的には建物、柵を構成するものや、柱材、礎板、礎石が残存するものがあり、また、規模などにおいても第1遺構面との差はほとんど認められない。



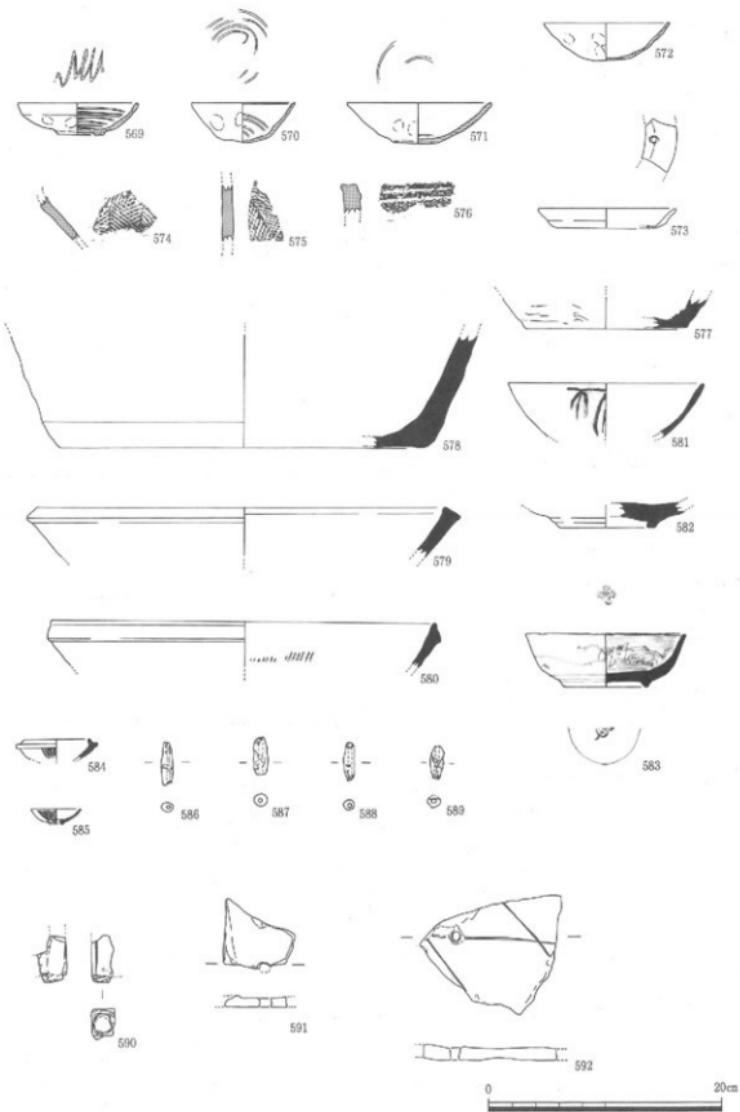
第53図 A 1区 北端落込み201出土遺物



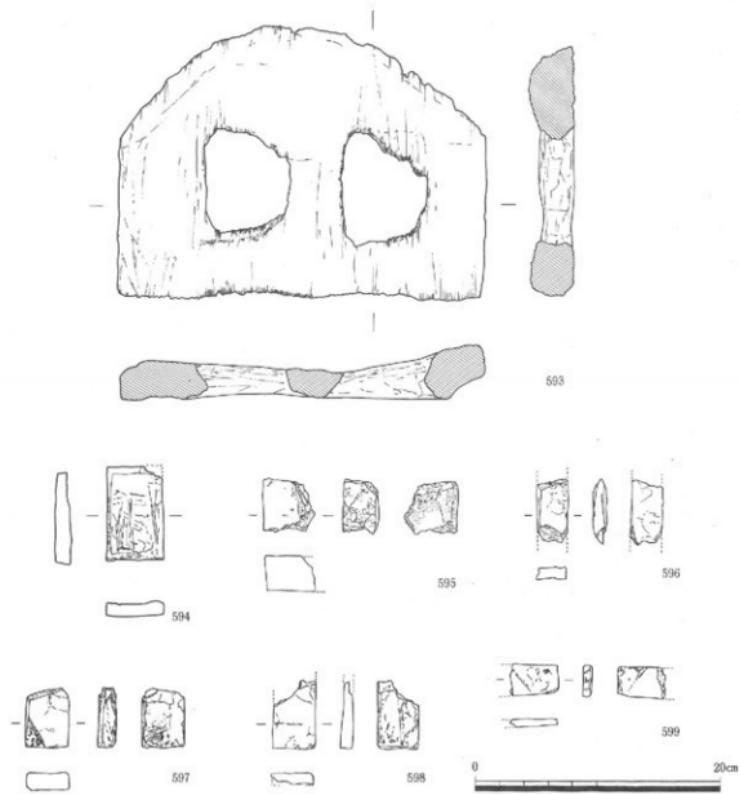
第54図 A 1区 南端落込み201出土遺物



第55図 A1区 第2遺構面柱穴 (S P)



第56図 A1区 包含層・その他出土遺物(1)



第57図 A 1区 包含層・その他出土遺物(2)

第3項 A 2区の調査成果

1. 第1遺構面

基本層序第4層をベース面として調査区東、南部において検出した。層序関係からみてA 1、3、4区の第1遺構面より時期の下るものもある。溝、土坑、柱穴、竪状遺構、鋤溝などを検出し、それに伴い遺物も出土している。標高はT.P.+0.3m前後を測る。

〔溝〕

S D - 101

I 7～8、J 7～8区にかけて検出し、ほぼ東西に走る。形態、規模についてはSK-117、側溝に切られたため明らかでないが、不定形の様相を呈しており、幅0.9m、深さ0.04mを測る。埋土は1層で黒色粘質シルトのブロックを含む灰色シルトである。遺物は土師器皿が出土している。

S D - 106

F 12～13区にかけて検出し、ほぼ東西に走る。検出長8.3m、幅0.7m、深さ0.1mを測る。埋土は1層で黒色粘土のブロックを含む淡灰緑色シルトである。遺物は土師器皿、瓦質土器、近世陶磁器などが出土している。

S D - 108

G 10～12、H 11～12区にかけて検出し、ほぼ東西に走る。規模については試掘トレーニチに切られたため明らかでないが、幅0.9m、深さ0.15mを測る。埋土は1層で灰緑色砂質土である。瓦器楕、土師器皿、瓦質三足釜・火鉢、陶器、青磁などが出土している。

〔土坑〕

S K - 101

I 12区で検出した。形態は円形を呈し、径0.8m、深さ0.08mを測る。埋土は1層で鉄分を含む淡灰黄色シルトである。遺構は出土していない。

S K - 102

K 11区で検出した。形態は不整な楕円形を呈し、長径1.8m、短径0.6m、深さ0.25mを測る。埋土は2層で灰褐色シルト、褐色粘質シルトのブロックを含む青灰色粘土である。遺物は土師器皿、須恵器、瓦質土器などが出土している。

S K - 103

J 11～12区にかけて検出した。形態は不定形を呈し、最大長2.8m、最大幅0.6m、深さ0.08mを測る。埋土は1層で灰黄色シルトである。遺物は出土していない。

S K - 104

J 11～12区にかけて検出した。形態はほぼ楕円形を呈し、長径0.6m、短径0.4m、深さ0.15mを測る。埋土は1層で淡灰褐色粘質シルトである。遺物は出土していない。

S K - 105

H 10～11区にかけて検出した。形態は試掘トレーニチに切られているが、不定形を呈するものと思われる。深さは0.06mを測る。埋土は1層で黄色シルト混じりの灰色シルトである。遺物は瓦器楕、土師器皿などが出土している。

S K - 106

H 10区で検出した。形態は不整な楕円形を呈し、長径1.0m、短径0.5m、深さ0.12mを測る。埋土

は1層で黄褐色シルト混じりの灰色粘質シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿などが出土している。
SK-107

H10区で検出した。形態・規模はSK-118に切られているため明らかでない。埋土は1層で淡灰黄色シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿などが出土している。

SK-108

H10～I10区にかけて検出した。形態は溝状の楕円形を呈し、長径1.6m、短径0.25m、深さ0.03mを測る。埋土は1層で淡灰黄色シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿などが出土している。

SK-109

H9区で検出した。形態・規模は動溝に切られているため明らかでない。遺物は瓦器椀、土師器皿、東播系須恵器などが出土している。

SK-110

H8～9区にかけて検出した。形態は不整な円形を呈し、径2.0m、深さ0.08mを測る。埋土は1層で鉄分を含む灰色シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿、須恵器、瓦質壺などが出土している。

SK-111

I8区で検出した。形態はSK-110に切られてはいるが、隅丸方形を呈するものと思われ、径0.75m、深さ0.05mを測る。埋土は1層で炭を含む灰色シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿などが出土している。

SK-112

I8区で検出した。形態は楕円形を呈し、長径0.9m、短径0.7m、深さ0.05mを測る。埋土は1層で鉄分を含む灰色シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿、須恵器などが出土している。

SK-113

H7～8、I7～8区にかけて検出した。形態は不定形を呈し、最大長5.5m、最大幅2.8m、深さ0.05mを測る。埋土は1層で鉄分を含む灰色シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿、瓦質土器などが出土している。

SK-114

I8区で検出した。形態は楕円形を呈し、長径0.7m、短径0.45m、深さ0.05mを測る。埋土は1層で灰黄色シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿などが出土している。

SK-115

I8区で検出した。形態は楕円形を呈し、長径0.7m、短径0.4m、深さ0.14mを測る。埋土は2層で黄灰色シルト、鉄分を含む灰色粘質シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿、須恵器などが出土している。

SK-116

J8区で検出した。形態は不整な隅丸長方形を呈し、長径1.9m、短径0.1m、深さ0.05mを測る。埋土は1層で鉄分を含む灰色シルトである。遺物は土師器皿が出土している。

SK-117(第58図)

I7～8区にかけて検出した。形態は不定形を呈し、最大長3.5m、最大幅2.3m、深さ0.04mを測る。埋土は1層で鉄分、マンガンを含む灰色シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿、東播系須恵器、瓦質土器などが出土している。



第58図 A2区 SK-117出土遺物

S K - 118

J 8 区で検出した。SK-119に切られる。形態は不整な隅丸長方形を呈し、長径2.0m、短径1.35m、深さ0.1mを測る。埋土は1層で黒褐色粘質シルトのブロックを含む灰色シルトである。遺物は瓦器碗、土師器皿、瓦質土器などが出土している。

S K - 119

J 8 区で検出した。SK-118を切る。形態は楕円形を呈し、長径0.5m、短径0.4m、深さ0.05mを測る。遺物は土師器皿が出土している。

S K - 120

K 8 区で検出した。南端落込み101を切る。形態は円形を呈し、径0.6m、深さ0.15mを測る。埋土は1層で暗灰オリーブ色砂質土である。遺物は出土していない。

S K - 121

K 8 区で検出した。南端落込み101を切る。形態は円形を呈し、径0.7m、深さは0.3mを測る。埋土は1層で灰黄色シルトである。遺物は出土していない。

S K - 122

K 8 区で検出した。南端落込み101を切る。形態は楕円形を呈し、長径1.35m、短径0.5m、深さ0.4mを測る。埋土は1層で鉄分を含む淡灰色シルトである。遺物は出土していない。

S K - 123

I 7 区で検出した。形態、規模は側溝に切られているため明らかでないが、深さ0.05mを測る。遺物は瓦器碗、土師器皿などが出土している。

S K - 124 (第59図)

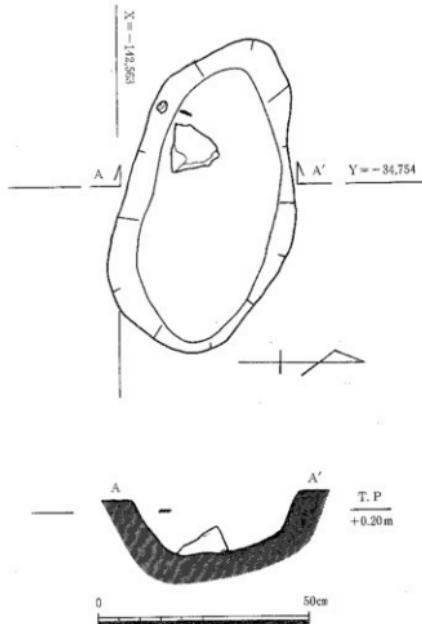
J 7 区で検出した。形態は不整な楕円形を呈し、長径0.75m、短径0.4m、深さ0.1mを測る。埋土は1層で淡灰黄色シルトである。遺物は瓦器碗、土師器皿の他、焼土塊なども出土している。

S K - 125

H 7 ~ 8 区にかけて検出した。形態は溝状の楕円形を呈し、長径3.3m、短径0.55m、深さ0.02mを測る。埋土は1層で鉄分を含む灰色シルトである。遺物は瓦器碗、土師器皿、須恵器などが出土している。

S K - 126

H 9 区で検出した。形態は鋤溝に切られてはいるが、ほぼ楕円形を呈するものと思われ、長径0.55m、深さ0.03mを測る。埋土は1層で淡灰黄色シルトである。



第59図 A 2 区 SK-124平面・遺物出土状況図

遺物は土師器皿、須恵器などが出土している。

S K-127

E 11~12、F 12区にかけて検出した。形態、規模は調査区外に広がるため明らかでないが、深さ0.1mを測る。埋土は1層で黒色粘土のブロックを含む淡灰緑色シルトである。遺物は出土していない。

S K-132

G 12区で検出した。形態はほぼ楕円形を呈し、長径1.0m、長径0.5m、深さ0.12mを測る。埋土は2層で灰色シルトを含む黄灰色シルト、灰色粘質シルトである。遺物は土師器皿が出土している。

S K-140

E 13~14区にかけて東端落込み101の底面において検出した。形態、規模は調査区外に広がるため明らかでないが、深さ0.2mを測る。埋土は1層で黒色粘土のブロックを含む暗灰色粘土である。遺物は出土していない。

S K-141

E 13区で東端落込み101の底面において検出した。形態、規模は調査区外に広がるため明らかでないが、おそらく隅丸長方形を呈するものと思われ、短径0.95m、深さ0.1mを測る。埋土は1層で黒色粘土のブロックを含む暗灰色粘土と淡青灰色シルトの混合層である。遺物は出土していない。

S K-142

G 12区で検出した。形態、規模は鋤溝に切られるため明らかでないが、おそらく不整な楕円形を呈するものと思われ、短径0.35m、深さ0.03mを測る。埋土は1層で鉄分を含む灰色シルトである。遺物は土師器皿が出土している。

S K-143

G 12区で検出した。形態は不整な楕円形を呈し、長径1.3m、短径0.45m、深さ0.05mを測る。埋土は1層で灰黒色粘質シルトを含む淡灰黄色粘質シルトである。遺物は土師器皿、陶器、瓦などが出土している。

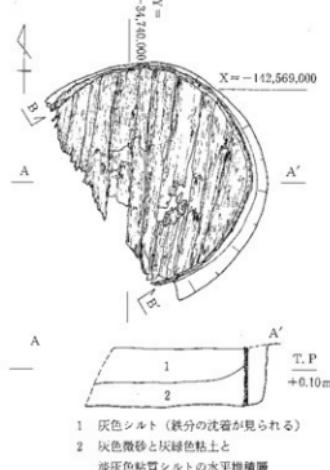
S K-144

G 11区で検出した。形態は不整な円形を呈し、径0.6m、深さ0.12mを測る。埋土は1層で鉄分を含む灰色粘質シルトである。遺物は出土していない。

〔井戸状遺構〕

S E-101 (第60図)

K 10区で検出した。当初、井戸枠材と思われる木材が見られたことから井戸と予想していたが、掘削を進めるうちに約0.25mで底板が現れ、桶であることがわかった。桶の径は1.0mを測る。埋土は鉄分を含む灰色シルトと灰色微砂、灰緑色粘土、淡灰色粘質土の水平堆積層である。遺物は瓦質羽釜が出土している。規模、埋土か



第60図 A 2区 桶平面・断面図

ら考えるに水溜の類であると思われる。

〔歯状遺構〕

S X-101 (第61図)

調査区南東部で検出した。形態は隅丸長方形を呈し、長径16.0m、短径8.0mを測り、埋土を掘削すると東西に1条、南北に4条の歯と考えられるものが認められた。幅は1.0~1.5m、高さ0.1~0.2mを測る。埋土は鉄分を含む淡灰黄色シルトで、遺物は



第61図 A 2 区 SX-101出土遺物

瓦器楕、土師器皿、東播系須恵器鉢、瓦質羽釜、陶器、青磁、瓦の他、土錘なども出土している。また、歯内からも瓦器楕、土師器、東播系須恵器、瓦質土器、白磁などが出土している。

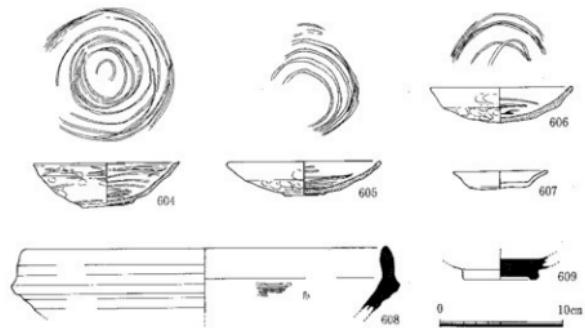
〔落込み状遺構〕

東端落込み101 (第62図)

調査区東部で落ち込んでいくものであるが、調査区外へ広がるため全容は明らかでない。

テラス状に段を有しながら下がっていき、最深部で0.36mを測る。

埋土は3層で暗緑灰色粘土が主体をなす。遺物は比較的多く出土し



第62図 A 2 区 東端落込み101出土遺物

ており、瓦器楕、土師器皿、羽釜、東播系須恵器、瓦質三足釜、羽釜・擅鉢、陶器、青磁、瓦などが出土し、また上層部分では唐津などの近世陶磁器も見受けられた。

南端落込み101

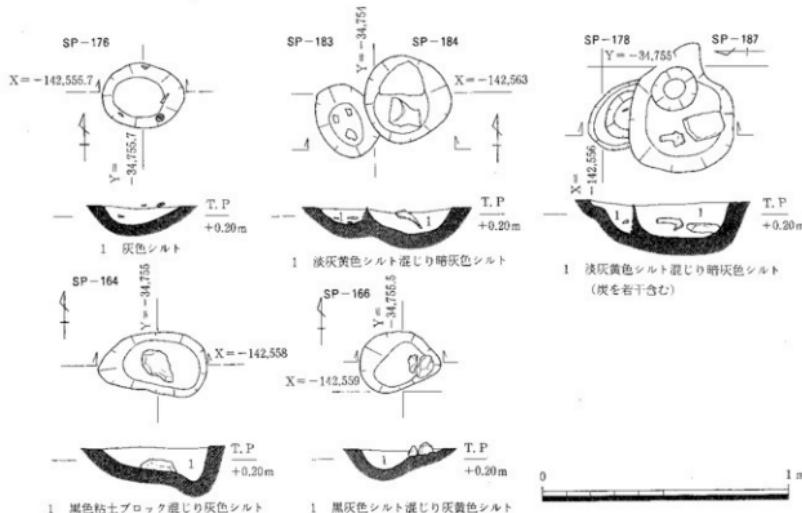
先述したA 1 区での南端落込み101と一連をなすものである。最深部で0.09mを測り、埋土は鉄分を含む淡灰黄色シルトである。遺物は陶器が出土している。

〔柱穴群 (SP) 〕(第63図)

総数216基を検出した。形態は径0.2~0.3m、深さ0.1~0.2mのものが主体をなす。また、礎石の残存するものもあり、建物を構成するものも認められた。

〔鋤溝群〕

総数33条を検出した。ほぼ東西南北に走るもので、規模は幅0.2~0.3m、深さ0.02~0.05m程度のものである。ほとんどの遺構を切るもので、時期的には新しいものである。



第63図 A 2 区 第1遺構面柱穴 (S P)

2. 第2遺構面

基本層序第5層をベース面として検出した。層序関係からA 1、3、4区の第1遺構面と対応する。遺構としては溝、土坑、柱穴などが検出され、それに伴い遺物も出土している。標高はT.P.+0.2~0.3mを測る。

〔溝〕

S D - 102 (第64、65図)

調査区の北西部で検出し、ほぼ南北に走る。調査区外へ伸びるため、全容は明らかでないが、幅3.5m、深さは北側で1.2m、南側で1.0mを測り、北側に向かって深くなる様相を示す。試掘トレンチの南側において、わずかに断面を観察することができ、SD-206を切る状態で、またSD-206内の範囲内で終わっていた。埋土は4~5層で、灰~灰褐色のシルト、粘質シルトと緑灰色粘質シルト、粘土が主体をなす。遺物は大量に出土しており、瓦器楕、土師器皿・鍋・火鉢、東播系須恵器、瓦質甕・三足釜・羽釜・摺鉢・火鉢、陶器、青磁、白磁、瓦の他、土鍤、骨、炭、木片、火を受けている石なども出土している。

S D - 103 (第65図)

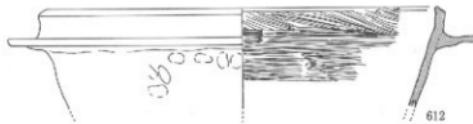
F 8~G 8区にかけて検出し、SD-102と平行して走る。規模は試掘トレンチ内で納まるものであり、幅2.0m、深さは北側で0.1m、南側で0.3mを測り、南側に向かって深くなる様相を示す。埋土は1層で鉄分、マンガンを含む灰色シルトである。遺物は瓦器楕、土師器皿、東播系須恵器、瓦質甕・火鉢、陶器、瓦などが出土している。



第64図 A 2 区 S D - 102断面図



610



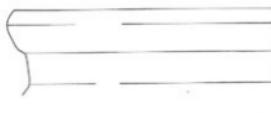
612



611



613



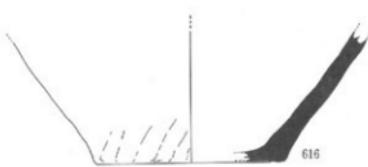
614



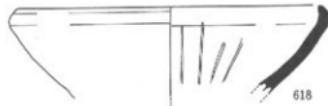
615



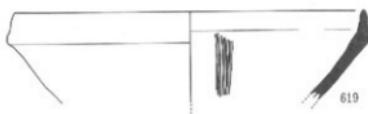
617



616



618



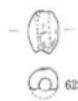
619



620



621



622



623

610~622 SD-102

623 SD-103



第65図 A 2区 SD-102・103出土遺物

SD-104

E 8～F 8区にかけて検出し、SD-102と平行して走る。調査区外へ伸びるため、全容は明らかでないが、幅1.7m、深さは北側で0.2m、南側で0.1mを測り、北側に向かって深くなる様相を示す。埋土は1層で鉄分、マンガンを含む灰色シルトである。遺物は瓦器碗、土師器皿、須恵器、瓦質羽釜・火鉢、陶器、青磁などが出土している。

SD-105 (第66、67図)

調査区の北西部で検出し、ほぼ南北に走る。調査区外へ伸びるため、全容は明らかでないが、幅2.2m、深さは北側で0.35m、南側で0.4mを測り、ほぼフラットな様相を示す。試掘トレンチの南側において、わずかに断面を観察することができ、SD-206に切られる状態で、またSD-206内の範囲内で終わっていた。埋土は3層で、灰白色粘質シルトブロック、黒色粘質土がブロック主体をなし、煩雑な堆積状況を示す。遺物は比較的多量に出土しており、瓦器碗、土師器皿、束縛系須恵器、瓦質三足釜・羽釜・火鉢、陶器、瓦などが出土している。

SD-107

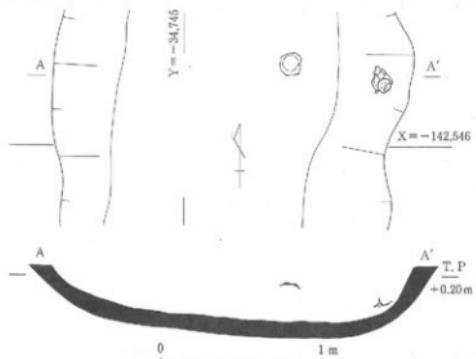
G 9～10区にかけて検出し、ほぼ南北に走る。規模は試掘トレンチに切られたため明らかでないが、幅0.5m、深さ0.1mを測る。埋土は1層で灰白シルトである。遺物は瓦器碗、土師器皿などが出土している。

SD-201

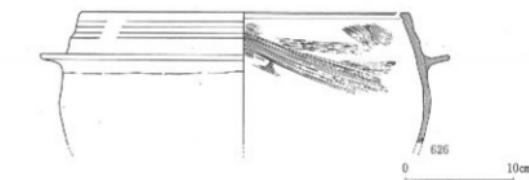
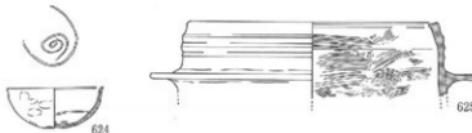
H11、I 11～12区にかけて検出し、ほぼ北西から南西にかけて走る。SK-201に切られる。幅0.45m、深さ0.06mを測る。埋土は1層で灰オリーブ色粘質シルトである。遺物は出土していない。

SD-202

H11、J 11～12区にかけて検出し、ほぼ北西から南西にかけて走る。幅0.25m、深さ0.06mを測る。埋土は1層で灰黒色粘土ブロックを含む灰オリーブ色粘質シルトである。遺物は出土していない。



第66図 A 2区 SD-105遺物出土状況図



第67図 A 2区 SD-105出土遺物

S D - 203

J11区で検出し、ほぼ南北にかけて走る。SK-207を切る。幅0.25m、深さ0.06mを測る。埋土は1層で鉄分を含むブロックを含む暗灰色粘質シルトである。遺物は出土していない。

S D - 204

J11区で検出し、ほぼ南西から北東にかけて走る。SK-209を切る。幅0.3m、深さ0.05mを測る。埋土は1層で灰色粘質シルトである。遺物は土師器皿、瓦質土器などが出土している。

S D - 205

調査区南東部で検出し、ほぼ南北にかけて走る。検出長16.5m、幅1.6m、深さ0.1mを測る。埋土は2層で暗灰色粘質シルト、暗灰黄色粘質シルトで、それぞれ鉄分、マンガンを含んでいる。遺物は瓦器椀、土師器皿、瓦質土器、陶器、青磁、白磁などが出土している。

S D - 206 (第68~70図)

調査区中央をほぼ東西に走る。幅は北側の肩部が試掘トレンチに切られたため明らかでないが、ほぼ1.5~2.0mの範囲に納まるものと思われる。深さは最深部で0.3mを測る。埋土は2層で暗灰色粘質シルト、暗灰色粘土である。遺物はまとまって出土しており、瓦器椀、土師器皿・羽釜、須恵器甕、東播系須恵器、瓦質甕・三足釜・羽釜・火鉢、陶器のほか、火を受けた石なども出土している。

S D - 207 (第70図)

調査区南部で検出し、先述したA1区のSD-101などと一連をなすものである。幅5.6m、深さ0.1mを測る。埋土は2層でマンガンを含む暗灰色粘質シルト、淡灰黄色粘土ブロックを含む黒灰色粘土である。遺物は瓦器椀、土師器皿、東播系須恵器、瓦質甕・三足釜、陶器などが出土している。

(土坑)

S K - 128

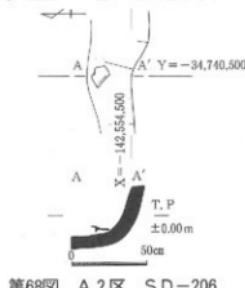
F11区で検出した。形態は不整な隅丸長方形を呈し、長径1.6m、短径1.2m、深さ0.09mを測る。埋土は1層で淡黄灰色シルトである。遺物は出土していない。

S K - 129

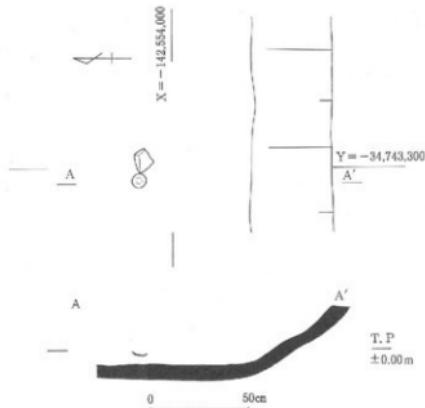
F11区で検出した。形態は不整な楕円形を呈し、長径0.55m、短径0.15m、深さ0.07mを測る。埋土は1層で鉄分を含む灰黄色シルト混じり灰色シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿・甕などが出土している。

S K - 130

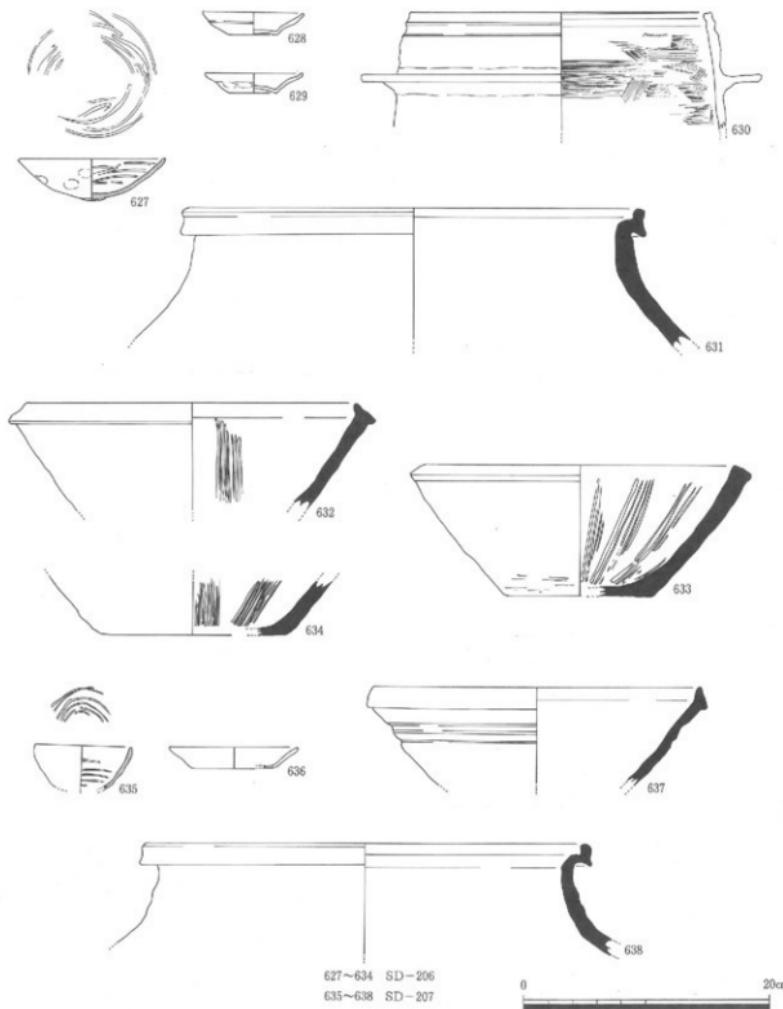
F11~G11区にかけて検出した。形態はほぼ円形を呈し、径0.8m、深さ0.06mを測る。埋土は1層で淡灰色粘質シルトである。遺物



第68図 A 2区 S D - 206
遺物出土状況図(1)



第69図 A 2区 S D - 206 遺物出土状況図(2)



第70図 A 2区 SD-206・207出土遺物

は瓦器楕、土師器皿などが出土している。

S K-131

G11区で検出した。形態は楕円形を呈し、長径0.4m、短径0.2m、深さ0.07mを測る。埋土は1層で淡灰色粘質シルトである。遺物は出土していない。

S K - 133 (第71図)

G 11~12区にかけて検出した。形態は不定形を呈し、最大長2.0m、最大幅1.9m、深さ0.15mを測る。埋土は1層で灰色シルトである。遺物は土師器皿、東播系須恵器、瓦質土器、瓦などが出土している。

S K - 134 (第72、73図)

G 12区で検出した。形態は不整な梢円形を呈し、長径1.5m、短径0.6m、深さ0.3mを測る。埋土は2層で黄灰色シルト混じり灰色粘質シルト、暗灰色粘質シルトである。遺物はまとまって出土しており、瓦器楕、土師器皿・甕・羽釜、須恵器甕、東播系須恵器、瓦質甕・三足釜・羽釜・指鉢・火鉢、陶器、青磁、瓦の他、サヌカイト片なども出土している。

S K - 135

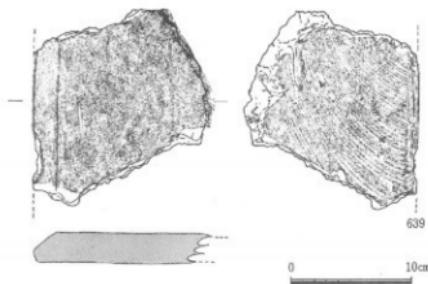
E 10区で検出した。形態は梢円形を呈し、長径0.6m、短径0.35m、深さ0.04mを測る。埋土は1層で黄灰色シルトである。遺物は瓦器楕、土師器皿なども出土している。

S K - 136 (第73、74図)

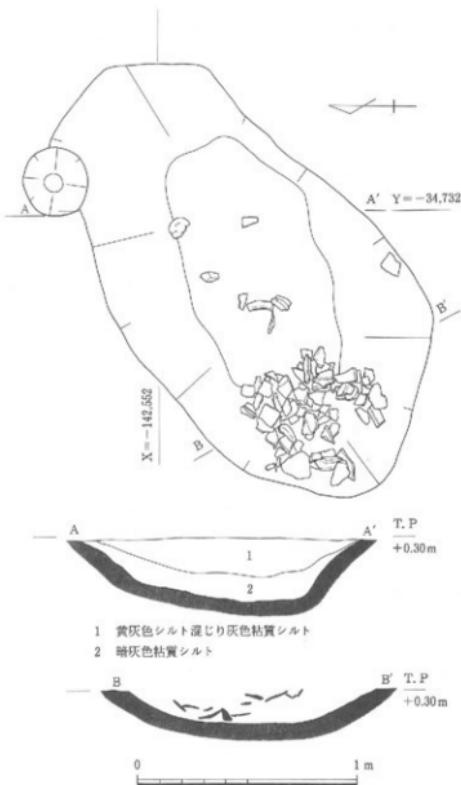
G 10区で検出した。形態は不定形を呈し、最大長1.2m、最大幅0.85m、深さ0.12mを測る。埋土は1層で暗灰黄色粘質シルトである。遺物は比較的まとまって出土しており、瓦器楕、土師器皿・羽釜、須恵器甕、瓦質羽釜・指鉢、陶器の他、鉄片、炭片、焼土塊なども出土している。

S K - 137 (第75図)

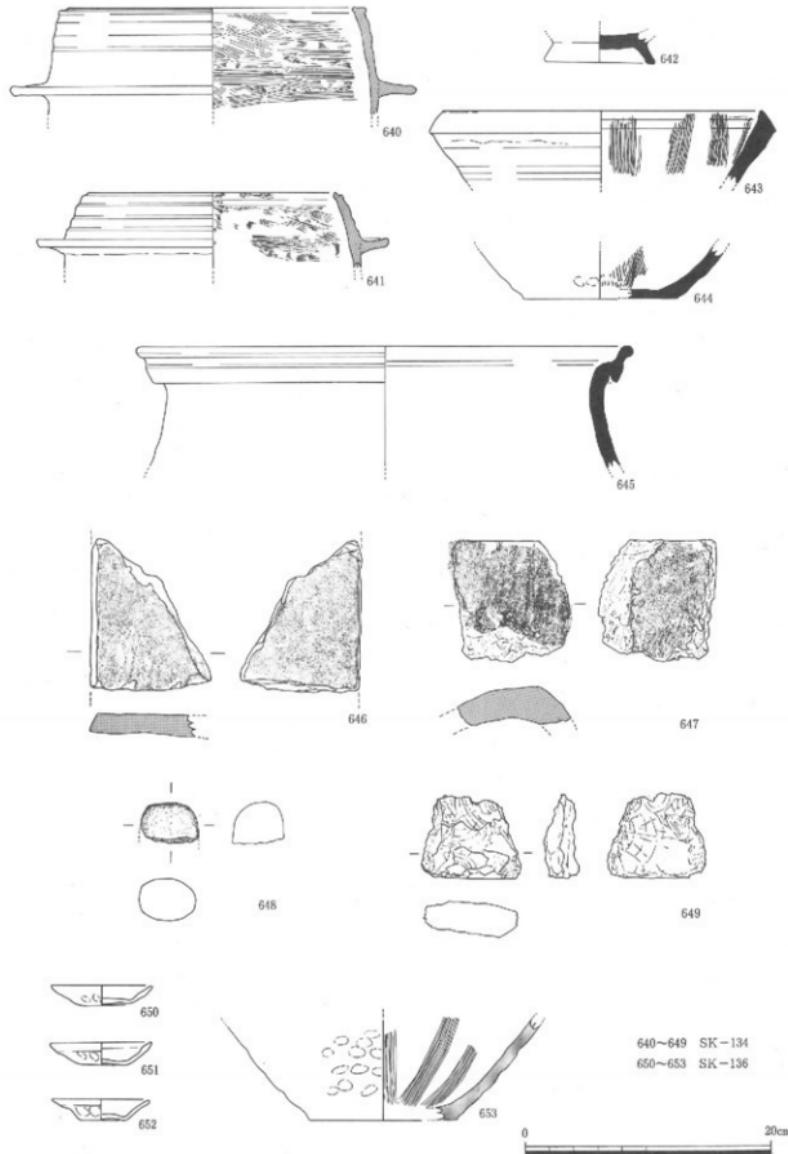
G 9~10区にかけて検出した。形態は梢円形を呈し、長径1.0m、短径0.7m、深さ0.25mを測る。埋土は1層で鉄分を含む暗灰色シルト～砂質土であ



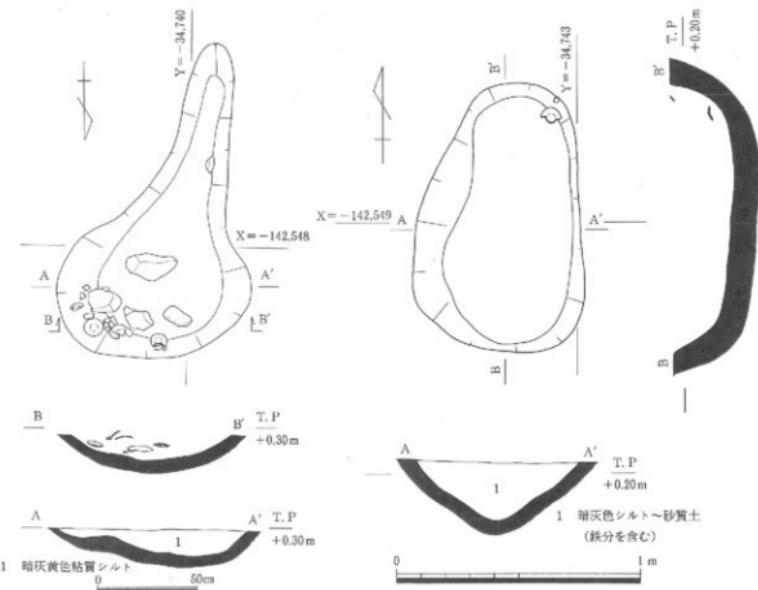
第71図 A 2 区 SK - 133出土遺物



第72図 A 2 区 SK - 134平面・断面・遺物出土状況図



第73図 A 2 区 SK-134・136出土遺物



第74図 A2区 SK-136平面・断面・遺物出土状況図 第75図 A2区 SK-137平面・断面・遺物出土状況図
る。遺物は瓦器椀、土師器皿、東播系須恵器、瓦質土器などが出土している。

S K-138

G 10～11区にかけて検出した。形態は楕円形を呈し、長径1.1m、短径0.7m、深さ0.2mを測る。埋土は3層で灰色シルト～粘質シルトが主体をなす。遺物は瓦器椀、土師器皿、瓦質三足釜が出土している。

S K-139

G 9区で検出した。SD-105を切る。形態は試掘トレンチに切られたため明らかでないが、ほぼ楕円形を呈するものと思われ、短径1.0m、深さ0.05mを測る。埋土は2層で黒色粘土ブロックを含む暗灰黄色シルト、淡灰黄色シルトである。遺物は土師器皿・甕、瓦質羽釜などが出土している。

S K-145

E 8～9、F 8～9区にかけて検出した。形態は不定形を呈し、最大長4.5m、最大幅2.8m、深さ0.1mを測る。埋土は1層で黒色粘土ブロックを含む淡灰黄色シルトである。遺物は土師器皿が出土している。

S K-146

G 10～11区にかけて検出した。SD-206に切られる。形態は試掘トレンチに切られたため明らかでないが、ほぼ隅丸長方形を呈するものと思われ、短径1.1mを測る。遺物は瓦器椀、須恵器甕・壺鉢、瓦質土器などが出土している。

S K-147 (第76～78図)

F 10～11区にかけて検出した。形態は不整な楕円形を呈し、長径5.0m、短径1.9m、深さは0.22m

を測る。埋土は1層で黒灰色粘質シルトブロックを含む暗灰褐色粘質シルトである。遺物は大量に出土しており、瓦器壺・皿、土師器皿、須恵器壺、東播系須恵器、瓦質三足釜・練鉢・火鉢、陶器、青磁の他、ミニチュアの瓦質壺、鉄製品、炭片、焼土塊なども出土している。特にここで瓦器壺と土師器皿の完形品が目立った。

S K - 201

H12~J12区にかけて検出した大型のものである。形態は調査区外に広がるため明らかでないが、不定形を呈するものと思われ、最大長11.2m、残存幅2.9m、深さは0.16mを測る。埋土は2層で灰色粘質シルト、鉄分を含む暗灰緑色粘土である。遺物は土師器皿、瓦質土器、陶器、磁器などが出土している。

S K - 202

H11区で検出した。形態、規模はSD-206に切られているため明らかでないが、深さ0.28mを測る。埋土は1層で黄褐色シルトを含む灰黒色粘質シルトである。遺物は出土していない。

S K - 203

H11区で検出した。形態は不整な楕円形を呈し、長径1.0m、短径0.4m、深さ0.03mを測る。埋土は1層で灰緑色粘質シルトである。遺物は出土していない。

S K - 204

H10~11区にかけて検出した。形態は不整な円形を呈し、径0.55m、深さ0.12mを測る。埋土は1層で暗灰色粘質シルトである。遺物は出土していない。

S K - 205

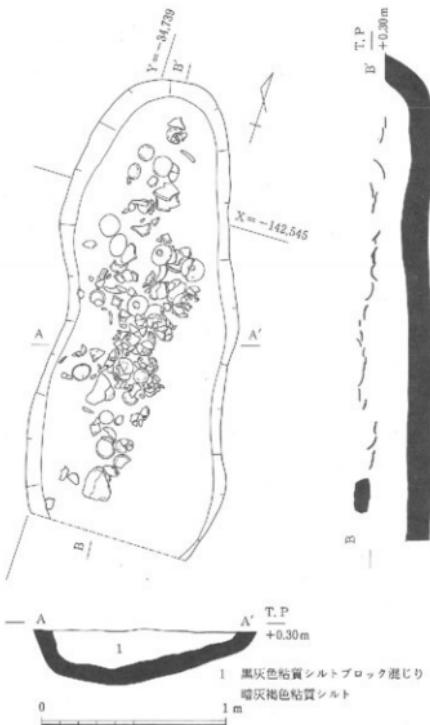
I 11区で検出した。形態は不整な楕円形を呈し、長径0.6m、短径0.3m、深さ0.09mを測る。埋土は1層で暗灰色粘質シルトである。遺物は出土していない。

S K - 206

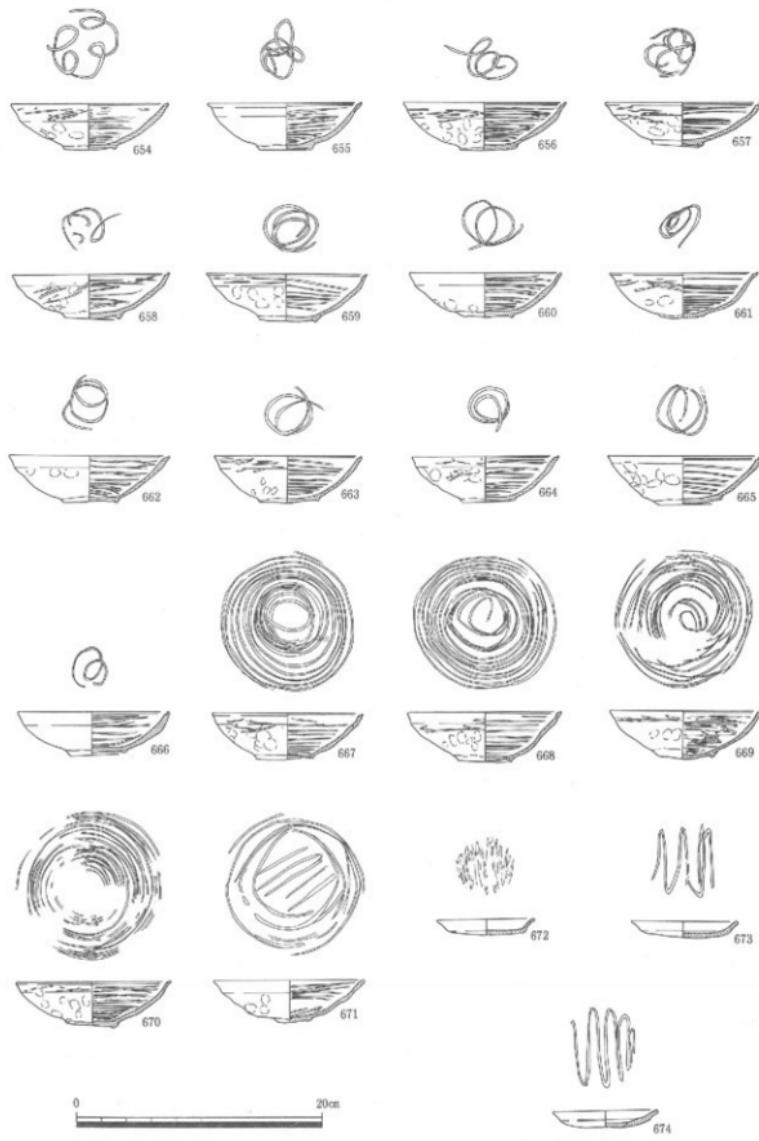
I 11区で検出した。形態は不整な楕円形を呈し、長径0.7m、短径0.4m、深さ0.05mを測る。埋土は1層で暗灰色粘質シルトである。遺物は出土していない。

S K - 207

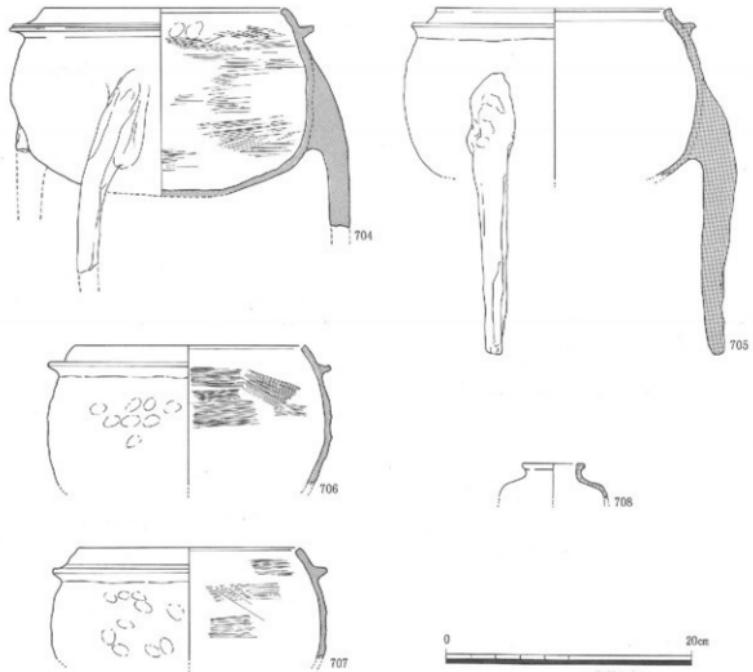
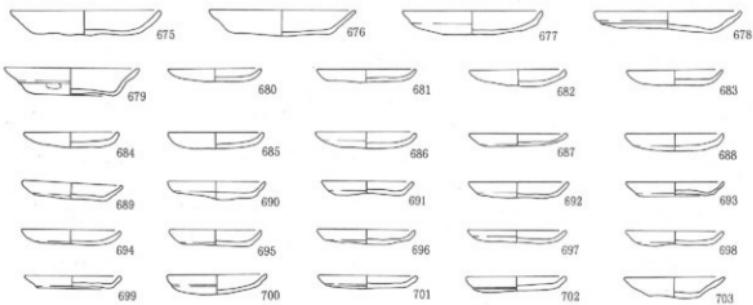
J 11区で検出した。形態はSD-203に切られてはいるがほぼ隅丸方形を呈するものと思われ、径0.95m、深さ0.05mを測る。埋土は1層で灰色粘質シルトである。遺物は出土していない。



第76図 A 2 区 SK-147平面・断面・遺物出土状況図



第77図 A 2 区 SK-147出土遺物(1)



第78図 A 2 区 SK-147出土遺物(2)

S K - 208

J11区で検出した。形態はSD-205に切られてはいるがほぼ円形を呈するものと思われ、径0.4m、深さ0.05mを測る。埋土は1層で黒灰色粘土混じりの灰色粘質シルトである。遺物は出土していない。

S K - 209

J 11～K 11区にかけて検出した。形態は不定形を呈し、最大長2.8m、最大幅0.85m、深さ0.11mを測る。埋土は2層で鉄分を含む灰色粘質シルト、灰褐色粘質シルトである。遺物は出土していない。

S K - 210

K 11区で検出した。形態は橢円形を呈し、長径0.95m、短径0.35m、深さ0.09mを測る。埋土は1層で灰色粘質シルトである。遺物は出土していない。

S K - 211

J 11～K 11区にかけて検出した。形態、規模はSD-205に切られてはいるため明らかでないが、深さ0.05mを測る。埋土は1層で暗灰色粘質シルトである。遺物は出土していない。

S K - 212 (第79、80図)

H 10区で検出した。形態はSD-206に切られているが不定形を呈するものと思われ、最大長2.8m、検出最大幅1.3m、深さ0.05mを測る。埋土は1層で暗灰色粘質シルトである。遺物は瓦器榤、土師器皿、東播系須恵器、瓦質三足釜・ミニチュアの羽釜、陶器などが出土している。

S K - 213

I 10区で検出した。形態は不定形を呈し、最大長1.2m、最大幅0.9m、深さ0.04mを測る。埋土は1層で鉄分、マンガンを含む灰色粘質シルトである。遺物は出土していない。

S K - 214

I 10区で検出した。形態は橢円形を呈し、長径0.4m、短径0.2m、深さ0.08mを測る。埋土は1層で淡灰黄色シルトである。遺物は出土していない。

S K - 215

I 10区で検出した。形態は橢円形を呈し、長径0.44m、短径0.2m、深さ0.09mを測る。埋土は1層で暗灰色粘質シルトである。遺物は土師器皿、須恵器などが出土している。

S K - 216

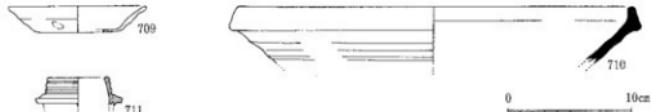
H 10～J 10区にかけて検出した大型のものである。形態は不定形を呈し、最大長7.6m、最大幅2.2m、深さ0.19mを測る。埋土は2層で暗灰色粘質シルト、鉄分、マンガンを含む暗灰色粘土である。遺物は瓦器榤、土師器皿、東播系須恵器、瓦質三足釜などが出土している。

S K - 217

調査区南半部で検出した大型のものである。形態は不定形を呈し、最大長12.3m、最大幅3.1m、深さ0.11mを測る。埋土は2層で鉄分、マンガンを含む暗灰色粘質シルト、鉄分を含む灰色粘質シルトである。遺物は瓦器榤、土師器皿、東播系須恵器、瓦質三足釜・火鉢の他、焼土塊なども出土している。

S K - 218

H 9区で検出した。形態、規模はSD-206に切られているため明らかでないが、深さ0.05mを測る。埋土は1層で暗灰色粘質シルトである。遺物は出土していない。



第79図 A 2区 SK-212出土遺物

S K - 219

I 9区で検出した。形態、規模はSK-217に切られているため明らかでないが、深さ0.06mを測る。埋土は1層で鉄分を含む暗灰色粘質シルトである。遺物は出土していない。

S K - 220

I 9区で検出した。形態、規模はSK-217に切られているため明らかでないが、深さ0.1mを測る。埋土は1層で暗灰色粘質シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿などが出土している。

S K - 221

H 8～9区にかけて検出した。形態、規模はSD-206に切られているため明らかでないが、不定形を呈するもので、最大長2.7m、最大幅2.2m、深さ0.12mを測る。埋土は2層で暗灰色シルト、暗灰色粘質シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿、東播系須恵器、瓦質三足釜などが出土している。

S K - 222

H 9～I 9区にかけて検出した。形態は梢円形を呈し、長径0.8m、短径0.4m、深さ0.05mを測る。埋土は1層で鉄分を含む淡灰色シルトである。遺物は出土していない。

S K - 223

I 8区で検出した。形態は梢円形を呈し、長径0.47m、短径0.22m、深さ0.05mを測る。埋土は1層でマンガンを含む灰色シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿などが出土している。

S K - 224

I 9区で検出した。形態は不整な梢円形を呈し、長径0.7m、短径0.6m、深さ0.13mを測る。埋土は1層で灰色粘質シルトである。遺物は出土していない。

S K - 225

I 8区で検出した。形態は円形を呈し、径0.55m、深さ0.17mを測る。埋土は1層で暗灰色粘質シルトである。遺物は出土していない。

S K - 226

I 8～9、J 8～9区にかけて検出した。形態は不定形を呈し、最大長4.3m、最大幅4.1m、深さ0.14mを測る。埋土は1層で暗灰色粘質シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿・壺、須恵器、瓦質土器などが出土している。

S K - 227

J 8～9区にかけて検出した。形態は不定形を呈し、最大長3.6m、最大幅2.5m、深さ0.08mを測る。埋土は1層で鉄分、マンガンを含む灰色粘質シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿、須恵器、瓦質壺などが出土している。

S K - 228

H 7区で検出した。形態は側溝に切られているがほぼ円形を呈するものと思われ、径0.45m、深さ0.04mを測る。埋土は1層で灰色粘質シルトである。遺物は土師器皿が出土している。

S K - 229 (第82図)

H 7～8、I 7～8区にかけて検出した。形態は不定形を呈し、最大長3.5m、最大幅2.8m、深さ0.21mを測る。埋土は2層で暗灰色粘質シルト、鉄分、マンガンを含む暗灰色粘質シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿、東播系須恵器、瓦質壺・火鉢、陶器、白磁の他、砾石、焼土塊なども出土している。

S K - 230 (第80、82図)

H10区でSD-206の底面において検出した。形態は不整な楕円形を呈し、長径1.55m、短径0.6m、深さ0.22mを測る。埋土は1層で暗灰色粘土である。遺物は瓦器椀、土師器皿などが出土している。

SK-231 (第82図)

H9区でSK-217の底面において検出した。形態は楕円形を呈し、長径0.7m、短径0.5m、深さ0.1mを測る。埋土は1層で暗灰色粘質シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿などが出土している。

SK-232

I10区でSK-217の底面において検出した。形態は不整な楕円形を呈し、長径1.6m、短径0.8m、深さ0.07mを測る。埋土は1層で灰色粘質シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿、瓦質器などが出土地している。

SK-234

I9~10区にかけてSK-217の底面において検出した。形態は楕円形を呈し、長径0.65m、短径0.5m、深さ0.06mを測る。埋土は1層で灰色粘質シルトである。遺物は出土していない。

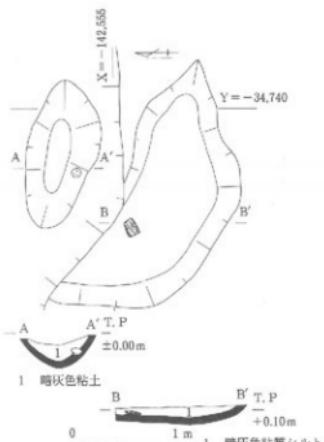
SK-235 (第81、82図)

H9~10、I9~10区にかけてSK-217の底面において検出した。形態は不定形を呈し、最大長2.8m、最大幅2.6m、深さ0.2mを測る。埋土は2層でそれぞれ鉄分、マンガンを含む暗灰色粘質シルト、暗灰色粘土である。遺物は瓦器椀、土師器皿・甕、瓦質甕・三足釜・鉢が出土地している。

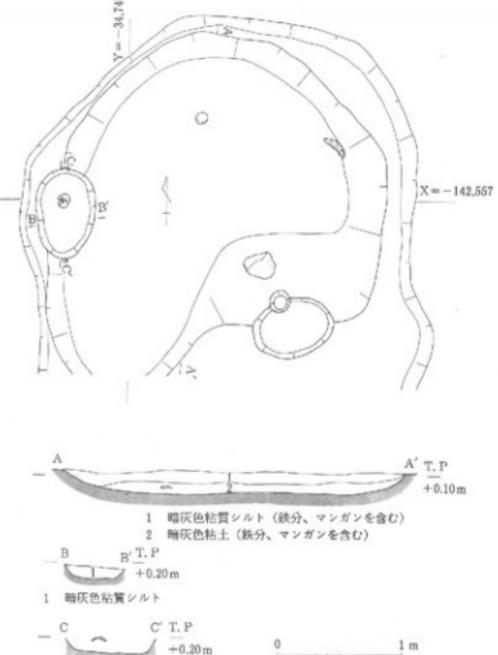
〔落込み状遺構〕

SK-201 (第83図)

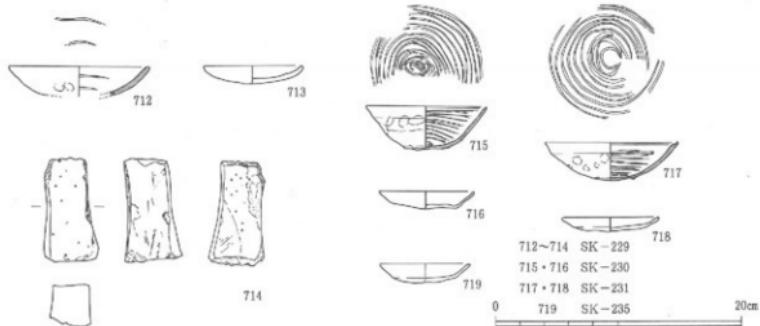
調査区東部で検出した不定形な落ち込み状を呈するもので最大長9.5m、最大幅8.0m、深さ0.15mを測る。埋土は3層で鉄分、マンガンを含む暗灰褐色粘質シルト、暗灰色粘質シルト、鉄分、マンガンを含む灰色粘質シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿、東播系須恵器、瓦質三足釜・鉢などが出土している。



第80図 A2区 SK-212-230平面・断面・遺物出土状況図



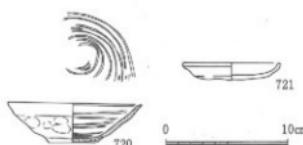
第81図 A2区 SK-231-235平面・断面・遺物出土状況図



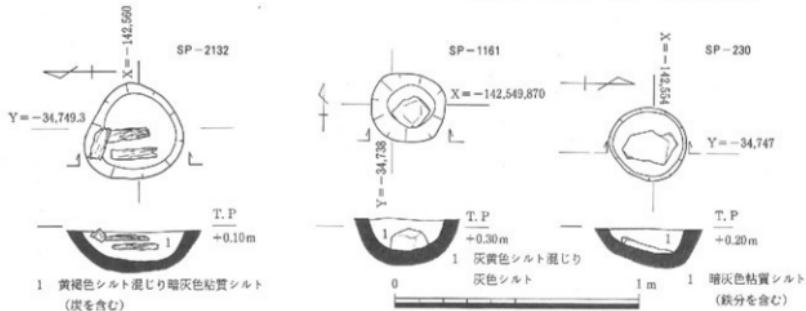
第82図 A 2 区 SK-229・230・231・235出土遺物

〔柱穴群 (SP)〕(第84、85図)

総数136基を検出した。規模は径0.2~0.3m、深さ0.1~0.2mのものが主体をなす。また、柱材、礎石の残存するものもあり、建物を構成するものも認められた。



第83図 A 2 区 SX-201出土遺物



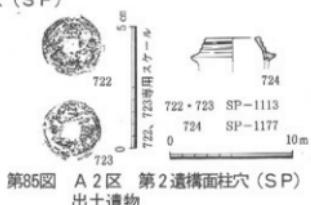
第84図 A 2 区 第2遺構面柱穴 (SP)

〔鋤溝群〕

この面では2条の鋤溝を確認した。いずれも東西に走るもので、痕跡程度に残るものである。幅0.2前後、深さ0.1前後を測る。埋土は灰色シルト～粘質シルトで、遺物は瓦器碗、土師器皿などの小片が出土している。

3. 第3遺構面

基本層序第7層をベース面として検出した。層序関係からA 1、3、4区の第2遺構面と対応するものである。遺構で



第85図 A 2 区 第2遺構面柱穴 (SP)
出土遺物

は溝、土坑、柱穴、落込み状のものが検出され、それに伴い遺物も出土している。標高はT.P.、
±0～-0.1mを測る。

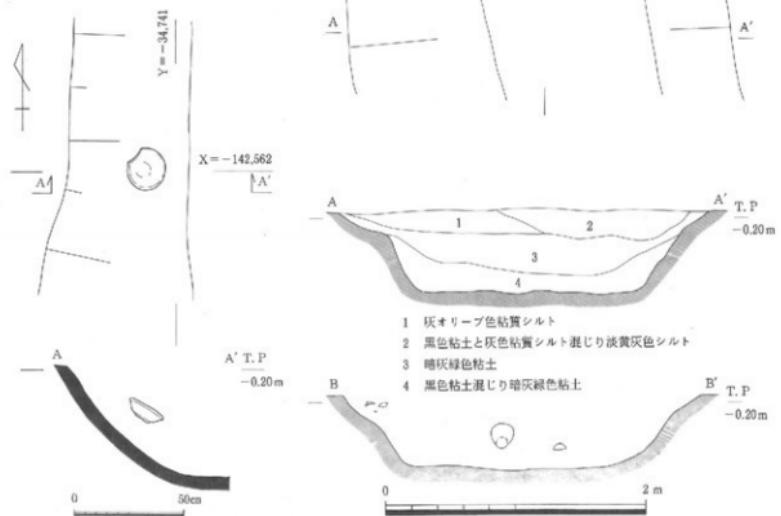
〔溝〕

S D - 301

調査区南東部で検出した。ほぼ北西から南西にかけて走り、南西端ではやや南に向かう状態で調査区外に伸びている。S D - 302を若干切って終わる。幅2.1m、深さは北西端で0.13m、南東端で0.5mを測り、南東に向かって深くなる様相を示す。埋土は2層で、淡灰緑色粘土ブロック混じりの黒色粘土、暗灰オリーブ色粘土ブロック混じりの黒色粘土である。遺物は瓦器焼が出土している。

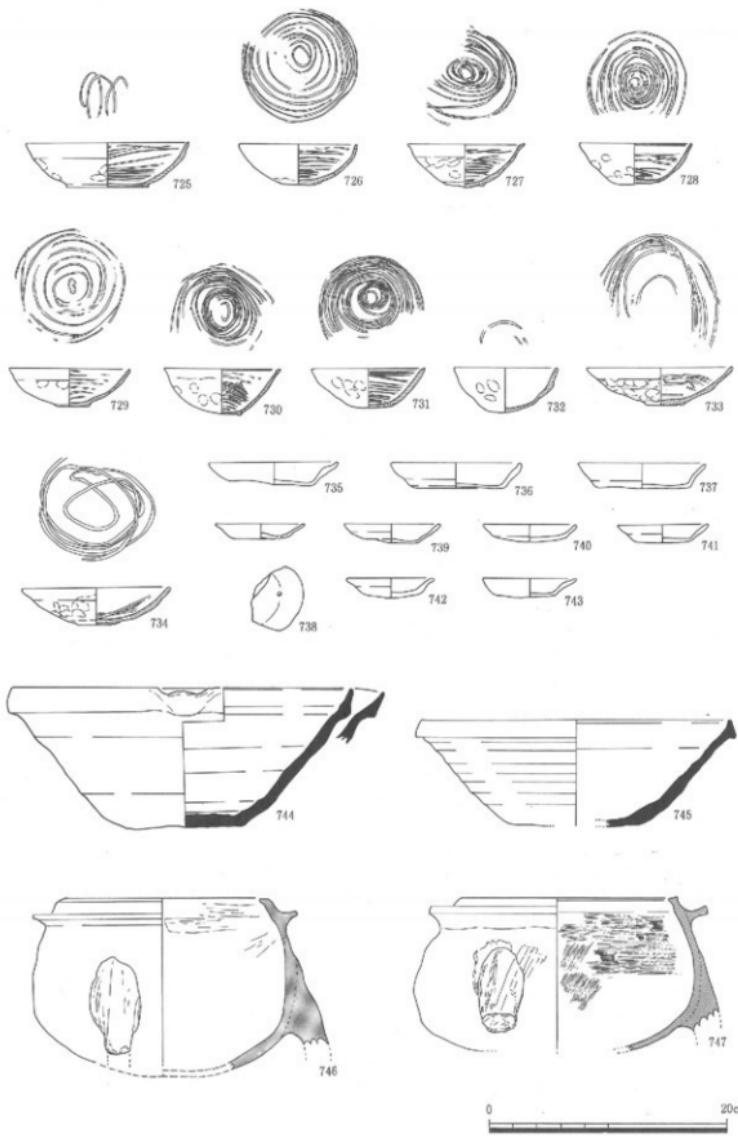
S D - 302 (第86～90、92図)

調査区南東部、S D - 301の西側で検出した。東西に走るD S - 308と一連をなすもので、逆コの

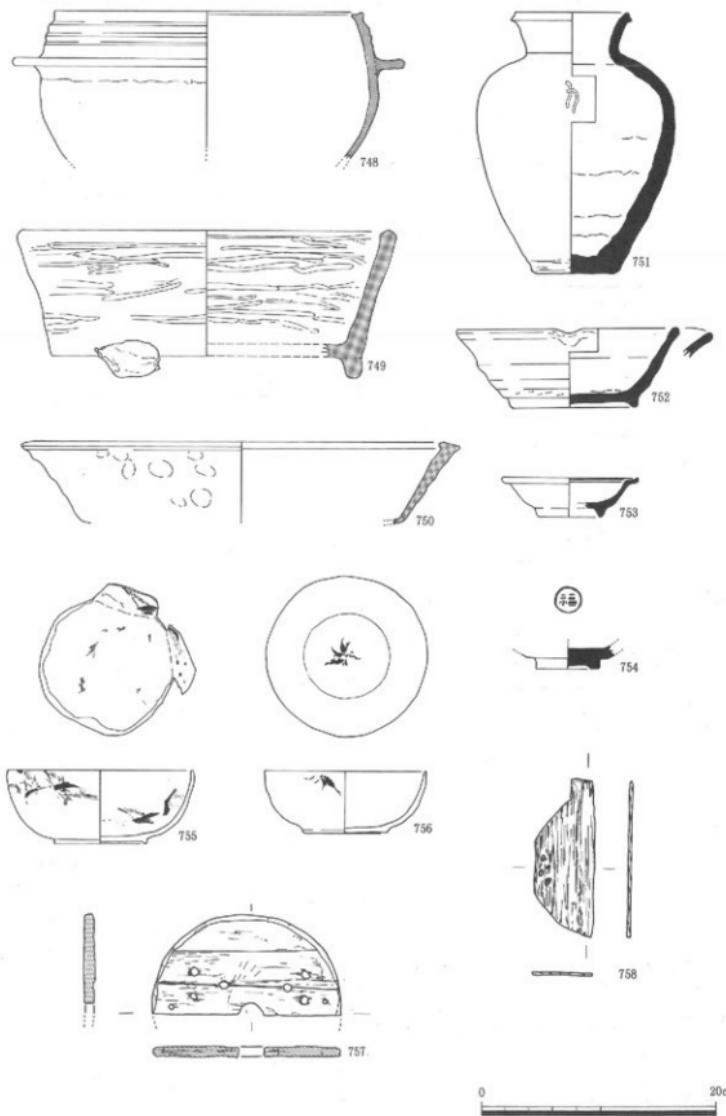


第86図 A 2 区 S D - 302 遺物出土状況図(1)

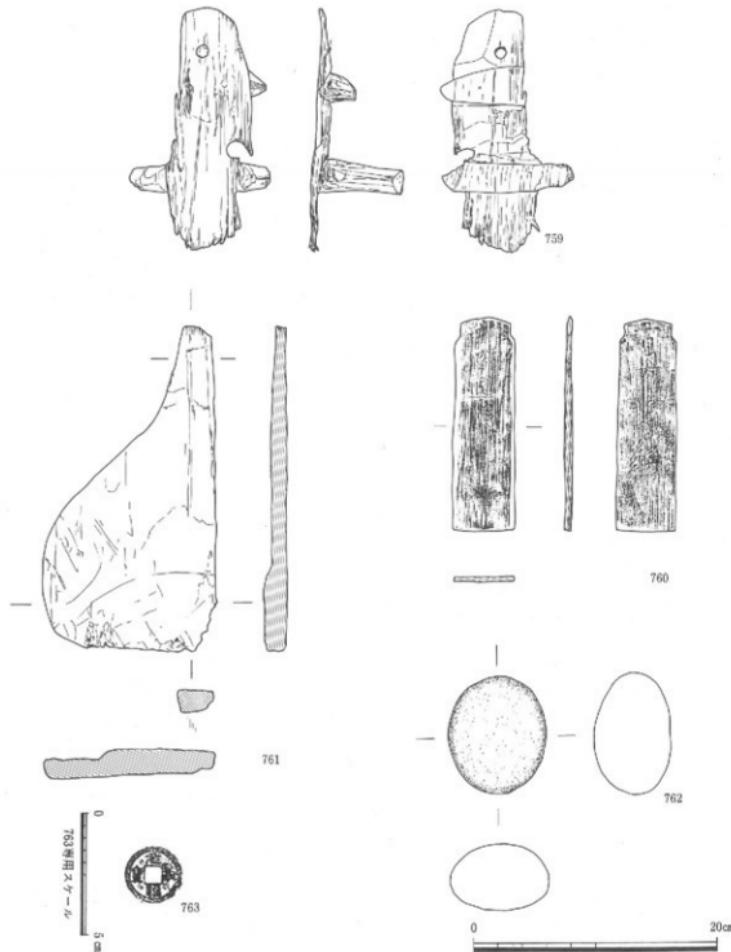
第87図 A 2 区 S D - 302断面・遺物出土状況図(2)



第88図 A 2 区 SD-302出土遺物(1)



第89図 A 2区 SD-302出土遺物(2)



第90図 A 2 区 SD-302出土遺物(3)

字形を呈するものである。幅3.0m、深さは北端で0.3m、南端で0.6mを測り、南側に向かって深くなる様相を示している。埋土は4層で黒色粘土、暗灰緑色粘土が主体をなす。遺物はまとまって出土しており、瓦器楌、土師器皿、東播系須恵器、須恵器壺、瓦室壺・三足釜・羽釜・火鉢・陶器、青磁の他、錢貨、火を受けた石なども出土している。

SD-303 (第91、94図)

I 12区で検出し、ほぼSD-301と平行して走る。調査区外に伸びるため、全容は明らかでないが、

幅0.8m、深さは南東で0.13m、北西で0.2mを測り、若干、北西に向けて深くなる様相を示す。埋土は2層で黒色粘土混じりの灰オリーブ色粘質シルト、暗灰オリーブ色粘質シルトである。遺物は瓦器椀が出土している。

SD-304 (第92~95図)

調査区南部で検出した。東西に走り、西側はSD-205に切られ、東側は南に屈曲してわずかに延びて終わる。最大幅1.9m、深さは両端とも0.6m程度で、フラットな様相を示している。埋土は3層で青灰～灰色の粘質シルト、粘土が主体をなす。遺物はまとまって出土しており、瓦器椀、土師器皿、瓦質三足釜・羽釜、陶器、青磁の他、砥石、火を受けている石、炭片、種子類などが出土している。

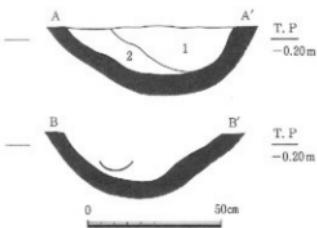
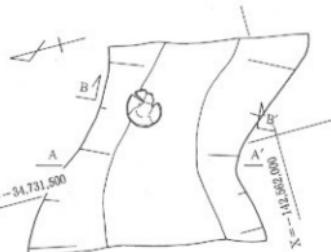
SD-305 (第96図)

調査区南西部で検出した。A1区のSD-102と一連をなすものであり、調査区を取り囲む様相を呈するものである。幅2.0m、深さは0.7m前後で、ほぼフラットな状況を示している。埋土は3層で灰緑色～黒色粘土が主体をなす。遺物は比較的まとまって出土しており、瓦器椀、土師器皿、東播系須恵器、瓦質羽釜、陶器、白磁の他、砥石、火を受けている石、種子類などが出土している。

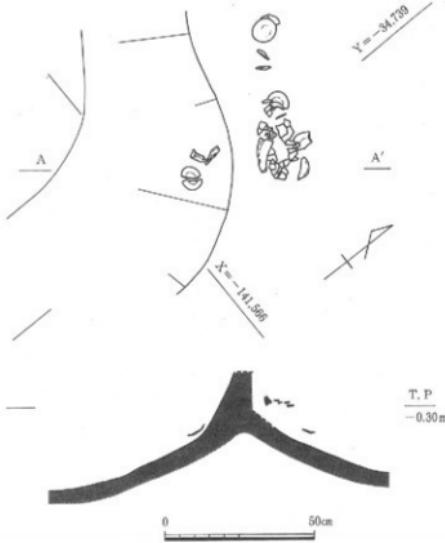
SD-306 (第97図)

調査区北東端で検出した。ほぼ、北西から南東にかけて走り、南に向かって広がる様相を呈している。幅は北側で2.3m、南側で5.7m、深さは北側で0.46m、南側で0.7mを測り、南側に向かって深くなる様相を呈している。埋土は7層で暗灰オリーブ～暗灰緑色の粘質シルト、粘土が主体をなす。遺物は瓦器椀、土師器皿・甕、須恵器、瓦質三足釜、白磁皿などが出土している。

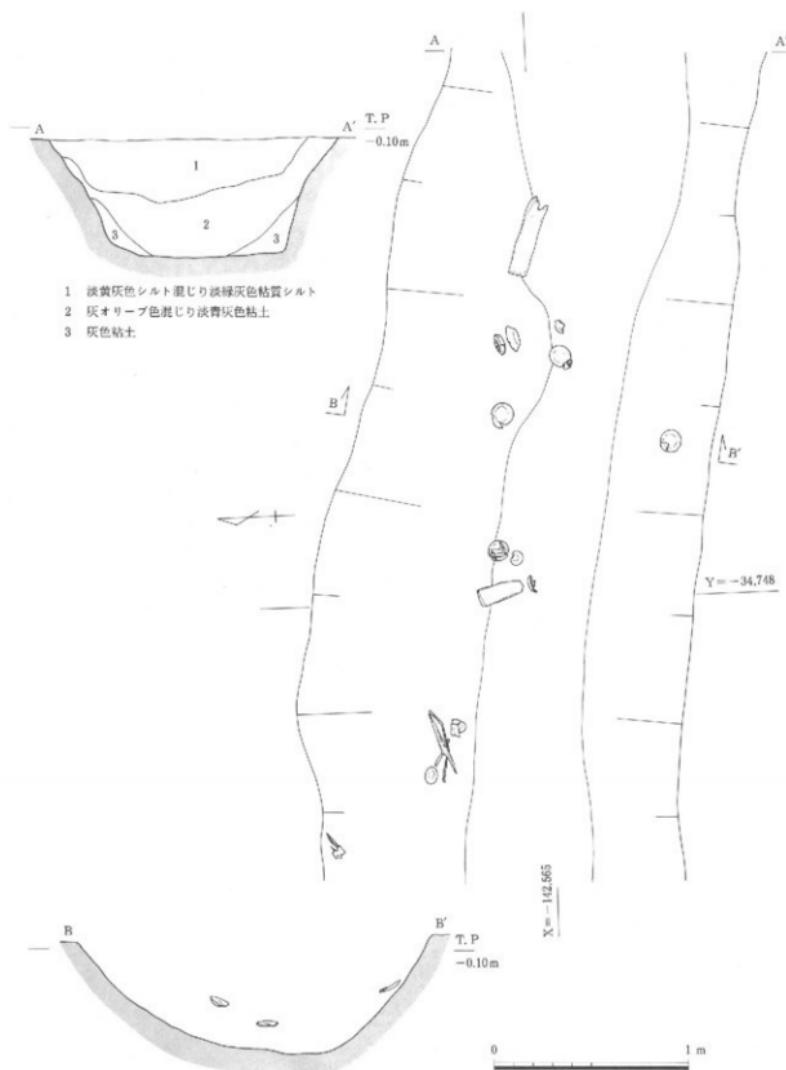
SD-307



第91図 A 2区 SD-303断面・遺物出土状況図

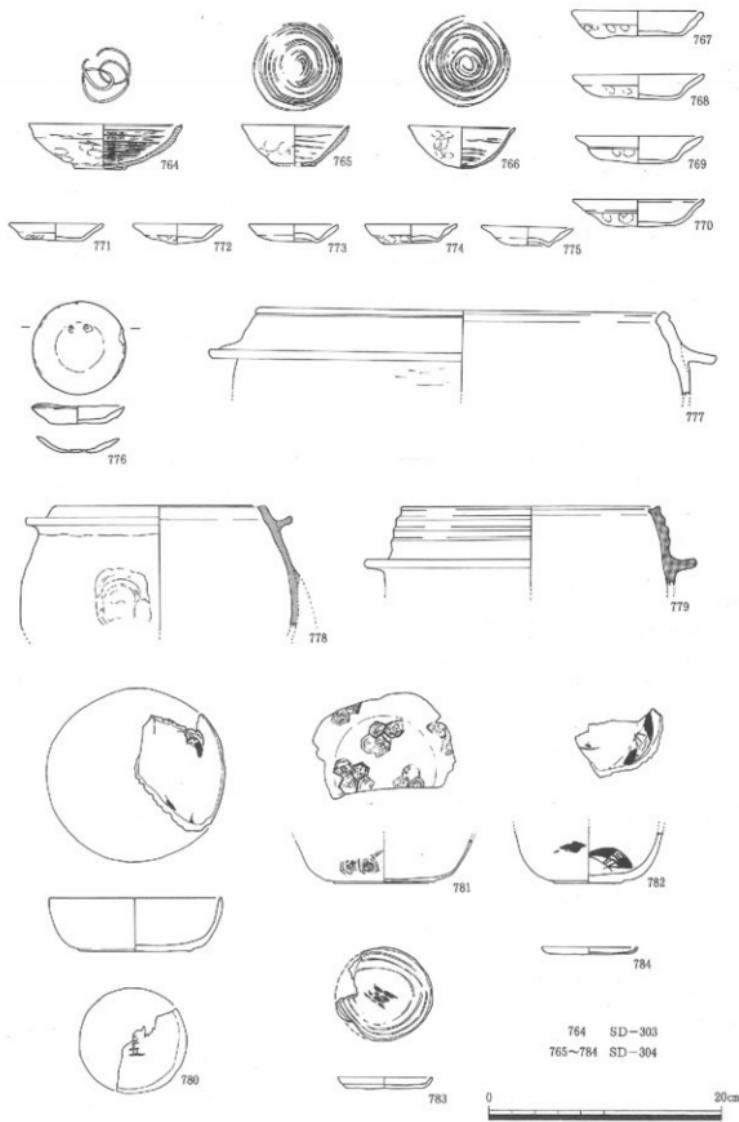


第92図 A 2区 SD-302・304遺物出土状況図



第93図 A 2 区 S D - 308断面・遺物出土状況図

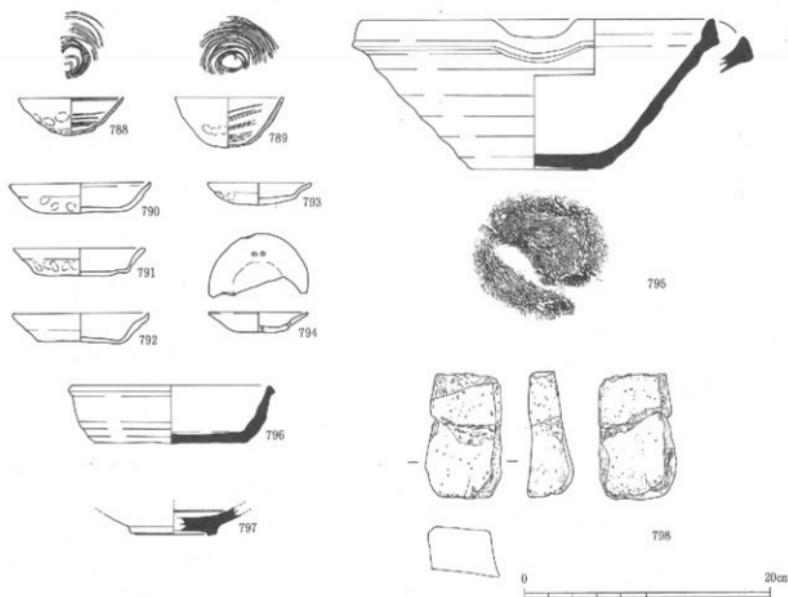
G12、H11～12区にかけて検出し、ほぼ S D - 308と平行して走る。検出長4.3m、幅0.65m、深さ0.8mを測る。埋土は1層で暗灰オリーブ色粘土である。遺物は出土していない。



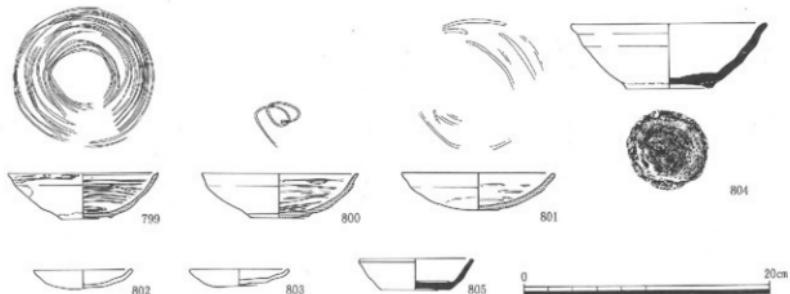
第94図 A 2 区 SD-303・304出土遺物



第95図 A 2 区 SD-304出土遺物



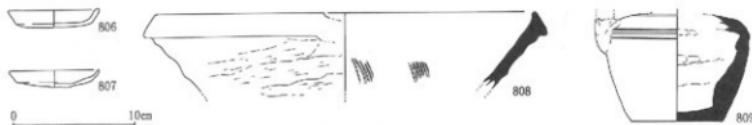
第96図 A 2 区 SD-305出土遺物



第97図 A 2 区 SD-306出土遺物

SD-308 (第98図)

G10~11、H10区にかけて検出し、SD-302と一連をなすものである。幅0.6m、深さ0.15mを測る。埋土は2層で黄灰色シルト、暗青灰色粘土である。遺物は瓦器椀、土師器皿、瓦質三足釜・鉢、陶器などが出土している。



第98図 A 2 区 SD-308出土遺物

SD-309 (第99、100図)

調査区北半部で検出した。ほぼ南北に走り、試掘トレーン内で終わる。幅1.2m、深さは0.4m前後でフラットな状態を呈している。埋土は2層で灰オリーブ色粘質シルト、暗青灰色粘土である。遺物は比較的まとまって出土しており、瓦器椀、土師器皿、束縛系須恵器、須恵器甕・瓦質甕・三足釜・羽釜・鉢・火鉢、陶器の他、木片、砥石なども出土している。

SD-310 (第100図)

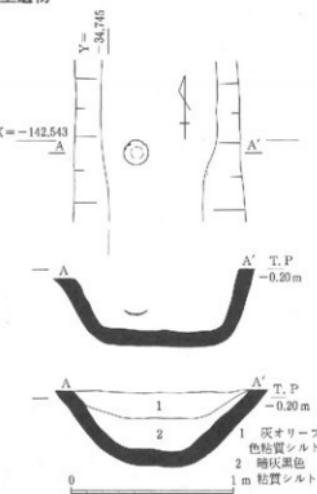
SD-309から直角に枝分かれして西に走る。幅0.54m、深さ0.13mを測る。遺物は土師器皿、瓦質羽釜・火鉢、陶器などが出土している。

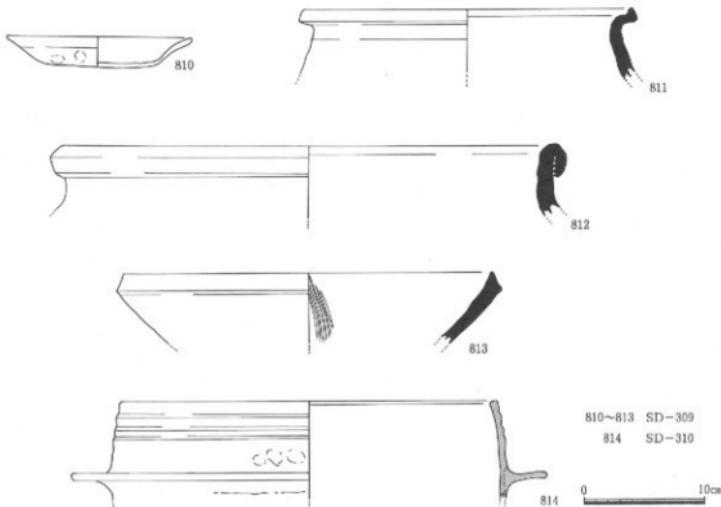
SD-311

SD-310から直角に枝分かれして南に走る。幅0.45m、深さ0.13mを測る。遺物は出土していない。

SD-312

調査区北半部SK-316の西側で検出した。ほぼ北北西 第99図 A 2 区 SD-309断面・遺物出土状況図





第100図 A 2区 SD-309・310出土遺物

から南南東にかけて走り、SD-310に切られて終わる。幅は北側で2.4m、南側で上層遺構に切られているため明らかではないが1.2m程と思われ、南に向かって狭くなる様相を呈し、深さは0.15前後とフラットな状態である。埋土は2層で黒色粘土ブロック混じりの灰青色粘質シルト、灰青色粘土である。遺物は出土していない。

SD-313（第101～103図）

調査区北半部SD-312の西側で検出し、ほぼ平行に走る。埋土の状況からみて、A 1区のSD-201と一連をなすものと思われ、試掘トレーニ内で終わる。幅1.9m、深さは北側で0.85m、南側で1.0mを測り、南側に深くなる様相を示している。埋土は4層で灰青色～灰緑色の粘質シルト、粘土が主体をなす。遺物はまとまって出土しており、瓦器椀、土師器皿、束縛系須恵器、瓦質壺・三足釜・羽釜・火鉢・鍋、陶器、青磁、白磁の他、ミニチュア土器、土玉、木片、火を受けている石、炭片、焼土塊などが出土している。

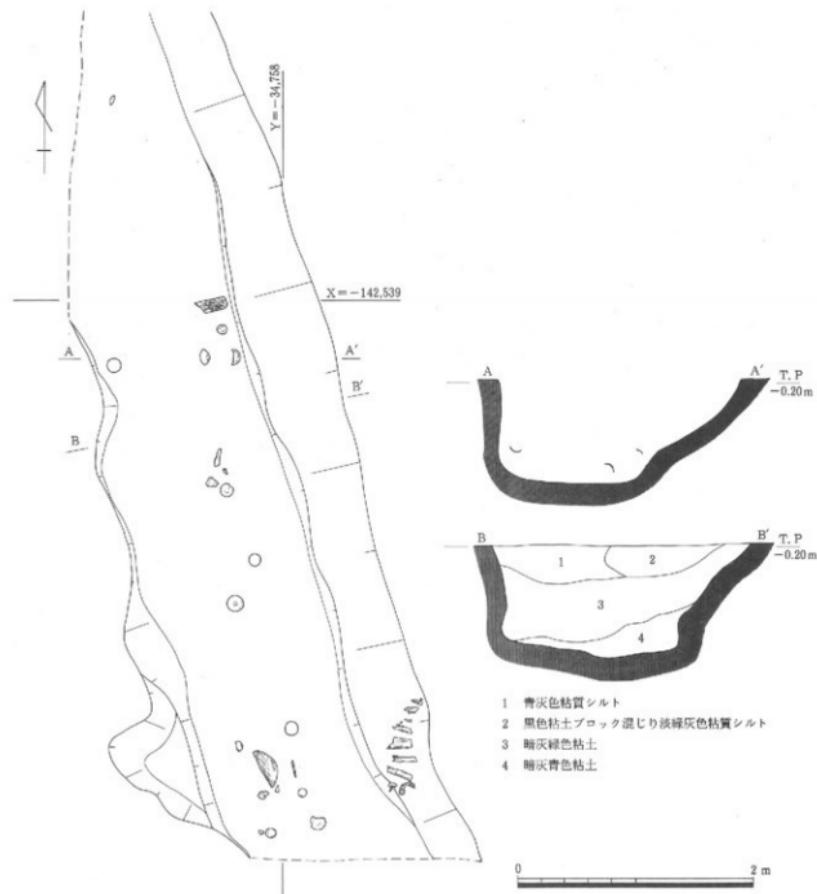
〔土坑〕

SK-301

H11区で検出した。形態は不整な隅丸方形を呈し、径0.8m、深さ0.09mを測る。埋土は1層で鉄分を含む暗灰オリーブ色粘質シルトである。遺物は瓦器椀、瓦質土器が出土している。

SK-302（第104図）

H 9～10、I 9～10区にかけて検出した。大型の土坑で形態は不整な隅丸長方形を呈し、長径5.9m、短径2.7m、深さ0.55mを測る。埋土は4層で灰オリーブ色粘質シルト、黒色粘土が主体をなす。遺物は比較的まとまって出土しており、瓦器椀、土師器皿、束縛系須恵器、須恵器壺、瓦質壺・三足釜・羽釜・火鉢の他、木片、石鍋、火を受けている石などが出土している。



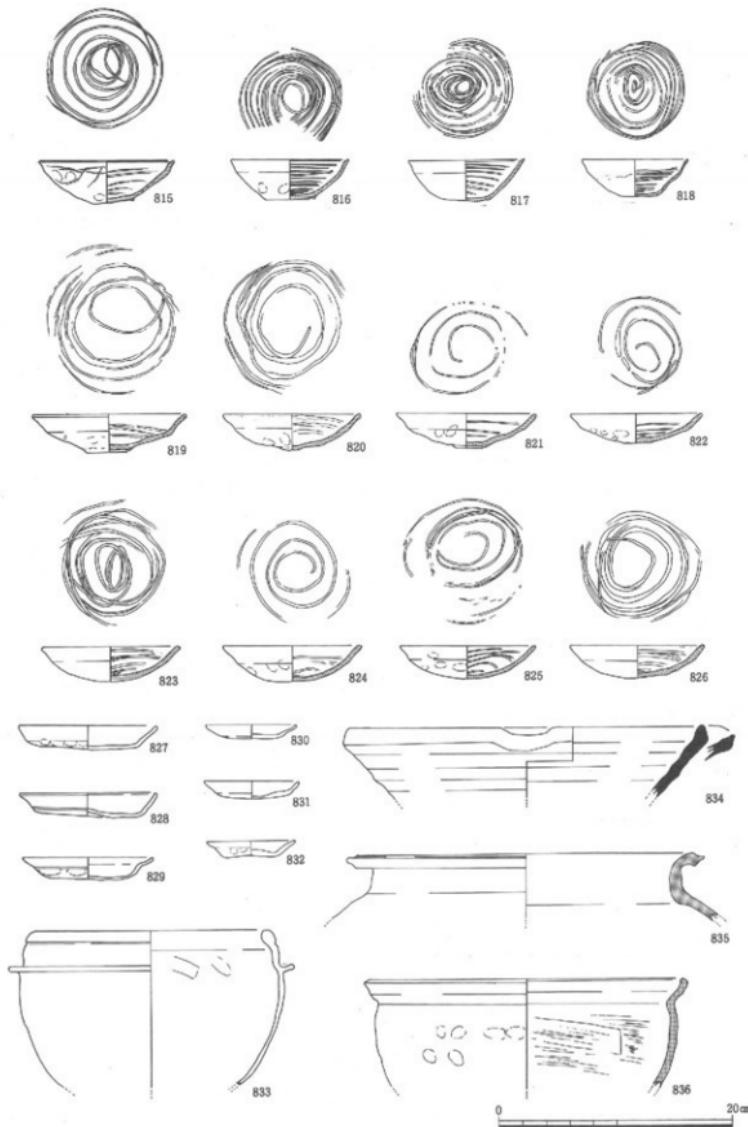
第101図 A 2区 SD-313断面・遺物出土状況図

SK-303

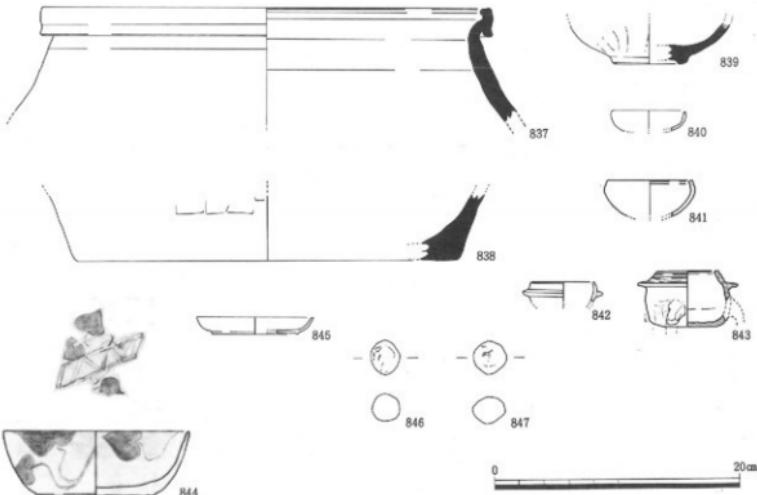
I 9区で検出した。形態は橢円形を呈しており、長径0.7m、短径0.3m、深さ0.06mを測る。埋土は1層で灰オリーブ色粘質シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿などが出土している。

SK-304(第104図)

K 9区で検出した。形態は南端落込み301に切られてはいるが長方形を呈しているものと思われ、長径3.2m、深さ0.6mを測る。埋土は2層で黒色粘土ブロックと淡青灰色粘土ブロック混じりの暗灰オリーブ色粘土、黒色粘土ブロック混じりの淡青灰色粘土である。遺物は瓦器椀、土師器皿、東播系須恵器、瓦質甕、陶器などが出土している。



第102図 A 2 区 SD-313出土遺物(1)



第103図 A 2 区 S D - 313出土遺物(2)

S K - 305

I 8 ~ 9 区にかけて検出した。形態は不整な隅丸方形を呈し、径1.5m、深さ0.46mを測る。埋土は1層で黒灰色粘土ブロック混じりの灰緑色粘土である。遺物は出土していない。

S K - 306

H 8 ~ I 8 区にかけて検出した。形態はS K - 307切られてはいるが、ほぼ隅丸長方形を呈しているものと思われ、長径2.9m、深さ0.33mを測る。埋土は2層で暗黄灰色粘質シルトと青灰色粘土である。遺物は瓦器榤、瓦質鉢などが出土している。

S K - 307 (第104図)

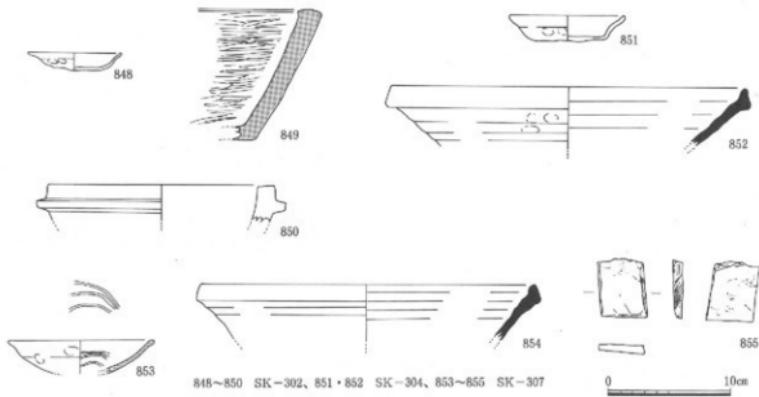
H 7 ~ 8、I 7 ~ 8 区にかけて検出した。S K - 306 を切る。形態は不整な隅丸長方形を呈し、長径2.6m、短径2.2m、深さ0.34mを測る。埋土は2層で黒色粘土混じりの黄灰色粘土質シルト、黒色粘土混じりの明灰青色粘土である。遺物は瓦器榤、土師器皿、東播系須恵器、瓦質三足釜・鉢の他、砥石なども出土している。

S K - 308

H 8 区で検出した。形態は不整な梢円形を呈しており、長径0.55m、短径0.44m、深さ0.06mを測る。埋土は1層で鉄分を含む灰オリーブ色粘質シルト混じりの灰色粘土である。遺物は土師器皿が出土している。

S K - 309

J 7 区で検出した。形態はS K - 310に切られてはいるが、ほぼ隅丸長方形を呈しているものと思われ、短径0.6m、深さ0.08mを測る。埋土は1層で灰色粘質シルト混じりの黒色粘土である。遺物は瓦器榤が出土している。



第104図 A 2 区 SK-302・304・307出土遺物

SK-311

J 7区で検出した。形態はSK-312、側溝に切られているため明らかでない。深さは0.2mを測る。埋土は1層で黒色粘質シルトである。遺物は出土していない。

SK-312

J 7～K 7にかけて検出した。形態は南端落込み301に切られているため明らかでない。深さは0.2mを測る。埋土は1層で黒色粘土混じりの灰青色粘土である。遺物は瓦器椀、土師器皿などが出土している。

SK-313（第106図）

G11～H11区にかけて検出した。SD-307に切られる。形態は不安定を呈し、最大長3.1m、最大幅3.0m、深さ0.14mを測る。埋土は2層で黒色粘土混じりの灰オーリーブ色粘質シルト、黒色粘土ブロック混じりの灰オーリーブ色粘質シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿の他、種子類なども出土している。

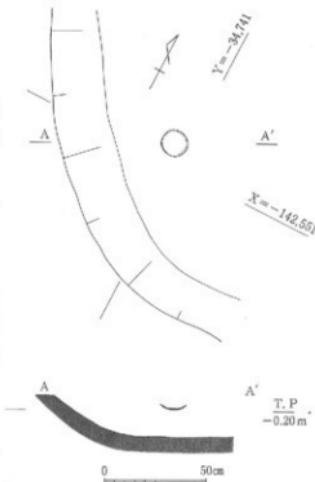
SK-314

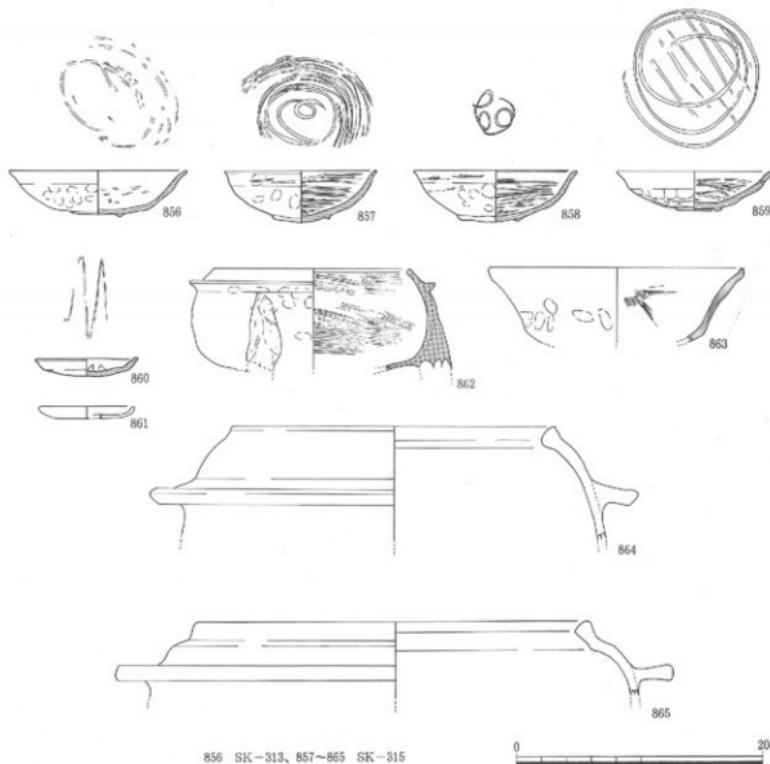
H11区で検出した。形態はSK-313に切られているため明らかでない。深さは0.08mを測る。埋土は1層で鉄分を若干含む暗灰オーリーブ色粘質シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿、瓦質土器などが出土している。

SK-315（第105、106図）

G11区で検出した。SD-308を切る。形態は不整な隅丸長方形を呈し、長径1.2m、短径0.9m、深さ0.09mを測る。

埋土は1層で暗青灰色粘質シルトである。遺物は出土してい 第105図 A 2 区 SK-315遺物出土状況図



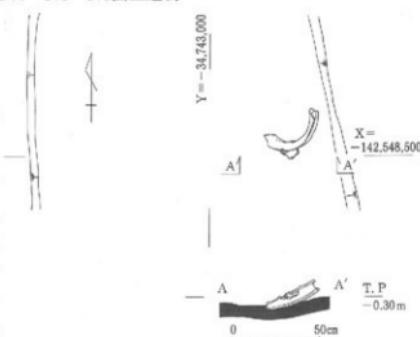


第106図 A 2 区 SK-313・315出土遺物

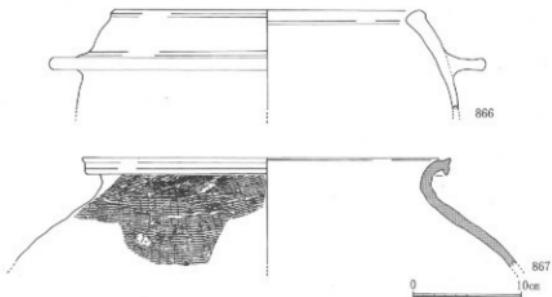
ない。

SK-316 (第107、108図)

調査区北西部において検出した大型のものである。SD-309、SK-321などに切られる。形態は不定形を呈するもので、検出最大長10.5m、検出最大幅4.0m、深さ0.27mを測る。埋土は2層で黒色粘土ブロック、暗灰オリーブ色粘土ブロック、暗灰色粘土ブロックの混合層、黒色粘土ブロック混じりの暗灰オリーブ色粘土質シルトである。遺物は比較的まとまって出土しており、瓦器楕、土師器皿・羽釜、須恵器、瓦質甕の他、火を受けている石なども出土している。



第107図 A 2 区 SK-316遺物出土状況図



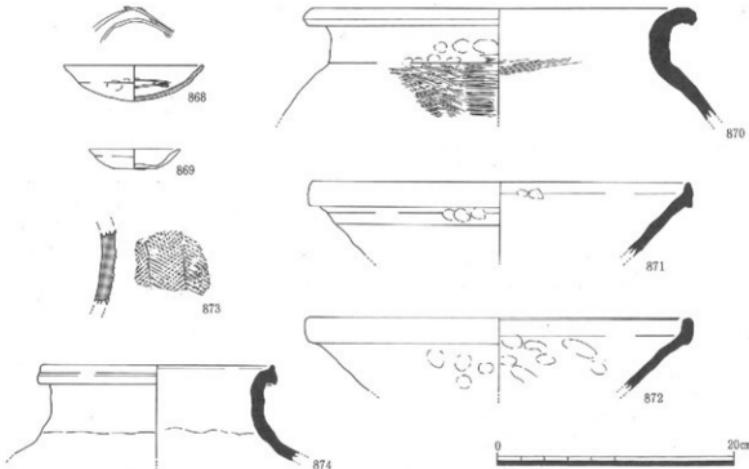
第108図 A 2区 SK-316出土遺物

SK-317 (第109図)

調査区北西部で検出した大型のものである。SD-309、試掘トレンチなどに切られる。形態は不定形を呈するもので、検出最大長6.2m、検出最大幅5.0m、深さ0.25mを測る。埋土は1層で暗灰オリーブ色粘質シルトである。遺物は比較的まとまって出土しており、瓦器椀・土師器皿・甕、東播系須恵器、須恵器甕、瓦質甕・羽釜・火鉢、陶器の他、木片、火を受けている石、焼土塊なども出土している。

SK-318

F 8～9区にかけて検出した。SK-319を切る。形態は不定形を呈し、最大長1.3m、最大幅1.1m、深さ0.12mを測る。埋土は1層で黒色粘土ブロック混じりの暗灰オリーブ色粘質シルトである。遺物は瓦器椀が出土している。



第109図 A 2区 SK-317出土遺物

SK-319

F 8 区で検出した。形態は SK-318 に切られてはいるが、ほぼ隅丸長方形を呈しているものと思われ、短径 0.7m、深さ 0.11m を測る。埋土は 1 層で暗灰色シルト混じりの暗灰オリーブ色粘質シルトである。遺物は出土していない。

SK-320

G 8 区で検出した。形態は上層遺構に切られてはいるが、ほぼ橢円形を呈しているものと思われ、長径 0.5m、深さ 0.2m を測る。遺物は出土していない。

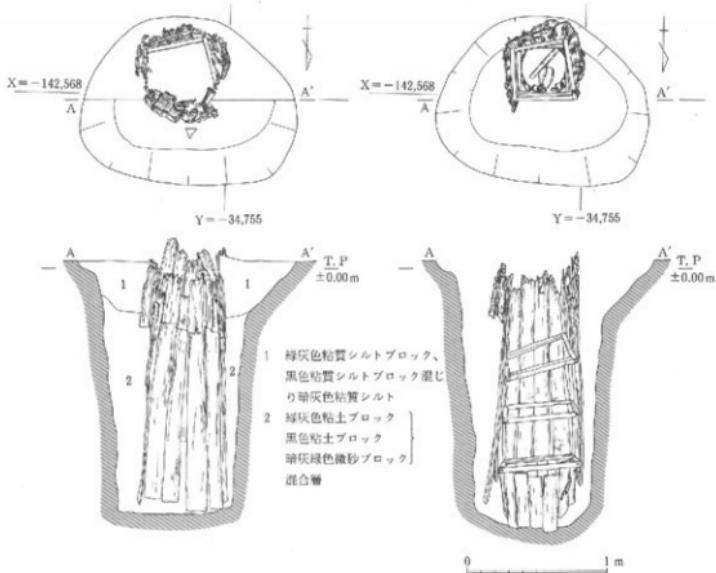
SK-321

調査区北西部で検出した大型のものである。SK-316 を切る。形態は不定形を呈するもので、最大長 11.2m、最大幅 3.3m、深さ 0.15m を測る。埋土は 1 層で黒色粘土ブロック混じりの暗灰オリーブ色粘質シルトである。遺物は比較的まとまって出土しており、瓦器碗、土師器皿・壺・羽釜、瓦質三足釜・羽釜などが出土している。

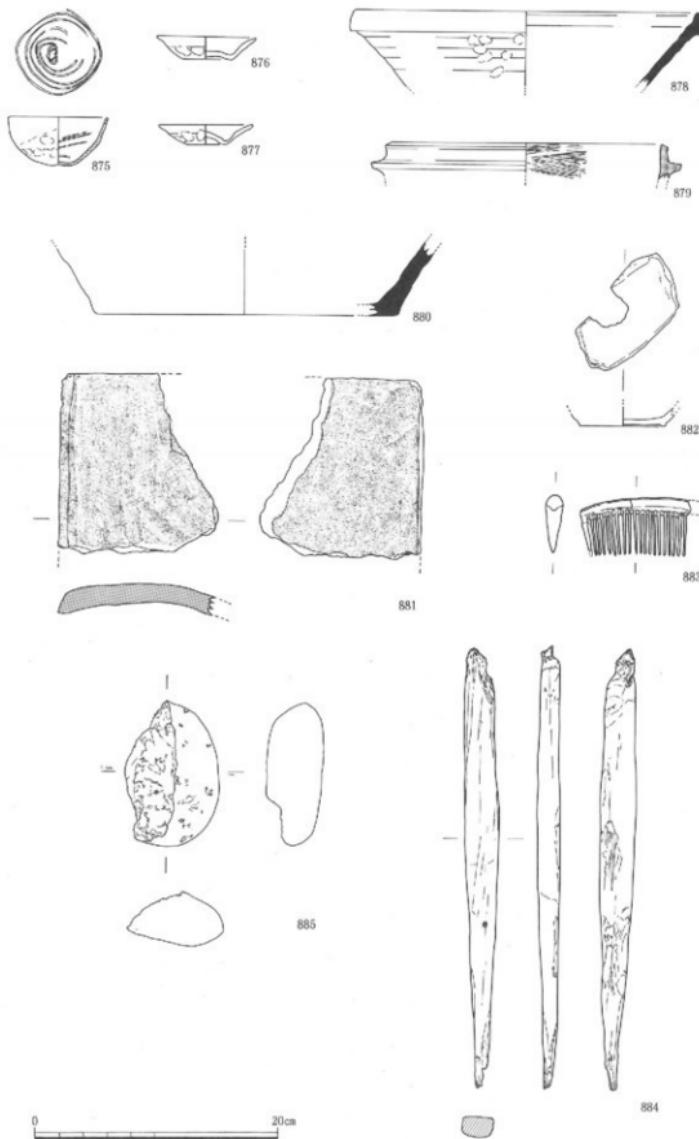
〔井戸状遺構〕

SE-301 (第110、111図)

J 7 ~ K 7 区にかけて検出した。掘方の形態は橢円形を呈し、長径 1.5m、短径 1.2m、深さ 1.8m を測る。断面形は上部では広がりを見せるが、下部はやや狭まりながらもほぼ直行するものである。埋土は 2 層で、それぞれブロック状の堆積物を含む粘質シルト、粘土である。また、掘方の南側で井戸枠と井筒が良好に残っていた。遺物は掘方、井戸枠内とともにまとまって出土しており、瓦器碗、土師



第110図 A 2 区 SE-301平面・断面図



第111図 A 2区 SE-301出土遺物

器皿、須恵器、瓦質土器、陶器、木片などが出土している。

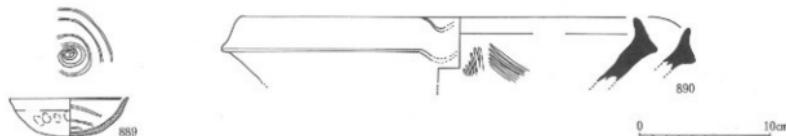
〔落込み状構造〕

S X - 301 (第112図)

調査区東部で検出した大規模なものである。調査区外へ広がるため、全容は明らかでないが最深部は0.27mを測る。埋土は8層でシルト、微砂が主体をなしている。遺物は瓦器椀、土師器皿、瓦質土器などが出土している。

南端落込み301 (第113図)

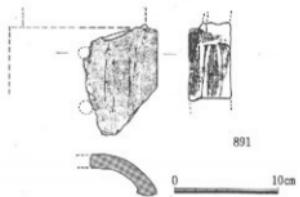
調査区南側で検出し、A 1 区の南端落込み201などと一連をなすものである。最深部で0.5mを測り、埋土は2層で暗青灰色粘土、黒色粘土混じりの暗灰オリーブ色粘土である。遺物は比較的まとまって出土しており、瓦器椀、土師器皿、須恵器、瓦質土器、陶器、砥石などが出土している。



第112図 A 2 区 SX-301出土遺物

〔柱穴群 (S P)〕 (第114、115図)

総数44基を検出した。規模は径0.2~0.3m、深さ0.1~0.2mのものが主体をなす。その中には、柱材、礎板礎石の残存するものがあるが、他の地区、他の遺構面に比べて数も多く、状態も比較的良好であった。また建物を構成するものも認められた。



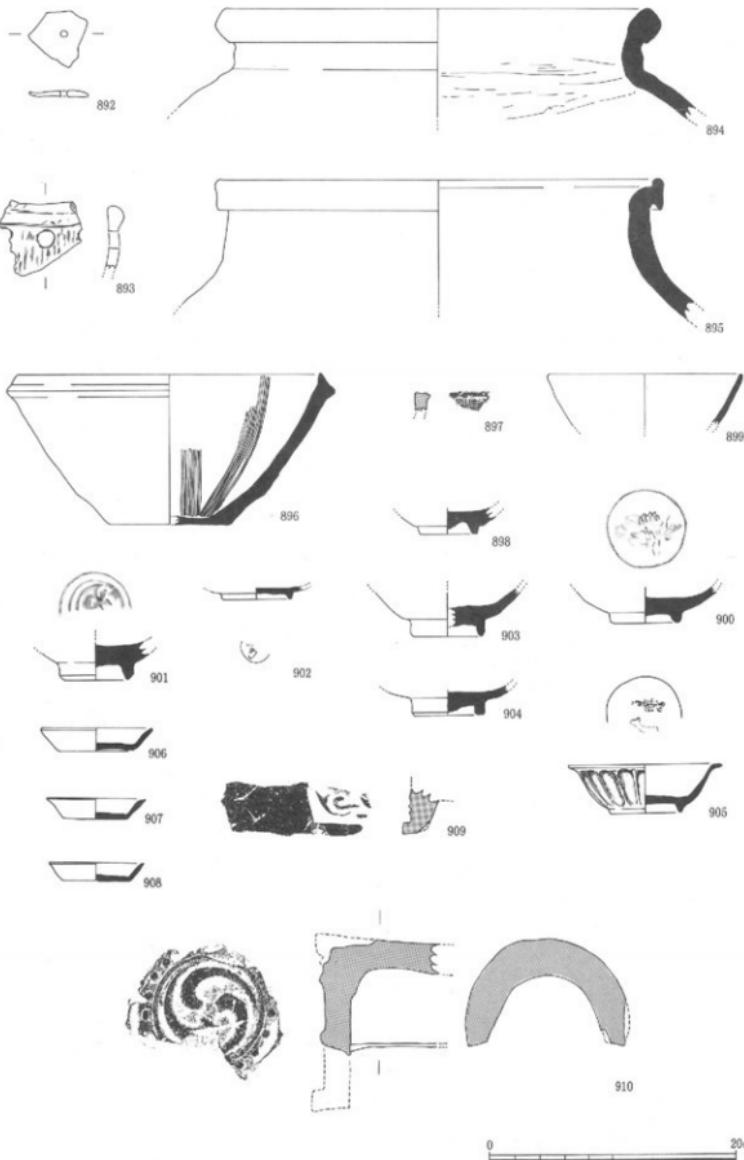
第113図 A 2 区 南端落込み301出土遺物



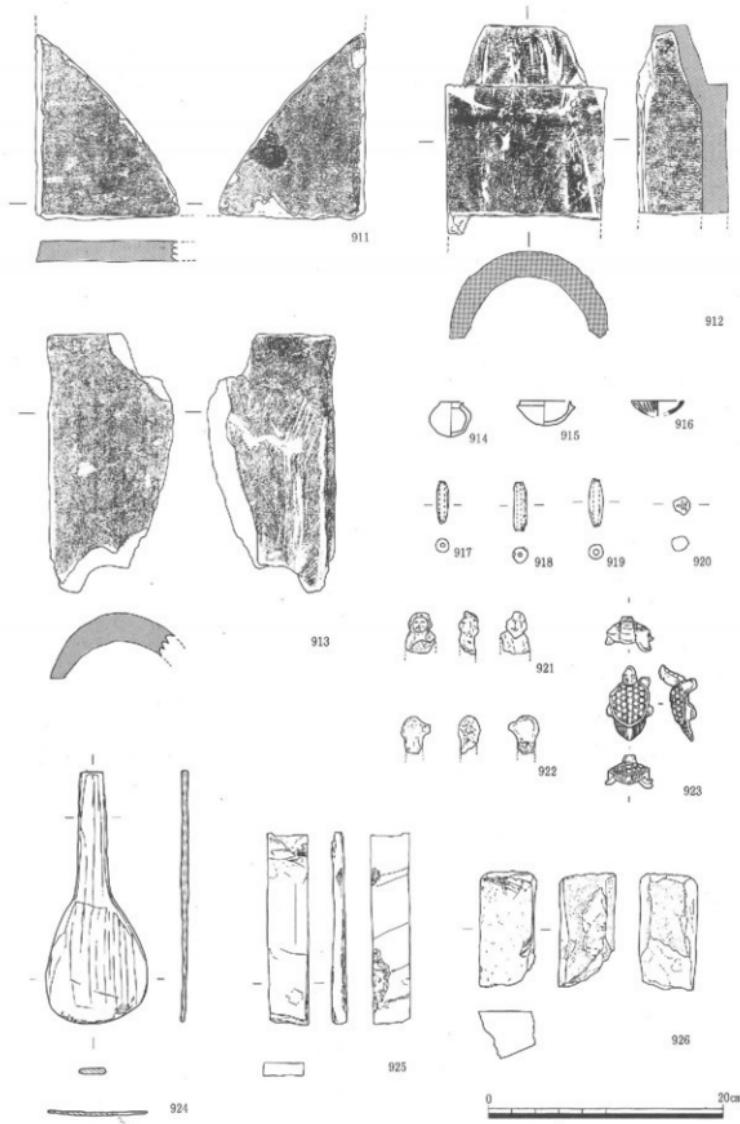
第114図 A 2 区 第3遺構面柱穴 (SP) 出土遺物

1 黒色粘土混じり灰色粘質シルト 1 淡灰黄色粘質シルト
(鉄分を含む) 1 暗灰緑色粘質シルト

第115図 A 2 区 第3遺構面柱穴 (SP)



第116図 A 2区 包含層・その他出土遺物(1)



第117図 A 2区 包含層・その他出土遺物(2)



第118図 A 2 区 包含層・その他出土遺物(3)

第4項 A 3区の調査成果

1. 第1遺構面

基本層序第5層をベース面として検出した。溝、土坑、柱穴、鍛溝などを検出し、それに伴い遺物も出土している。標高はT.P. +0.3m前後を測る。

〔溝〕

SD-101

調査区の西部で検出した。北側ではほぼ東西に走り、西側で屈曲して南下し調査区を巡る様相を呈している。北側では幅広で、不定形な形態ではあるが幅1.1mを測り、南下するに従って幅0.2mとなり、途切れる様相を示しながら終わる。深さは0.05~0.09mと浅い。埋土は1層で、灰色粘質シルトである。遺物は瓦器楕、土師器皿、瓦質土器などが出土している。

SD-102

SD-101よりもさらに調査区の外側において検出し、SD-101と平行に走る。A 1区のSD-109などと一連をなすものであり、調査区周辺を巡る様相を示すものである。幅は南側で1.5~2.0mを測るが、北側では現代の水路に切られているため明らかでない。深さは0.15~0.2mと比較的浅い。埋土は2層で灰色シルト、暗灰色粘質シルトでそれぞれ鉄分を含んでいる。遺物は比較的まとまって出土しており、瓦器楕、土師器皿、須恵器、東播系須恵器、瓦質羽釜・火鉢、陶器、青磁などが出土している。

SD-103（第119、120図）

調査区南部で検出した。東西に走る。幅0.8m~1.7m、深さは東端で0.03m、西端で0.2mを測り、西側に向かって深くなる様相を呈している。埋土は2層で灰色粘質シルト、暗灰色粘質シルトである。遺物はまとまって出土しており、瓦器楕、土師器皿、甕・鉢、東播系須恵器、瓦質土器、陶器の他、炭片なども出土している。

SD-104

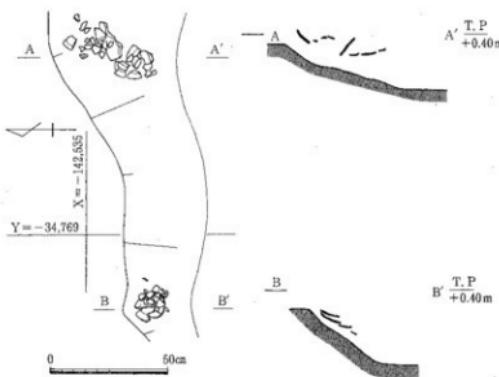
SD-103の南側で検出した。ほぼ東西に走る。検出長約3.9m、幅約0.6m、深さ0.1m前後を測る。埋土は2層で灰色粘質シルト、暗灰黄色粘質シルトである。遺物は出土していない。

SD-105

SD-103の北側で検出した。若干、湾曲しているが、ほぼ東西に走る。検出長約3.8m、幅0.4m、深さ0.2m前後を測る。埋土は1層でマンガンを含む灰黒色粘質シルトである。遺物は瓦器楕、土師器皿などが出土している。

SD-106（第121図）

SD-103の底面において検出した。検出長12.6m、幅0.6m、深さ0.2m~0.3mを測る。埋土は3層で灰色粘質シ



第119図 A 3区 SD-103遺物出土状況図

ルトで、炭を多量に含む灰黒色粘質シルト、暗灰黄色粘質シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿、東播系須恵器、瓦質羽釜、青磁、白磁の他、4～5枚が錆びて付着している錢貨、火を受けている石などが出土している。

SD-107

調査区北部で検出した。ほぼ東西に走る。検出長7.3m、幅0.4m、深さ0.15m前後を測る。埋土は1層で鉄分、マンガンを含む灰色粘質シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿などが出士している。

SD-108

F 4～5区にかけて検出した。ほぼ東西に走る。規模はSK-124などに切られているため明らかではないが、幅0.7m、深さ0.1m前後を測る。埋土は1層で暗灰黄色粘質シルトである。遺物は土師器皿、東播系須恵器、瓦質羽釜などが出土している。

SD-109 (第121図)

F 5区で検出した。若干、湾曲しているが、ほぼ東西に走る。検出長約3.3m、幅0.6m、深さ0.1m前後を測る。埋土は1層で暗灰色粘質シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿、瓦質三足釜などが出土している。
〔土坑〕

SK-101

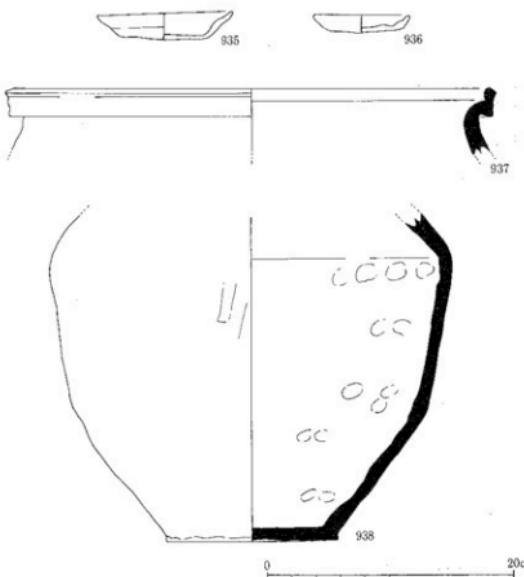
C 5区で検出した。形態は楕円形を呈し、長径0.45m、短径0.27m、深さ0.1mを測る。埋土は1層で灰色粘質シルトである。遺物は須恵器が出土している。

SK-102

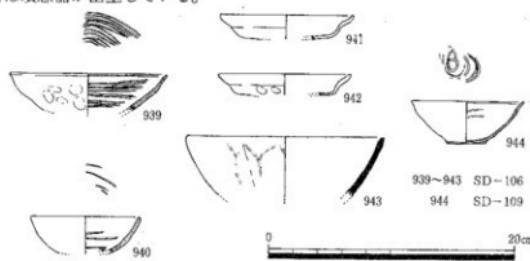
C 5～6区にかけて検出した。形態は動溝に切られてはいるが、楕円形を呈するものと思われ、長径0.7m、短径0.6m、深さ0.06mを測る。遺物は出土していない。

SK-103 (第123図)

C 5～6区にかけて検出し



第120図 A 3区 SD-103出土遺物



第121図 A 3区 SD-106・109出土遺物

た。形態は隅丸長方形を呈し、長径2.2m、短径0.6m、深さ0.08mを測る。埋土は1層でマンガンを含む灰色粘質シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿、瓦質土器の他、砥石なども出土している。

S K - 104

D 5 区で検出した。形態は楕円形を呈し、長径0.53m、短径0.18m、深さ0.1mを測る。遺物は瓦器椀、土師器皿が出土している。

S K - 105

D 5 区で検出した。形態は不定形を呈し、最大長1.9m、最大幅0.74m、深さ0.05mを測る。埋土は1層で灰色粘質シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿、瓦質土器が出土している。

S K - 106

D 5 区で検出した。形態は不定形を呈し、最大長1.5m、最大幅0.47m、深さ0.12mを測る。埋土は1層で灰色粘質シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿、瓦質土器のほか、炭片なども出土している。

S K - 107 (第122、123図)

D 5 区で検出した。形態は不定形を呈し、最大長1.2m、最大幅0.57m、深さ0.06mを測る。埋土は1層で灰色粘質シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿、瓦質土器のほか、炭片などが出土している。

S K - 108

D 5 ~ E 5 区にかけて検出した。形態は楕円形を呈し、長径1.7m、短径0.6m、深さ0.13mを測る。埋土は1層で暗灰褐色粘質シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿などが出土している。

S K - 109

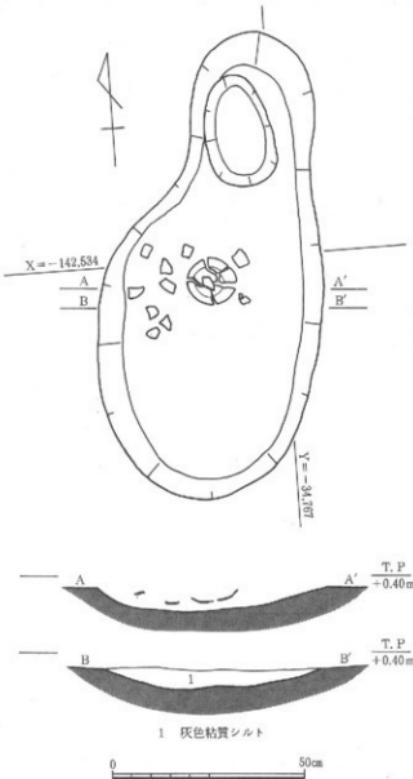
F 5 ~ 6 区にかけて検出した。形態は S D - 103 に切られているため明らかでないが、深さ0.12mを測る。埋土は2層で灰色粘質シルト、暗灰色粘質シルトで、それぞれ鉄分、マンガンを含む。遺物は瓦器椀、土師器皿、瓦質壺などが出土している。

S K - 110

G 5 ~ 6 区にかけて検出した。形態は不整な楕円形を呈し、長径1.4m、短径0.16m、深さ0.12mを測る。埋土は2層で灰色シルト、暗灰色粘質シルトで、それぞれ鉄分、マンガンを含む。遺物は出土していない。

S K - 111

G 5 ~ 6 区にかけて検出した。形態は S K - 148 に切られているため明らかでないが、深さ0.06mを測る。埋土は1層で鉄分を含む灰



第122図 A 3 区 S K - 107平面・断面・遺物出土状況図

色粘質シルトである。遺物は出土していない。

S K - 112

G 5 ~ 6 区にかけて検出した。形態はほぼ円形を呈し、径0.55m、深さ0.08mを測る。埋土は1層で鉄分、マンガンを含む淡灰色粘質シルトである。遺物は出土していない。

S K - 113

G 5 ~ H 5 区にかけて検出した。形態は側溝に切られていはいるが、楕円形を呈するものと思われ、短径0.6m、第123図 A 3 区 SK - 103・107出土遺物深さ0.08mを測る。遺物は瓦器椀、土師器皿、須恵器などが出土している。

S K - 114

E 5 区で検出した大型のものである。形態は側溝に切られてはいるが、不整な楕円形を呈するものと思われ、短径2.6m、深さ0.2mを測る。埋土は1層で鉄分、マンガンを含む暗灰色粘質土シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿、瓦質火鉢などが出土している。

S K - 115 (第124、125図)

F 5 区で検出した。形態は側溝に切られているため明らかでないが、深さ0.05mを測る。埋土は1層で灰色粘質シルトである。遺物は比較的まとまって出土しており、瓦器椀、土師器皿、須恵器甌、東播系須恵器、瓦質甌・火鉢、陶器の他、焼土塊なども出土している。

S K - 116

D 4 区で検出した。形態はほぼ円形を呈し、径0.6m、深さ0.12mを測る。埋土は1層で鉄分、マンガンを含む灰色粘質シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿などが出土している。

S K - 117

C 3 ~ 4 区にかけて検出した大型のものである。形態は側溝に切られてはいるが、不定形を呈するものと思われ、最大幅1.7m、深さ0.12mを測る。埋土は1層で鉄分、マンガンを含



第124図 A 3 区 SK - 115平面・断面・遺物出土状況図



第125図 A 3 区 SK-115出土遺物

む暗灰色粘質シルトである。遺物は瓦器榠、土師器皿、東播系須恵器、瓦質三足釜、陶器、白磁の他、焼土塊などが出土している。

S K - 119

D 3～4区にかけて検出した大型のものである。形態は側溝に切られてはいるが、楕円形を呈するものと思われ、短径1.9m、深さ0.14mを測る。埋土は2層で灰色粘質シルト、暗灰褐色粘質シルトである。遺物は瓦器榠、土師器皿、陶器の他、焼土塊などが出土している。

S K - 120

E 4区で検出した。形態は鰐溝に切られてはいるが、隅丸長方形を呈するものと思われ、短径0.5m、深さ0.09mを測る。遺物は出土していない。

S K - 121

E 3～4区にかけて検出した。形態は不整な楕円形を呈し、長径1.7m、短径0.5m、深さ0.12mを測る。埋土は2層で灰色粘質シルト、暗灰黄色粘質シルトである。遺物は瓦器榠、土師器皿、瓦質三足釜などが出土している。

S K - 122

E 3～4区にかけて検出した。SK-123を切る。形態は楕円形を呈し、長径1.3m、短径0.5m、深さ0.21mを測る。埋土は2層で暗灰黄色粘質シルト、灰黒色粘質シルトである。遺物は瓦器榠、土師器皿、須恵器、瓦質土器などが出土している。

S K - 123

E 3～4区にかけて検出した大型のものである。SK-123に切られる。形態は不整な円形を呈し、径2.2m、深さ0.15mを測る。埋土は1層で鉄分、マンガンを多量に含む暗灰色粘質シルトである。遺物は出土していない。

S K - 124

F 4区で検出した。形態は楕円形を呈し、長径2.0m、短径1.3m、深さ0.11mを測る。埋土は1層で暗灰黄色粘質シルトである。遺物は瓦器榠、土師器皿・鍋、瓦質土器の他、炭片なども出土している。

S K - 125

F 4区で検出した。形態は楕円形を呈し、長径0.8m、短径0.5m、深さ0.09mを測る。埋土は1層で暗灰黄色粘質シルトである。遺物は出土していない。

S K - 127

F 4～5区にかけて検出した。形態は不定形を呈し、最大長1.0m、最大幅0.44m、深さ0.06mを測る。埋土は1層で暗灰黄色粘質シルトである。遺物は瓦器榠、土師器皿、東播系須恵器などが出土している。

S K - 128 (第126、127図)

F 3～4区にかけて検出した大型のものである。形態は鋤溝に切られてはいるが、不定形を呈するものと思われ、最大長3.0m、最大幅2.0m、深さ0.1mを測る。埋土は1層で鉄分、マンガンを含む暗灰黄色粘質シルトである。遺物は瓦器碗、土師器皿、東播系須恵器、瓦質摺鉢などが出士している。

SK-129

F 4区で検出した。形態はSD-103に切られてはいるが、梢円形を呈するものと思われ、短径0.55m、深さ0.1mを測る。埋土は1層で鉄分を含む暗灰黄色粘質シルトである。遺物は土師器皿が出士している。

SK-130

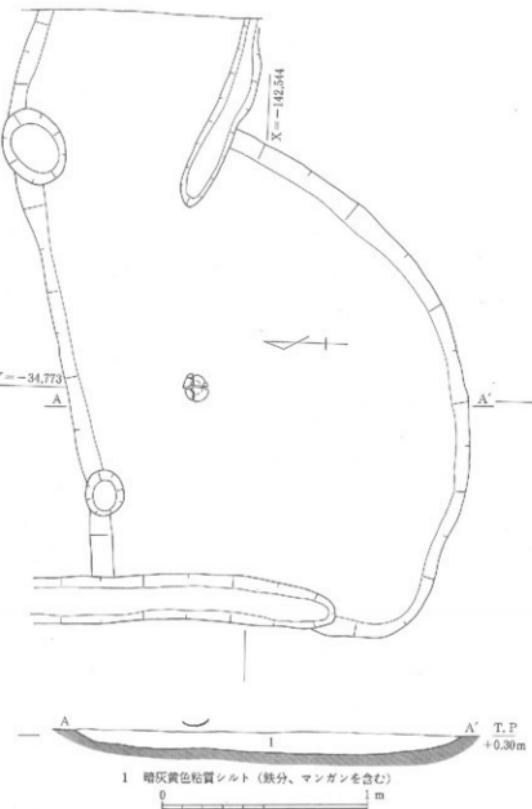
H 4区で検出した。形態は梢円形を呈し、長径0.6m、短径0.4m、深さ0.15mを測る。埋土は2層で鉄分を含む灰色粘質シルト、灰黄色粘質シルトである。遺物は瓦器碗、土師器皿などが出土している。

SK-131

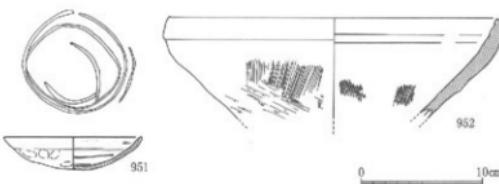
F 4区で検出した。形態は梢円形を呈し、長径0.6m、短径0.3m、深さ0.05mを測る。埋土は1層で鉄分、マンガンを含む灰色粘質シルトである。遺物は出土していない。

SK-132

B 3区で検出した。SD-101を切る。形態は不整な梢円形を呈し、長径1.7m、短径1.0m、深さ0.14mを測る。埋土は1層で灰褐色粘質シルトである。遺物は土師器皿が出士している。



第126図 A 3区 SK-128平面・断面・遺物出土状況図



第127図 A 3区 SK-128出土遺物

S K - 133

B 3 区で検出した。形態は不整な楕円形を呈し、長径1.0m、短径0.5m、深さ0.06mを測る。遺物は出土していない。

S K - 134

D 3 ~ E 3 区にかけて検出した。形態は不定形を呈し、最大長1.4m、最大幅1.3m、深さ0.07mを測る。埋土は1層で灰色粘質シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿、須恵器などが出土している。

S K - 135

D 3 ~ E 3 区にかけて検出した。形態は不定形を呈し、最大長1.8m、最大幅0.9m、深さ0.05mを測る。埋土は1層で灰色粘質シルトである。遺物は土師器皿が出土している。

S K - 136

E 3 区にかけて検出した。形態は鋤溝に切られているため明らかではないが、ほぼ不整な楕円形を呈するものと思われ、短径0.9m、深さ0.05mを測る。埋土は1層で淡灰黄色粘質シルトである。遺物は土師器皿が出土している。

S K - 137

E 3 区で検出した。形態は不整な隅丸長方形を呈し、長径2.0m、短径0.7m、深さ0.09mを測る。埋土は1層で灰色粘質シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿、陶器などが出土している。

S K - 138

F 3 区で検出した。形態はSD-102に切られているため明らかでないが、深さ0.06mを測る。埋土は1層で灰色粘質シルトである。遺物は土師器皿が出土している。

S K - 139

F 3 区で検出した。形態は鋤溝に切られてはいるが、不定形を呈するものと思われ、最大長1.3m、最大幅1.0m、深さ0.1mを測る。埋土は1層で暗灰色粘質シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿、陶器などが出土している。

S K - 140

F 3 区で検出した。形態は不整な楕円形を呈し、長径1.5m、短径0.9m、深さ0.08mを測る。埋土は1層で鉄分、マンガンを含む暗灰黄色粘質シルトである。遺物は出土していない。

S K - 141

G 3 区で検出した。形態は隅丸方形を呈し、径0.7m、深さ0.09mを測る。埋土は1層で灰色粘質シルトである。遺物は出土していない。

S K - 142

G 3 区で検出した。形態は楕円形を呈し、長径1.0m、短径0.6m、深さ0.06mを測る。埋土は1層で灰色粘質シルトである。遺物は出土していない。

S K - 143

G 3 区で検出した。形態は不整な楕円形を呈し、長径0.55m、短径0.45m、深さ0.03mを測る。埋土は1層で淡灰黄色粘質シルトである。遺物は出土していない。

S K - 144

F 3 、 G 2 ~ 3 区にかけて検出した。SD-102を切る。形態は不定形を呈し、最大長3.6m、最大幅1.0m、深さ0.07mを測る。遺物は瓦器椀、土師器皿、須恵器などが出土している。

S K - 145

E 3 区で検出した大型のものである。形態・規模は S K - 135、鋤溝などに切られているため明らかではないが、深さは0.05mを測る。埋土は1層で灰色粘質シルトである。遺物は土師器皿、須恵器甕、瓦質土器などが出土している。

S K - 146

D 5 区で検出した。形態、規模は鋤溝に切られているため明らかではないが、深さは0.04mを測る。遺物は土師器皿が出土している。

S K - 147 (第129図)

調査区中央や北側で検出した大型のものである。形態は不定形を呈し、最大長6.3m、最大幅5.7m、深さ0.18mを測る。埋土は1層で灰黒色粘質シルトである。遺物は瓦器梶、土師器皿、束播系須恵器、瓦質三足釜・火鉢、陶器、白磁が出土している。

S K - 148

G 6 区で検出した。形態、規模は側溝に切られたため明らかではない。深さは最新部で0.1mを測る。埋土は1層で灰色粘質シルトである。遺物は瓦器梶、土師器皿などが出土している。

S K - 149

C 4 区で S K - 147 の底面において検出した。形態・規模は S D - 107 に切られているため明らかではないが、ほぼ楕円形を呈するものと思われ、長径0.8m、深さ0.07mを測る。遺物は出土していない。

S K - 150 (第128、129図)

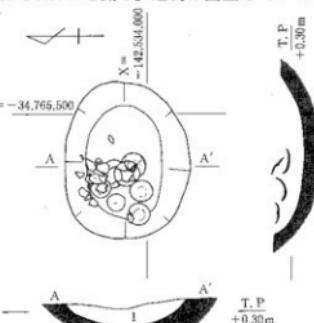
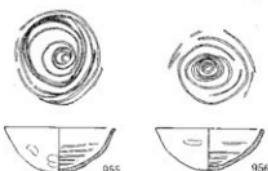
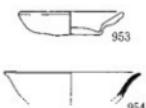
D 5 区で S K - 105 の底面において検出した。形態は楕円形を呈し、長径0.6m、短径0.5m、深さ0.1mを測る。埋土は1層で黄灰色シルト混じりの暗灰色粘質シルトである。遺物は比較的まとまって出土しており、瓦器梶、土師器皿、須恵器などが出土している。

S K - 151

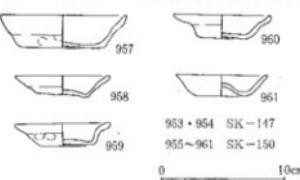
C 4 ~ D 4 区にかけて検出した。形態、規模は鋤溝に切られているため明らかではないが、ほぼ楕円形を呈するものと思われ、長径2.2m、深さ0.08mを測る。埋土は1層で淡灰黄色粘質シルトである。遺物は出土していない。

(落込み状遺構)

西端落込み101



第128図 A 3 区 SK - 150 平面・断面・遺物出土状況図

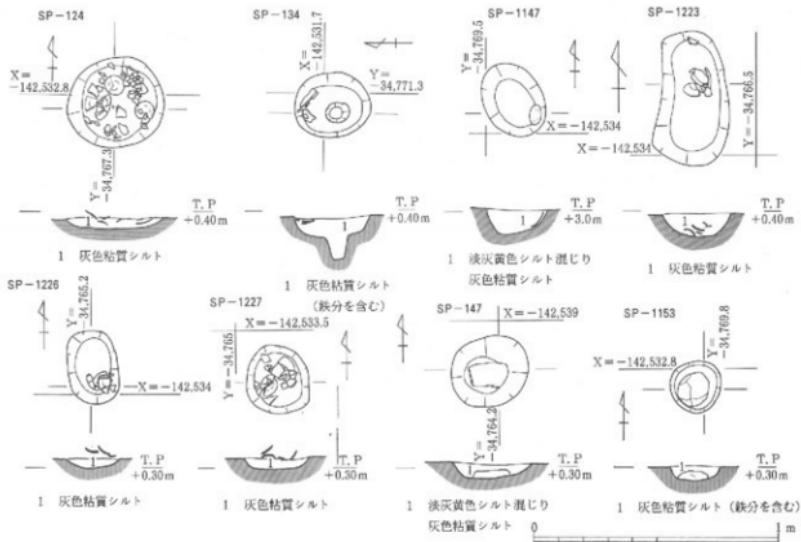


第129図 A 3 区 SK - 147 ・ 150 出土遺物

調査区西端の南半部で検出した。形態、規模は現在の水路に切られているため明らかではないが、最深部で0.2mを測る。埋土は1層で淡灰色粘質シルトである。遺物は出土していない。A1、2区における落ち込みと同様であると思われ、当時の水路における肩部の可能性が考えられる。

[柱穴 (S P) 群] (第130、131図)

調査区全域にわたって225基を検出した。その内、柱根、礎石が残存するものもあり、掘立柱建物、柵などを構成するものも確認し得た。また、埋納ピットと考えられるものも散見できた。



第130図 A 3 区 第1遺構面柱穴 (S P)



第131図 A 3 区 第1遺構面柱穴 (S P) 出土遺物

[鈎溝群]

調査区全域にわたって約40条ほど検出した。東西および南北に走るもので、痕跡程度のものが多数占めるが、特に南北に走る鈎溝は明瞭に残っており、等間隔で走っている。その間は約3mを測る。規模は幅0.2m前後、深さ0.05m前後を測り、埋土は灰~灰オリーブ色シルトが主体をなす。遺物は瓦器楕、土師器皿などが出土しているが、ほかのすべての遺構を切るものであり、相対的に新しいものである。

2. 第2遺構面

基本層序第6層をベース面として検出した。溝、土坑、柱穴、落込み状遺構などを検出し、それに伴い遺物も出土している。標高はT. P. +0.1~0.2mを測る。

〔溝〕

SD-201

B 3~4区にかけて検出し、ほぼ東西に走る。検出長1.45m、幅0.25m、深さ0.04前後を測り、埋土は1層で黒色粘土混じりの暗褐色粘質シルトである。遺物は出土していない。

SD-202

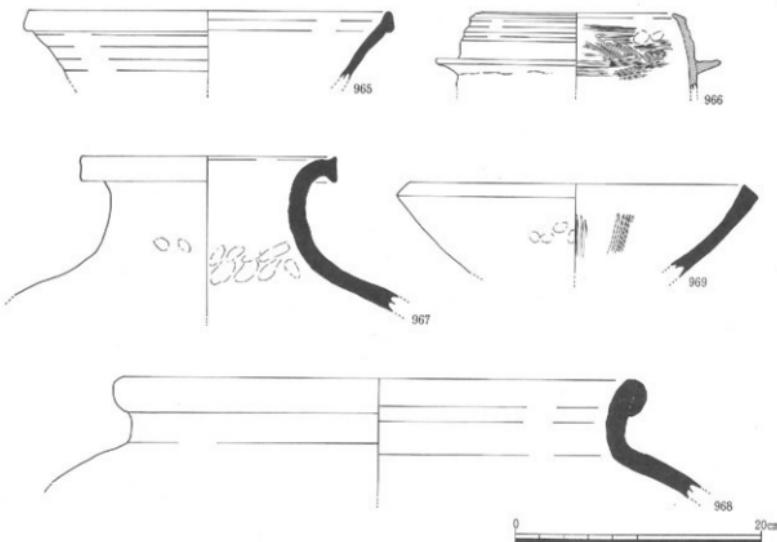
C 4区で検出し、ほぼ東西に走る。検出長2.2m、幅0.22m、深さ0.08前後を測り、埋土は1層で黄褐色粘質シルトである。遺物は出土していない。

SD-203（第132、133図）

調査区西端において、ほぼ南北に走る。SD-205を切るが、その延長線上にあり、調査区周辺を巡る様相を呈するものである。規模は幅2.0m前後、深さ0.3~0.5mを測る。埋土は3層で暗灰青色粘質シルト、暗灰色粘質シルト、灰緑色粘土である。遺物は比較的まとまって出土しており、瓦器壺、土師器皿・壺、須恵器壺、東播系須恵器、瓦質三足釜・羽釜・火鉢、陶器の他、火を受けている石なども出土している。

SD-204（第133~136図）

調査区西端において、SD-203の東側を切りながらほぼ平行して南北に走る。規模は幅1.0~1.5



第132図 A 3区 SD-203出土遺物

m、深さ0.9~1.1mを測る。埋土は5層で灰緑~緑灰色粘土が主体をなす。遺物はまとまって出土しており、瓦器楕、土師器皿、須恵器壺、東播系須恵器、瓦質壺・羽釜・火鉢・摺鉢、陶器の他、木片、火を受けている石、種子類などが出土している。

SD-205

調査区南西部において、ほぼ南北に走る。A 1 区の SD-203などと一連をなすものであり、調査区周辺を巡る様相を呈するものである。規模は幅1.9m、深さ0.1~0.4mを測る。埋土は2層で灰緑色粘土、灰オリーブ色粘土で、それぞれ黒色粘土ブロックが混じる。遺物は出土していない。

SD-206

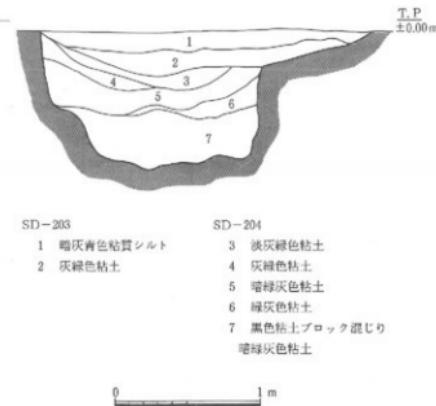
F 3 ~ G 3 区にかけて、南北に走り、北側で屈曲して東に向かって終わる。SD-207に繋がる。規模は幅0.5m、深さ0.15m前後を測る。埋土は1層で灰緑色粘土である。遺物は出土していない。

SD-207

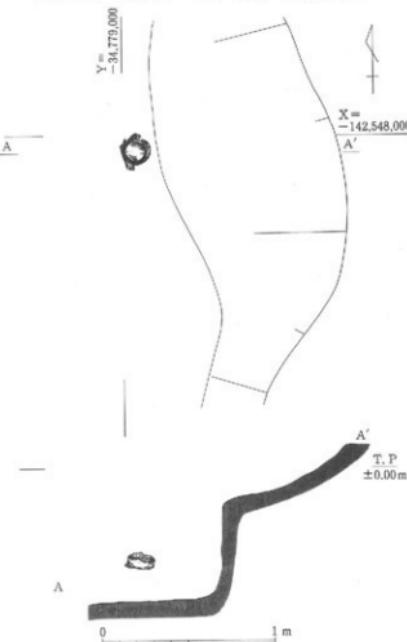
G 3 区において、東西に走り、SK-21 5に繋がる。規模は幅1.6m、深さ0.2m前後を測る。埋土は1層で灰緑色粘土である。遺物は出土していない。

SD-208 (第137図)

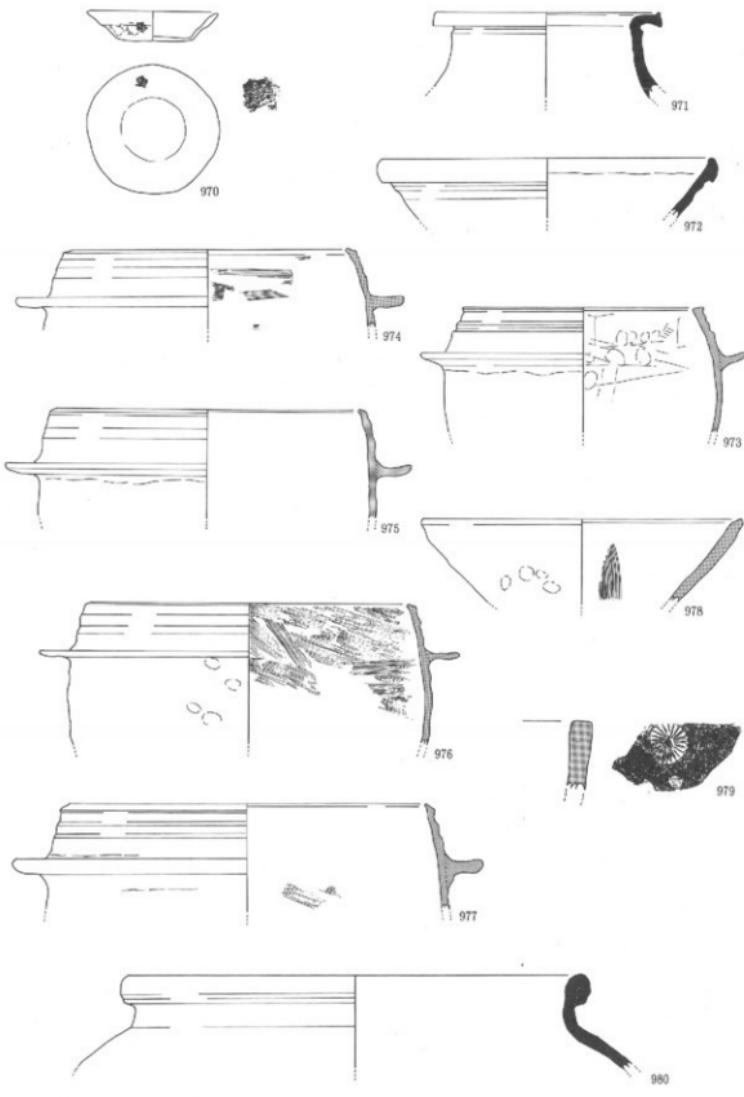
調査区北辺部で東西に走る。A 1 区の SD-201などと一連をなすものであり、調査区周辺を巡る様相を呈するものである。規模は幅3.4m、深さは西側で0.5m、東側で0.7mを測り、東に向かって深くなる様相を示す。埋土は灰緑色粘土、灰オリーブ色粘土、黒灰色粘土、黒色粘土がブロック状に混合しており、煩雑な堆積状況である。遺物は比較的まとまって出土しており、瓦器楕、土師器皿、東播系須恵器、瓦質壺・三足釜・火鉢、陶器の他、木片、火を受けている石、種子類などが出土している。



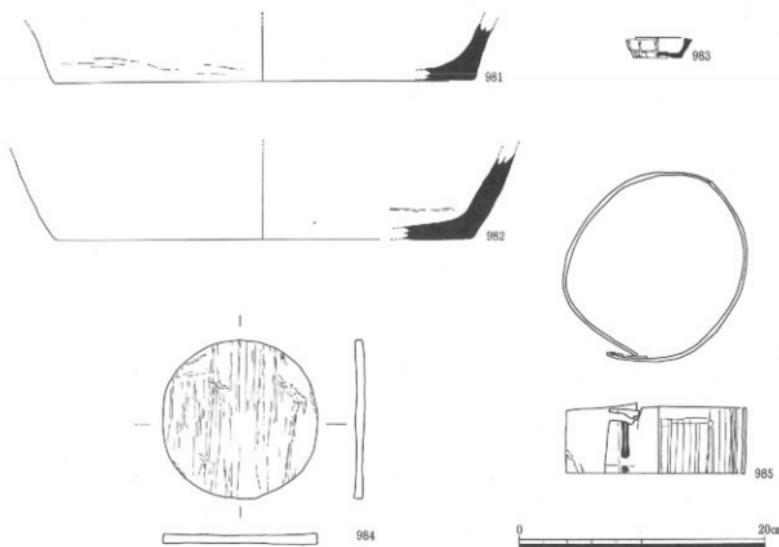
第133図 A 3区 SD-203・204断面図



第134図 A 3区 SD-204遺物出土状況図



第135図 A 3区 SD-204出土遺物(1)



第136図 A 3区 SD-204出土遺物(2)

(土坑)

SK-201

A 3～B 3区にかけて検出した。形態、規模は北端落込み201に切られているため明らかではないが、最深部で0.08mを測る。埋土は1層で鉄分を含む暗灰色粘質シルトである。遺物は出土していない。

SK-202

A 3～4、B 3～4区にかけて検出した。形態、規模は北端落込み201に切られているため明らかではないが、最深部で0.06mを測る。埋土は1層で黒色粘土ブロック混じりの淡青灰色粘質シルトである。遺物は出土していない。

SK-203

B 5区で検出した。SD-208を切る。形態は隅丸長方形を呈し、長径3.3m、短径1.2m、深さ0.7mを測る。埋土は3層で茶褐色粘質シルト、黒色粘土混じりの青灰色粘土、黒色粘土混じりの暗灰緑色粘土である。遺物は土師器皿、東播系須恵器、瓦質羽釜・火鉢、陶器などが出土している。

SK-204

B 5～6区にかけて検出した。形態はSD-203に切られるが隅丸長方形を呈するもので、長径2.2m、短径1.5m、深さ0.4mを測る。埋土は2層で暗灰色粘質シルト、暗緑灰色粘土でそれぞれ黒色粘土ブロックが混じる。遺物は出土していない。

SK-205 (第138図)

B 5～C 5区にかけて検出した。SD-208を切る。形態は隅丸方形を呈し、径1.0m、深さ0.2m

を測る。埋土は1層で黒色粘土ブロック混じりの淡灰黄色粘質シルトである。遺物は瓦器楕、土師器皿の他、堅果類と思われるものも出土している。

SK-206

C 4～D 4区にかけて検出した。形態はSK-207に切られるが、隅丸長方形を呈するものと思われ、長径2.6m、深さ0.46mを測る。埋土は3層で黒色粘土ブロック混じりの暗灰色粘質シルト、淡黄色砂質土、黒色粘土ブロック混じりの暗灰緑色粘土である。遺物は瓦器楕、土師器皿、東播系須恵器、瓦質火鉢などが出土している。

SK-207

C 4～5、D 4区にかけて検出した。形態は不整な隅丸長方形を呈し、長径4.4m、短径0.9m、深さ0.5mを測る。埋土は1層で黒色粘土ブロック混じりの灰色粘質シルトである。遺物は出土していない。

SK-208

D 3～E 3区にかけて検出した。形態は隅丸方形を呈し、径0.6m、深さ0.2mを測る。埋土は1層で黒色粘土ブロック混じりの灰緑色粘質シルトである。遺物は瓦器楕・皿、土師器皿などが出土している。

SK-209

E 3区で検出した。形態は不定形を呈し、最大長0.85m、最大幅0.6m、深さ0.1mを測る。埋土は1層で灰緑色粘質シルトブロック混じりの黒色粘土である。遺物は出土していない。

SK-210

E 3区で検出した。形態はSK-210に切られるが、橢円形を呈するものと思われ、短径0.95m、深さ0.06mを測る。埋土は1層で灰オリーブ色粘質シルトである。遺物は出土していない。

SK-211

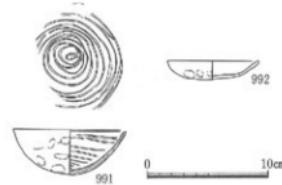
E 3区で検出した。形態は橢円形を呈し、長径0.8m、短径0.25m、深さ0.1mを測る。埋土は1層で灰緑色粘質シルトブロック混じりの黒色粘土である。遺物は出土していない。

SK-212

E 3区で検出した。形態は不定形を呈し、最大長2.4m、最大幅0.85m、深さ0.07mを測る。埋土は



第137図 A 3区 SD-208出土遺物



第138図 A 3区 SK-205出土遺物

1層で灰オリーブ色粘質シルトである。遺物は土師器皿が出土している。

S K - 213

F 5 区で検出した。形態、規模は上層遺構に切られているため明らかではないが、最深部で0.07mを測る。埋土は1層で暗灰色粘質シルトである。遺物は出土していない。

S K - 214

G 5 ~ 6、H 5 ~ 6 区にかけて検出した。形態、規模は側溝に切られているため明らかではないが、最深部で0.09mを測る。埋土は1層で暗青色粘土である。遺物は出土していない。

S K - 215 (第139図)

G 3 ~ 4、H 3 ~ 4 区にかけて検出した。SD - 207に繋がる。形態は不定形を呈し、最大長7.5、最大幅4.8m、深さ0.22mを測る。埋土は1層で灰緑色粘土である。遺物は東播系須恵器などが出土している。

S K - 216

G 2 ~ 3、H 2 ~ 3 区にかけて検出した。SD - 205を切る。形態は隅丸長方形を呈し、長径2.3m、短径1.0m、深さ0.15mを測る。埋土は1層で黒色粘土混じりの暗灰オリーブ色粘質シルトである。遺物は土師器皿が出土している。

〔落込み状遺構〕

北端落込み201

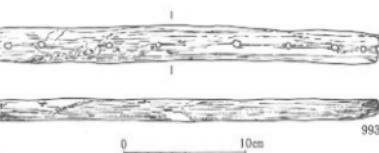
A 1 区の北端落込み201と一連をなすものである。最深部では0.6mを測る。埋土は2層で鉄分を含む緑灰色粘土、黒色粘土混じりの暗緑灰色粘土である。遺物は瓦器椀、土師器皿、須恵器甕、東播系須恵器、瓦質羽釜、陶器の他、木片、鉄製品などが出土している。

西端落込み201

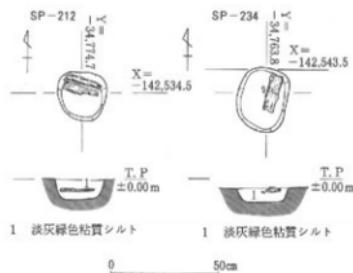
南半部でわずかに検出した。最深部で0.3mを測る。埋土は2層で暗灰青色粘土、緑灰色粘土である。遺物は出土していない。

〔柱穴群 (S P)〕(第140図)

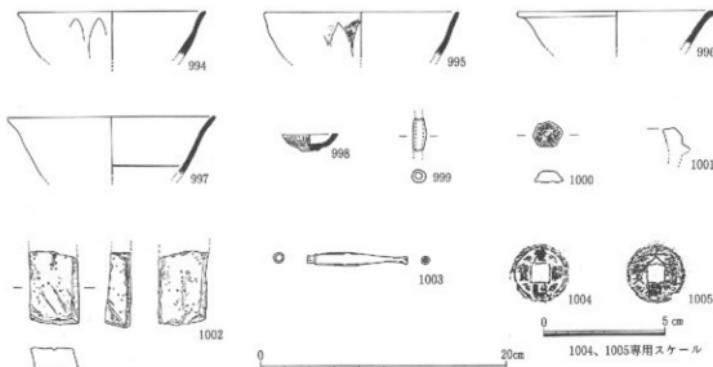
調査区全域にわたって38基検出した。第1遺構面同様に掘立柱建物、檻を構成するもの、また、柱根が遺存するものも見られた。



第139図 A 3 区 S K - 215出土遺物



第140図 A 3 区 第2遺構面柱穴 (S P)



第141図 A 3 区 包含層・その他出土遺物

第5項 A 4区の調査成果

1. 第1遺構面

基本層序第5層をベース面として検出した。溝、落込み状遺構などを検出し、それに伴い遺物も出土している。標高はT.P. +0.2~0.3m前後を測る。

〔溝〕

SD-101 (第142図)

ほぼ調査区全域にわたって検出し、A 1区で検出したSD-101、SD-109と一緒にをなすものである。この検出により、これらの溝が調査区周辺を巡ることが明らかになった。コーナーはほぼ直角に屈曲している。幅はA 1区のSD-101とあわせて6.5m前後、深さは0.1~0.2mを測り、埋土は1層で黒灰色粘土ブロック混じりの灰オリーブ色粘土である。遺物は瓦器碗、土師器皿、東播系須恵器、瓦質土器、陶器の他、銭貨が2枚付着したものも出土している。

〔落込み状遺構〕

南端落ち込み101

現在の水路に落ち込んでいくもので、A 3区の西端落ち込み-101などと同様のものであろうと思われる。最深部で0.3mを測り、埋土は1層で緑灰色粘土である。遺物は出土していない。

2. 第2遺構面

基本層序第6層をベース面として検出した。溝、土坑、柱穴、落込み状遺構などを検出し、それに伴い遺物も出土している。標高はT.P. +0.1m前後を測る。

〔溝〕

SD-201

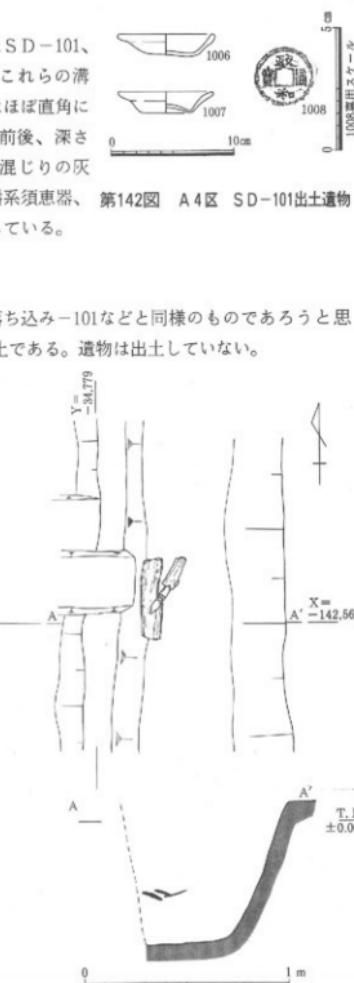
調査区北側で検出した。A 1区のSD-102の南肩部に相当するものである。規模はA 1区のSD-102とあわせて幅2.7m、深さ0.5mを測り、埋土は2層で黒色粘土ブロック混じりの暗灰オリーブ色粘土、青灰色粘土ブロック混じりの黒色粘土である。遺物は瓦器碗、土師器皿の他、木片などが出土している。

SD-202 (第143、144図)

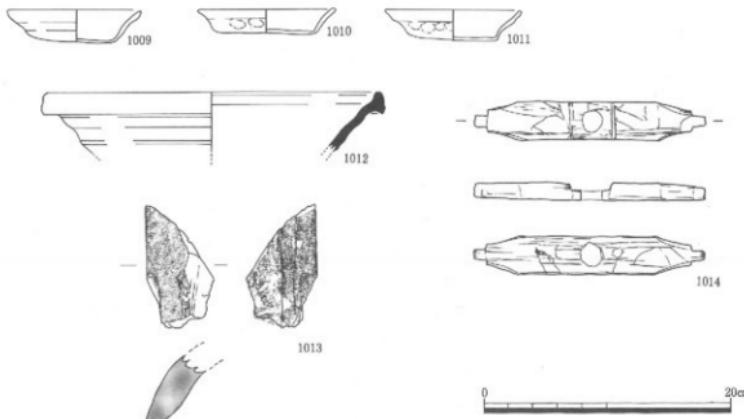
A 1区のSD-203と一緒にをなすものである。調査区周辺を巡る様相を呈するものであるが、東側においては調査区側溝内で終わっている。規模は落ち込み状遺構に切られているため明らかではないが、深さは北西部で0.7m、南東部分で0.9mを測る。埋土は4層で緑灰~暗灰色粘土が主体をなす。遺物は瓦器碗、土師器皿、東播系須恵器、陶器、瓦などが出土している。

〔土坑〕

SK-201



第143図 A 4区 SD-202遺物出土状況図



第144図 A 4 区 SD-202出土遺物

J 3 区で検出した。形態、規模はSD-202に切られているため明らかでないが、最深部で0.13mを測る。埋土は1層で黒色粘土ブロック混じりの淡灰青色粘質シルトである。遺物は出土していない。SK-202（第145図）

J 3 区で検出した。形態はやや不整な隅丸方形を呈し、径0.8m、深さ0.63mを測る。埋土は3層で、黒色粘土混じりの暗灰黄色粘質シルト、黒色粘土混じりの暗灰色粘土、黒色粘土と暗灰色粘土ブロック混じりの緑灰色粘土である。遺物は瓦器椀、土師器皿、東播系須恵器などが出土している。

S K - 203

J 4 区で検出した。形態はやや不整な隅丸長方形を呈し、長径0.9m、短径0.8m、深さ1.0mを測る。埋土は2層で、黒色粘土混じりの灰黑色粘質シルト、暗緑灰色粘土ブロックと黒灰色粘土ブロックの混合層である。遺物は土師器皿、東播系須恵器、瓦質甕・三足釜の他、木片なども出土している。

S K - 204

A 1 区の SK-201 と一体となるもので、形態、規模、埋土などは先述のとおりである。遺物は土師器皿、瓦質土器、白磁などが出土している。

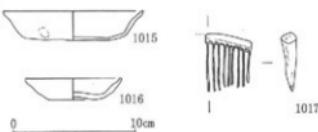
〔落込み状遺構〕

西端落込み201（第146図）

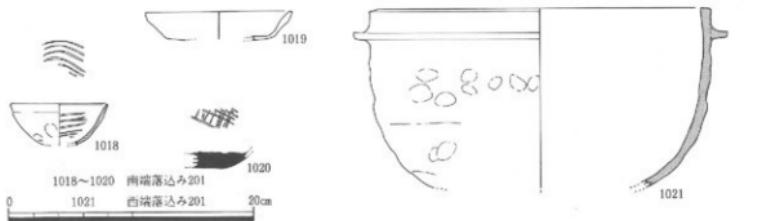
これまで述べてきた落込み状遺構と同様のものである。最深部で1.1mを測り、埋土3層で黒色粘土ブロック混じりの暗灰オリーブ色粘質シルト、暗緑灰色粘土、緑灰色粘土である。遺物は瓦器椀、土師器皿、瓦質甕・三足釜、陶器、瓦などが出土している。

南端落込み201（第146図）

これまで述べてきた落込み状遺構と同様のものである。最深部で1.0mを測り、埋土6層で灰緑色



第145図 A 4 区 SK-202出土遺物



第146図 A 4 区 南端落込み201・西端落込み201出土遺物

～暗灰色粘土が主体をなす。遺物は瓦器椀、土師器皿、瓦質羽釜・火鉢、陶器、瓦の他、木片、火を受けている石などが出土している。

〔柱穴群 (S P)〕

S D - 202上面で1基のみ検出した。形態は円形を呈し、径0.4m、深さ0.09mを測る。埋土は1層で暗灰色粘土ブロック混じりの淡灰色粘土である。遺物は出土していない。



第147図 A 4 区 包含層出土遺物

第6項 A地区の集落関係遺構

A 1～4区においては各遺構面で多数の柱穴を検出し、総数として掘立柱建物23棟、9列の柵を復元することができた。これまで各遺構の詳細については各区ごとに行なってきたが、地区を越えて構成するものもあることからA地区全体で整理し、また層位的にも3面に分かれることから上面から第1面、第2面、第3面とし、それぞれの面ごとに遺構番号を付した。以下、詳細を述べる。

1. 第1面（第150図）

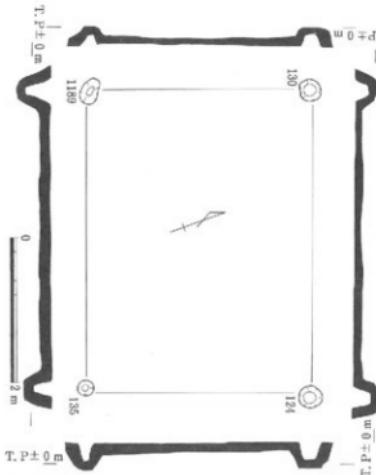
（掘立柱建物）

S B - 101（第148図）

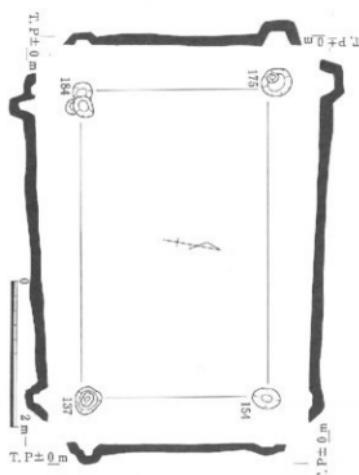
H 7～8、I 7～8区にかけて位置し、S B - 102と重複する。規模は桁行1間（4.2m）、梁行1間（3.0m）、面積は約12.6m²である。柱穴はほぼ円形を呈し径20～36cm、深さ20～25cmを測る。主軸方向はN-72°-Wである。遺物は瓦器・土師器皿・瓦質壺片などが出土している。

S B - 102（第149図）

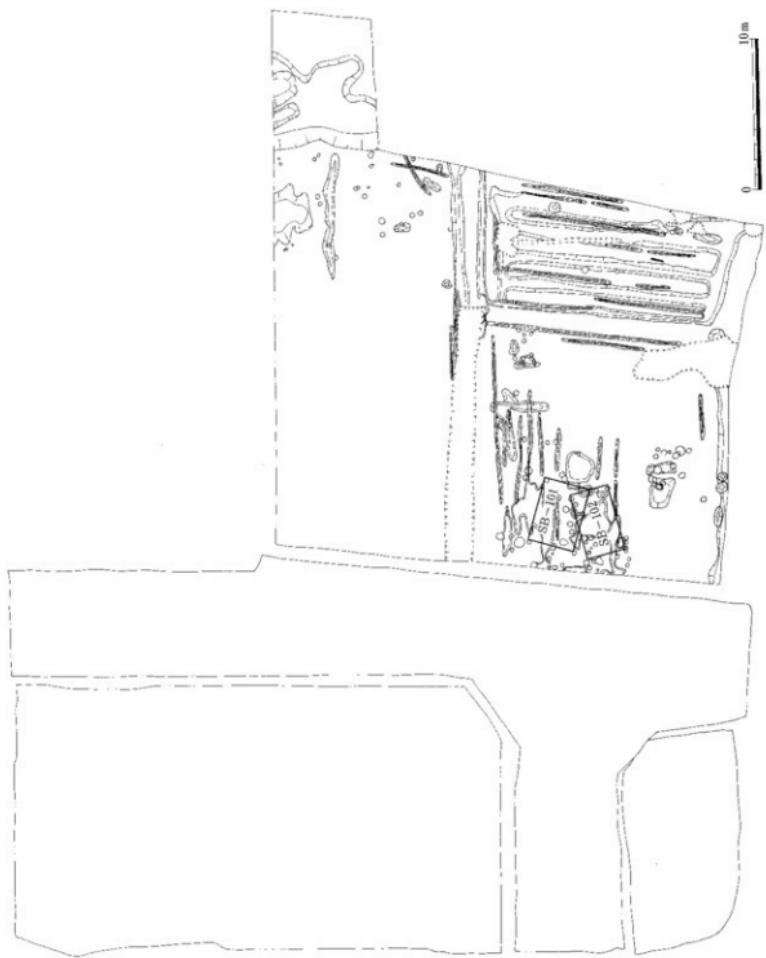
H 7～8、J 7区にかけて位置し、S B - 101と重複する。規模は桁行1間（4.4m）、梁行1間（2.6m）、面積は約11.4m²ある。柱穴はほぼ円形を呈し径28～40cm、深さ4.3～25.5cmを測る。主軸方向はN-78°-Eである。遺物は土師器皿・瓦質土器・陶器・青磁片の他、焼土なども出土している。



第148図 S B - 101平面・断面図



第149図 S B - 102平面・断面図



第150図 A地区第1面掘立柱建物配置図



第151図 A地区第2面掘立柱建物・排列配置図

2. 第2面（第151図）

〔掘立柱建物〕

S B - 201（第152図）

G 3～4、H 3～4区にかけて位置する。規模は桁行3間（6.5m）、梁行1間（3.3m）、面積は約21.5m²である。柱穴は梢円～円形を呈し径16～45cm、深さ3～17cmを測る。柱間は1.8～2.4mを測る。主軸方向はN-84°-Eである。遺物は土師器皿、須恵器片の他、焼土なども出土している。

S B - 202（第153図）

D 4～E 4区にかけて位置する。規模は桁行2間（4.3m）、梁行1間（2.9m）、面積は約12.5m²である。柱穴はほぼ円形を呈し径24～52cm、深さ8～22cmを測り、柱間は1.9～2.3mを測る。主軸方向はN-0°-Nである。遺物は瓦器榤、土師器皿などが出土している。

S B - 203（第154図）

C 5～6、D 5～6区にかけて位置する。規模は桁行2間（6.1m）、梁行1間（2.9m）、面積は約17.7m²である。柱穴は梢円～円形を呈し径16～28cm、深さ5～15cmを測り、柱間は2.8～3.0mを測る。主軸方向はN-90°-Eである。遺物は瓦器榤、土師器皿、陶器片などが出土している。

S B - 204（第155図）

C 6～7、D 6～7区にかけて位置する。規模は桁行2間（5.7m）、梁行2間（2.5m）、面積は約14.3m²である。柱穴は梢円～円形を呈し径15～52cm、深さ3～26cmを測り、柱間は桁側2.6～3.1m、梁側0.9～1.2mを測る。主軸方向はN-3°-Eである。遺物は瓦器榤、土師器皿、東播系須恵器、瓦質土器などが出土している。

S B - 205（第156図）

E 5～F 5区にかけて位置し、S B - 206と重複する。規模は桁行2間（5.4m）、梁行2間（2.9m）、面積は約15.7m²である。柱穴は梢円～円形を呈し径19～47cm、深さ5～20cmを測り、柱間は2.7m、梁側1.1～1.8mを測る。主軸方向はN-0°-Nである。遺物は瓦器榤、土師器皿、須恵器片などが出土している。

S B - 206（第157図）

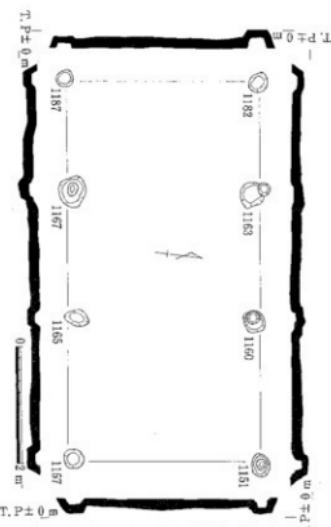
E 5～6、F 5～6区にかけて位置し、S B - 205と重複する。規模は桁行2間（4.8m）、梁行1間（3.9m）、面積は約18.7m²である。柱穴は梢円～円形を呈し径20～60cm、深さ5～27cmを測り、柱間は桁側2.1～2.7mを測る。主軸方向はN-90°-Eである。遺物は瓦器榤、土師器皿などが出土している。

S B - 207（第158図）

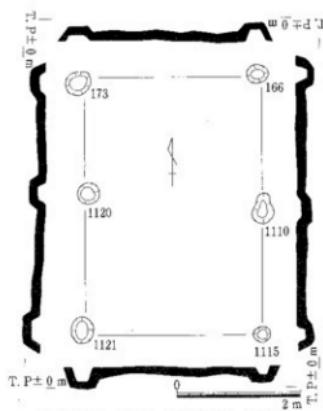
D 6～7、E 6～7区にかけて位置し、S B - 208と重複する。規模は桁行2間（5.0m）、梁行1間（3.0m）、面積は約15.0m²である。柱穴は梢円～円形を呈し径28～48cm、深さ19～31cmを測り、柱間は桁側2.5～2.7mを測る。またS P - 196・1175には礎石が残存していた。主軸方向はN-67°-Eである。遺物は瓦器榤、土師器皿・鍋、東播系須恵器の他、焼土なども出土している。

S B - 208（第159図）

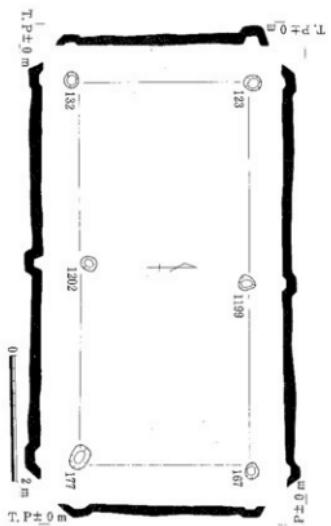
E 6～7、F 6～7区にかけて位置し、S B - 207・209と重複する。規模は桁行2間（6.1m）、梁行1間（3.2m）、面積は約19.5m²である。柱穴は梢円～円形を呈し径20～45cm、深さ7～26cmを測り、柱間は桁側3.0～3.1mを測る。またS P - 1216には柱材が残存していた。主軸方向はN-40°-Wである。遺物は瓦器榤、土師器皿、須恵器、瓦質三足釜片などが出土している。



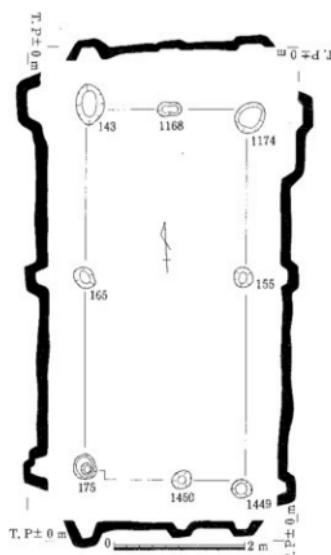
第152図 SB-201平面・断面図



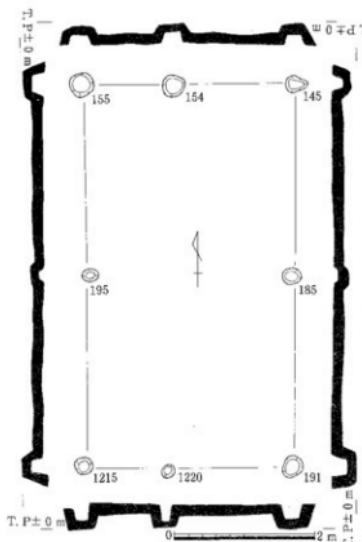
第153図 SB-202平面・断面図



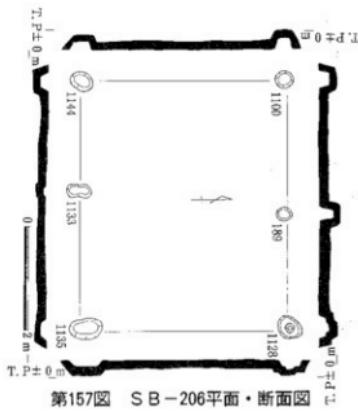
第154図 SB-203平面・断面図



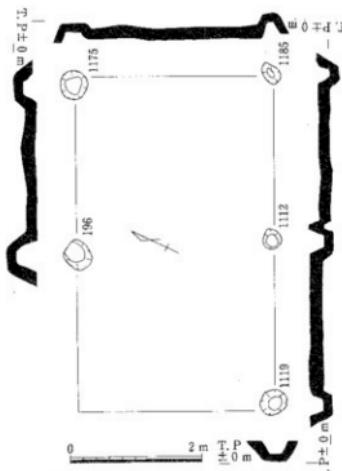
第155図 SB-204平面・断面図



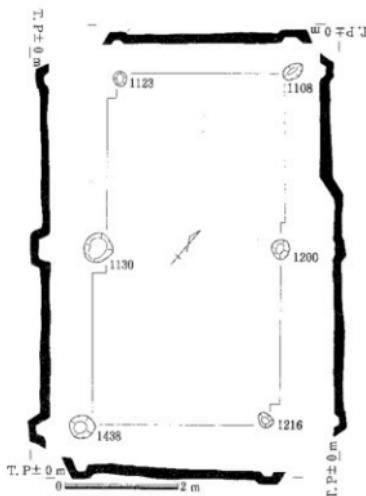
第156図 SB-205平面・断面図



第157図 SB-206平面・断面図



第158図 SB-207平面・断面図



第159図 SB-208平面・断面図

S B-209 (第160図)

E 6～7、F 6～7区にかけて位置し、S B-208と重複する。規模は桁行2間(5.1m)、梁行2間(4.2m)、面積は約21.4m²である。柱穴は楕円～円形を呈し径22～40cm、深さ5～16cmを測り、柱間は桁側2.4～2.5m、梁側2.0～2.2mを測る。またS P-1130には礎石、S P-1218には柱材が残存していた。主軸方向はN-0°-Nである。遺物は土師器皿片などが出土している。

S B-210 (第161図)

H 4～5、I 5～6区にかけて位置する。規模は桁行2間(4.7m)、梁行2間(3.7m)、面積は約17.4m²になるものと推定される。柱穴は楕円～円形を呈し径20～43cm、深さ5～18cmを測り、柱間は桁側2.0～2.7m、梁側1.7～1.8mを測る。またS P-1130には礎石、S P-1299には礎板が残存していた。主軸方向はN-55°-Eである。遺物は瓦器椀、土師器皿片などが出土している。

S B-211 (第162図)

H 5～7、I 5～7区にかけて位置する。規模は桁行2間(5.6m)、梁行2間(5.4m)、面積は約30.2m²である。柱穴は楕円～円形を呈し径22～45cm、深さ3～23cmを測り、柱間は桁側2.5～3.0m、梁側2.4～3.0mを測る。またS P-1349には礎石、S P-1396には柱材が残存していた。主軸方向はN-85°-Wである。遺物は瓦器椀、土師器皿片が出土している。

S B-212 (第163図)

H 7～8、I 7～8区にかけて位置し、S B-213・214と重複する。規模は桁行1間(6.6m)、梁行1間(3.6m)、面積は約23.8m²である。柱穴は楕円～円形を呈し径19～38cm、深さ7～13cmを測る。またS P-2132・2140は柱材が残存していた。主軸方向はN-48°-Wである。遺物は瓦器椀、土師器皿、瓦質甕片などが出土している。

S B-213 (第164図)

H 7～8、I 7～8、J 7区にかけて位置し、S B-212・214と重複する。規模は桁行2間(6.9m)、梁行1間(4.3m)、面積は約29.7m²である。柱穴は楕円～円形を呈し径21～80cm、深さ4～20cmを測り、柱間は桁側2.8～4.0mを測る。またS P-2141には礎石、柱材が残存していた。主軸方向はN-18°-Wである。遺物は土師器皿片が出土している。

S B-214 (第165図)

H 7～9、I 7～9区にかけて位置し、S B-212・213と重複する。規模は桁行3間(6.0m)、梁行3間(5.6m)、面積は約33.6m²になるものと推定される。柱穴は楕円～円形を呈し径25～60cm、深さ5～19cmを測り、柱間は桁側1.3～2.5m、梁側1.5～2.4mを測る。主軸方向はN-3°-Eである。遺物は瓦器椀、土師器皿片などが出土している。

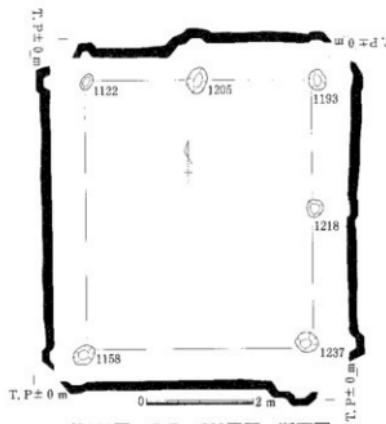
(欄)

S A-201

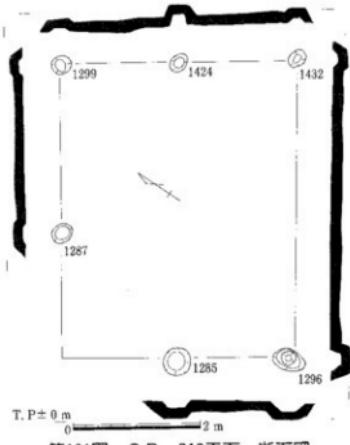
E 4区に位置する。規模は3間(4.4m)で、柱穴はほぼ楕円～円形を呈し径21～39cm、深さ5～21cmを測り、柱間は1.2～1.7mを測る。軸方向はN-0°-Nである。遺物は瓦器椀、土師器片などが出土している。

S A-202

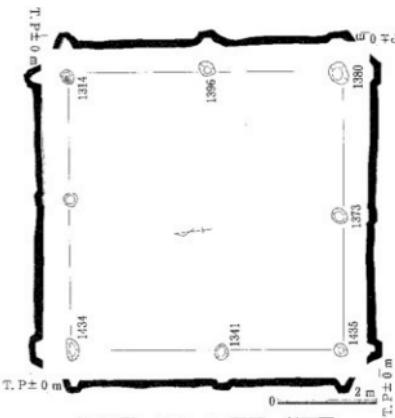
F 4～5区にかけて位置する。規模は4間(8.7m)で、柱穴はほぼ楕円～円形を呈し径18～27cm、深さ4～8cmを測り、柱間は2.0～2.5mを測る。軸方向はN-86°-Wである。遺物は瓦器椀、土師器片などが出土している。



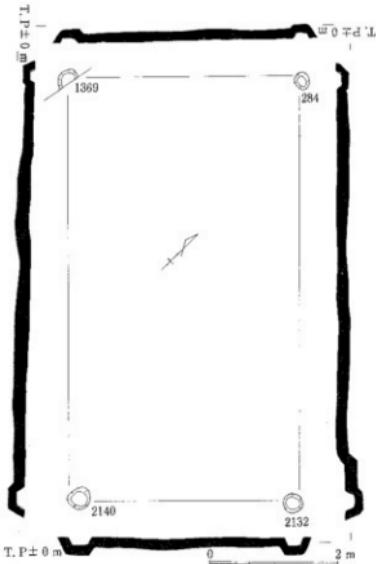
第160図 SB-209平面・断面図



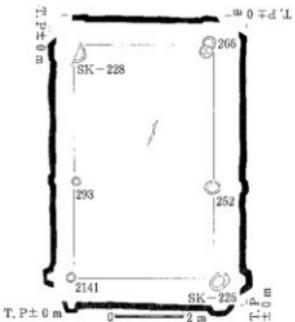
第161図 SB-210平面・断面図



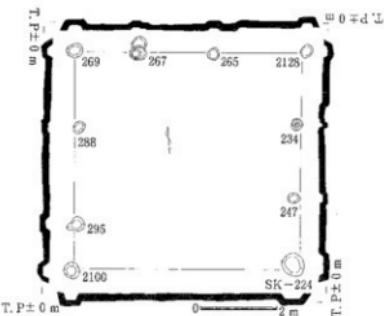
第162図 SB-211平面・断面図



第163図 SB-212平面・断面図



第164図 SB-213平面・断面図



第165図 SB-214平面・断面図

S A - 203

H 6~7区にかけて位置する。規模は2間(3.8m)で、柱穴はほぼ楕円～円形を呈し径25~32cm、深さ8~9cmを測り、柱間は1.9mを測る。軸方向はN-88°-Wである。遺物は土師器片が出土している。

S A - 204

H 5~6区にかけて位置し、S A - 205とほぼ直交してL字状を呈している。規模は2間(5.3m)で、柱穴はほぼ楕円～円形を呈し径26~40cm、深さ9~18cmを測り、柱間は2.6~2.5mを測る。軸方向はN-87°-Wである。遺物は瓦器椀、土師器片などが出土している。

S A - 205

H 5~I 5区にかけて位置し、S A - 204とほぼ直交してL字状を呈している。規模は3間(7.0m)で、柱穴はほぼ楕円～円形を呈し径24~50cm、深さ8~22cmを測り、柱間は2.3~2.5mを測る。軸方向はN-50°-Eである。遺物は瓦器椀、土師器片などが出土している。

S A - 206

E 10~11、F 11区にかけて位置し、S A - 207とほぼ直交してL字状を呈している。規模は2間(5.4m)で、柱穴はほぼ楕円～円形を呈し径22~35cm、深さ9~16cmを測り、柱間は2.1~3.3mを測る。軸方向はN-49°-Wである。遺物は瓦器椀、土師器片が出土している。

S A - 207

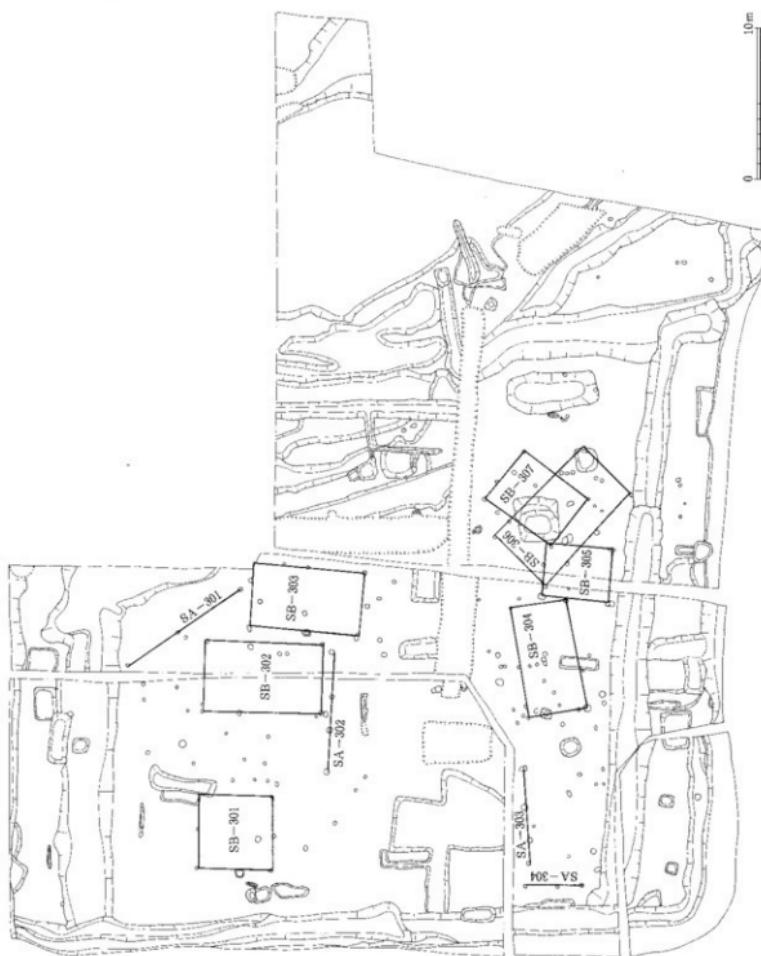
E 11~G 11区にかけて位置し、S A - 206とほぼ直交してL字状を呈している。規模は2間(4.5m)で、柱穴はほぼ楕円～円形を呈し径22~27cm、深さ9~14cmを測り、柱間は4.5mを測る。またS P - 1161には礎石が残存していた。軸方向はN-44°-Eである。遺物は出土していない。

S A - 208

H 9~I 9区にかけて位置し、S A - 209とほぼ直交してL字状を呈している。規模は3間(6.3m)で、柱穴はほぼ楕円～円形を呈し径25~32cm、深さ8~15cmを測り、柱間は1.7~2.4mを測る。またS P - 230には礎石が残存していた。軸方向はN-0°-Nである。遺物は瓦器椀、土師器片が出土している。

S A - 209

H 8~9区にかけて位置し、S A - 208とほぼ直交してL字状を呈している。規模は1間(1.7m)で、柱穴はほぼ楕円～円形を呈し径29~49cm、深さ8~22cmを測り、柱間は1.7mを測る。軸方向はN-88°-Wである。遺物は出土していない。



第166図 A地区第3面掘立柱建物・柵列配置図

3. 第3面（第166図）

〔掘立柱建物〕

S B - 301（第167図）

D 3～4、E 3～4区にかけて位置する。規模は桁行1間（4.9m）、梁行2間（4.8m）、面積は約23.5m²になるものと推定される。柱穴は梢円～円形を呈し径16～26cm、深さ6～10cmを測り、柱間は梁側2.1～2.5mを測る。主軸方向はN-1°-Eである。遺物は出土していない。

S B - 302（第168図）

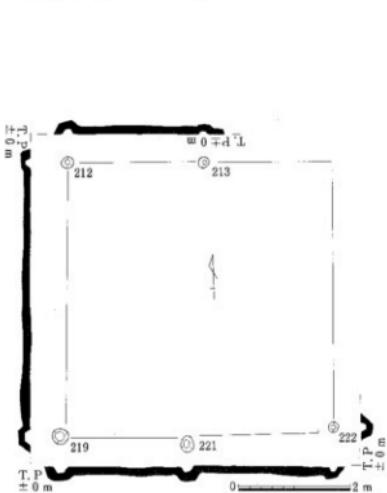
D 5～6、E 5～6区にかけて位置する。規模は桁行3間（7.7m）、梁行1間（4.6m）、面積は約35.4m²になるものと推定される。柱穴は梢円～円形を呈し径20～34cm、深さ7～14cmを測り、柱間は桁側2.5前後になるものと思われる。またS P - 210・232・264には柱材、275には礎板が残存していた。主軸方向はN-4°-Eである。遺物は出土していない。

S B - 303（第169図）

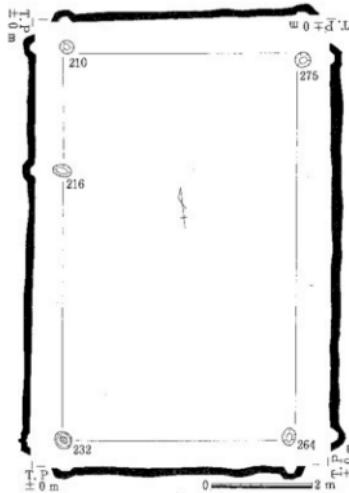
E 6～7、F 6～7区にかけて位置する。規模は桁行2間（6.9m）、梁行2間（4.2m）、面積は約29.0m²になるものと推定される。柱穴は梢円～円形を呈し径20～58cm、深さ9～14cmを測り、柱間は桁側3.2～3.7m、梁側1.2～3.0mになるものと思われる。またS P - 268には柱材と礎板、271には礎板が残存していた。主軸方向はN-8°-Eである。遺物は出土していない。

S B - 304（第170図）

H 5～7、I 5～7区にかけて位置する。規模は桁行2間（7.2m）、梁行1間（3.6m）、面積は約25.9m²になるものと推定される。柱穴は梢円～円形を呈し径18～43cm、深さ4～25cmを測り、柱間は桁側3.3～3.8mを測る。またS P - 250には柱材が残存していた。主軸方向はN-82°-Eである。遺物は出土していない。



第167図 S B - 301平面・断面図



第168図 S B - 302平面・断面図

S B - 305 (第171図)

I 7 ~ J 7 区にかけて位置し、S B - 306と重複する。規模は桁行 1 間 (4.2m)、梁行 1 間 (3.4m)、面積は約14.3m²になるものと推定される。柱穴は梢円～円形を呈し径25~50cm、深さ 6 ~30cmを測る。また S P - 252には柱材と礎板、254には礎板、333には柱材が残存していた。主軸方向はN - 7° - Eである。遺物は瓦器片が出土している。

S B - 306 (第172図)

H 7 ~ 8、I 7 ~ 9、J 8 区にかけて位置し、S B - 305・307と重複する。規模は桁行 3 間 (8.1m)、梁行 1 間 (4.6m)、面積は約37.2m²になるものと推定される。柱穴は梢円～円形を呈し径20~36cm、深さ 5 ~10cmを測る。柱間は桁側2.0~3.2mを測る。主軸方向はN - 43° - Wである。遺物は瓦器、土師器皿片が出土している。

S B - 307 (第173図)

H 8 ~ 9、I 7 ~ 8 区にかけて位置し、S B - 306と重複する。規模は桁行 1 間 (5.2m)、梁行 1 間 (3.9m)、面積は約20.3m²を測る。柱穴は梢円～円形を呈し径18~29cm、深さ 5 ~ 6 cmを測る。また S P - 312には礎板、315には礎石が残存していた。主軸方向はN - 38° - Eである。遺物は土師器皿、瓦質三足釜片などが出土している。

[柵]

S A - 301

C 6、D 6 ~ 7 区にかけて位置する。規模は 2 間 (8.8m) で、柱穴はほぼ梢円～円形を呈し径26~30cm、深さ 10 ~19cmを測り、柱間は3.9m~4.9mを測る。また S P - 277には礎板が残存していた。軸方向はN - 33° - Wである。遺物は土師器、須恵器片が出土している。

S A - 302

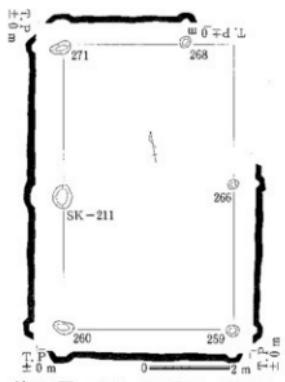
F 4 ~ 6 区にかけて位置する。規模は 3 間 (7.8m) で、柱穴はほぼ梢円～円形を呈し径27~40cm、深さ 6 ~14cmを測り、柱間は2.1m~2.9mを測る。また S P - 229・230・234には柱材が残存していた。軸方向はN - 88° - Wである。遺物は出土していない。

S A - 303

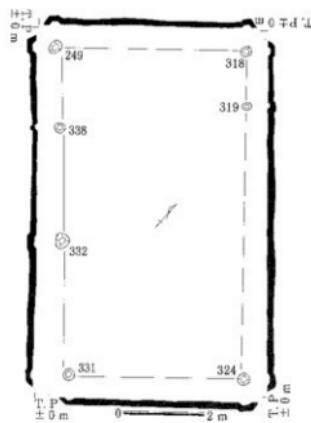
H 3 ~ 5 区にかけて位置する。規模は 3 間 (7.7m) で、柱穴はほぼ梢円～円形を呈し径18~40cm、深さ 6 ~11cmを測り、柱間は2.1m~3.1mを測る。また S P - 203・211・218には礎板が残存していた。軸方向はN - 86° - Eである。遺物は土師器皿片が出土している。

S A - 304

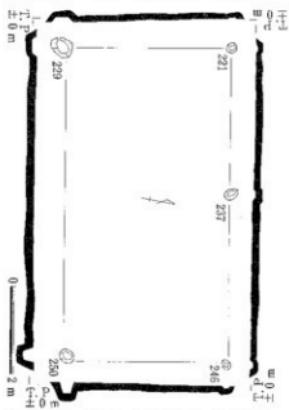
H 3 ~ I 3 区にかけて位置する。規模は 2 間 (3.7m) で、柱穴はほぼ梢円～円形を呈し径16~30cm、深さ 11 ~16cmを測り、柱間は1.6m~2.1mを測る。軸方向はN - 0° - Nである。遺物は出土していない。



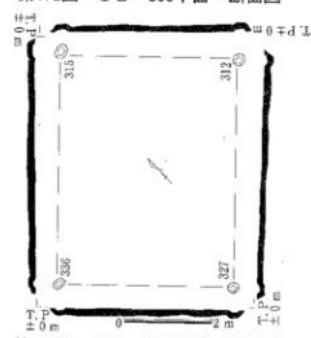
第169図 SB-303平面・断面図



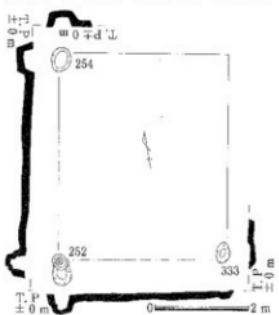
第172図 SB-306平面・断面図



第170図 SB-304平面・断面図



第173図 SB-307平面・断面図



第171図 SB-305平面・断面図

第2節 B地区の調査成果

第1項 基本層序 (第174図)

B地区においてもA地区と同様に2面の遺構面を層位的に確認した。以下、基本的な層序について述べる。

第1層 盛土。調査区南東部において認められた。層厚0.1m～0.4mである。

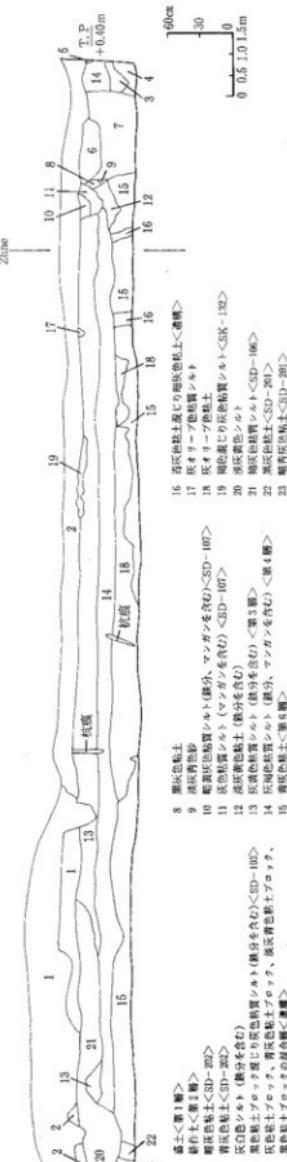
第2層 近現代の耕作土で調査区全域にはほぼ認められた。層厚0.1～0.15m前後で、A地区と同様にこの層までを機械掘削の対象とした。

第3層 暗灰褐色シルト。調査区西部において認められた。層厚0.1～0.2mである。

第4層 灰黄色粘質シルト。調査区東部において認められ、第1遺構面ベース層にあたる。層厚0.1～0.2mである。

第5層 灰褐色粘質シルト。調査区ほぼ全域に認められ、調査区西部においては第1遺構面ベース層にあたる。層厚0.2～0.3mである。

第6層 青灰色粘質シルト～粘土。調査区ほぼ全域に認められ、第2遺構面ベース層にあたる。調査区北部においては緑色を呈する部分も見受けられた。いわゆる考古学でいう地山層で層厚は確認し得なかった。



第174図 B地区南壁断面図

第2項 調査成果

1. 第1遺構面

第1遺構面は基本層序第1～3層を除去し、基本層序第4・5層をベース面として検出した。溝、土坑、掘立柱建物、柱穴、鋤溝などを検出し、それに伴い遺物も出土している。標高はT. P. +0.5m前後を測る。

〔溝〕

S D - 101

調査区北西部B 2～C 2区にかけて検出した。南北座標軸よりやや東側に振っている。検出長5.6m、幅0.4m、深さ0.16mを測る。埋土は1層で鉄分を含む灰褐色シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿、須恵器などが出土している。

S D - 102

調査区西側でS D - 101の南端から南に延伸する状態で検出した。S D - 101と一連をなす可能性もあるが、埋土が若干異なっていたため断定しがたい。検出長10.6m、幅0.85m、深さ0.22mを測る。埋土は1層で鉄分・マンガンを含む灰色粘質シルトである。遺物は比較的まとまって出土しており、瓦器椀、土師器皿・鍋、東播系須恵器、瓦質三足釜などが出土している。

S D - 103

調査区西端で検出した。前述の溝などとほぼ平行して走る。形態・規模は北側で調査区外に広がるため明らかでないが、北に向かってやや幅広になるとと思われ、また、北側で東に屈曲する様相を示しており、S D - 104と一連をなす可能性が高いものと思われる。規模については南部で幅1.3m、深さ0.15mを測る。埋土は1層で鉄分・マンガンを含む灰色粘質シルトである。遺物は土師器羽釜、陶器などが出土している。

S D - 104

調査区北端で検出した。形態・規模は調査区外へ広がり、わずかに検出されたため明らかでないが、最深部で0.12mを測る。遺物は土師器皿が出土している。

S D - 105（第175、176図）

調査区東端で検出した。形態・規模は調査区外に広がるため明らかでないが、比較的幅広の溝であると思われ、最深部で0.3mを測る。埋土は場所により若干異なるが、3層程確認でき灰色～灰褐色の粘質シルトが主体をなす。また、北側では西に向かって屈曲しておりS D - 104と一連をなすものと思われ、S D - 103との関連性をも考慮すると、これらの溝は区画的性格を有する可能性が高いものと思われる。遺物はまとまって出土しており、瓦器椀、土師器皿、須恵器甕、東播系須恵器、瓦質甕・三足釜・羽釜・摺鉢、陶器、瓦類のほか、焼土塊なども出土している。

S D - 106

調査区南東部G 5区で検出した。形態・規模は調査区外に広がるため明らかでないが、最深部で0.17mを測る。埋土は1層で鉄分・マンガンを含む灰色粘質シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿、瓦質土器などが出土している。

S D - 107

調査区南西部で検出した。南北に比較的細く溝が走り、東に屈曲して幅広の溝となり、L字状を呈する。規模は南北に走るほうで幅1.3m、深さ0.2m、東西に走るほうでは幅3.0m、深さ0.24mを測る。

埋土は場所により若干異なるが5層程確認でき灰色系の粘質シルトが主体をなす。遺物は瓦器碗、土師器皿、瓦質三足釜、陶器、磁器、青磁、瓦などが出土している。

SD-108

調査区南部F 3区で検出した。ほぼ東西に走り、幅0.5m、深さ0.08mを測る。埋土は1層で鉄分を含む灰色シルトである。遺物は瓦器碗が出土している。当初、溝と捉えたが鋤溝と考えたほうが妥当であろうと思われる。

SD-109

調査区南部F 3区で検出した。SD-108と平行して走り、幅0.55m、深さ0.07mを測る。埋土は1層で鉄分を含む灰色シルトである。遺物は瓦器碗、土師器皿などが出土している。SD-108同様、鋤溝と考えたほうが妥当であろうと思われる。

SD-110

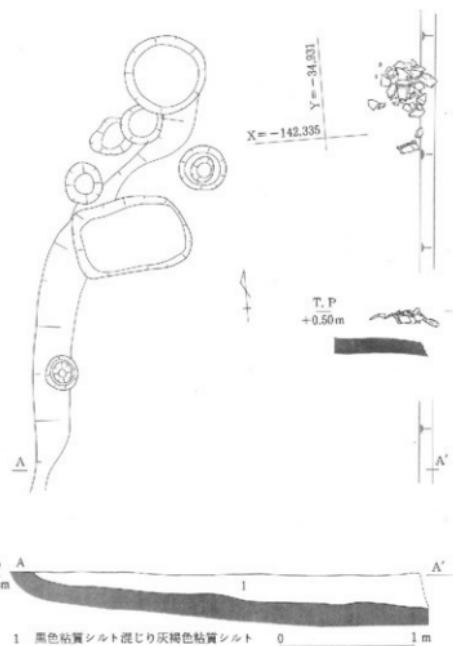
調査区南部F 2～3、G 2～3区にかけて検出した。ほぼ東西に走るもので、2条の溝が東側で合流する様相を呈し、最大幅0.11m、深さ0.1mを測る。埋土は1層で鉄分を含む灰色シルトである。遺物は瓦器碗、土師器皿、瓦質三足釜などが出土している。この溝においても規模・埋土からみて鋤溝の類と考えたほうが妥当であると思われる。

SD-111

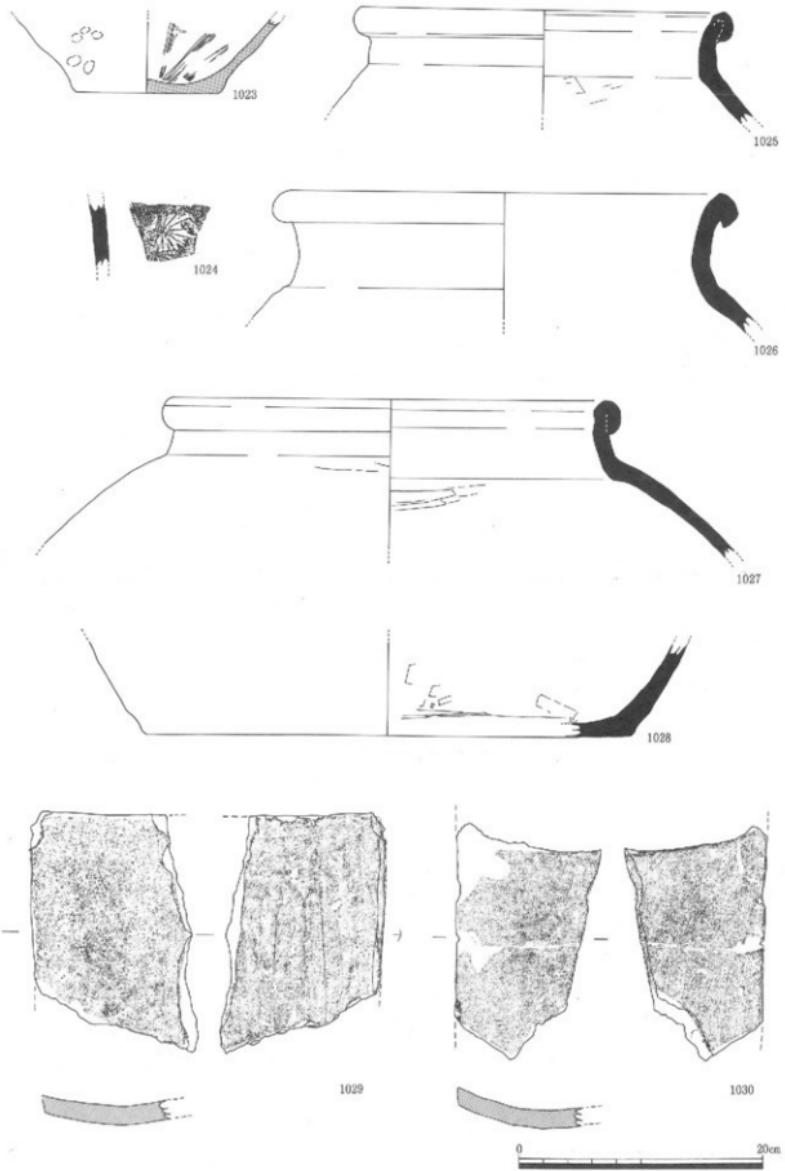
調査区南部G 3区で検出した。SD-108などと平行して走り、幅0.45m、深さ0.07mを測る。埋土は1層で鉄分を含む灰色シルトである。遺物は瓦器碗、土師器皿、束縛系須恵器、瓦質三足釜などが出土している。SD-108などと同様に鋤溝と考えたほうが妥当であろうと思われる。

SD-112

調査区南東部G 4～5区にかけて検出した。ほぼ東西に走り、幅0.35m、深さ0.07mを測る。埋土は1層で鉄分・マンガンを含む灰色粘質シルトである。遺物は土師器皿、須恵器、瓦質三足釜などが出土している。この溝についてもSD-108などと同様に鋤溝と思われる。



第175図 B地区 SD-105遺物出土状況図



第176図 B地区 SD-105出土遺物

〔土坑〕

S K - 101

B 3 区で検出した。形態は不定形を呈し、規模は S K - 113、鋤溝などに切られているため明らかでないが、最大長2.8m、最大幅1.6m、深さ0.12m程度である。埋土は1層で鉄分を含む灰色粘質シルトである。遺物は瓦器碗、土師器皿などが出土している。

S K - 102

B 3 区で検出した。形態・規模は鋤溝に切られているため明らかでないが、最深部で0.06mを測る。埋土は1層で灰色粘質シルトである。遺物は出土していない。

S K - 103

B 2 ~ 3、C 2 ~ 3 区にかけて検出した。形態は楕円形を呈し、長径0.8m、短径0.6m、深さ0.07mを測る。埋土は1層で鉄分・マンガンを含む灰褐色粘質シルトである。遺物は出土していない。

S K - 104

C 1 区で検出した。形態は楕円形を呈し、長径0.7m、短径0.6m、深さ0.09mを測る。埋土は1層で鉄分・マンガンを含む灰色粘質シルトである。遺物は出土していない。

S K - 105

C 1 ~ 2 区にかけて検出した。形態・規模は S D - 101、S K - 104 などに切られているため明らかでないが、最深部で0.23mを測る。埋土は1層で鉄分・マンガンを含む灰色シルトである。遺物は出土していない。

S K - 106

C 1 ~ 2 区にかけて検出した。形態は不定形を呈し、規模は S K - 105 に切られているため明らかでないが、最深部で0.11mを測る。埋土は1層で鉄分を含む灰色シルトである。遺物は出土していない。

S K - 107

C 1 区で検出した。形態は不定形を呈し、規模は最大長1.1m、最大幅1.0m、深さ0.13mを測る。埋土は1層で鉄分・マンガンを含む灰色シルトである。遺物は出土していない。

S K - 108

C 2 区で検出した。形態は鋤溝に切られてはいるが不整な楕円形を呈するものと思われ、規模は短径0.6m、深さ0.05mを測る。埋土は1層で鉄分・マンガンを含む灰色粘質シルトである。遺物は瓦器碗が出土している。

S K - 109

C 2 ~ D 2 区にかけて検出した。形態は不定形を呈し、規模は最大長1.6m、最大幅0.55m、深さ0.07mを測る。埋土は1層で鉄分・マンガンを含む黒色粘土ブロック混じりの灰色粘質シルトである。遺物は出土していない。

S K - 110

D 2 区で検出した。形態は不整な楕円形を呈し、長径1.4m、短径0.45m、深さ0.09mを測る。埋土は1層でマンガンを含む灰色粘質シルトである。遺物は出土していない。

S K - 111 (第177図)

D 1 区で検出した。形態は長方形を呈し、規模は長径1.5m、短径1.0m、深さ0.14mを測る。埋土は1層で灰黄色シルトブロック・暗灰色シルトブロック・灰緑色粘土ブロックの混合層である。遺物

は磁器が出土している。

S K - 112

D 2 ~ E 2 区にかけて検出した。形態・規模は S D - 102 に切られているため明らかでないが、大型のものである。最深部で 0.1m を測る。埋土は 1 層で黒色粘土ブロック混じりの灰色粘質シルトである。遺物は出土していない。

S K - 113

B 3 ~ 4 区にかけて検出した。形態は不定形を呈し、規模は S P - 147 に切られているが、およそ最大長 2.1 m、最大幅 1.0m、深さ 0.2m を測る。埋土は 1 層で鉄分を含む灰色粘質シルトである。遺物は瓦器碗が出土している。

S K - 114 (第178・180図)

B 4 区で検出した。形態はやや不整な橢円形を呈し、

長径 1.4m、短径 0.95m、深さ 0.14m を測る。埋土は 1 層で鉄分・マンガンを含む暗灰色粘質シルトである。遺物は瓦器碗、土師器皿などが出土地している。

S K - 115

C 3 区で検出した。形態はやや不整な橢円形を呈し、長径 0.7m、短径 0.3m、深さ 0.05m を測る。埋土は 1 層で鉄分を含む暗灰色粘質シルトである。遺物は出土していない。

S K - 116

C 4 区で検出した。形態は不整な隅丸方形を呈し、規模は径 1.0m、深さ 0.15m を測る。埋土は 1 層で鉄分を含む灰色粘質シルトである。遺物は出土していない。

S K - 117

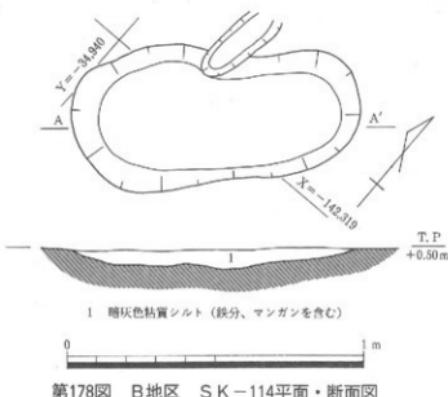
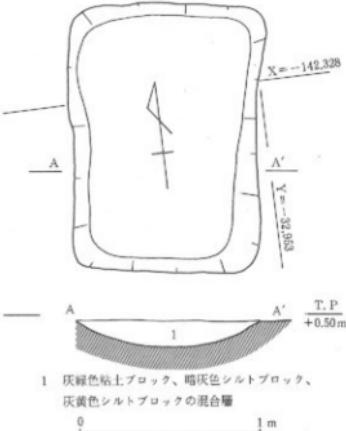
B 6 ~ C 6 区にかけて検出した。形態はやや不整な橢円形を呈し、長径 0.77m、短径 0.48m、深さ 0.08m を測る。埋土は 1 層で灰色粘質シルトである。遺物は出土していない。

S K - 118

C 6 区で検出した。形態・規模は S D - 105 に切られているため明らかでないが、深さは最深部で 0.09m を測る。埋土は 1 層で鉄分を含む暗灰色粘質シルトである。遺物は土師器皿が出土している。

S K - 119

C 5 ~ D 5 区にかけて検出した。形態は不定形を呈し、規模は最大長 0.93m、



第178図 B地区 SK-114平面・断面図

最大幅0.75m、深さ0.05mを測る。埋土は1層で鉄分・マンガンを含む灰色粘質シルトである。遺物は出土していない。

S K - 120

D 5区で検出した。形態・規模は攪乱に切られているため明らかでないが、深さは0.11mを測る。埋土は1層で鉄分・マンガンを含む淡灰黄色粘質シルトである。遺物は出土していない。

S K - 121

C 3～4、D 4区にかけて検出した。形態は不定形を呈し、規模は深さ0.11mを測る。埋土は1層で鉄分・マンガンを含む暗灰色粘質シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿などが出土している。

S K - 122 (第179、180図)

D 3区で検出した。形態は隅丸長方形を呈し、長径2.25m、短径1.7m、深さ0.36mを測る。埋土は2層で鉄分・マンガンを含む灰褐色シルト、マンガンを含む明黄褐色シルトブロック混じりの灰色シルトである。遺物は瓦器椀、陶器、磁器などが出土している。

S K - 123

D 3～E 3区にかけて検出した。形態・規模はS K - 122、攪乱に切られているため明らかでないが大型のものである。深さは最深部で0.08mを測る。埋土は1層で鉄分を含む灰色シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿、須恵器甕、瓦質三足釜、陶器などが出土している。

S K - 124

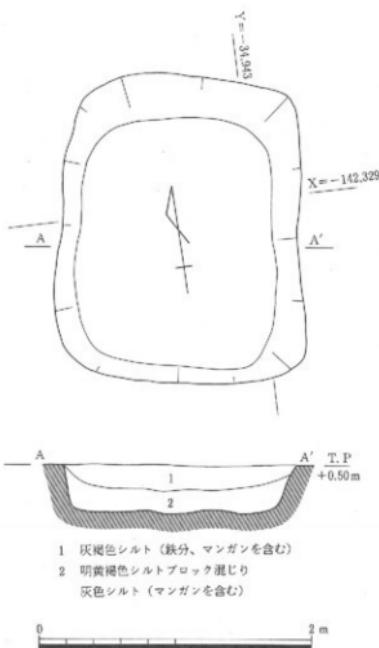
E 2区で検出した。形態は隅丸方形を呈し、径1.1m、深さ0.07mを測る。埋土は1層で黄褐色シルト混じりの灰色シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿などが出土している。

S K - 125

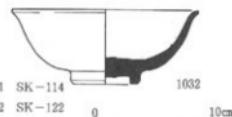
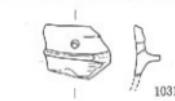
E 2～3区にかけて検出した。形態・規模は攪乱に切られているため明らかでないが、深さは最深部で0.06mを測る。埋土は1層で灰黄色シルト混じりの灰色シルトである。遺物は出土していない。

S K - 126

E 2区で検出した。形態は梢円形を呈し、長径0.7m、短径0.44m、深さ0.05mを測る。埋土は1層で鉄分・マンガンを含む灰色シルトである。遺物は瓦器椀、土師器などが出土地している。



第179図 B地区 S K - 122平面・断面図



第180図 B地区 S K - 114・
122出土遺物

S K -127

E 3 区で検出した。形態は攪乱に切られてはいるがほぼ不整な円形を呈するものであろう。規模はおよそ径0.65、深さ0.05mを測る。埋土は1層で黄褐色シルト混じりの灰色シルトである。遺物は瓦器椀、土師器などが出土している。

S K -128

E 2～3 区にかけて検出した。形態は不定形を呈し、規模は攪乱に切られているため明らかでないが、深さは最深部で0.12mを測る。埋土は1層で鉄分・マンガンを含む黄褐色シルト混じりの暗灰色粘質シルトである。遺物は瓦器椀、瓦質土器などが出土している。

S K -129

E 2 区で検出した。形態は不整な楕円形を呈し、長径1.4m、短径0.5m、深さ0.05mを測る。埋土は1層で鉄分を含む灰色シルトである。遺物は土師器皿が出土している。

S K -130

F 1 区で検出した。形態・規模はSD-107に切られているため明らかでないが、深さは最深部で0.06mを測る。埋土は1層でマンガンを含む暗灰色粘質シルトである。遺物は出土していない。

S K -131

F 1～G 1 区にかけて検出した。SD-103を切る。形態は不整形を呈し、規模は最大長1.04m、最大幅0.75m、深さ0.12mを測る。埋土は1層で鉄分・マンガンを含む灰色細砂～シルトである。遺物は磁器が出土している。

S K -132

G 2～3 区にかけて検出した。形態・規模は調査区外に広がるため明らかでないが、深さは最深部で0.07mを測る。埋土は1層で鉄分を含む灰色シルトである。遺物は出土していない。

S K -133

G 3 区で検出した。形態は不整形を呈し、規模は最大長1.15m、最大幅0.53m、深さ0.04mを測る。埋土は1層で灰黄色シルト混じりの灰色シルトである。遺物は土師器皿、須恵器、瓦質土器などが出土している。

S K -134

F 3～4、G 3～4 区にかけて検出した。形態は不整な楕円形を呈し、長径1.9m、短径0.75m、深さ0.07mを測る。埋土は1層で鉄分を含む灰褐色シルト混じりの淡灰褐色シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿などが出土している。

S K -135

E 3～4 区にかけて検出した。形態は不整な楕円形を呈し、長径0.75m、短径0.45m、深さ0.08mを測る。埋土は1層で黄灰色シルト混じりの灰オリーブ色粘質シルトである。遺物は出土していない。

S K -136

G 4 区で検出した。形態は楕円形を呈し、長径0.8m、短径0.33m、深さ0.05mを測る。埋土は1層で灰褐色シルトである。遺物は出土していない。

S K -137

G 4 区で検出した。形態は楕円形を呈し、長径0.8m、短径0.5m、深さ0.08mを測る。埋土は1層で鉄分を含む暗灰色粘質シルトである。遺物は瓦器椀、土師器皿、須恵器などが出土している。

SK - 138

G 6 区で検出した。SD - 105を切る。形態・規模は調査区外に広がるため明らかでないが、深さは最深部で0.33mを測る。埋土は3層で灰褐色粘質シルト、炭を含む暗灰色粘質シルト、炭である。遺物は土師器、陶器、磁器、瓦のほか、木片、鉄片なども出土している。

SK - 139

G 6 区で検出した。SD - 105を切る。形態・規模は調査区外に広がるため明らかでないが、深さは最深部で0.25mを測る。埋土は2層で鉄分を含む灰色シルト、鉄分を含む灰オリーブシルトである。遺物は土師器のほか、鉄片なども出土している。

SK - 140

F 5 ~ 6 区にかけて検出した。形態は円形を呈し、規模は径1.0m、深さ0.25mを測る。埋土は1層で黒灰色粘質シルト混じりの暗灰黄色粘質シルトである。遺物は出土していない。

SK - 141

F 5 区で検出した。形態は楕円形を呈し、長径0.8m、短径0.5m、深さ0.08mを測る。埋土は1層で暗灰褐色シルトである。遺物は土師器皿が出土している。

SK - 142

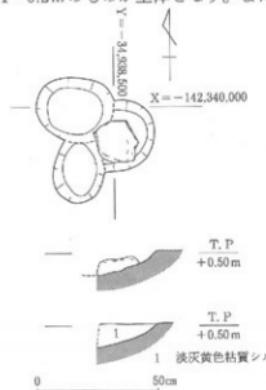
E 5 ~ 6 、 F 5 ~ 6 区にかけて検出した。形態は楕円形を呈し、長径2.2m、短径0.5m、深さ0.09mを測る。埋土は1層で暗黄灰色粘質シルトである。遺物は土師器皿が出土している。

SK - 143

F 5 ~ 6 区にかけて検出した。形態は隅丸長方形を呈し、規模は長径0.88m、短径0.55m、深さ0.22mを測る。埋土は1層で鉄分・マンガンを含む暗灰色シルト混じりの灰黄色粘質シルトである。遺物は土師器皿が出土している。

〔柱穴群（S P）〕（第181、182図）

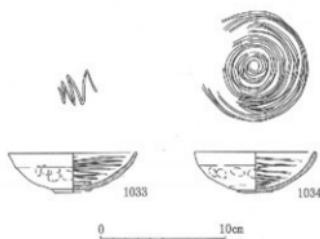
総数281基を検出した。ほぼ調査区全域に認められるが、特に南東部に集中する。規模は径0.2~0.3m、深さ0.1~0.2mのものが主体をなす。また、柱材、礎石の残存するものもわずかであるが認められた。



第181図 B地区 S P - 1163平面・断面・礎石出土状況図

〔鋤溝群〕

総数46条を検出した。ほぼ東西南北にはしるもので、痕跡程度のものである。ほとんどの遺構を切るもので、比較的新しい。



第182図 B地区 S P - 1211出土遺物

2. 第2遺構面

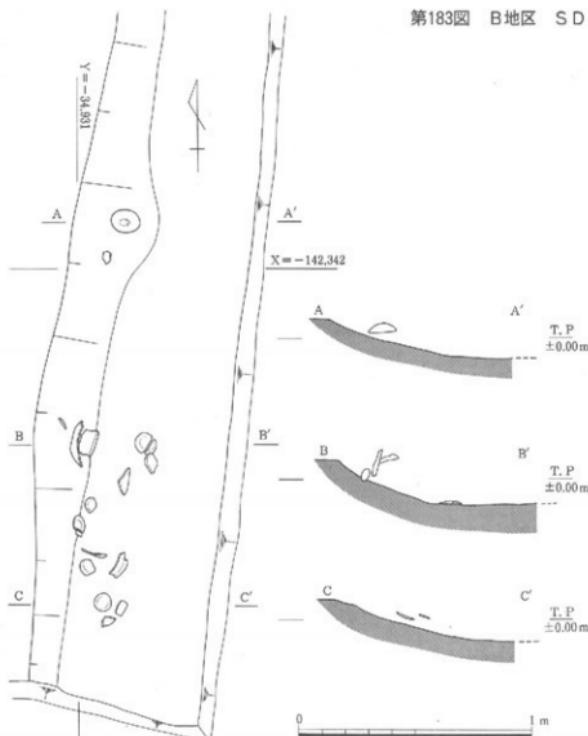
第2遺構面は基本層序第4・5層を除去し、基本層序第6層をベース面として検出した。溝、土坑、柱穴、鋤溝などを検出し、それに伴い遺物も多数出土している。標高はT.P. +0.1~0.2mを測る。
〔溝〕

S D - 201 (第183~185図)

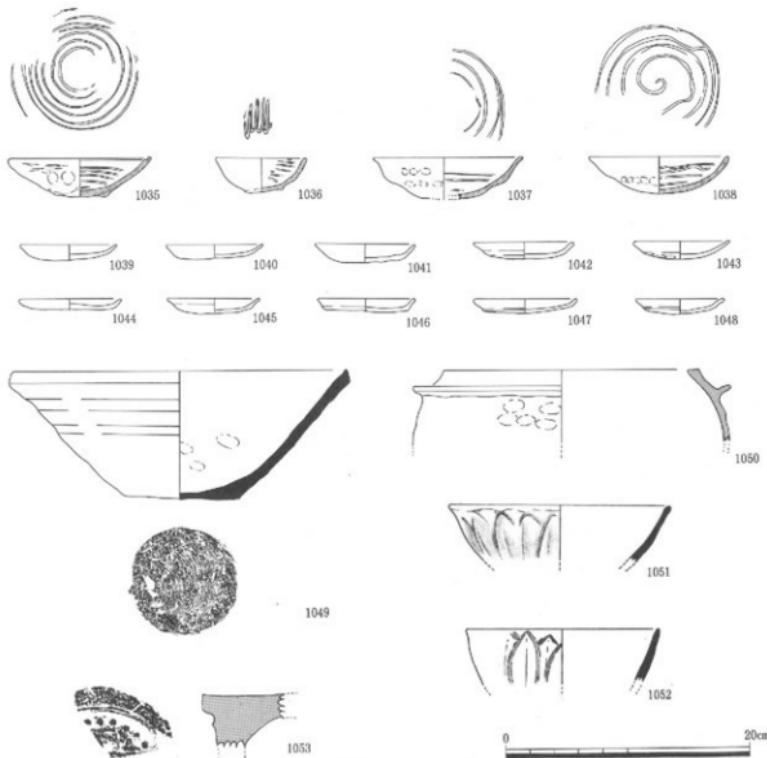
調査区東端B 6~G 6区にかけて検出した。南北座標軸よりやや東に振って走るものと思われる。形態・規模は調査区外に広がり、西側肩部しか検出してないため明らかでないが、深さは最深部で1.0mを測る。埋土は場所により若干異なるが4層程確認し、暗灰~暗灰緑色粘土が主体をなす。遺物はまとまって出土しており、瓦器椀、土師器皿、須恵器、東播系須恵器、瓦質三足釜・羽釜、陶器、青磁、瓦類のほか、木片、火を受けている石、焼土塊なども出土している。また、瓦器椀、土師器皿の完形品も目立つ。



第183図 B地区 S D - 201断面図



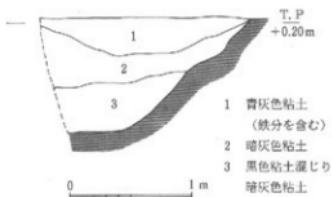
第184図 B地区 S D - 201遺物出土状況図



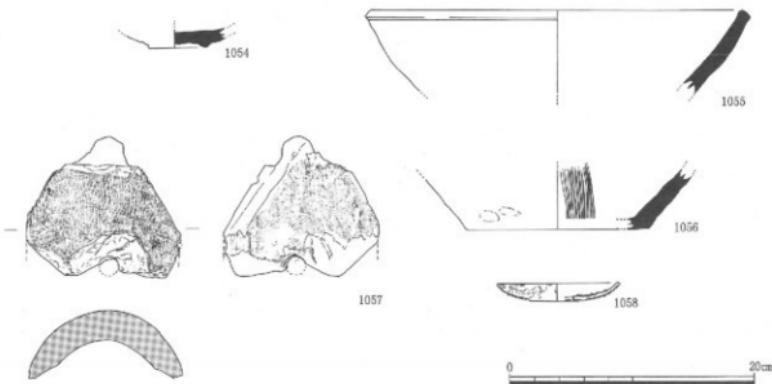
第185図 B地区 SD-201出土遺物

SD-202(第186、187図)

調査区西端A1～G1区にかけて検出した。SD-201と同様に南北軸よりやや東に振っており、SD-201と平行して走るものであろう。形態・規模は調査区外に広がり、東側肩部しか検出してないため明らかでないが、深さは最深部で0.95mを測る。埋土は場所により若干異なるが4層程確認し、暗灰～暗灰青色粘土が主体をなす。遺物は比較的まとまって出土しており、瓦器椀、土師器皿・羽釜、東播系須恵器、瓦質三足釜・火鉢、陶器、瓦類のほか、木片、鉄製品なども出土している。



第186図 B地区 SD-202断面図



第187図 B地区 SD-202出土遺物

〔土坑〕

SK-201

B 1～C 1区にかけて検出した。形態はやや不整な梢円形を呈し、長径1.4m、短径1.1m、深さ0.08mを測る。埋土は1層で淡灰オリーブ色シルトである。遺物は出土していない。

SK-202

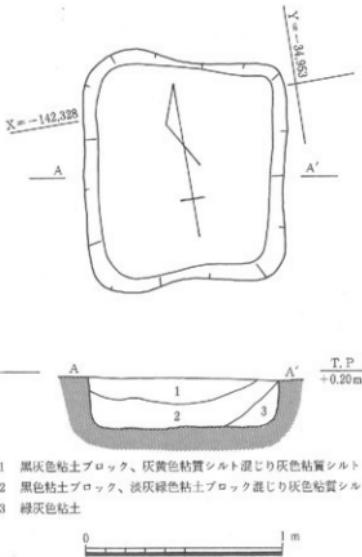
C 1区で検出した。形態・規模はSD-202に切られているため明らかでないが、深さは最深部で0.15mを測る。埋土は1層で黒色粘土混じりの暗灰色粘質シルトである。遺物は瓦器楕、磁器などが出土している。

SK-203

C 1区で検出した。形態は隅丸方形を呈し、径0.6m、深さ0.12mを測る。埋土は2層で灰色粘質シルト、淡灰青色粘質シルトである。遺物は瓦器楕類が出土している。

SK-204（第188図）

D 1区で検出した。形態は不整な長方形を呈し、長径1.2m、短径1.0m、深さ0.28mを測る。埋土は3層で黒灰色粘土ブロック・灰黄色粘質シルト混じりの灰色粘質シルト、黒色粘土ブロック・淡灰緑色粘土ブロック混じりの灰色粘質シルト、綠灰色粘土である。遺物は出土していない。



第188図 B地区 SK-204平面・断面図

SK-205 (第189・190図)

F 1区で検出した。形態は橢円形を呈し、長径1.3m、短径1.1m、深さ0.09mを測る。埋土は1層で鉄分を含む暗灰色粘質シルトである。遺物は土師器皿、東播系須恵器、瓦質土器、陶器、瓦などが出土地している。

SK-206

F 2区で検出した。形態は不整な橢円形を呈し、長径0.7m、短径0.5m、深さ0.04mを測る。埋土は1層で淡灰緑色粘質シルトである。遺物は出土していない。

SK-207

G 1区で検出した。形態・規模は調査区外へ広がるために明らかでない。遺物は出土していない。

SK-208

D 3区で検出した。形態は不整な隅丸長方形を呈し、長径1.7m、短径1.5m、深さ0.18mを測る。埋土は1層で淡黄灰色粘土ブロック混じりの灰緑色粘質シルトである。遺物は出土していない。

SK-209

D 4～E 4区にかけて検出した。形態は不定形を呈し、最大長2.0m、最大幅1.0m、深さ0.16mを測る。埋土は1層で黒色粘土ブロック混じりの淡灰オリーブ粘質シルトである。遺物は出土していない。

SK-210

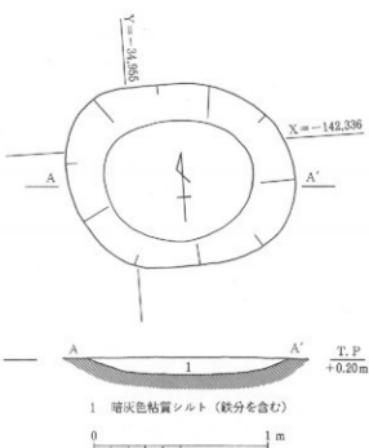
F 5～6区にかけて検出した。形態はやや不整な隅丸長方形を呈し、規模は長径0.8m、短径0.6m、深さ0.45mを測る。埋土は3層で黒色粘土ブロック混じりの緑灰色粘土、緑灰色粘土混じりの暗灰色粘土、緑灰色粘土である。遺物は瓦器碗、土師器皿、瓦質土器などが出土している。

〔柱穴群 (S P)〕 (第191図)

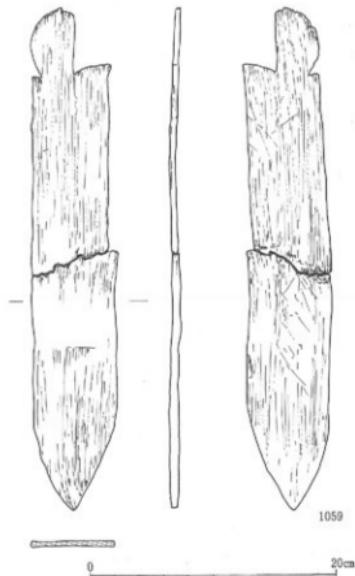
総数31基を検出した。まばらに散在し、規模は第1遺構面と同程度である。また、柱材、礎板の残存するものも認められた。

〔動溝群〕

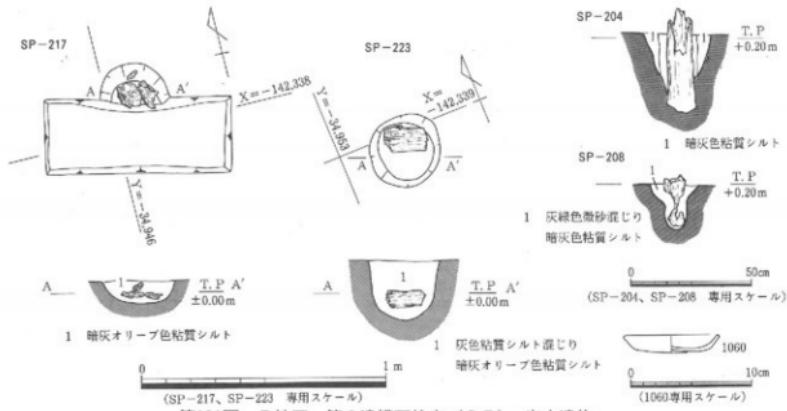
総数5条を検出した。6cm程度の浅いもので、かなり削平されたとすれば位置的に区画溝の可能性も考えられる。



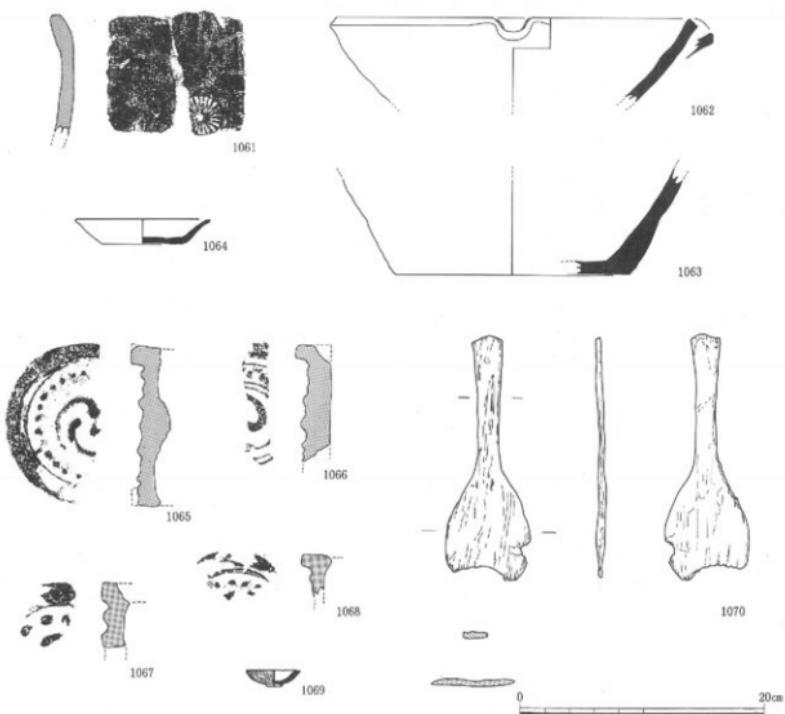
第189図 B地区 SK-205平面・断面図



第190図 B地区 SK-205出土遺物



第191図 B地区 第2遺構面柱穴 (S P)・出土遺物



第192図 B地区 包含層・その他出土遺物

第3項 B地区の集落関係遺構

B地区においてもA地区同様に多数の柱穴を検出し、掘立柱建物を復元することができた。特に第1遺構面において12棟を確認したが、調査区の南東部に集中しているのが特徴的である。以下、詳細を述べる。

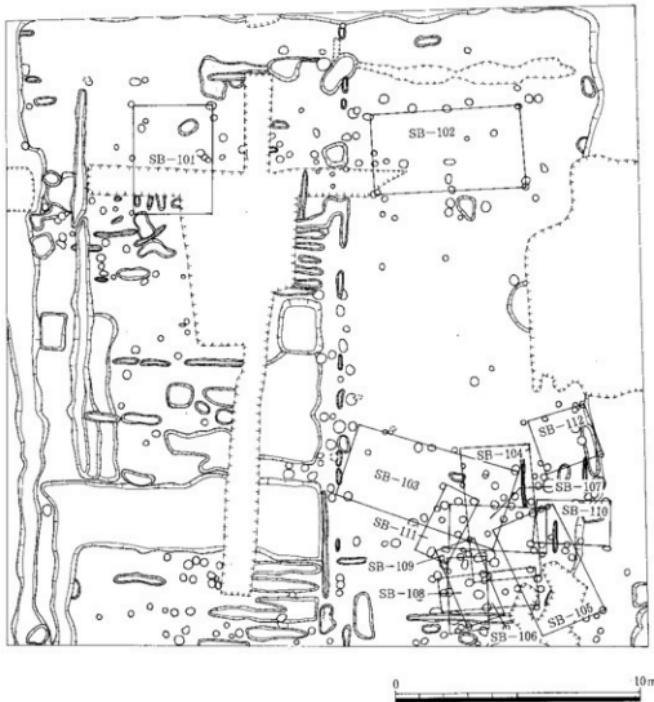
1. 第1遺構面

〔掘立柱建物〕

SB-101 (第194図)

B 2~3、C 2~3区にかけて位置する。規模は桁行2間(4.4m)、梁行1間(3.1m)、面積は約13.6m²になるものと推定される。柱穴は楕円～円形を呈し径16~38cm、深さ4~20cmを測る。柱間は桁側2.2m前後を測る。主軸方向はN-7°-Eである。遺物は瓦器椀、土師器皿片などが出土している。
SB-102 (第195図)

C 4~5区にかけて位置する。規模は桁行2間(6.5m)、梁行1間(3.3m)、面積は約21.5m²である。柱穴は楕円～円形を呈し径20~38cm、深さ6~18cmを測る。柱間は桁側2.8~3.2mを測る。主軸方向はN-87°-Wである。遺物は出土していない。



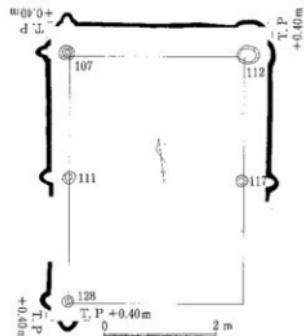
第193図 B地区第1遺構面掘立柱建物配置図

SB-103 (第196図)

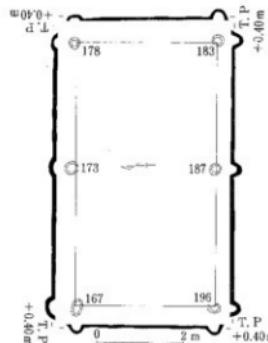
E 4～5、F 3～5区にかけて位置し、SB-104・105・107・109・111と重複する。規模は桁行2間(6.8m)、梁行1間(3.4m)、面積は約23.1m²である。柱穴は梢円～円形を呈し径30～44cm、深さ10～40cmを測り、柱間は桁側3.3～3.5mを測る。主軸方向はN-66°-Wである。遺物は瓦器碗、土師器皿・瓦質羽釜片などが出土している。

SB-104 (第197図)

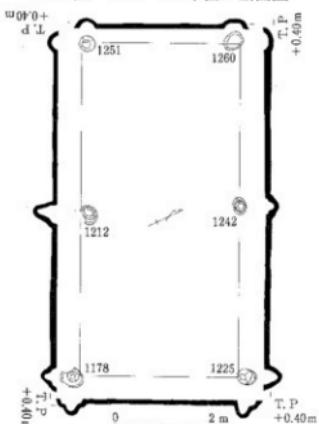
E 4～5、F 4～5区にかけて位置し、SB-103・105・106・107・109・111と重複する。規模は桁行2間(5.4m)、梁行1間(2.8m)、面積は約15.1m²である。柱穴は梢円～円形を呈し径20～34cm、深さ16～30cmを測り、柱間は桁側2.6～2.8mを測る。主軸方向はN-1°-Eである。遺物は瓦器碗、土師器皿などが出土している。



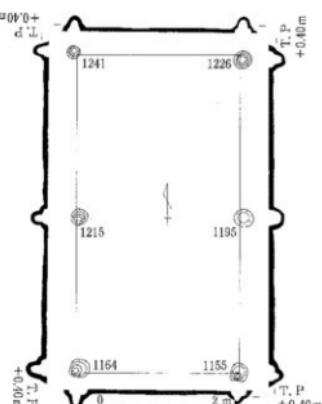
第194図 SB-101平面・断面図



第195図 SB-102平面・断面図



第196図 SB-103平面・断面図



第197図 SB-104平面・断面図

S B - 105 (第198図)

F 5、G 5～6区にかけて位置し、S B - 103・104・106・107・110と重複する。規模は桁行2間(4.7m)、梁行1間(2.6m)、面積は約12.2m²になるものと推定される。柱穴は梢円～円形を呈し径18～34cm、深さ16～24cmを測り、柱間は桁側2.3～2.5mを測る。主軸方向はN-20°-Wである。遺物は瓦器椀、土師器皿などが出土している。

S B - 106 (第199図)

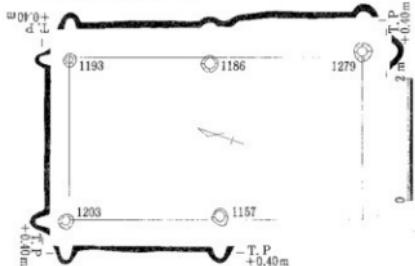
F 4～5、G 4～5区にかけて位置し、S B - 104 105・108・109と重複する。規模は桁行2間(4.0m)、梁行1間(1.5m)、面積は約6.0m²である。柱穴は梢円～円形を呈し径18～50cm、深さ6～20cmを測り、柱間は桁側1.8～2.0mを測る。主軸方向はN-89°-Wである。遺物は瓦器椀、土師器皿などが出土している。

S B - 107 (第200図)

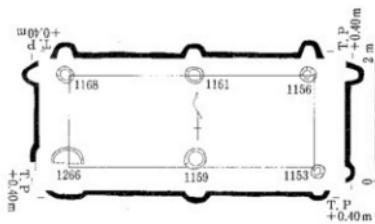
F 4～5区にかけて位置し、S B - 103・105・109・110・111と重複する。規模は桁行2間(3.9m)、梁行1間(1.8m)、面積は約7.0m²になるものと推定される。柱穴は梢円～円形を呈し径18～34cm、深さ4～28cmを測り、柱間は桁側1.8～2.0mを測る。主軸方向はN-81°-Wである。遺物は瓦器椀、土師器皿などが出土している。

S B - 108 (第201図)

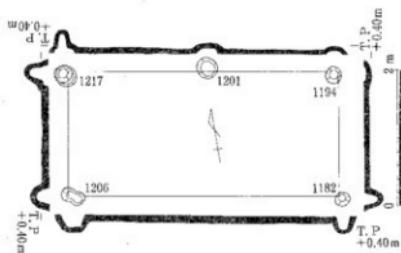
F 4～5、G 4～5区にかけて位置し、S B - 104・106・109と重複する。規模は桁行2間(3.1m)、梁行1間(1.5m)、面積は約4.7m²である。柱穴は梢円～円形を呈し径16～34cm、深さ10～32cmを測り、柱間は桁側1.5～1.7mを測る。主軸方向はN-4°-Eである。遺物は瓦器椀、土師器皿などが出土している。



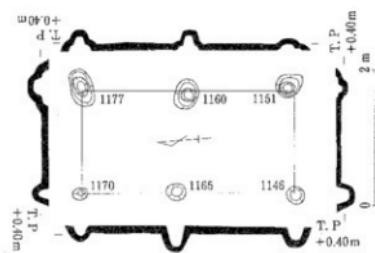
第198図 S B - 105平面・断面図



第199図 S B - 106平面・断面図



第200図 S B - 107平面・断面図



第201図 S B - 108平面・断面図

S B - 109 (第202図)

F 4 ~ 5、G 4 ~ 5区にかけて位置し、S B - 103・104・106・107・108・111と重複する。規模は桁行2間(3.3m)、梁行1間(1.6m)、面積は約5.3m²になるものと推定される。柱穴は梢円～円形を呈し径24～40cm、深さ6～26cmを測り、柱間は桁側1.5～1.7mを測る。主軸方向はN - 20° - Wである。遺物は瓦器椀、土師器皿・甕片などが出土している。

S B - 110 (第203図)

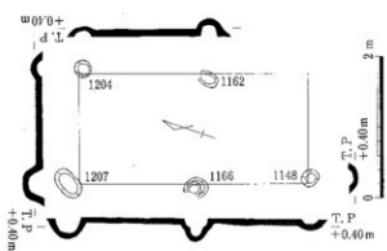
F 5 ~ 6区にかけて位置し、S B - 104・105・107と重複する。規模は桁行2間(3.1m)、梁行1間(1.8m)、面積は約5.6m²になるものと推定される。柱穴は梢円～円形を呈し径24～39cm、深さ10～20cmを測り、柱間は桁側1.4～1.6mを測る。主軸方向はN - 81° - Wである。遺物は瓦器椀、土師器皿片などが出土している。

S B - 111 (第204図)

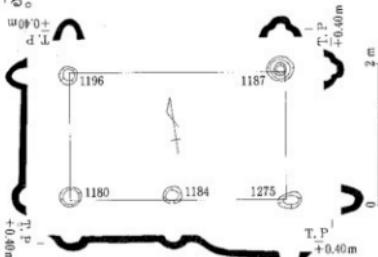
F 4 ~ 5区にかけて位置し、S B - 103・104・107・108・109と重複する。規模は桁行2間(2.8m)、梁行1間(1.4m)、面積は約3.9m²になるものと推定される。柱穴は梢円～円形を呈し径22～38cm、深さ6～24cmを測り、柱間は桁側1.3～1.5mを測る。主軸方向はN - 33° - Eである。遺物は瓦器椀、土師器皿片などが出土している。

S B - 112 (第205図)

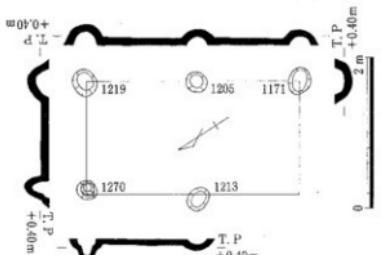
E 5 ~ 6、F 5 ~ 6区にかけて位置する。規模は桁行1間(2.5m)、梁行1間(2.2m)、面積は約5.5m²である。柱穴は梢円～円形を呈し径18～32cm、深さ6～24cmを測る。主軸方向はN - 77° - Eである。遺物は瓦器椀、土師器皿片などが出土している。



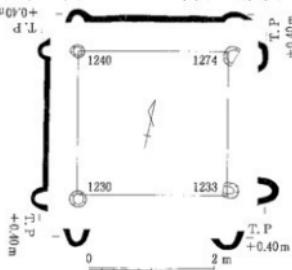
第202図 S B - 109平面・断面図



第203図 S B - 110平面・断面図



第204図 S B - 111平面・断面図



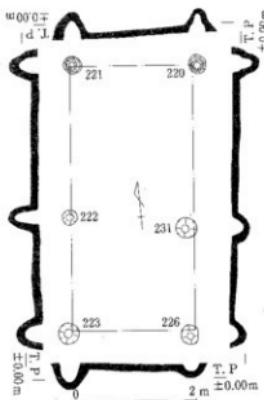
第205図 S B - 112平面・断面図

2. 第2遺構面

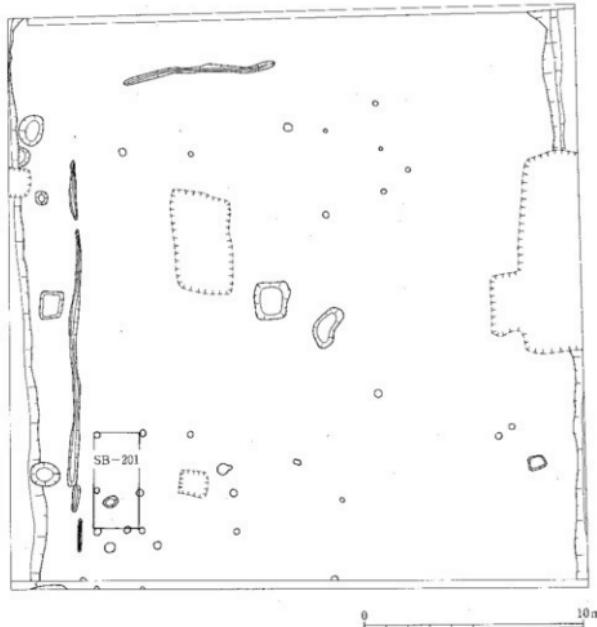
(掘立柱建物)

S B - 201 (第206図)

E 1～2、F 1～2区にかけて位置する。規模は桁行2間(4.5m)、梁行1間(2.0m)、面積は約9.0m²である。柱穴は梢円～円形を呈し径24～34cm、深さ12～20cmを測り、柱間は桁側1.8～2.6mを測る。またS P - 233には礎板が残存していた。主軸方向はN-4°-Eである。遺物は土師器皿片が出土している。



第206図 S B - 201平面・断面図



第207図 B地区第2遺構面掘立柱建物配置図

第5章 まとめ

御領遺跡における本格的な調査は、今回の調査が初めてであり、その成果についてはこれまでに述べてきた通り、13世紀から14世紀代にいたる中世の集落跡を確認し、またそれに伴う土器、木製品など多種多様な遺物が大量に出土する結果となった。特に、A地区において確認した集落跡についてはそのほぼ全容を知ることができ、A地区から北西約300mに位置するB地区においても同時期の集落跡を確認したことから、当該期の集落形態を知るうえで貴重な成果をあげることができた。

以下、今回の調査成果である中世集落の変遷及び特徴について述べることをもってまとめとしたい。

I期（13世紀中葉～13世紀後葉）

A地区において集落の萌芽期と捉えられる時期である。

遺構ではA2区のS D-306、S K-313、S X-301などにおいて確認されるのみで、明確な集落跡として捉えることには難がある。しかし、ほとんどの掘立柱建物が単独での時期比定ができず、当該期においても建物の存在する可能性が否定できないことからこの時期をI期と設定した。

B地区においては当該期の明確な遺構、遺物は見受けられなかった。

II期（13世紀後葉～14世紀前葉）

A地区、B地区ともに集落周辺に溝を巡らし、集落の成立期と捉えられる時期である。

A地区においては第3面が該当し、周辺を巡る溝は基本的には条理地割に合致しているが、北東部及び東部において乱れが生じている。これはおそらくS X-301が近世まで残されていた深野池の旧態と考えられるものであるから、それらの地形の影響を受けたためと思われる。また溝については比較的規模の大きいものであるから、その性格については区画溝というよりは用排水などの水路的性格のものと捉えておきたい。

また、掘立柱建物については7棟確認したが、正方位のものと軸が大きくずれるもの、また切り合い関係があることから、時期的な細分は可能であろうが、変遷過程については明確にし得なかった。

B地区では第2遺構面に該当し、東西に比較的浅い区画溝と考えられる溝が南北に走っており、またそれぞれの溝がさらに南北に伸びることからおそらく長方形状の区画を呈する集落であった可能性が高いものと思われる。また、この集落内では井戸を検出していないことなどから単独であったとは考えがたいもので、集落としてはさらに広がるものであろう。

III期（14世紀前葉～14世紀中葉）

A地区、B地区ともにII期の集落が廃絶され、新たに集落を形成した段階で遺構の密度からみて最盛期と捉えられる時期である。

A地区では第2面に該当し、周辺を巡る溝はII期集落の溝にはほぼ重複するものであるが、北東部においては条理地割に合致させている様子がうかがわれる。規模的に浅くなるもので、区画的要素が強くなつたものと考えられる。ただA地区的場合周辺が耕作地あるいは深野池の旧態であるため、区画という概念で溝を捉えるには若干躊躇する。この時期には現代まで使用されていた水路の旧態が存在していたことも考えられるので、排水などに用する溝の可能性もある。今後、他の集落形態との比較検討により、区画という概念は再考を要するものと考えている。

また、掘立柱建物は14棟確認し、II期集落と同様に正方位のものと軸が大きくずれるもの、また切り合い関係から数時期に細分されるであろうが、変遷過程についてはII期集落と同様に明確にはし得なかっ

た。

B地区では第1遺構面に該当し、A地区の変遷過程とはほぼ同じ様相を示すものである。ただ、区画溝がほぼ調査区周辺を巡るもので、ほぼ正方形状を呈し、B地区においてはⅡ期集落との間に集落形態に変化がうかがえる。

IV期（14世紀中葉以降）

A地区、B地区ともに集落が廃絶したと捉えられる時期である。

A地区では第1面が該当するが第2面においてもこの時期のものが若干見受けられる。A2区の南部で掘立柱建物2棟が確認されているが、規模も面積が12m²前後と作業小屋などを想定させることから、その東側で検出した畝状遺構との関連性が考えられるものである。また、付図などの挿図においては層位的時期差から便宜状周辺の遺構と区別したが、第2面において確認した時期が特定できない掘立柱建物の何棟かが関連する可能性はあるだろう。特に、軸のずれている掘立柱建物は可能性が高いものと思われる。ただ、やはり建物の規模などその他の状況から察するに集落というよりは相対的に見て主に畑作などの耕作地域における関連施設と考える方が妥当と思われ、IV期以降は耕作地となり、現在まで至るものと思われる。

B地区においてもA地区とはほぼ同じ様相を示しており、以後、畑作などの耕作地として利用され、現在に至るようである。

以上、集落の変遷について概観してきたが、今回の集落の特徴をあげるとまず一つにⅠ期からⅣ期、特にⅡ期からⅢ期にかけての集落変遷において極めて時期的に連続性が認められ、集落のありかたについて非常に外圧的な要素を受けていたかのような状態を示していることである。それが政治、社会、経済など、いかなる要因によるかは明らかにしがたいが、ただこの時期は鎌倉時代の終わりから南北朝、室町時代とさまざまな意味で動乱の時期であることは間違いないく、その時代背景を如実に反映した結果であろう。特に、興味深いのはⅢ期集落が四條畷の合戦とほぼ時期を同じくすることから、それに巻き込まれた可能性は十分に考えられ、現に焼土などが出土する他、A1区のS1-101などの出土状況をみても興味深いものがある。

二つ目に集落の性格であるが、まずA地区の集落では全容がほぼわかる状態で、約2000m²弱の集落である。具体的に最盛期のⅢ期集落についてみると掘立柱建物は一時期最大7棟前後は建っていたものと思われるが、中心となるべき際立った大きな建物もなく、最大のものでも面積が33.6m²で、その他の建物も平均20m²と規模も小さく全体的にはほぼ均一の様相を呈している。このような状態からみてA地区的集落は一つの大きな屋敷地とみるよりも、小規模な農業経営を営んでいた農民層の集合体と考えるのが一番妥当ではないかと思われる。このことはA地区的他の時期の集落についても言えることである。また、B地区的集落についてはおそらく大阪府泉佐野市に所在する上町遺跡などにみられるような屋敷地の集合体の一部分の可能性が高いと思われる。もしもあれば、同時期の集落景観を構成する集落において、それぞれ異なる形態を呈することは今後、当該期の集落構造を考えるうえで重要な事例になると思われる。

最後に、IV期以降の集落の推移についてであるが、A地区から西に約300m離れた自然堤防上に近世以降、現代に至るまで宮まれていたと考えられている古くからの村落地域があるが、おそらくその地域にその前身たる集落が形成されたと考えるのが一番合理的であると思われる。そのように考えてよければ、中世集落の形態変遷の特徴である散村から集村化という現象を如実に示すものであろう。

出土遺物觀察表

地図 番号	器種	出土地点	法量(cm)	色調	胎土	焼成	技法の特徴		備考
							外面指押さえ、一部ヘラミガキ 内面ヘラミガキ 波継有り	大和型	
A	瓦 器 梶	トレンチ No.6	口径(底) 器高(底) 4.2	外)灰色 内)褐色 波継)灰白色	密	良 珍			
B	瓦 器 梶	トレンチ No.6	口径(底) 器高(底) 2.2	外)灰白色 内)白色 波継)灰白色	密	良 好	外面ナガ調整 内面ヘラミガキ	和泉型 重ね焼き痕	
C	瓦 器 梶	トレンチ No.6	口径(底) 器高(底) 3.3	外)灰色 内)灰色 波継)灰白色	密	良 珍	外面指押さえ 内面ヘラミガキ 高台有り	和泉型	
D	土師器 盆	トレンチ No.6	口径 器高 7.8 0.9	外)灰白色 内)浅紫褐色 波継)浅紫褐色	密	良 珍	ナガ調整 底部外面指押さえ		
E	土 師 器 盆	トレンチ No.6	口径 器高 7.9 1.5	外)灰白色 内)灰白色 波継)一	密	良 珍	ナガ調整 底部外面指押さえ		
F	須恵器 鋼鉢	トレンチ No.6	底径(底) 器高(底) 9.0 4.2	外)灰色 内)褐色 波継)灰白色	密	堅 種	回転ナガ調整	東播系 武府外面回転朱切り模	
G	須恵器 鋼鉢	トレンチ No.6	底径(底) 器高(底) 11.2 4.7	外)灰色 内)灰白色 波継)灰白色	密	堅 種	回転ナガ調整	東播系	
H	土師質羽釜	トレンチ No.6	口径(底) 器高(底) 30.6 7.1	外)灰褐色～褐灰色 内)灰白色 波継)灰白色	密	良 珍	ナガ調整	復付着	
I	瓦質 弓 笔	トレンチ No.6	口径 器高(底) 18.7 7.8	外)黑褐色 内)褐灰色 波継)灰白色	密	良 好	ナガ調整	体部外側に復付着	
J	瓦質 三足釜	トレンチ No.6	口径 器高(底) 17.4 17.0	外)黑色 内)深紫褐色 波継)灰白色	密	良 好	外面指押さえ 内面ハマ調整	体部外側に復付着	
K	瓦質 三足釜	トレンチ No.6	口径(底) 器高(底) 18.4 11.7	外)黑褐色 内)深紫褐色 波継)灰白色	密	良 好	外面指押さえ 内面ハマ調整	体部外側に復付着	
L	瓦質 火鉢	トレンチ No.6	器高(底) 厚さ 6.4 2.0	外)灰色 内)灰褐色 波継)灰白色	密	良 珍	ナガ調整	菊花文	
M	瓦質 火鉢	トレンチ No.6	器高(底) 厚さ 5.3 1.8	外)灰白色 内)灰白色 波継)灰白色	密	良 珍	ナガ調整	菊花文	
N	瓦質 火鉢	トレンチ No.6	器高(底) 厚さ 5.0 1.6	外)灰色 内)灰白色 波継)灰白色	密	良 好	ナガ調整	菊花文	
O	磁器紅猪口	トレンチ No.27	口径(底) 器高 4.4 1.3	外)明緑灰褐色 内)明緑灰褐色 波継)一	密	堅 種		菊花形	
P	土 製 品	トレンチ No.20	残長 残幅 厚さ 2.6 2.1 2.5	灰白色	密	良 好		鳥?	
Q	ミニチュア鏡	トレンチ No.24	長さ 厚さ 3.8 2.3 0.7	灰白色	密	良 珍			
R	磁 石	トレンチ No.34	残長 残幅 厚さ 4.6 3.6 1.4		密				
I	瓦 器 梶	A1区 SD-101	口径 器高 9.4 3.5	外)灰色 内)褐色 波継)灰白色	密	良 好	外面指押さえ 内面ヘラミガキ 波継有り、高台有り	大和型 重ね焼き痕	
2	瓦 器 梶	A1区 SD-101	口径(底) 器高 9.2 2.5	外)灰白色 内)褐色 波継)灰白色	密	良 珍	外面指押さえ 内面ヘラミガキ 波継無し、高台無し	大和型 重ね焼き痕	
3	土師器 盆	A1区 SD-101	口径 器高 11.0 2.2	外)灰白色 内)灰白色 波継)灰白色	密	良 珍	ナガ調整		
4	土 師 器 盆	A1区 SD-101	口径 器高 8.0 1.4	外)灰白色 内)灰白色 波継)灰白色	密	良 珍	ナガ調整		
5	土 師 器 盆	A1区 SD-101	口径 器高 7.8 1.8	外)浅褐色 内)深褐色 波継)灰白色 内)ぶい橙色	密	良 珍	ナガ調整		
6	須恵器 鋼鉢	A1区 SD-101	口径(底) 器高(底) 34.4 4.3	外)クリップ切込～灰白色 内)灰白色 波継)灰白色	密	堅 種	回転ナガ調整	東播系 LH級施部粘	
7	須恵器 鋼鉢	A1区 SD-101	口径(底) 器高(底) 27.3 6.3	外)灰白色 内)灰白色 波継)灰白色	密	堅 種	回転ナガ調整	東播系 口沿施部粘	
8	須恵器 鋼鉢	A1区 SD-101	底径(底) 器高(底) 12.2 7.1	外)灰白色 内)灰白色 波継)灰白色	密	堅 種	回転ナガ調整	東播系 底盤外側回転朱切り模 内側使用痕	
9	瓦質 弓 笔	A1区 SD-101	口径(底) 器高(底) 27.0 4.1	外)灰白色 内)灰白色 波継)灰白色	密	良 珍	ナガ調整		

博物 番号	器種	出土地点	法量(cm)	色調	胎土	構成	技法の特徴	備考
10	陶器 塔 脳	A1区 SD-101	口径(復) 器高(残) 40.2 4.8	外)灰褐色 内)黄褐色 灰白色	密	堅 種	回転ナガ調整 体部内面スリット	
11	木舟 形?	A1区 SD-101	長さ 幅 厚さ 12.3 5.1 0.9					ズギ
12	裏	A1区 SD-101	長さ 幅 厚さ 9.6 7.0 1.8					
13	磁 石?	A1区 SD-101	長さ 幅 厚さ 9.8 4.5 3.1					
14	瓦質 羽釜	A1区 SD-103	口径(復) 器高(残) 24.8 7.6	外)灰褐色 内)灰褐色 灰白色	密	良 好	ナテ調整 指押さえ	
15	瓦質 羽釜	A1区 SD-103	口径(復) 器高(残) 26.8 10.9	外)灰白色 内)淡黄褐色 淡黄褐色	密	良 好	外面部調整 内面ハケ調整	
16	土質 器皿	A1区 SD-106	口径 器高 10.4 2.3	外)淡褐色 内)にぼい褐色 灰白色	密	良 好	ナテ調整 外面部押さえ	
17	陶器 壺	A1区 SD-106	口径(復) 器高(残) 23.3 5.3	外)暗オリーブ色 内)オリーブ褐色 灰白色	密	堅 種	ナテ調整	常滑? 自然釉付着
18	錢 貨	A1区 SD-106	径 厚さ 2.5 0.1					大聖元寶(北宋1023年)
19	白 磁 加	A1区 SD-107	口径(復) 器高 9.3 1.58	外)灰白色 内)灰白色 灰白色	密	堅 種	口壳	
20	瓦 質 瓶	A1区 SK-116	口径 器高 4.6 3.6	外)灰白色 内)灰白色 灰白色	密	良 好	外面部押さえ 内面ヘリカキ 吹瓶有り、高台無し	大和型 重ね焼き模
21	瓦 質 瓶	A1区 SK-116	口径 器高 9.3 3.5	外)灰褐色 内)灰褐色 灰褐色	密	良 好	外面部押さえ 内面ヘリカキ 吹瓶有り、高台無し	大和型 重ね焼き模
22	瓦 質 瓶	A1区 SK-116	口径 器高 9.4 3.5	外)灰褐色 内)灰褐色 灰褐色	密	不 良	外面部模倣の為不明 内面ヘリカキ	大和型
23	瓦 質 瓶	A1区 SK-116	口径 器高(残) 9.4 3.2	外)灰褐色 内)灰白色 灰白色	密	良 好	外面部押さえ 内面ヘリカキ 吹瓶無し、高台無し	大和型 重ね焼き模
24	土質 器皿	A1区 SK-116	口径(復) 器高 14.0 2.2	外)淡灰黄色 内)灰白色 灰白色	密	良 好	ナテ調整 外面部押さえ	
25	土質 器皿	A1区 SK-116	口径(復) 器高 11.2 2.2	外)淡灰黄色 内)淡灰黄色 淡灰黄色	密	良 好	ナテ調整 外面部押さえ	内面保付着
26	土質 器皿	A1区 SK-116	口径 器高 7.8 1.6	外)淡灰黄色 内)淡灰黄色 —	密	良 好	ナテ調整	
27	土質 器皿	A1区 SK-116	口径 器高 7.2 1.2	外)灰白色 内)灰白色 灰白色	密	良 好	ナテ調整	
28	土質 器皿	A1区 SK-116	口径 器高 7.6 1.8	外)淡灰黄色 内)淡灰黄色 —	密	良 好	ナテ調整	
29	土質 器皿	A1区 SK-116	口径 器高 7.4 1.7	外)淡灰褐色 内)淡灰褐色 —	密	良 好	ナテ調整	
30	土質 器皿	A1区 SK-116	口径 器高 7.8 1.8	外)灰白色 内)灰白色 —	密	良 好	ナテ調整	
31	土質 器皿	A1区 SK-116	口径 器高 7.6 1.6	外)灰白色 内)灰白色 灰白色	密	良 好	ナテ調整	
32	瓦質 羽釜	A1区 SK-116	口径(復) 器高(残) 21.2 11.6	外)暗灰黑色 内)暗灰黑色 灰白色	密	設 好	外面部押さえ 内面ハケ調整	
33	瓦質 羽釜	A1区 SK-116	口径(復) 器高(残) 21.1 9.0	外)暗青灰色 内)青黑色 灰白色	密	良 好	外面部押さえ 内面ナガ調整	外面部付着
34	瓦質 瓶	A1区 SK-116	口径(復) 器高(残) 24.3 7.1	外)灰白色 内)灰白色 灰白色	密	良 好	外面部押さえ 内面ナガ調整	口縫部外、内面ともに 皮剥が吸着していない
35	瓦質 火鉢	A1区 SK-116	器高(残) 厚さ 1.8 2.2	外)灰褐色 内)灰褐色 灰褐色	密	良 好	外面部方向のヘリカキ 内面口縫部方向のヘリカキ	菊花文
36	瓦質 火鉢	A1区 SK-116	器高(残) 厚さ 7.4 2.1	外)灰褐色 内)灰褐色 灰白色	密	良 好	外面部押さえ 内面口縫部方向のヘリカキ 体部底面方向のヘリカキ	菊花文

辨認番号	器種	出土地点	法量 (cm)	色調	胎土	焼成	技術の特徴	備考
37	瓦質火鉢	A1区 SK-116	器高(残) 厚さ	7.4 1.3 外) 黄褐色 (内) 黄褐色 系) 从白色	密	良 好	外面指揮方向のへらしガキ 内部指揮方向のへらしガキ	菊花文
38	陶器燐	A1区 SK-116	口徑(底) 器高(残)	22.0 6.8 外) 底白色 (内) 从オリーブ色 系) 从白色	密	堅 織	ナテ調整	常滑 内面自然釉付着
39	丸 瓦	A1区 SK-116	底長 残幅 厚さ	16.2 14.5 1.7 外) 底白色 (内) 从灰色 系) 从白色	密	良 好	凹面布目紋 凸面ヘラタズリ、ナテ調整	瓦質
40	瓦 製輪	A1区 SK-118	口徑 器高	9.8 3.4 外) 底色 (内) 从灰色 系) 从白色	密	良 好	外面指揮さえ 内面ヘラしガキ 沈線有り、高台有り	大和型 重ね焼き痕
41	瓦 製輪	A1区 SK-118	口徑 器高	9.3 3.6 外) 底色 (内) 从灰色 系) 从白色	密	良 好	外面指揮さえ 内面ヘラしガキ 沈線有り、高台有り	大和型 重ね焼き痕
42	瓦 製輪	A1区 SK-118	口徑 器高	8.7 3.7 外) 底色 (内) 从灰色 系) 从白色	密	良 好	外面指揮さえ 内面ヘラしガキ 沈線有り、高台無し	大和型 重ね焼き痕
43	瓦 製輪	A1区 SK-118	口徑(底) 器高	9.6 2.6 外) 从灰色 (内) 从白色 系) 从白色	密	良 好	外面指揮さえ 内面ヘラしガキ 沈線無し、高台無し	椭圆型
44	瓦 製輪	A1区 SK-118	口徑 器高	8.4 1.3 外) 底色 (内) 从灰色 系) 从灰色	密	良 好	ナテ調整 追加内面指揮さえ	見込みジグザグ状横文
45	土師器皿	A1区 SK-118	口徑 器高	8.1 1.2 外) 从黄色 (内) 从黄色 系) 从黄色	密	良 好	ナテ調整	
46	土師器皿	A1区 SK-118	口徑 器高	8.2 1.3 外) 从黄褐色 (内) 从黄褐色 系) 从黄褐色	密	良 好	ナテ調整	
47	土師器皿	A1区 SK-118	口徑 器高	8.0 1.5 外) 从黄褐色 (内) 从黄褐色 系) 从黄褐色	密	良 好	ナテ調整	
48	土師器皿	A1区 SK-118	口徑 器高	7.8 1.8 外) 从白色 (内) 从白色 系) 从白色	密	良 好	ナテ調整	
49	土師器皿	A1区 SK-118	口徑 器高	7.8 1.6 外) 从黄色 (内) 从黄色 系) 从黄色	密	良 好	ナテ調整	
50	土師器皿	A1区 SK-118	口徑 器高	7.8 1.6 外) 从白色 (内) 从白色 系) 从白色	密	良 好	ナテ調整	
51	土師器皿	A1区 SK-118	口徑 器高	7.8 1.8 外) 从黄褐色 (内) 从黄褐色 系) 从黄褐色	密	良 好	ナテ調整	
52	陶器燐	A1区 SK-125	底径(底) 器高(底)	34.4 9.9 外) 从黄褐色 (内) 从灰色 系) 从白色	密	堅 織	ヘラナテ調整	
53	土師器皿	A1区 SK-134	口徑(底) 器高(底)	6.8 1.7 外) 从黄褐色 (内) 从黄褐色 系) 从黄褐色	密	良 好	ナテ調整	
54	瓦質羽釜	A1区 SK-134	口徑(底) 器高(底)	30.7 10.5 外) 黄色 (内) 从オリーブ灰色 系) 从白色	密	良 好	ナテ調整	
55	陶器燐	A1区 SK-134	口徑(底) 器高(底)	28.0 8.0 外) 从黄褐色 (内) 从黄褐色 系) 从白色	密	堅 織	ナテ調整	常滑、自然種、 土器付着 2ヶ所
56	瓦 製輪	A1区 SK-149	口徑 器高	10.4 3.15 外) 底色 (内) 从白色 系) 从白色	密	良 好	外面指揮さえ 内面ヘラしガキ、ハケ調整 沈線有り、高台有り	大和型 重ね焼き痕
57	石製品?	A1区 SK-153'	底径 残幅 厚さ	3.5 3.8 0.3 外) 黄白色～黄灰色 (内) 从白色 系) 从白色				磁石?
58	瓦 製輪	A1区 SK-156	口徑(底) 器高(底)	9.4 3.4 外) 底色 (内) 从白色 系) 从白色	密	良 好	外面指揮さえ 内面ヘラしガキ 沈線有り、高台有り	大和型 重ね焼き痕
59	瓦 製輪	A1区 SK-156	口徑(底) 器高(底)	10.8 3.5 外) 底色 (内) 从オリーブ灰色 系) 从白色	密	良 好	外面指揮さえ 内面ヘラしガキ 沈線無し、高台無し	椭圆型
60	土師器皿	A1区 SK-156	口徑(底) 器高(底)	10.4 2.7 外) 底色 (内) 从白色 系) 从白色	密	良 好	ナテ調整	外面 2次焼成
61	土師器皿	A1区 SK-156	口徑(底) 器高(底)	11.2 2.2 外) 底色 (内) 从白色 系) 从白色	密	良 好	ナテ調整	
62	土師器皿	A1区 SK-156	口徑(底) 器高(底)	7.6 1.7 外) 从黄色 (内) 从黄褐色 系) 从黄色	密	良 好	ナテ調整	
63	土師器皿	A1区 SK-156	口徑 器高	7.8 1.5 外) 从黄褐色 (内) 从黄褐色 系) 从黄色	密	良 好	ナテ調整	

標識番号	器種	出土地点	法量(cm)	色調	胎土	焼成	特徴の特徴	備考
64	須恵器縦縫	A1区 SK-156	口径(復) 29.6 器高(残) 9.2	外) 灰色 内) 茶白色 灰白色	密	堅 硬	回転ナダ調整	束縛系 口縫隙部有
65	須恵器縦縫	A1区 SK-156	口径(復) 29.8 器高(残) 9.1	外) 灰白色 内) 茶白色 灰白色	密	やや軟	回転ナダ調整	束縛系 体部内外面とも保有
66	瓦質 壺	A1区 SK-156	器高(残) 厚さ 6.4 0.7	外) 灰白色 内) 茶白色 灰白色	密	良好	外面タキ 内面摩滅のため不明	
67	瓦質 火鉢	A1区 SK-156	器高(残) 厚さ 1.9 0.7	外) 灰色 内) 灰白色	密	良好	背面摩滅のため不明 内面ハラ題	菊花文
68	陶器壺	A1区 SK-156	口径(復) 10.3 器高(残) 5.1	外) 灰色 内) 灰白色 灰白色	密	堅 硬	回転ナダ調整	接接?
69	陶器壺	A1区 SK-156	口径(復) 11.0 器高(残) 6.5	外) 灰白色 内) 茶白色 灰白色	密	軟	回転ナダ調整	
70	陶器壺	A1区 SK-156	口径(復) 38.0 器高(残) 10.1	外) 灰白色 内) 灰白色 灰白色	密	堅 硬	回転ナダ調整	齊刷
71	鏡	A1区 SK-156	残長 残幅 厚さ 3.6 2.9 0.7					ミニチュア?
72	土器	A1区 SK-157	残長 残幅 4.2 2.2	灰白色	密	良好		丸質
73	土器蓋皿	A1区 SE-101	口径 器高 0.4 2.1	外) 淡黄色 内) 淡褐色 淡黄色	密	良好	ナダ調整	
74	土器蓋皿	A1区 SE-101	口径 器高 13.6 2.0	外) 灰白色 内) 灰白色 灰白色	密	良好	ナダ調整	
75	土器蓋皿	A1区 SE-101	口径(復) 器高(残) 11.6 2.0	外) 灰白色 内) 灰白色 灰白色	密	良好	ナダ調整	
76	土器蓋皿	A1区 SE-101	口径(復) 器高(残) 11.6 2.0	外) 灰白色 内) 灰白色 灰白色	密	良好	ナダ調整	
77	土器蓋皿	A1区 SE-101	口径 器高 10.6 2.0	外) 淡黄色 内) 淡褐色 淡黄色	密	良好	ナダ調整	
78	土器蓋皿	A1区 SE-101	口径 器高 8.0 1.6	外) 灰白色 内) 灰白色 灰白色	密	良好	ナダ調整	
79	土器蓋皿	A1区 SE-101	口径 器高 7.8 1.9	外) 淡黄色 内) 淡褐色 淡黄色	密	良好	ナダ調整	
80	土器蓋皿	A1区 SE-101	口径 器高 7.8 2.0	外) 淡黄色 内) 淡褐色 淡黄色	密	良好	ナダ調整	
81	瓦質羽垂	A1区 SE-101	口径(復) 器高(残) 25.2 3.5	外) 黑色 内) 黑色 灰白色	密	良好	ナダ調整	
82	木製品	A1区 SE-101	残長 残幅 厚さ 20.3 0.9 0.55					
83	木製品	A1区 SE-101	残長 残幅 厚さ 19.0 0.6 0.5					
84	木製品	A1区 SE-101	残長 残幅 厚さ 20.8 0.8 0.6					ヒノキ科
85	木製品	A1区 SE-101	残長 残幅 厚さ 21.4 0.7 0.5					
86	木製品	A1区 SE-101	残長 残幅 厚さ 21.8 0.6 0.35					
87	瓦器輪	A1区 SI-101	口径(復) 器高 11.0 3.0	外) 灰色 内) 灰色 灰白色	密	良好	外側押さえ 内面ハラミガキ 花緋有り、高台有り	輪型 見込みにシザザグ模様文
88	瓦器輪	A1区 SI-101	口径(復) 器高 11.8 3.5	外) 灰色 内) 灰色 灰白色	密	良好	外側押さえ 内面ハラミガキ 花緋有り、高台有り	大和型 見込みにシザザグ模様文
89	瓦器輪	A1区 SI-101	口径(復) 器高 11.4 3.5	外) 灰色 内) 灰色 灰白色	密	良好	外側押さえ 内面ハラミガキ 花緋有り、高台有り	大和型 重ね施き版
90	瓦器輪	A1区 SI-101	口径(復) 器高 11.9 3.7	外) オリーブ黒色 内) オリーブ黒色 灰白色	密	良好	外側押さえ 内面ハラミガキ 花緋有り、高台有り	大和型

検査番号	器種	出土地点	法尺 (cm)	色調	胎土	焼成	技術的特徴	備考
91	瓦器 檐	A1区 SI-101	口径(底) 基高 3.5	外:灰白色 内:灰色 底:灰白色	密	良 好	外面部押さえ 内面へうきガキ 沈線有り、高台有り	大和型 重ね焼き模
92	瓦器 檐	A1区 SI-101	口径(底) 基高 3.55	外:灰白色 内:灰色 底:灰白色	密	良 好	外面部押さえ 内面へうきガキ 沈線有り、高台有り	大和型 重ね焼き模
93	瓦器 檐	A1区 SI-101	口径(底) 基高 2.95	外:暗灰褐色 内:灰色 底:灰白色	密	良 好	外面部押さえ 内面へうきガキ 沈線有り、高台有り	大和型
94	瓦器 檐	A1区 SI-101	口径(底) 基高 3.2	外:灰白色 内:灰色 底:灰白色	密	良 好	外面部押さえ 内面へうきガキ 沈線有り、高台有り	大和型 重ね焼き模
95	瓦器 檐	A1区 SI-101	口径 基高 3.2	外:灰白色 内:灰白色 底:灰白色	密	良 好	外面部押さえ 内面へうきガキ 沈線無し	大和型 重ね焼き模
96	瓦器 檐	A1区 SI-101	口径 基高 3.6	外:灰白色 内:灰白色 底:灰白色	密	良 好	外面部押さえ 内面へうきガキ 沈線有り、高台有り	大和型
97	瓦器 檐	A1区 SI-101	口径 基高 3.3	外:灰白色 内:灰色 底:灰白色	密	良 好	外面部押さえ 内面へうきガキ 沈線有り、高台有り	大和型
98	瓦器 檐	A1区 SI-101	口径 基高 3.3	外:灰白色 内:灰色 底:灰白色	密	良 好	外面部押さえ 内面へうきガキ 沈線無し、高台有り	埴輪型 重ね焼き模
99	瓦器 檐	A1区 SI-101	口径 基高 3.5	外:灰白色 内:灰色 底:灰白色	密	良 好	外面部押さえ 内面へうきガキ 沈線有り、高台有り	大和型 重ね焼き模
100	瓦器 檐	A1区 SI-101	口径 基高 3.95	外:灰白色 内:灰白色 底:灰白色	密	良 好	外面部押さえ 内面へうきガキ 沈線有り、高台有り	大和型 重ね焼き模
101	瓦器 檐	A1区 SI-101	口径 基高 3.9	外:灰白色 内:灰色 底:灰白色	密	良 好	外面部押さえ 内面へうきガキ 沈線有り、高台有り	大和型 重ね焼き模
102	瓦器 檐	A1区 SI-101	口径(底) 基高 3.6	外:灰白色 内:灰白色 底:灰白色	密	良 好	外面部押さえ 内面へうきガキ 沈線有り、高台有り	大和型 重ね焼き模
103	瓦器 檐	A1区 SI-101	口径 基高 3.8	外:灰白色 内:灰白色 底:灰白色	密	良 好	外面部押さえ 内面へうきガキ 沈線有り、高台有り	大和型 重ね焼き模
104	瓦器 檐	A1区 SI-101	口径 基高 3.6	外:灰白色 内:灰色 底:灰白色	密	良 好	外面部押さえ 内面へうきガキ 沈線有り、高台有り	大和型 重ね焼き模
105	瓦器 檐	A1区 SI-101	口径 基高 3.5	外:灰白色 内:灰白色 底:灰白色	密	良 好	外面部押さえ 内面へうきガキ 沈線有り、高台有り	大和型 重ね焼き模
106	瓦器 檐	A1区 SI-101	口径 基高 3.4	外:灰白色 内:灰白色 底:灰白色	密	良 好	外面部押さえ 内面へうきガキ 沈線有り、高台有り	大和型 重ね焼き模
107	瓦器 檐	A1区 SI-101	口径 基高 3.5	外:灰白色 内:灰色 底:灰白色	密	良 好	外面部押さえ 内面へうきガキ 沈線有り、高台有り	大和型 重ね焼き模
108	瓦器 檐	A1区 SI-101	口径 基高 3.6	外:灰白色 内:灰白色 底:灰白色	密	良 好	外面部押さえ 内面へうきガキ 沈線有り、高台有り	大和型 重ね焼き模
109	瓦器 檐	A1区 SI-101	口径 基高 3.5	外:灰白色 内:灰白色 底:灰白色	密	良 好	外面部押さえ 内面へうきガキ 沈線有り、高台有り	大和型 重ね焼き模
110	瓦器 檐	A1区 SI-101	口径 基高 3.5	外:灰白色 内:灰白色 底:灰白色	密	良 好	外面部押さえ 内面へうきガキ 沈線無し、高台無し	大和型 重ね焼き模
111	瓦器 檐	A1区 SI-101	口径 基高(底) 3.35	外:黄灰褐色 内:灰白色 底:灰白色	密	良 好	外面部押さえ 内面へうきガキ 沈線無し、高台無し	大和型 重ね焼き模
112	瓦器 檐	A1区 SI-101	口径(底) 基高 3.4	外:灰白色 内:灰白色 底:灰白色	密	良 好	外面部押さえ 内面へうきガキ 沈線無し	大和型 重ね焼き模
113	瓦器 檐	A1区 SI-101	口径 基高(底) 3.4	外:灰白色 内:灰白色 底:灰白色	密	やや不良	外面部押さえ 内面へうきガキ 沈線無し	大和型 重ね焼き模
114	瓦器 檐	A1区 SI-101	口径 基高 3.7	外:灰白色 内:灰白色 底:灰白色	密	良 好	外面部押さえ 内面へうきガキ 沈線有り、高台無し	大和型 重ね焼き模
115	瓦器 檐	A1区 SI-101	口径 基高 3.65	外:灰白色 内:灰白色 底:灰白色	密	良 好	外面部押さえ 内面へうきガキ 沈線有り、高台無し	大和型 重ね焼き模
116	瓦器 檐	A1区 SI-101	口径 基高 3.7	外:灰白色 内:灰白色 底:灰白色	密	良 好	外面部押さえ 内面へうきガキ 沈線有り、高台無し	大和型 重ね焼き模
117	瓦器 檐	A1区 SI-101	口径 基高 3.7	外:灰白色 内:灰白色 底:灰白色	密	良 好	外面部押さえ 内面へうきガキ 沈線無し	大和型 重ね焼き模

件名	器種	出土地点	法量(cm)	色調	胎土	焼成	特徴的特徴	備考
118	瓦器 瓦	A1区 SI-101	口径(復) 器高 9.0 3.5	外)灰白色 内)灰白色 新)灰白色	密	良 好	外面施陶さえ 内面へうきガキ 沈継無し、高台無し	大和型 重ね焼き窓
119	瓦器 瓦	A1区 SI-101	口径(復) 器高 8.8 3.3	外)暗灰色 内)灰白色 新)灰白色	密	良 好	外面施陶さえ 内面へうきガキ 沈継無し、高台無し	大和型 重ね焼き窓
120	瓦器 梅	A1区 SI-101	口径(復) 器高 9.6 3.1	外)灰白色 内)灰白色 新)灰白色	密	良 好	外面施陶さえ 内面へうきガキ 沈継無し、高台無し	大和型 重ね焼き窓
121	瓦器 梅	A1区 SI-101	口径(復) 器高 8.3 3.3	外)暗灰色 内)灰白色 新)灰白色	密	良 好	外面施陶さえ 内面へうきガキ 沈継無し、高台無し	大和型 重ね焼き窓
122	瓦器 梅	A1区 SI-101	口径(復) 器高 8.0 3.9	外)灰白色 内)灰白色 新)灰白色	密	良 好	外面施陶さえ 内面へうきガキ 沈継有り、高台無し	大和型 重ね焼き窓
123	瓦器 梅	A1区 SI-101	口径(復) 器高 8.2 3.7	外)灰白色 内)暗オリーブ色 新)灰白色	密	良 好	外面施陶さえ 内面へうきガキ 沈継無し、高台無し	大和型 重ね焼き窓
124	瓦器 梅	A1区 SI-101	口径(復) 器高 8.6 3.7	外)灰白色 内)灰白色 新)灰黄色	密	良 好	外面施陶さえ 内面へうきガキ 沈継有り、高台無し	大和型 重ね焼き窓
125	瓦器 梅	A1区 SI-101	口径(復) 器高 8.2 3.6	外)灰白色 内)暗灰色 新)灰白色	密	良 好	外面施陶さえ 内面へうきガキ 沈継有り、高台無し	人和型 重ね焼き窓
126	瓦器 梅	A1区 SI-101	口径(復) 器高 9.0 4.5	外)灰白色 内)灰白色 新)灰白色	密	良 好	外面施陶さえ 内面へうきガキ 沈継有り、高台無し	大和型 重ね焼き窓
127	瓦器 梅	A1区 SI-101	口径(復) 器高 12.8 3.3	外)灰白色 内)暗灰色 新)灰白色	密	良 好	外面施陶さえ 内面へうきガキ 沈継無し、高台有り	和泉型 重ね焼き窓
128	瓦器 梅	A1区 SI-101	口径(復) 器高 11.8 3.0	外)灰白色 内)灰白色 新)灰白色	密	良 好	外面施陶さえ 内面へうきガキ 沈継無し、高台有り	和泉型
129	瓦器 梅	A1区 SI-101	口径(復) 器高 11.8 2.8	外)灰白色 内)灰白色 新)灰白色	密	良 好	外面施陶さえ 内面へうきガキ 沈継有り、高台有り	和泉型 重ね焼き窓
130	瓦器 梅	A1区 SI-101	口径(復) 器高 12.0 2.8	外)灰白色 内)灰白色 新)灰白色	密	良 好	外面施陶さえ 内面へうきガキ 沈継無し、高台有り	和泉型 重ね焼き窓
131	瓦器 梅	A1区 SI-101	口径(復) 器高 12.2 2.6	外)灰白色 内)灰白色 新)灰白色	密	良 好	外面施陶さえ 内面へうきガキ 沈継無し、高台有り	和泉型 重ね焼き窓
132	瓦器 梅	A1区 SI-101	口径(復) 器高 13.1 3.0	外)暗青灰色 内)灰白色 新)灰白色	密	良 好	外面施陶さえ 内面へうきガキ 沈継無し、高台無し	和泉型 重ね焼き窓
133	瓦器 梅	A1区 SI-101	口径(復) 器高 11.8 3.0	外)灰白色 内)灰白色 新)灰白色	密	良 好	外面施陶さえ 内面へうきガキ 沈継無し、高台無し	和泉型 重ね焼き窓
134	瓦器 梅	A1区 SI-101	口径(復) 器高 11.8 3.0	外)灰白色 内)暗白色 新)灰白色	密	良 好	外面施陶さえ 内面へうきガキ 沈継無し、高台無し	和泉型 重ね焼き窓
135	瓦器 梅	A1区 SI-101	口径(復) 器高 11.9 2.8	外)灰白色 内)暗白色 新)灰白色	密	良 好	外面施陶さえ 内面へうきガキ 沈継無し、高台無し	和泉型 重ね焼き窓
136	瓦器 梅	A1区 SI-101	口径(復) 器高 10.6 3.0	外)暗灰色 内)灰白色 新)灰白色	密	良 好	外面施陶さえ 内面へうきガキ 沈継無し、高台無し	和泉型
137	瓦器 梅	A1区 SI-101	口径(復) 器高 8.4 2.1	外)灰白色 内)灰白色 新)灰白色	密	良 好	外面施陶さえ 内面へうきガキ 沈継無し、高台無し	袖型? 見込みにゾザグ状縮文
138	七輪器 盆	A1区 SI-101	口径(復) 器高 13.0 1.8	外)浅黄褐色 内)浅黄褐色 新)灰白色	密	良 好	ナデ調整	
139	土器器皿	A1区 SI-101	口径(復) 器高 12.0 1.65	外)浅黄褐色 内)浅黄褐色 新)灰白色	密	良 好	ナデ調整	
140	土器器皿	A1区 SI-101	口径(復) 器高 11.2 2.1	外)浅黄褐色 内)灰白色 新)灰白色	密	良 好	ナデ調整	
141	土器器皿	A1区 SI-101	口径(復) 器高 12.0 2.1	外)灰白色 内)灰白色 新)灰白色	密	良 好	ナデ調整	
142	土器器皿	A1区 SI-101	口径(復) 器高 10.6 2.0	外)浅黄褐色 内)浅黄褐色 新)灰白色	密	良 好	ナデ調整	
143	土器器皿	A1区 SI-101	口径(復) 器高 11.4 1.8	外)灰白色 内)灰白色 新)灰白色	密	良 好	ナデ調整	底部内面2次焼成
144	土器器皿	A1区 SI-101	口径(復) 器高 12.2 2.1	外)浅黄褐色 内)浅黄褐色 新)灰白色	密	良 好	ナデ調整	

標図 番号	基準	出土地点	法量(cm)	色調	粘土	焼成	技法の特徴	備考
145	土師器皿	A1区 SI-101	口径(復) 器高	11.0 2.0 内) 淡黄色 外) 淡黄色 部) 淡黄色	密	良 好	ナガ調整	口縁部内外面2次燒成
146	土師器皿	A1区 SI-101	口径(復)	12.0 2.1 内) 淡黃褐色 外) 淡黃褐色 部) 淡黃褐色	密	良 好	ナガ調整	
147	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高	11.2 2.3 内) 淡黃褐色 外) 淡黃褐色 部) 淡黃褐色	密	良 好	ナガ調整	
148	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高	11.0 2.3 内) 灰白色 外) 灰白色 部) 灰白色	密	中や不良	ナガ調整	
149	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高	10.4 2.15 内) 灰白色 外) 灰白色 部) 灰白色	密	良 好	ナガ調整	
150	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高	10.8 1.95 内) 淡黃褐色 外) 淡黃褐色 部) 淡黃褐色	密	良 好	ナガ調整	
151	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高	10.4 2.1 内) 淡黄色 外) 淡黄色 部) 淡黄色	密	良 好	ナガ調整	
152	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高	10.4 2.0 内) 淡黃褐色 外) 淡黃褐色 部) 淡黃褐色	密	良 好	ナガ調整	
153	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高	11.0 2.4 内) 灰白色 外) 灰白色 部) ——	密	良 好	ナガ調整	
154	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高	10.2 2.3 内) 淡黃褐色 外) 淡黃褐色 部) ——	密	良 好	ナガ調整	
155	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高	11.0 2.3 内) 淡黄色 外) 淡黄色 部) ——	密	良 好	ナガ調整	
156	土師器皿	A1区 SI-101	口径(復) 器高	11.5 2.6 内) 淡黃褐色 外) 淡黃褐色 部) 淡黃褐色	密	良 好	ナガ調整	
157	土師器皿	A1区 SI-101	口径(復) 器高	12.1 2.0 内) 淡黃褐色 外) 淡黃褐色 部) 淡黃褐色	密	良 好	ナガ調整	
158	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高	12.0 2.1 内) 淡黄色 外) 淡黄色 部) 淡黄色	密	良 好	ナガ調整	
159	土師器皿	A1区 SI-101	口径(復) 器高	10.9 2.5 内) 淡黄色 外) 淡黄色 部) 淡黄色	密	良 好	ナガ調整	
160	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高	9.8 2.9 内) 淡黄色 外) 淡黄色 部) ——	密	良 好	ナガ調整	
161	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高	7.1 1.4 内) 淡黄色 外) 淡黄色 部) ——	密	良 好	ナガ調整	
162	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高	7.6 1.4 内) 淡黄色 外) 淡黄色 部) 淡黄色	密	良 好	ナガ調整	底部内面煤付青
163	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高	7.7 1.4 内) 淡黄色 外) 淡黄色 部) ——	密	良 好	ナガ調整	
164	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高	7.9 1.4 内) 淡黄色 外) 淡黄色 部) ——	密	良 好	ナガ調整	
165	土師器皿	A1区 SI-101	口径(復) 器高	8.0 1.25 内) 淡黃褐色 外) 淡黃褐色 部) 淡黃褐色	密	良 好	ナガ調整	
166	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高	7.7 1.4 内) 淡黃褐色 外) 淡黃褐色 部) 淡黃褐色	密	良 好	ナガ調整	
167	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高	8.0 1.3 内) 淡黃褐色 外) 淡黃褐色 部) 淡黃褐色	密	良 好	ナガ調整	
168	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高	7.8 1.5 内) 淡黃褐色 外) 淡黃褐色 部) 淡黃褐色	密	良 好	ナガ調整	
169	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高	7.4 1.2 内) 淡黄色 外) 淡黄色 部) 淡黄色	密	良 好	ナガ調整	
170	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高	7.8 1.5 内) 淡黄色 外) 淡黄色 部) ——	密	良 好	ナガ調整	
171	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高	8.0 1.3 内) 淡黄色 外) 淡黄色 部) ——	密	良 好	ナガ調整	

標印 番号	器種	出土地点	法量(cm)	色調	胎土	焼成	特徴	備考
172	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 8.5 1.2	外) 淡黄色 内) 淡黄色 筋) 淡黄色	密	良 好	ナデ調整	
173	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 8.0 1.1	外) 淡黄色 内) 淡黄色 筋) 淡黄色	密	良 好	ナデ調整	
174	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 8.4 1.0	外) 淡黄色 内) 淡黄色 筋) 淡黄色	密	良 好	ナデ調整	
175	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 7.8 1.1	外) 淡黄色 内) 淡黄色 筋) 淡黄色	密	良 好	ナデ調整	
176	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 8.3 1.3	外) 淡黄色 内) 淡黄色 筋) 淡黄色	密	良 好	ナデ調整	
177	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 7.8 1.35	外) 淡黄色 内) 淡黄色 筋) _____	密	良 好	ナデ調整	
178	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 8.2 1.4	外) 淡黄色 内) 淡黄色 筋) _____	密	良 好	ナデ調整	
179	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 7.6 1.5	外) 淡黄色 内) 淡黄色 筋) _____	密	良 好	ナデ調整	
180	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 8.0 1.4	外) 淡黄色 内) 淡黄色 筋) _____	密	良 好	ナデ調整	
181	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 7.8 1.3	外) 淡黄色 内) 淡黄色 筋) _____	密	良 好	ナデ調整	
182	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 8.4 1.5	外) 淡黄色 内) 淡黄色 筋) _____	密	良 好	ナデ調整	
183	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 7.9 1.6	外) 淡黄色 内) 淡黄色 筋) _____	密	良 好	ナデ調整	
184	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 7.8 1.4	外) 淡黄色 内) 淡黄色 筋) _____	密	良 好	ナデ調整	
185	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 8.2 1.25	外) 淡黄色 内) 淡黄色 筋) _____	密	良 好	ナデ調整	
186	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 7.9 1.5	外) 淡黄色 内) 淡黄色 筋) _____	密	良 好	ナデ調整	
187	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 8.0 1.4	外) 淡黄色 内) 淡黄色 筋) _____	密	良 好	ナデ調整	
188	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 8.0 1.3	外) 淡黄色 内) 淡黄色 筋) _____	密	良 好	ナデ調整	
189	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 8.6 1.55	外) 淡黄色 内) 淡黄色 筋) 淡黄色	密	良 好	ナデ調整	
190	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 7.6 1.2	外) 淡黄色 内) 淡黄色 筋) 淡黄色	密	良 好	ナデ調整	
191	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 8.2 1.1	外) 淡黄色 内) 淡黄色 筋) 淡黄色	密	良 好	ナデ調整	
192	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 8.0 1.1	外) 淡黄色 内) 淡黄色 筋) 淡黄色	密	良 好	ナデ調整	
193	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 8.0 1.0	外) 淡黄色 内) 淡黄色 筋) 淡黄色	密	良 好	ナデ調整	
194	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 7.9 1.3	外) 淡黄色 内) 淡黄色 筋) 淡黄色	密	良 好	ナデ調整	
195	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 7.7 1.1	外) 淡黄色 内) 淡黄色 筋) 淡黄色	密	良 好	ナデ調整	
196	土師器皿	A1区 SI-101	口径(腹) 器高 8.4 1.2	外) 淡黄色 内) 淡黄色 筋) 淡黄色	密	良 好	ナデ調整	
197	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 8.2 1.3	外) 淡黄色 内) 淡黄色 筋) 淡黄色	密	良 好	ナデ調整	
198	土師器皿	A1区 SI-101	口径(腹) 器高 8.4 1.6	外) 淡黄色 内) 淡黄色 筋) 淡黄色	密	良 好	ナデ調整	

標記番号	器種	出土地点	法 庫 (cm)	色 調	胎 土	焼 成	技法の特徴	備 考
199	土 鋸 器 直	A1区 SI-101	口徑 基高 7.8 1.3	外) 淡黄色 内) 淡黃(淡 紫) 淡紫色	密	良 好	ナゲ調整	
200	土 鋸 器 直	A1区 SI-101	口徑 基高 8.3 1.35	外) 淡黄色 内) 淡黃(淡 紫) 淡紫色	密	良 好	ナゲ調整	
201	土 鋸 器 直	A1区 SI-101	口徑 基高 7.2 1.2	外) 淡黄色 内) 淡黃(淡 紫) 淡紫色	密	良 好	ナゲ調整	
202	土 鋸 器 直	A1区 SI-101	口徑 基高(残) 8.0 1.3	外) 淡黄色 内) 淡黃(淡 紫) 淡紫色	密	良 好	ナゲ調整	
203	土 鋸 器 直	A1区 SI-101	口徑(僅 基高) 9.0 1.1	外) 淡黄色 内) 淡黃(淡 紫) 淡紫色	密	良 好	ナゲ調整	
204	土 鋸 器 直	A1区 SI-101	口徑(僅 基高) 9.2 1.6	外) 淡黄色 内) 淡黃(淡 紫) 淡紫色	密	良 好	ナゲ調整	
205	土 鋸 器 直	A1区 SI-101	口徑(僅 基高(残)) 9.1 1.3	外) 淡黄色 内) 淡黃(淡 紫) 淡紫色	密	良 好	ナゲ調整	
206	土 鋸 器 直	A1区 SI-101	口徑 基高 8.2 1.3	外) 淡黄色 内) 淡黃(淡 紫) 淡紫色	密	良 好	ナゲ調整	
207	土 鋸 器 直	A1区 SI-101	口徑(僅 基高(残)) 9.2 0.8	外) 淡黄色 内) 淡黃(淡 紫) 淡紫色	密	良 好	ナゲ調整	
208	土 鋸 器 直	A1区 SI-101	口徑 基高 8.2 1.3	外) 淡黄色 内) 淡黃(淡 紫) 淡紫色	密	良 好	ナゲ調整	
209	土 鋸 器 直	A1区 SI-101	口徑 基高 8.5 1.55	外) 淡黄色 内) 淡黃(淡 紫) 淡紫色	密	良 好	ナゲ調整	
210	土 鋸 器 直	A1区 SI-101	口徑 基高 7.8 1.5	外) 灰白色 内) 灰白(灰 黑) 灰黑色	密	良 好	ナゲ調整	
211	土 鋸 器 直	A1区 SI-101	口徑 基高 7.7 1.4	外) 灰白色 内) 灰白(灰 黑) 灰黑色	密	良 好	ナゲ調整	
212	土 鋸 器 直	A1区 SI-101	口徑 基高 7.9 1.3	外) 淡紫色 内) 淡黃(淡 紫) 淡紫色	密	良 好	ナゲ調整	
213	土 鋸 器 直	A1区 SI-101	口徑 基高 7.8 1.5	外) 淡黄色 内) 淡黃(淡 紫) 淡紫色	密	良 好	ナゲ調整	
214	土 鋸 器 直	A1区 SI-101	口徑 基高 7.7 1.4	外) 淡黄色 内) 淡黃(淡 紫) 淡紫色	密	良 好	ナゲ調整	
215	土 鋸 器 直	A1区 SI-101	口徑 基高 7.8 1.55	外) 淡黄色 内) 淡黃(淡 紫) 淡紫色	密	良 好	ナゲ調整	
216	土 鋸 器 直	A1区 SI-101	口徑 基高 7.4 1.65	外) 淡黄色 内) 淡黃(淡 紫) 淡紫色	密	良 好	ナゲ調整	
217	土 鋸 器 直	A1区 SI-101	口徑 基高 8.0 1.5	外) 淡黄色 内) 淡黃(淡 紫) 淡紫色	密	良 好	ナゲ調整	
218	土 鋸 器 直	A1区 SI-101	口徑 基高 7.8 1.5	外) 淡黄色 内) 淡黃(淡 紫) 淡紫色	密	良 好	ナゲ調整	
219	土 鋸 器 直	A1区 SI-101	口徑 基高 7.2 1.4	外) 淡黄色 内) 淡黃(淡 紫) 淡紫色	密	良 好	ナゲ調整	
220	土 鋸 器 直	A1区 SI-101	口徑 基高 7.8 1.5	外) 淡黄色 内) 淡黃(淡 紫) 淡紫色	密	良 好	ナゲ調整	
221	土 鋸 器 直	A1区 SI-101	口徑 基高 7.5 1.5	外) 淡黄色 内) 淡黃(淡 紫) 淡紫色	密	良 好	ナゲ調整	
222	土 鋸 器 直	A1区 SI-101	口徑(僅 基高) 7.8 1.5	外) 淡黄色 内) 淡黃(淡 紫) 淡紫色	密	良 好	ナゲ調整	
223	土 鋸 器 直	A1区 SI-101	口徑(僅 基高) 8.1 1.6	外) 淡黄色 内) 淡黃(淡 紫) 淡紫色	密	良 好	ナゲ調整	
224	土 鋸 器 直	A1区 SI-101	口徑 基高 8.4 1.2	外) 淡黄色 内) 淡黃(淡 紫) 淡紫色	密	良 好	ナゲ調整	底部外面 2次燒成
225	土 鋸 器 直	A1区 SI-101	口徑(僅 基高) 8.6 1.2	外) 淡黄色 内) 淡黃(淡 紫) 淡紫色	密	良 好	ナゲ調整	

備考 番号	器種	出土地点	法量(cm)	色調	胎土	焼成	技法の特徴	備考
226	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 7.8 1.45	外) 淡黄色 (内) 淡黄色 淡黄色 断面) ——	密	良 好	ナデ調整	
227	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 7.8 1.35	外) 淡黃褐色 (内) 淡黃褐色 淡黃褐色 断面) ——	密	良 好	ナデ調整	
228	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 8.0 1.65	外) 淡黄色 (内) 淡黄色 淡黄色 断面) ——	密	良 好	ナデ調整	
229	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 8.0 1.4	外) 淡黃褐色 (内) 淡黃褐色 淡黃褐色 断面) ——	密	良 好	ナデ調整	
230	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 7.7 1.55	外) 淡黄色 (内) 淡黄色 淡黄色 断面) ——	密	良 好	ナデ調整	
231	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 8.0 1.55	外) 淡黃褐色 (内) 淡黃褐色 淡黃褐色 断面) ——	密	良 好	ナデ調整	
232	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 8.0 1.2	外) 淡黃褐色 (内) 淡黃褐色 淡黃褐色 断面) ——	密	良 好	ナデ調整	
233	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 7.8 1.4	外) 淡黃褐色 (内) 淡黃褐色 淡黃褐色 断面) ——	密	良 好	ナデ調整	
234	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 8.0 1.6	外) 淡黃褐色 (内) 淡黃褐色 淡黃褐色 断面) ——	密	良 好	ナデ調整	
235	土師器皿	A1区 SI-101	口径(復) 器底 8.2 1.5	外) 淡黄色 (内) 淡黄色 淡黄色 断面) ——	密	良 好	ナデ調整	
236	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 8.0 1.1	外) 淡黄色 (内) 淡黄色 淡黄色 断面) ——	密	良 好	ナデ調整	
237	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 7.9 1.3	外) 淡黄色 (内) 淡黄色 淡黄色 断面) ——	密	良 好	ナデ調整	
238	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 8.1 1.4	外) 淡黄色 (内) 淡黄色 淡黄色 断面) ——	密	良 好	ナデ調整	
239	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 7.9 1.3	外) 淡黄色 (内) 淡黄色 淡黄色 断面) ——	密	良 好	ナデ調整	
240	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 8.1 1.4	外) 淡黄色 (内) 淡黄色 淡黄色 断面) ——	密	良 好	ナデ調整	
241	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 7.8 1.2	外) 淡黄色 (内) 淡黄色 淡黄色 断面) ——	密	良 好	ナデ調整	
242	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高(復) 0.7	外) 淡黄色 (内) 淡黄色 淡黄色 断面) ——	密	良 好	ナデ調整	
243	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 8.2 1.1	外) 淡黄色 (内) 淡黄色 淡黄色 断面) ——	密	良 好	ナデ調整	
244	土師器皿	A1区 SI-101	口径(復) 器高 8.0 1.3	外) 淡黄色 (内) 淡黄色 淡黄色 断面) ——	密	良 好	ナデ調整	
245	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 7.6 1.5	外) 淡黃褐色 (内) 淡黃褐色 淡黃褐色 断面) ——	密	良 好	ナデ調整	
246	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 8.6 1.15	外) 淡黃褐色 (内) 淡黃褐色 淡黃褐色 断面) ——	密	良 好	ナデ調整	
247	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 8.2 1.1	外) 淡黃褐色 (内) 淡黃褐色 淡黃褐色 断面) ——	密	良 好	ナデ調整	
248	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 8.2 0.9	外) 淡黃褐色 (内) 淡黃褐色 淡黃褐色 断面) ——	密	良 好	ナデ調整	
249	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 7.8 1.1	外) 淡黃褐色 (内) 淡黃褐色 淡黃褐色 断面) ——	密	良 好	ナデ調整	
250	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 8.2 1.4	外) 淡黃褐色 (内) 淡黃褐色 淡黃褐色 断面) ——	密	良 好	ナデ調整	
251	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 8.2 1.25	外) 淡黃褐色 (内) 淡黃褐色 淡黃褐色 断面) ——	密	良 好	ナデ調整	
252	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 7.6 1.15	外) 淡黄色 (内) 淡黄色 淡黄色 断面) ——	密	良 好	ナデ調整	

調査番号	器種	出土地点	法量(cm)	色調	胎土	地或	技法の特徴	備考
253	土師器皿	A1区 SI-101	口径 基高 8.2 1.3	外) 淡黄色 内) 淡黄色 断) 淡黄色	密	良 好	ナゲ調整	
254	土師器皿	A1区 SI-101	口径 基高 8.3 1.2	外) 淡黄色 内) 淡黄色 断) 淡黄色	密	良 好	ナゲ調整	
255	土師器皿	A1区 SI-101	口径 基高 8.2 1.2	外) 淡黄色 内) 淡黄色 断) 淡黄色	密	良 好	ナゲ調整	
256	土師器皿	A1区 SI-101	口径 基高 8.0 1.5	外) 淡黄色 内) 淡黄色 断) 淡黄色	密	良 好	ナゲ調整	
257	土師器皿	A1区 SI-101	口径 基高 7.5 1.5	外) 淡黄色 内) 淡黄色 断) 淡黄色	密	良 好	ナゲ調整	
258	土師器皿	A1区 SI-101	口径 基高 7.8 1.6	外) 淡黄色 内) 淡黄色 断) 淡黄色	密	良 好	ナゲ調整	
259	土師器皿	A1区 SI-101	口径 基高 7.4 1.5	淡黄褐色 内) 淡黄褐色 断) 淡黄褐色	密	良 好	ナゲ調整	
260	土師器皿	A1区 SI-101	口径 基高 7.5 1.4	外) 淡黄褐色 内) 淡黄褐色 断) 淡黄褐色	密	良 好	ナゲ調整	
261	土師器皿	A1区 SI-101	口径 基高 8.0 1.55	外) 白色 内) 反白色 断) 白色	密	良 好	ナゲ調整	外面2次焼成
262	土師器皿	A1区 SI-101	口径 基高 8.0 1.3	外) 成黄褐色 内) 成黄褐色 断) 成黄褐色	密	良 好	ナゲ調整	
263	土師器皿	A1区 SI-101	口径 基高 8.0 1.4	外) 淡黄褐色 内) 淡黄褐色 断) 淡黄褐色	密	良 好	ナゲ調整	
264	土師器皿	A1区 SI-101	口径 基高 7.6 1.4	外) 淡黄色 内) 淡黄色 断) 淡黄色	密	良 好	ナゲ調整	
265	土師器皿	A1区 SI-101	口径 基高 7.5 1.5	外) 淡黄色 内) 淡黄色 断) 淡黄色	密	良 好	ナゲ調整	
266	土師器皿	A1区 SI-101	口径 基高 7.6 1.6	外) 淡黄色 内) 淡黄色 断) 淡黄色	密	良 好	ナゲ調整	
267	土師器皿	A1区 SI-101	口径 基高 7.8 1.4	外) 淡黄色 内) 淡黄色 断) 淡黄色	密	良 好	ナゲ調整	
268	土師器皿	A1区 SI-101	口径 基高 7.8 1.4	外) 淡黄色 内) 淡黄色 断) 淡黄色	密	良 好	ナゲ調整	
269	土師器皿	A1区 SI-101	口径 基高 8.0 1.1	外) 淡黄色 内) 淡黄色 断) 淡黄色	密	良 好	ナゲ調整	
270	土師器皿	A1区 SI-101	口径 基高 8.0 1.6	外) 淡黄色 内) 淡黄色 断) 淡黄色	密	良 好	ナゲ調整	
271	土師器皿	A1区 SI-101	口径 基高 8.0 1.6	外) 淡黄色 内) 淡黄色 断) 淡黄色	密	良 好	ナゲ調整	
272	土師器皿	A1区 SI-101	口径 基高 8.0 1.3	外) 淡黄色 内) 淡黄色 断) 淡黄色	密	良 好	ナゲ調整	
273	土師器皿	A1区 SI-101	口径 基高 8.0 1.5	外) 淡黄色 内) 淡黄色 断) 淡黄色	密	良 好	ナゲ調整	
274	土師器皿	A1区 SI-101	口径 基高 7.9 1.45	外) 淡黄色 内) 淡黄色 断) 淡黄色	密	良 好	ナゲ調整	
275	土師器皿	A1区 SI-101	口径 基高 7.5 1.4	外) 淡黄色 内) 淡黄色 断) 淡黄色	密	良 好	ナゲ調整	外面2次焼成
276	土師器皿	A1区 SI-101	口径 基高 7.8 1.5	外) 淡黄色 内) 淡黄色 断) 淡黄色	密	良 好	ナゲ調整	
277	土師器皿	A1区 SI-101	口径 基高 8.1 1.3	外) 淡黄色 内) 淡黄色 断) 淡黄色	密	良 好	ナゲ調整	
278	土師器皿	A1区 SI-101	口径 基高 8.2 1.5	外) 淡黄色 内) 淡黄色 断) 淡黄色	密	良 好	ナゲ調整	
279	土師器皿	A1区 SI-101	口径 基高 7.8 1.6	外) 淡黄褐色 内) 淡黄褐色 断) 淡黄褐色	密	良 好	ナゲ調整	

被証 番号	器種	出土地点	法 量(cm)	色 調	新 土	焼 成	技 法の特徴	備 考
280	上 鍋 器 Ⅲ	A1区 SI-101	口径 基高 7.6 1.25	外) 淡黃褐色 内) 淡黃褐色 断) 淡黃褐色	密	良 好	ナゲ調整	
281	土 鍋 器 Ⅲ	A1区 SI-101	口径 基高 7.6 1.25	外) 淡黃褐色 内) 淡黃褐色 断) 淡黃褐色	密	良 好	ナゲ調整	
282	土 鍋 器 Ⅲ	A1区 SI-101	口径 基高 8.0 1.1	外) 淡黃褐色 内) 淡黃褐色 断) 淡黃褐色	密	良 好	ナゲ調整	
283	土 鍋 器 Ⅲ	A1区 SI-101	口径 基高 8.0 1.4	外) 淡黃褐色 内) 淡黃褐色 断) 淡黃褐色	密	良 好	ナゲ調整	
284	土 鍋 器 Ⅲ	A1区 SI-101	口径 基高 8.0 1.1	外) 淡黃褐色 内) 淡黃褐色 断) 淡黃褐色	密	良 好	ナゲ調整	
285	土 鍋 器 Ⅲ	A1区 SI-101	口径 基高 7.4 1.1	外) 淡黃褐色 内) 淡黃褐色 断) 淡黃褐色	密	良 好	ナゲ調整	
286	土 鍋 器 Ⅲ	A1区 SI-101	口径 基高 8.0 1.15	外) 淡黃褐色 内) 淡黃褐色 断) 淡黃褐色	密	良 好	ナゲ調整	
287	土 鍋 器 Ⅲ	A1区 SI-101	口径 基高 8.2 1.15	外) 淡黃褐色 内) 淡黃褐色 断) 淡黃褐色	密	良 好	ナゲ調整	
288	土 鍋 器 Ⅲ	A1区 SI-101	口径 基高 8.2 1.1	外) 淡黃褐色 内) 淡黃褐色 断) 淡黃褐色	密	良 好	ナゲ調整	
289	土 鍋 器 Ⅲ	A1区 SI-101	口径 基高 8.4 1.4	外) 淡黃褐色 内) 淡黃褐色 断) 淡黃褐色	密	良 好	ナゲ調整	
290	土 鍋 器 Ⅲ	A1区 SI-101	口径 基高 7.9 1.4	外) 淡黃褐色 内) 淡黃褐色 断) 淡黃褐色	密	良 好	ナゲ調整	
291	土 鍋 器 Ⅲ	A1区 SI-101	口径 基高 8.0 1.25	外) 淡黃褐色 内) 淡黃褐色 断) 淡黃褐色	密	良 好	ナゲ調整	
292	土 鍋 器 Ⅲ	A1区 SI-101	口径 基高 8.2 1.2	外) 淡黃褐色 内) 淡黃褐色 断) 淡黃褐色	密	良 好	ナゲ調整	
293	土 鍋 器 Ⅲ	A1区 SI-101	口径 基高 8.1 1.2	外) 淡黃褐色 内) 淡黃褐色 断) 淡黃褐色	密	良 好	ナゲ調整	
294	土 鍋 器 Ⅲ	A1区 SI-101	口径 基高 8.2 1.25	外) 淡黃褐色 内) 淡黃褐色 断) 淡黃褐色	密	良 好	ナゲ調整	
295	土 鍋 器 Ⅲ	A1区 SI-101	口径 基高 8.2 1.3	外) 淡黃褐色 内) 淡黃褐色 断) 淡黃褐色	密	良 好	ナゲ調整	
296	土 鍋 器 Ⅲ	A1区 SI-101	口径 基高 7.4 0.9	外) 淡黃褐色 内) 淡黃褐色 断) 淡黃褐色	密	良 好	ナゲ調整	
297	土 鍋 器 Ⅲ	A1区 SI-101	口径 基高 7.8 1.4	外) 淡黃褐色 内) 淡黃褐色 断) 淡黃褐色	密	良 好	ナゲ調整	
298	土 鍋 器 Ⅲ	A1区 SI-101	口径 基高 7.6 1.4	外) 淡黃褐色 内) 淡黃褐色 断) 淡黃褐色	密	良 好	ナゲ調整	
299	土 鍋 器 Ⅲ	A1区 SI-101	口径 基高 7.8 1.6	外) 淡黃褐色 内) 淡黃褐色 断) 淡黃褐色	密	良 好	ナゲ調整	
300	土 鍋 器 Ⅲ	A1区 SI-101	口径 基高 8.0 1.5	外) 淡黃褐色 内) 淡黃褐色 断) 淡黃褐色	密	良 好	ナゲ調整	
301	土 鍋 器 Ⅲ	A1区 SI-101	口径 基高 8.0 1.5	外) 淡黃褐色 内) 淡黃褐色 断) 淡黃褐色	密	良 好	ナゲ調整	
302	土 鍋 器 Ⅲ	A1区 SI-101	口径 基高 7.9 1.15	外) 淡黃褐色 内) 淡黃褐色 断) 淡黃褐色	密	良 好	ナゲ調整	
303	土 鍋 器 Ⅲ	A1区 SI-101	口径 基高 8.0 1.45	外) 淡黃褐色 内) 淡黃褐色 断) 淡黃褐色	密	良 好	ナゲ調整	
304	上 鍋 器 Ⅲ	A1区 SI-101	口径 基高 8.0 1.45	外) 淡黃褐色 内) 淡黃褐色 断) 淡黃褐色	密	良 好	ナゲ調整	
305	土 鍋 器 Ⅲ	A1区 SI-101	口径 基高 8.0 1.1	外) 淡黃褐色 内) 淡黃褐色 断) 淡黃褐色	密	良 好	ナゲ調整	底部外面2次燒成
306	土 鍋 器 Ⅲ	A1区 SI-101	口径 基高 8.2 1.3	外) 淡黃褐色 内) 淡黃褐色 断) 淡黃褐色	密	良 好	ナゲ調整	

検査番号	器種	出土地点	法 庫 (cm)	色 調	胎 土	焼 成	技法の特徴	備 考
307	土 筒 器 盆	A1区 SI-101	口径 基高 7.8 1.5 外) 淡黄色 内) 成黄色 筋) ——	密	良 好	ナデ調整		
308	土 筒 器 盆	A1区 SI-101	口径 基高 7.2 1.7 外) 淡黄色 内) 成黄色 筋) ——	密	良 好	ナデ調整		
309	土 筒 器 盆	A1区 SI-101	口径 基高 8.0 1.4 外) 淡黄色 内) 成黄色 筋) ——	密	良 好	ナデ調整		
310	土 筒 器 盆	A1区 SI-101	口径 基高 8.7 1.4 外) 成黄色 内) 成黄色 筋) 成黄色	密	良 好	ナデ調整		
311	土 筒 器 盆	A1区 SI-101	口径 基高 7.4 1.6 外) 成黄色 内) 成黄色 筋) 成黄色	密	良 好	ナデ調整		
312	土 筒 器 盆	A1区 SI-101	口径 基高 7.9 1.15 外) 成黄色 内) 成黄色 筋) 成黄色	密	良 好	ナデ調整		
313	土 筒 器 盆	A1区 SI-101	口径 基高 9.2 1.5 外) 成黄色 内) 成黄色 筋) 成黄色	密	良 好	ナデ調整		
314	土 筒 器 盆	A1区 SI-101	口径 基高 8.4 1.4 外) 淡黄色 内) 成黄色 筋) 淡黄色	密	良 好	ナデ調整		
315	土 筒 器 盆	A1区 SI-101	口径 基高 8.2 1.3 外) 成黄色 内) 成黄色 筋) 成黄色	密	良 好	ナデ調整		
316	土 筒 器 盆	A1区 SI-101	口径 基高 7.7 1.6 外) 淡黄色 内) 成黄色 筋) 成黄色	密	良 好	ナデ調整		
317	土 筒 器 盆	A1区 SI-101	口径 基高 7.8 1.4 外) 淡黄色 内) 淡黄色 筋) 淡黄色	密	良 好	ナデ調整		
318	土 筒 器 盆	A1区 SI-101	口径 (横) 基高 8.0 1.3 外) 成黄色 内) 淡黄色 筋) 淡黄色	密	良 好	ナデ調整		
319	土 筒 器 盆	A1区 SI-101	口径 基高 8.1 0.95 外) 淡黄色 内) 成黄色 筋) ——	密	良 好	ナデ調整		
320	土 筒 器 盆	A1区 SI-101	口径 基高 8.3 1.2 外) 淡黄色 内) 淡黄色 筋) ——	密	良 好	ナデ調整		
321	土 筒 器 盆	A1区 SI-101	口径 基高 7.6 1.2 外) 淡黄色 内) 成黄色 筋) ——	密	良 好	ナデ調整		
322	土 筒 器 盆	A1区 SI-101	口径 基高 7.8 1.2 外) 淡黄色 内) 成黄色 筋) ——	密	良 好	ナデ調整		
323	土 筒 器 盆	A1区 SI-101	口径 基高 7.7 1.5 外) 淡黄色 内) 成黄色 筋) ——	密	良 好	ナデ調整		
324	土 筒 器 盆	A1区 SI-101	口径 基高 7.4 1.6 外) 淡黄色 内) 成黄色 筋) ——	密	良 好	ナデ調整		
325	土 筒 器 盆	A1区 SI-101	口径 基高 8.0 1.4 外) 淡黄色 内) 成黄色 筋) ——	密	良 好	ナデ調整		
326	土 筒 器 盆	A1区 SI-101	口径 基高 7.6 1.5 外) 淡黄色 内) 淡黄色 筋) ——	密	良 好	ナデ調整		
327	土 筒 器 盆	A1区 SI-101	口径 基高 8.1 1.05 外) 淡黄色 内) 成黄色 筋) ——	密	良 好	ナデ調整		
328	土 筒 器 盆	A1区 SI-101	口径 基高 8.0 1.7 外) 淡黄色 内) 淡黄色 筋) ——	密	良 好	ナデ調整		
329	土 筒 器 盆	A1区 SI-101	口径 基高 7.7 1.65 外) 淡黄色 内) 淡黄色 筋) ——	密	良 好	ナデ調整		
330	土 筒 器 盆	A1区 SI-101	口径 基高 7.4 1.4 外) 淡黄色 内) 成黄色 筋) ——	密	良 好	ナデ調整		
331	土 筒 器 盆	A1区 SI-101	口径 基高 7.6 1.15 外) 淡黄色 内) 成黄色 筋) ——	密	良 好	ナデ調整	底部内面 2 次焼成	
332	土 筒 器 盆	A1区 SI-101	口径 基高 7.6 2.1 外) 淡黄色 内) 成黄色 筋) ——	密	良 好	ナデ調整		
333	土 筒 器 盆	A1区 SI-101	口径 基高 7.2 1.9 外) 淡黄色 内) 淡黄色 筋) ——	密	良 好	ナデ調整		

標印 番号	器種	出土地点	法量(cm)	色調	胎土	焼成	技術的特徴	備考
334	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 7.8 1.7	外) 淡黄色 (内) 淡黄色 断)	密	良 好	ナデ調整	
335	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 7.8 1.85	外) 淡黄色 (内) 淡黄色 断)	密	良 好	ナデ調整	
336	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 7.5 1.7	外) 淡黄色 (内) 淡黄色 断)	密	良 好	ナデ調整	
337	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 7.8 0.8	外) 淡黄色 (内) 淡黄色 断)	密	良 好	ナデ調整	
338	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 8.4 1.2	外) 淡黄色 (内) 淡黄色 断)	密	良 好	ナデ調整	穿孔有り
339	土師器皿	A1区 SI-101	口径(復) 器高 8.0 1.5	外) 淡黄色 (内) 淡黄色 断)	密	良 好	ナデ調整	
340	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 8.2 1.2	外) 淡黄色 (内) 淡黄色 断)	密	良 好	ナデ調整	
341	土師器皿	A1区 SI-101	口径(復) 器高 9.0 1.4	外) 淡黄色 (内) 淡黄色 断)	密	良 好	ナデ調整	
342	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高(残) 8.0 1.3	外) 淡黄色 (内) 淡黄色 断)	密	良 好	ナデ調整	
343	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 7.4 1.4	外) 淡黄色 (内) 淡黄色 断)	密	良 好	ナデ調整	
344	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 7.7 1.5	外) 淡黄色 (内) 淡黄色 断)	密	良 好	ナデ調整	
345	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 7.8 1.3	外) 淡黄色 (内) 淡黄色 断)	密	良 好	ナデ調整	
346	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 8.0 1.25	外) 淡黄色 (内) 淡黄色 断)	密	良 好	ナデ調整	
347	土師器皿	A1区 SI-101	口径(復) 器高 8.8 1.4	外) 淡黄色 (内) 淡黄色 断)	密	良 好	ナデ調整	
348	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 7.2 1.3	外) 淡黄色 (内) 淡黄色 断)	密	良 好	ナデ調整	
349	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 8.0 1.3	外) 淡黄色 (内) 淡黄色 断)	密	良 好	ナデ調整	
350	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 8.2 1.2	外) 淡黄色 (内) 淡黄色 断)	密	良 好	ナデ調整	
351	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 8.2 1.5	外) 淡黄色 (内) 淡黄色 断)	密	良 好	ナデ調整	
352	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 8.4 1.25	外) 淡黄色 (内) 淡黄色 断)	密	良 好	ナデ調整	
353	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 8.6 1.1	外) 淡黄色 (内) 淡黄色 断)	密	良 好	ナデ調整	
354	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 8.2 1.2	外) 淡黄色 (内) 淡黄色 断)	密	良 好	ナデ調整	
355	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 8.8 1.45	外) 淡黄色 (内) 淡黄色 断)	密	良 好	ナデ調整	
356	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 8.0 1.3	外) 淡黄色 (内) 淡黄色 断)	密	良 好	ナデ調整	
357	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 8.2 1.55	外) 淡黄色 (内) 淡黄色 断)	密	良 好	ナデ調整	
358	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 8.0 1.5	淡黄褐色 (内) 淡黄褐色 断)	密	良 好	ナデ調整	
359	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 7.5 1.7	淡黄褐色 (内) 淡黄褐色 断)	密	良 好	ナデ調整	
360	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 8.0 1.5	淡黄褐色 (内) 淡黄褐色 断)	密	良 好	ナデ調整	

備註 番号	器種	出土地点	法 縫 (cm)	色 調	物 土	地 成	技法の特徴	備 考
361	土師器皿	A1区 SI-101	口縫 基高 8.0 1.25	外) 淡黄色 (内) 淡青色 断) 淡黄色	密	良 好	ナメ調整	
362	土師器皿	A1区 SI-101	口縫 基高 8.4 1.2	外) 淡褐色 (内) 淡青色 断) 淡黄色	密	良 好	ナメ調整	
363	土師器皿	A1区 SI-101	口縫 基高 8.2 1.2	外) 淡黄色 (内) 淡青色 断) 淡黄色	密	良 好	ナメ調整	
364	土師器皿	A1区 SI-101	口縫 基高 8.4 1.4	外) 淡褐色 (内) 淡青色 断) 淡黄色	密	良 好	ナメ調整	
365	土師器皿	A1区 SI-101	口縫 基高 8.2 1.1	外) 淡褐色 (内) 淡青色 断) 淡黄色	密	良 好	ナメ調整	
366	土師器皿	A1区 SI-101	口縫 基高 8.7 1.3	外) 淡黄色 (内) 淡青色 断) 淡黄色	密	良 好	ナメ調整	
367	土師器皿	A1区 SI-101	口縫 基高 8.4 1.3	外) 淡黄色 (内) 淡青色 断) 淡黄色	密	良 好	ナメ調整	
368	土師器皿	A1区 SI-101	口縫 基高 8.2 1.3	外) 淡黄色 (内) 淡青色 断) 淡黄色	密	良 好	ナメ調整	
369	土師器皿	A1区 SI-101	口縫 (腹) 基高 8.0 1.1	外) 淡黄色 (内) 淡青色 断) 淡黄色	密	良 好	ナメ調整	
370	土師器皿	A1区 SI-101	口縫 基高 8.0 1.7	外) 淡黄色 (内) 淡青色 断) 淡黄色	密	良 好	ナメ調整	
371	土師器皿	A1区 SI-101	口縫 基高 7.8 1.5	外) 淡黄色 (内) 淡青色 断) 淡黄色	密	良 好	ナメ調整	
372	土師器皿	A1区 SI-101	口縫 基高 7.4 1.7	外) 淡黄色 (内) 淡青色 断) 淡黄色	密	良 好	ナメ調整	
373	土師器皿	A1区 SI-101	口縫 基高 8.0 1.7	外) 淡黄色 (内) 淡青色 断) 淡黄色	密	良 好	ナメ調整	
374	土師器皿	A1区 SI-101	口縫 基高 7.8 1.6	外) 淡黄色 (内) 淡青色 断) 淡黄色	密	良 好	ナメ調整	
375	土師器皿	A1区 SI-101	口縫 基高 7.8 1.7	外) 淡黄色 (内) 淡青色 断) 淡黄色	密	良 好	ナメ調整	
376	土師器皿	A1区 SI-101	口縫 基高 7.6 1.7	外) 淡黄色 (内) 淡青色 断) 淡黄色	密	良 好	ナメ調整	
377	土師器皿	A1区 SI-101	口縫 基高 7.8 1.9	外) 淡褐色 (内) 淡青色 断) 淡黄色	密	良 好	ナメ調整	
378	土師器皿	A1区 SI-101	口縫 基高 7.8 1.4	外) 淡黄色 (内) 淡青色 断) 淡黄色	密	良 好	ナメ調整	
379	土師器皿	A1区 SI-101	口縫 基高 8.0 1.6	外) 淡黄色 (内) 淡青色 断) 淡黄色	密	良 好	ナメ調整	
380	土師器皿	A1区 SI-101	口縫 基高 7.8 1.8	外) 淡黄色 (内) 淡青色 断) 淡黄色	密	良 好	ナメ調整	
381	土師器皿	A1区 SI-101	口縫 基高 7.2 1.7	外) 淡黄色 (内) 淡青色 断) 淡黄色	密	良 好	ナメ調整	
382	土師器皿	A1区 SI-101	口縫 基高 8.2 1.7	外) 淡黄色 (内) 淡青色 断) 淡黄色	密	良 好	ナメ調整	
383	土師器皿	A1区 SI-101	口縫 (腹) 基高 7.8 1.9	外) 淡褐色 (内) 淡青色 断) 淡黄色	密	良 好	ナメ調整	
384	土師器皿	A1区 SI-101	口縫 基高 8.0 1.5	外) 淡黄色 (内) 淡青色 断) 淡黄色	密	良 好	ナメ調整	
385	土師器皿	A1区 SI-101	口縫 基高 8.0 1.8	外) 淡黄色 (内) 淡青色 断) 淡黄色	密	良 好	ナメ調整	
386	土師器皿	A1区 SI-101	口縫 基高 8.0 1.6	外) 淡黄色 (内) 淡青色 断) 淡黄色	密	良 好	ナメ調整	
387	土師器皿	A1区 SI-101	口縫 基高 8.0 1.6	外) 淡黄色 (内) 淡青色 断) 淡黄色	密	良 好	ナメ調整	

拂区 番号	器種	出土地点	法量(cm)	色調	胎土	焼成	技法の特徴	備考
358	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 7.4 1.6	外) 淡青色 内) 淡黄色 系) -----	密	良 好	ナゲ調整	
389	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 8.1 1.6	外) 淡青色 内) 淡黄色 系) -----	密	良 好	ナゲ調整	
390	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 8.0 1.6	外) 淡黄色 内) 淡黄色 系) -----	密	良 好	ナゲ調整	
391	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 8.1 1.5	外) 淡青色 内) 淡黄色 系) -----	密	良 好	ナゲ調整	
392	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 7.8 1.8	外) 淡青橙色 内) 淡黄色 系) -----	密	良 好	ナゲ調整	
393	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 7.5 1.7	外) 淡青色 内) 淡黄色 系) -----	密	良 好	ナゲ調整	
394	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 7.6 1.7	外) 淡青色 内) 淡黄色 系) -----	密	良 好	ナゲ調整	
395	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 8.3 1.7	外) 淡青色 内) 淡黄色 系) -----	密	良 好	ナゲ調整	
396	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 8.2 1.6	外) 淡青色 内) 淡黄色 系) -----	密	良 好	ナゲ調整	
397	土師器皿	A1区 SI-101	口径 器高 8.5 1.9	外) 淡青色 内) 淡黄色 系) 淡青色	密	良 好	ナゲ調整	
398	須恵器縹跡	A1区 SI-101	口径 器高(残) 28.4 5.5	外) オーバー葉色～灰白色 内) オーバー葉色～灰白色 系) オーバー葉色～灰白色	密	堅 織	回転ナゲ調整	束縛系、片口 口徑縮部地
399	須恵器縹跡	A1区 SI-101	口径(復) 器高(残) 31.2 10.7	外) 灰色 内) 灰色 系) 灰色	密	堅 織	回転ナゲ調整	束縛系、口徑縮部地 内面後川模
400	須恵器縹跡	A1区 SI-101	口径 器高(残) 28.6 5.7	外) 灰白色 内) 灰白色 系) 灰白色	密	堅 織	回転ナゲ調整	束縛系 口徑縮部地
401	須恵器縹跡	A1区 SI-101	口径 器高 18.0 6.0	外) オーバー灰白色 内) 灰色 系) 灰色リーフ色	密	堅 織	回転ナゲ調整	束縛系
402	瓦質壺	A1区 SI-101	器高(残) 厚さ 7.0 0.7	外) 灰色 内) 暗灰色 系) 灰白色	密	良 好	外面ナゲキ 内面ナゲ調整	
403	瓦質羽釜	A1区 SI-101	口径 器高(残) 17.6 3.5	外) 灰白色 内) 灰白色 系) 灰白色	密	良 好	ナゲ調整 内面押さえ	
404	瓦質羽釜	A1区 SI-101	口径(復) 器高(残) 25.9 7.1	外) 灰褐色 内) 灰色 系) 灰白色	密	良 好	外面押さえ 内面ナゲ調整	
405	瓦質羽釜	A1区 SI-101	口径 器高(残) 27.6 11.1	外) 灰褐色 内) 灰色 系) 灰白色	密	良 好	外面押さえ 内面ナゲ調整	
406	土師質火鉢	A1区 SI-101	器高(残) 厚さ 7.0 2.0	外) 黄褐色 内) 黄褐色 系) 灰白色	密	良 好	ナゲ調整	梅花文
407	陶器壺	A1区 SI-101	口径(復) 器高(残) 42.0 7.8	外) 灰褐色 内) 灰色 系) 灰色	密	堅 織	回転ナゲ調整	常滑
408	陶器壺	A1区 SI-101	口径(復) 器高(残) 39.8 15.0	外) ない青褐色 内) ない青褐色 系) 黄褐色	密	堅 織	ナゲ調整	常滑 外面部押さえ スタンプ文
409	陶器壺	A1区 SI-101	口径(復) 器高(残) 39.0 8.2	外) ない褐色 内) ない褐色 系) 明褐色	密	堅 織	ナゲ調整	常滑
410	陶器壺	A1区 SI-101	口径(復) 器高(残) 27.2 6.3	外) 黄褐色 内) 灰色リーフ色 系) 黄褐色	密	堅 織	ナゲ調整	常滑 外面部灰被り
411	陶器壺	A1区 SI-101	口径(復) 器高(残) 16.5 11.5	外) 黄褐色 内) 灰色 系) 灰色	密	堅 織	外面ナゲキ 内面押さえ	常滑
412	陶器壺	A1区 SI-101	口径(復) 器高(残) 17.8 7.1	外) 灰色 内) 灰色 系) 灰色	密	堅 織	外面ナゲキ 内面押さえ	
413	青瓦瓶	A1区 SI-101	口径(復) 器高(残) 17.0 5.9	外) 灰褐色 内) 灰褐色 系) 灰白色	密	堅 織	施釉	蓬井文
414	青瓦瓶	A1区 SI-101	口径(復) 器高(残) 16.4 2.9	外) オーバー灰褐色 内) オーバー灰褐色 系) 灰色	密	堅 織	施釉	蓬井文

件名 番号	基 種	出土地点	法 量 (cm)	色 調	胎 上	燒 成	技法の特徴	備 考	
415	青 瓷 漢	A1区 SI-101	口径 (厘) 器高 (厘)	15.2 6.3	外) 綠灰褐色 内) 綠灰褐色 底) 灰白色	密	堅 磬	施釉	輪花
416	ヒュニア土器	A1区 SI-101	口径 (厘) 器高 (厘)	2.2 2.5	外) 底白色 内) 底白色 底) 灰白色	密	良 好	ナガ調整	
417	ヒュニア土器	A1区 SI-101	口径 (厘) 器高 (厘)	5.1 1.95	外) 底白色 内) 底銀褐色 底) 灰褐色	密	良 好	ナガ調整	片口
418	磁 石	A1区 SI-101	径 厚 高	5.3 3.0 1.3	外) 底白色 内) 底銀褐色 底) 灰褐色				滑石製
419	残 貝	A1区 SI-101	径 厚 高	2.4 0.1	外) 底白色 内) 底銀褐色 底) 灰褐色				元〇遺物 北宋?
420	瓦 器 滾	A1区 SX-101	口径 器高 (厘)	8.6 3.9	外) 底白色 内) 底灰色 底) 灰白色	密	良 好	外面指押さえ 内面へラミガキ 沈線無し、高台無し	大和型
421	瓦 器 滾	A1区 SX-101	口径 器高 (厘)	9.4 3.8	外) 底白色 内) 底白色 底) 底白色	密	良 好	外面指押さえ 内面へラミガキ 沈線無し、高台無し	大和型 重ね焼き痕
422	土 鋸 器 Ⅱ	A1区 SX-101	口径 器高 (厘)	10.8 2.0	外) 深黄色 内) 深黄色 底) 深黄色	密	良 好	ナガ調整	
423	土 鋸 器 Ⅲ	A1区 SX-101	口径 器高 (厘)	9.8 2.3	外) 深黄色 内) 深黄色 底) 深黄色	密	良 好	ナガ調整	
424	土 鋸 器 Ⅲ	A1区 SX-101	口径 器高 (厘)	7.6 1.6	外) 深黄色 内) 深黄色 底) 深黄色	密	良 好	ナガ調整	
425	須恵器 滾	A1区 SX-101	口径 (厘) 器高 (厘)	30.2 8.4	外) 底白色 内) 底白色 底) 底白色	密	堅 磬	外面ハタケヅリ 内面スリ日	束縛系 内面使用板
426	須恵器 滾	A1区 SX-101	口径 (厘) 器高 (厘)	32.8 8.1	外) 底白色 内) 底白色 底) 底白色	密	單 磬	回転ナガ調整	束縛系 内面使用板
427	須恵器 滾	A1区 SX-101	口径 (厘) 器高 (厘)	23.6 8.1	外) 特底～底色 内) 特底～底色 底) 特底～底色	密	堅 磬	回転ナガ調整	束縛系 内面使用板
428	須恵器 小皿	A1区 SX-101	口径 器高 (厘)	7.4 1.85	外) 底白色 内) 底白色 底) 底白色	密	堅 磬	回転ナガ調整	堅役 底部外周回転条切り裏
429	瓦 質 滾	A1区 SX-101	口径 (厘) 器高 (厘)	21.3 7.2	外) 底白色 内) 底白色 底) 底白色	密	良 好	外面指押さえ 内面ナガ調整	
430	土 質 貝 花	A1区 SX-101	器高 (厘) 厚さ (厘)	4.2 1.8	外) 橙色 内) 橙色 底) 橙色	密	良 好	ナガ調整	菊花文
431	瓦 質 火 神	A1区 SX-101	器高 (厘) 厚さ (厘)	6.4 1.4	外) 底白色 内) 底白色 底) 底白色	密	良 好	外面経方向のヘラミガキ 内面横方向のヘラミガキ	菊花文
432	土 神	A1区 SX-101	長さ 幅 厚さ (厘)	4.0 1.1 1.1	外) にぼい赤褐色 内) にぼい赤褐色 底) にぼい赤褐色	密	良 好	ナガ調整	土師質
433	磁 石	A1区 SX-101	長さ 幅 厚さ (厘)	3.6 3.0 1.3	外) 底白色 内) 底白色 底) 底白色				
434	須恵器 滾	A1区 SX-102	口径 (厘) 器高 (厘)	31.2 8.8	外) ヘリーブ底～底色 内) 底色 底) 底色	密	單 磬	回転ナガ調整	束縛系、片口 口縁埋頭
435	須恵器 滾	A1区 SP-174	口径 (厘) 器高 (厘)	33.6 8.8	外) 底白色 内) 底白色 底) 底白色	密	堅 磬	回転ナガ調整 外面指押さえ	束縛系 体部内外面 2次焼成
436	青 瓷 滾	A1区 SP-1273	器高 (厘) 厚さ (厘)	5.6 0.6	外) ヘリーブ色 内) ヘリーブ色 底) 底白色	密	堅 磬	施釉	
437	土 鋸 器 Ⅲ	A1区 SP-1301	口径 器高 (厘)	7.8 1.9	外) 底白色 内) 底白色 底) 底白色	密	良 好	ナガ調整	
438	土 鋸 器 Ⅲ	A1区 SP-1356	口径 器高 (厘)	19.8 2.6	外) 深銀褐色 内) 深銀褐色 底) 深銀褐色	密	良 好	ナガ調整	底部外周 2次焼成
439	土 鋸 器 Ⅲ	A1区 SP-1356	口径 器高 (厘)	7.8 1.6	外) 深銀褐色 内) 深銀褐色 底) 深銀褐色	密	良 好	ナガ調整	
440	土 鋸 器 Ⅲ	A1区 SP-1441	口径 器高 (厘)	8.0 1.8	外) 深銀褐色 内) 深銀褐色 底) 深銀褐色	密	良 好	ナガ調整	
441	土 鋸 器 Ⅲ	A1区 SP-1446	口径 器高 (厘)	7.6 1.6	外) 深銀褐色 内) 深銀褐色 底) 深銀褐色	密	良 好	ナガ調整	

件名	器種	出土地点	法量 (cm)	色調	胎土	焼成	柱法の特徴	備考
442	瓦器 鉢	A1区 SD-102	口径 器高 9.6 3.7	外) 暗灰色 (内) 灰白色 灰白色	密	良 好	外面部押さえ 内面へうきガキ 沈線有り、高台無し	大和型 重ね焼き模
443	瓦器 鉢	A1区 SD-102	口径 器高 9.05 3.7	外) 黑色 灰黑色 (内) 灰白色 灰白色	密	良 好	外面部押さえ 内面へうきガキ 沈線有り、高台無し	大和型
444	瓦器 鉢	A1区 SD-102	口径 器高 8.8 3.8	外) 灰黑色 (内) 灰白色 灰白色	密	良 好	外面部押さえ 内面へうきガキ 沈線有り、高台無し	大和型 重ね焼き模
445	瓦器 鉢	A1区 SD-102	口径 器高 8.6 3.6	外) 灰黑色 (内) 暗灰色 灰白色	密	良 好	外面部押さえ 内面へうきガキ 沈線有り、高台無し	大和型 重ね焼き模
446	瓦器 鉢	A1区 SD-102	口径 器高 8.9 3.6	外) 灰白色 (内) 灰白色 灰白色	密	良 好	外面部押さえ 内面へうきガキ 沈線有り、高台無し	大和型 重ね焼き模
447	瓦器 鉢	A1区 SD-102	口径 (復) 器高 9.0 3.7	外) 灰黑色 (内) 灰白色 灰白色	密	良 好	外面部押さえ 内面へうきガキ 沈線有り、高台無し	大和型 重ね焼き模
448	瓦器 鉢	A1区 SD-102	口径 器高 9.0 3.8	外) 暗灰色 (内) 灰白色 灰白色	密	良 好	外面部押さえ 内面へうきガキ 沈線有り、高台無し	大和型 重ね焼き模
449	瓦器 鉢	A1区 SD-102	口径 器高 8.5 3.7	外) 暗灰色 (内) 暗灰色 灰白色	密	良 好	外面部押さえ 内面へうきガキ 沈線有り、高台無し	大和型 重ね焼き模
450	瓦器 鉢	A1区 SD-102	口径 器高 8.7 3.2	外) モリーフ黒色 (内) 灰白色 灰白色	密	良 好	外面部押さえ 内面へうきガキ 沈線有り、高台無し	大和型 重ね焼き模
451	瓦器 鉢	A1区 SD-102	口径 器高 8.8 3.58	外) 灰白色 (内) 灰白色 灰白色	密	良 好	外面部押さえ、ハケ調整 内面へうきガキ 沈線有り、高台無し	大和型 重ね焼き模
452	瓦器 鉢	A1区 SD-102	口径 器高 8.2 3.6	外) 灰白色 (内) 暗灰色 灰白色	密	良 好	外面部押さえ、ハケ調整 内面へうきガキ 沈線無し、高台無し	大和型 重ね焼き模
453	瓦器 鉢	A1区 SD-102	口径 器高 8.6 4.0	外) 灰白色 (内) 灰白色 灰白色	密	良 好	外面部押さえ 内面へうきガキ 沈線無し、高台無し	大和型 重ね焼き模
454	瓦器 鉢	A1区 SD-102	口径 器高 9.2 3.7	外) 灰黑色 (内) 灰白色 灰白色	密	良 好	外面部押さえ 内面へうきガキ 沈線無し、高台無し	大和型 重ね焼き模
455	瓦器 鉢	A1区 SD-102	口径 器高 8.6 3.6	外) 灰黑色 (内) 灰白色 灰白色	密	良 好	外面部押さえ 内面へうきガキ 沈線無し、高台無し	大和型 重ね焼き模
456	瓦器 鉢	A1区 SD-102	口径 器高 (残) 10.6 3.0	外) 灰黑色 (内) 灰白色 灰白色	密	良 好	外面部押さえ 内面へうきガキ 沈線有り	大和型 重ね焼き模
457	土器 鉢	A1区 SD-102	口径 (復) 器高 (残) 11.8 2.0	外) 淡黄色 (内) 淡黄色 淡黄色	密	良 好	ナテ調整	
458	土器 鉢	A1区 SD-102	口径 器高 10.3 2.7	外) 淡黄褐色 (内) 淡黄褐色 淡黄褐色	密	良 好	ナテ調整	
459	土器 鉢	A1区 SD-102	口径 器高 10.5 2.1	外) 淡黄色 (内) 淡黄色 淡黄色	密	良 好	ナテ調整	
460	土器 鉢	A1区 SD-102	口径 器高 10.5 2.3	外) 淡黄色 (内) 淡黄色 淡黄色	密	良 好	ナテ調整	
461	土器 鉢	A1区 SD-102	口径 器高 10.5 2.4	外) 淡黄色 (内) 淡黄色 淡黄色	密	良 好	ナテ調整	
462	土器 鉢	A1区 SD-102	口径 (復) 器高 11.2 2.4	外) 淡黄色 (内) 淡黄色 淡黄色	密	良 好	ナテ調整	
463	土器 鉢	A1区 SD-102	口径 器高 10.4 2.0	外) 淡黄褐色 (内) 淡黄褐色 淡黄褐色	密	良 好	ナテ調整	
464	土器 鉢	A1区 SD-102	口径 器高 9.2 1.8	外) 淡黄色 (内) 淡黄色 淡黄色	密	良 好	ナテ調整	
465	土器 鉢	A1区 SD-102	口径 器高 7.9 1.3	外) 灰白～淡黄褐色 (内) 灰白～淡黄褐色 淡黄褐色	密	良 好	ナテ調整	
466	土器 鉢	A1区 SD-102	口径 器高 7.8 1.5	外) 淡黄色 (内) 淡黄色 淡黄色	密	良 好	ナテ調整	内面一部剥付有
467	土器 鉢	A1区 SD-102	口径 器高 8.3 1.7	外) 淡黄色 (内) 淡黄色 淡黄色	密	良 好	ナテ調整	
468	土器 鉢	A1区 SD-102	口径 器高 8.0 1.5	外) 淡黄色 (内) 淡黄色 淡黄色	密	良 好	ナテ調整	

品番	種類	出土地点	法 畳 (cm)	色 調	粘 土	燒 成	技術の特徴	備 考
469	土 器 盆	A1区 SD-102	口径 基高 7.6 1.6	外) 淡黄色 (内) 淡黄色 (断) ——	高	良 好	ナゲ調整	
470	土 器 盆	A1区 SD-102	口径 基高 8.0 1.8	外) 淡黄色 (内) 淡黄色 (断) ——	高	良 好	ナゲ調整	内面一部に焼付
471	土 器 盆	A1区 SD-102	口径 基高 8.2 1.85	外) 淡黄色 (内) 淡黄色 (断) ——	高	良 好	ナゲ調整	
472	瓦 貝 刃 盆	A1区 SD-102	口径 (厚) 基高 (残) 19.5 6.0	外) 黄褐色 (内) 灰色 (断) 灰白色	高	良 好	ナゲ調整	口縁泥棒付
473	瓦 貝 刃 盆	A1区 SD-102	口径 (残) 基高 (厚) 7.6 1.4	外) 黄褐色 (内) 底白色 (断) 底白色	高	良 好	外面へナゲ付 内面ナゲ調整	
474	木 製 品 盆	A1区 SD-102	長さ 幅 厚さ 15.0 8.8 4.6					ヒノキ 漆塗
475	瓦 石	A1区 SD-102	残長 残幅 厚さ 7.7 5.3 4.7					
476	瓦 石	A1区 SD-102	残長 残幅 厚さ 3.4 3.5 1.5					
477	瓦 器 梶	A1区 SD-201	口径 基高 9.4 3.55	外) 底色 (内) 底白色 底白色	高	良 好	外面指揮さえ 内面へナゲ付 沈継有り、高台有り	大和型 重ね焼き痕
478	瓦 器 梶	A1区 SD-201	口径 基高 9.8 3.7	外) 黄褐色 (内) 黄褐色 断) 底白色	高	良 好	外面指揮さえ 内面へナゲ付 沈継有り、高台無し	大和型
479	瓦 器 梶	A1区 SD-201	口径 基高 9.8 3.7	外) 黄褐色 (内) 底色 断) 底色	高	良 好	外面指揮さえ 内面へナゲ付 沈継有り、高台無し	大和型 重ね焼き痕
480	瓦 器 梶	A1区 SD-201	口径 基高 10.1 3.3	外) 底色 (内) 底色 断) 底白色	高	良 好	外面指揮さえ 内面へナゲ付 沈継有り、高台無し	大和型 重ね焼き痕
481	瓦 器 梶	A1区 SD-201	口径 (厚) 基高 9.9 3.4	外) 黄褐色 (内) 底色 断) 底色	高	良 好	外面指揮さえ 内面へナゲ付 沈継有り、高台有り	大和型 重ね焼き痕
482	瓦 器 梶	A1区 SD-201	口径 (厚) 基高 8.6 3.8	外) 底色 (内) 底白色 断) 底白色	高	良 好	外面指揮さえ 内面へナゲ付 沈継無し、高台無し	大和型 重ね焼き痕
483	瓦 器 梶	A1区 SD-201	口径 (厚) 基高 (残) 8.8 4.1	外) 底色 (内) 底白色 断) 底白色	高	良 好	外面指揮さえ 内面へナゲ付 沈継無し、高台無し	大和型 重ね焼き痕
484	瓦 器 梶	A1区 SD-201	口径 基高 (残) 7.6 3.3	外) 黄褐色 (内) 黄褐色 断) ——	高	良 好	外面指揮さえ 内面へナゲ付 沈継無し、高台無し	大和型 重ね焼き痕
485	瓦 器 梶	A1区 SD-201	口径 (厚) 基高 (残) 10.6 3.6	外) 黄褐色 (内) 黄褐色 断) 底色	高	良 好	外面指揮さえ 内面へナゲ付 沈継無し、高台無し	楕円型
486	土 器 盆	A1区 SD-201	口径 基高 11.2 2.1	外) 黄褐色 (内) 黄褐色 断) 底色	高	良 好	ナゲ調整	
487	土 器 盆	A1区 SD-201	口径 基高 10.0 2.3	外) 淡青褐色 (内) 淡青褐色 断) ——	高	良 好	ナゲ調整	
488	土 器 盆	A1区 SD-201	口径 基高 10.1 2.2	外) にい黄褐色 (内) にい黄褐色 断) にい黄褐色	高	良 好	ナゲ調整	
489	土 器 盆	A1区 SD-201	口径 基高 7.5 1.7	外) にい黄褐色 (内) 淡黄色 断) ——	高	良 好	ナゲ調整	
490	土 器 盆	A1区 SD-201	口径 基高 7.8 1.6	外) にい黄褐色 (内) にい黄褐色 断) ——	高	良 好	ナゲ調整	内面見込み2次焼成
491	土 器 盆	A1区 SD-201	口径 基高 7.5 1.3	外) 淡青褐色 (内) 淡青褐色 断) ——	高	良 好	ナゲ調整	
492	土 器 盆	A1区 SD-201	口径 基高 7.8 1.7	外) 淡青褐色 (内) 淡青褐色 断) ——	高	良 好	ナゲ調整	
493	土 器 盆	A1区 SD-201	口径 基高 7.8 1.5	外) にい棕色 (内) にい棕色 断) ——	高	良 好	ナゲ調整	
494	土 器 盆	A1区 SD-201	口径 基高 10.0 2.3	外) 淡青褐色 (内) 淡青褐色 断) ——	高	良 好	ナゲ調整	
495	土 器 盆	A1区 SD-201	口径 基高 7.9 1.2	外) 淡青褐色 (内) 淡青褐色 断) ——	高	良 好	ナゲ調整	

検査 番号	器種	出土地点	法量(cm)	色調	胎土	焼成	技術的特徴	備考
496	土器 器皿	A1区 SD-201	口径 器高 7.8 1.7	外) 淡黄色 内) 淡黄色 釉) —	密	良 好	ナゲ調整	
497	須恵器 館	A1区 SD-201	口径(底) 器高(底) 28.4 9.8	外) 灰色 内) 灰色 底) 灰白色	密	堅 機	外面ヘタナゲ調整 内面ヘタ調整	
498	瓦質羽釜	A1区 SD-201	口径(底) 器高(底) 30.8 29.3	外) 灰色 内) 黒灰色 底) 灰白色	密	良 好	外面押さえ 内面ヘタ調整	外面底部に埋付着
499	瓦質羽釜	A1区 SD-201	口径(底) 器高(底) 24.4 12.5	外) 黑灰色 内) 灰色 底) 灰色	密	良 好	外面指印さえ 内面ナゲ調整	体部外側に埋付着
500	瓦質羽釜	A1区 SD-201	口径(底) 器高(底) 19.0 6.0	外) 黑灰色 内) 黑灰色 底) 灰色	密	良 好	外面指印さえ 内面ナゲ調整	体部外側に埋付着
501	陶器無縫甕	A1区 SD-201	口径(底) 器高(底) 12.2 6.3	外) 灰色 内) 灰綠色 底) 灰白色	密	堅 機	ナゲ調整	渾美 口縁糊部及び内面自然 輪
502	白磁小皿	A1区 SD-201	口径 器高 7.7 1.8	外) 灰白色 内) 灰白色 底) 灰白色	密	良 好	底部外側以外拵施	
503	木製品 箸	A1区 SD-201	長さ 横幅 厚さ 21.6 0.6 0.7					ヒノキ材
504	木製品 箸	A1区 SD-201	長さ 横幅 厚さ 21.0 0.8 0.35					
505	木製品 箸	A1区 SD-201	長さ 横幅 厚さ 20.3 0.9 0.6					
506	木製品 箸	A1区 SD-201	長さ 横幅 厚さ 20.8 0.65 0.55					
507	木製品 箸	A1区 SD-201	長さ 横幅 厚さ 12.0 8.2 1.8					
508	木製品 駄	A1区 SD-201	長さ 横幅 厚さ 19.5 8.0 2.3					連用
509	木製品 駄	A1区 SD-201	長さ 横幅 厚さ 14.6 11.2 9.8					差歛 前半分のみ残る ヒノキ、ムクロジ
510	木製品 駄	A1区 SD-201	長さ 横幅 厚さ 27.4 5.1 0.7					
511	木製品 駄	A1区 SD-201	長さ 横幅 厚さ 17.6 6.2 0.7					スギ
512	木製品 鼻	A1区 SD-201	長さ 横幅 厚さ 27.8 5.7 3.4					針葉樹
513	木製品 鼻	A1区 SD-201	長さ 横幅 厚さ 14.5 12.5 4.2					
514	土器 器皿	A1区 SD-202	口径 器高 7.4 1.8	外) 淡黄褐色 内) 淡黄褐色 底) —	密	良 好	ナゲ調整	
515	土器 器皿	A1区 SD-202	口径 器高 7.4 1.7	外) 灰白色 内) 灰白色 底) 灰白色	密	良 好	ナゲ調整	
516	瓦質甕	A1区 SD-203	口径(底) 器高(底) 24.2 5.8	外) 黑褐色 内) 黑褐色 底) 黑褐色	密	良 好	外面タキ 内面ナゲ調整	
517	須恵器縫跡	A1区 SD-203	口径(底) 器高(底) 33.8 10.6	外) 黑褐色 内) 黑褐色 底) 黑褐色	密	堅 機	凹板ナゲ調整	束縛糸 窓部外周部軋み切り痕 内面に使用痕
518	須恵器縫跡	A1区 SD-203	LH径(底) 器高(底) 27.6 9.2	外) 黑褐色 内) 黑褐色 底) 黑褐色	密	堅 機	凹板ナゲ調整	束縛糸 口縁部鉗
519	瓦質不明品	A1区 SD-203	長さ 横幅 厚さ 5.7 6.0 1.0	外) 黑褐色 内) 黑褐色 底) 黑褐色	密	良 好	ナゲ調整	穿孔有り
520	木製品 系縄器の心棒	A1区 SD-203	長さ 横幅 厚さ 19.5 3.1 1.0					
521	土器 器皿	A1区 SD-204	口径 器高 8.0 1.7	外) 淡黄褐色 内) 淡黄褐色 底) 淡黄褐色	密	良 好	ナゲ調整	
522	木製品	A1区 SD-204	長さ 横幅 厚さ 38.5 2.6 1.1					

標因 番号	器種	出土地点	法 量(cm)	色 調	粘 土	燒 成	技術的特徴	備 考
523	瓦器 楼	A1区 SK-202	口径 基高 外 内 底	8.6 3.6 外)从白色 内)灰白色 底)灰白色	密	良 好	外面指押さえ 内面へうきガキ 沈線有り、高台有り	大和型 重ね焼き板
524	瓦器 楼	A1区 SK-202	口径 基高 外 内 底	8.8 3.8 外)灰色 内)灰白色 底)灰白色	密	良 好	外面指押さえ 内面へうきガキ 沈線有り、高台無し	大和型 重ね焼き板
525	瓦器 楼	A1区 SK-202	口径(底) 基高 外 内 底	8.2 3.5 外)暗灰色 内)灰白色 底)黄灰色	密	良 好	外面指押さえ 内面へうきガキ 沈線無し、高台無し	大和型 重ね焼き板
526	瓦器 楼	A1区 SK-202	口径(底) 基高(残) 外 内 底	8.2 3.5 外)暗灰色 内)灰色 底)灰白色	密	良 好	外面指押さえ 内面へうきガキ 沈線有り、高台無し	大和型 重ね焼き板
527	瓦器 楼	A1区 SK-202	口径 基高 外 内 底	8.7 3.8 外)リーフ墨を一斤(白色 内)土器墨を一斤(灰白色 底)灰白色	密	良 好	外面指押さえ 内面へうきガキ 沈線有り、高台無し	大和型 重ね焼き板
528	瓦器 楼	A1区 SK-202	口径 基高 外 内 底	8.6 2.6 外)オリーブ墨色 内)黑色 底)灰白色	密	良 好	外面指押さえ 内面へうきガキ 沈線無し、高台無し	大和型 重ね焼き板
529	瓦器 楼	A1区 SK-202	口径 基高 外 内 底	8.9 3.4 外)从白色 内)灰白色 底)灰白色	密	良 好	外面指押さえ 内面へうきガキ 沈線無し、高台無し	大和型 重ね焼き板
530	瓦器 楼	A1区 SK-202	口径 基高 外 内 底	8.8 3.7 外)灰白色 内)暗灰色 底)黄灰色	密	良 好	外面指押さえ 内面へうきガキ 沈線無し、高台無し	大和型 重ね焼き板
531	瓦器 楼	A1区 SK-202	口径(底) 基高 外 内 底	9.2 3.7 外)从白色 内)灰白色 底)灰白色	密	やや軟	外面指押さえ 内面へうきガキ 沈線無し、高台無し	大和型 炭素吸着なし
532	瓦器 楼	A1区 SK-202	口径 基高 外 内 底	8.7 3.6 外)灰色-オリーブ墨色 内)灰白色-黑色 底)灰白色	密	良 好	外面指押さえ 内面へうきガキ 沈線無し、高台無し	大和型 重ね焼き板
533	土師器皿	A1区 SK-202	口径 基高 外 内 底	11.8 2.2 外)浅黄色 内)浅褐色 底)浅黄色	密	良 好	ナデ調整	
534	土師器皿	A1区 SK-202	口径 基高 外 内 底	7.2 1.8 外)浅黄色 内)浅褐色 底)——	密	良 好	ナデ調整	
535	土師器皿	A1区 SK-202	口径 基高 外 内 底	7.8 1.7 外)浅黄色 内)浅褐色 底)——	密	良 好	ナデ調整	
536	土師器皿	A1区 SK-202	口径 基高 外 内 底	7.3 1.5 外)浅褐色 内)浅褐色 底)——	密	良 好	ナデ調整	
537	土師器皿	A1区 SK-202	口径 基高 外 内 底	7.2 1.6 外)淡黄色 内)淡黄色 底)——	密	良 好	ナデ調整	
538	土師器皿	A1区 SK-202	口径 基高 外 内 底	7.8 1.5 外)淡黄色 内)浅褐色 底)——	密	良 好	ナデ調整	
539	瓦質罐	A1区 SK-202	基高(残) 厚さ	5.0 0.7 外)黑褐色 内)暗褐色 底)灰白色	密	良 好	外面タキ 内面ナデ調整	
540	木製品皿	A1区 SK-202	底径 基高(残)	7.8 1.2				
541	木製品皿	A1区 SK-202	口径 基高	10.2 0.35				
542	木製品皿	A1区 SK-202	口径(底) 基高	7.9 0.4				
543	木製品箸	A1区 SK-202	長さ 残幅 厚さ	30.5 0.8 0.7 長さ 残幅 厚さ				
544	木製品箸	A1区 SK-202	長さ 残幅 厚さ	20.0 0.7 0.5 長さ 残幅 厚さ				
545	木製品駄	A1区 SK-202	長さ 残幅 厚さ	21.0 11.0 6.9 長さ 残幅 厚さ				連座 ヒノキ
546	不明木製品	A1区 SK-202	残長 残幅 厚さ	12.5 3.3 3.4 長さ 残幅 厚さ				
547	瓦器 楼	A1区 SK-204	口径(底) 基高(残)	10.4 2.8 外)灰白色 内)オリーブ墨色 底)灰白色	密	良 好	外面指押さえ 内面へうきガキ 沈線有り	大和型 重ね焼き板
548	瓦器 楼	A1区 SK-204	口径(底) 基高(残)	7.8 3.2 外)灰白色 内)暗灰色 底)灰白色	密	良 好	外面指押さえ 内面へうきガキ 沈線無し、高台無し	大和型 重ね焼き板
549	土師器皿	A1区 SK-204	口径(底) 基高	5.2 1.4 外)成黄褐色 内)浅黄色 底)浅褐色	密	良 好	ナデ調整	

種類 番号	器種	出土地点	法 量(cm)	色 調	粘 土	構 成	特徴の特徴	考 察
550	土 烧 器 盆	A1区 SK-204	口径 器高 7.8 1.6	外) 淡黄色 内) 淡黄色 断)	密	良 好	ナゲ調整	
551	土 烧 器 盆	A1区 SK-204	口径 器高 8.0 1.7	外) 淡黄色 内) 淡黄色 断)	密	良 好	ナゲ調整	
552	木 製 品 盆	A1区 SK-204	長さ 幅(残) 厚さ 22.1 7.3 3.1					遺産 半分欠損
553	木 製 品 盆	A1区 SK-204	長さ 幅(残) 厚さ 23.2 18.3 6.0					
554	瓦 器 鉢	A1区 SK-210	口径(復) 器高(残) 13.8 3.7	外) 灰褐色 内) 灰褐色 断)	密	良 好	外面部押さえ 内面へラミガキ 丸經無し	椭圆形
555	土 烧 器 盆	A1区 SK-210	口径(復) 器高(残) 8.2 1.4	外) 淡黄色 内) 淡黄色 断)	密	良 好	ナゲ調整	
556	須恵器 横縫	A1区 北端落込み201	口径(復) 器高(残) 19.8 6.7	外) 灰褐色 内) 灰褐色 断)	密	堅 硬	外面部へナゲ調整 内面ナゲ調整	
557	瓦質 羽釜	A1区 北端落込み201	口径(復) 器高(残) 18.8 7.4	外) 暗灰褐色 内) 淡灰褐色 断)	密	良 好	外面部へナゲ調整 内面へナゲ調整	外面に媒付着
558	瓦質 羽釜	A1区 北端落込み201	口径(復) 器高(残) 25.8 12.6	外) 灰黑色 内) 灰黑色 断)	密	良 好	外面部押さえ 内面へナゲ調整	
559	瓦質 羽釜	A1区 北端落込み201	口径(復) 器高(残) 25.0 7.8	外) 灰褐色 内) 灰褐色 断)	密	良 好	外面部へナゲ調整 内面へナゲ調整	
560	瓦質 火鉢	A1区 北端落込み201	器底(復) 器高(残) 9.0 2.2	外) 灰褐色 内) 灰褐色 断)	密	良 好	外面部へナゲ調整 内面破損方向へラミガキ	菊花文
561	陶 器 推 砂	A1区 北端落込み201	口径(復) 器高(残) 29.0 7.4	外) 灰褐色 内) 灰褐色 断)	密	堅 硬	回転ナゲ調整 スリット4本	東海系～常滑
562	陶 器 横縫	A1区 北端落込み201	底径(復) 器高(残) 11.6 4.5	外) にぼい緑色 内) 淡赤緑色 断)	密	堅 硬	ナゲ調整 スリット4本	備前
563	陶 器 横縫	A1区 北端落込み201	底径(復) 器高(残) 11.9 4.3	外) 細灰褐色 内) 灰白色 断)	密	堅 硬	ナゲ調整 スリット8本	
564	瓦質 火鉢	A1区 南端落込み201	底径(復) 器高(残) 49.8 18.7	外) 灰褐色 内) 灰白色 断)	密	良 好	ヘラミガキ	菊花文
565	陶 器 横縫	A1区 南端落込み201	底径(復) 器高(残) 35.8 4.1	外) にぼい緑色 内) 暗灰褐色 断)	密	堅 硬	ナゲ調整	
566	陶 器 黄	A1区 南端落込み201	底径(復) 器高(残) 5.0 2.3	外) 灰オーラー色 内) 灰褐色 断)	密	堅 硬	高台以外焼結	胎土目3ヶ所
567	土 舟	A1区 南端落込み201	残長 残幅 厚さ 3.4 1.1 1.0	外) 赤褐色 内) 赤褐色 断)	密	良 好	ナゲ調整	上脚質
568	瓦 石	A1区 南端落込み201	残長 残幅 厚さ 3.7 5.0 1.8					
569	瓦 器 梶	A1区 西側側溝	口径 器高 10.2 2.75	外) 暗灰褐色 内) 暗灰褐色 断)	密	良 好	外面部押さえ 内面へラミガキ 丸經無し、高台有り	椭圆形 重ね焼き板
570	瓦 器 梶	A1区 第1.10北東トレンチ	口径(復) 器高(残) 8.6 3.5	外) 暗灰褐色 内) 灰白色 断)	密	良 好	外面部押さえ 内面へラミガキ 丸經無し、高台有り	大和型 重ね焼き板
571	瓦 器 梶	A1区 第1.10横面ベース層	口径(復) 器高 12.4 3.6	外) 灰褐色 内) 灰褐色 断)	密	良 好	外面部押さえ 内面へラミガキ 丸經無し、高台有り	和泉型
572	瓦 器 梶	A1区 第1.10横面ベース層	口径(復) 器高(残) 10.6 3.35	外) 灰褐色 内) 灰褐色 断)	密	やや軟	外面部押さえ 内面要成のため不明、沈綻現し、 高台有り	大和型
573	土 烧 器 盆	A1区 第1.10横面ベース層	口径(復) 器高(残) 12.0 1.7	外) 淡黄褐色 内) 灰褐色 断)	密	良 好	ナゲ調整	穿孔有り
574	瓦 質 壺	A1区 第1.10横面直上層	器高(残) 厚さ 4.0 0.9	外) 灰褐色 内) 灰褐色 断)	密	良 好	外面部クタキ 内面ナゲ調整	
575	瓦 質 壺	A1区 第1.10横面直上層	器高(残) 厚さ 4.8 1.0	外) 灰白色 内) 暗灰褐色 断)	密	良 好	外面部クタキ 内面ナゲ調整	
576	瓦 質 火鉢	A1区 第1.10横面直上層	器高(残) 厚さ 2.5 0.8	外) 灰褐色 内) 灰褐色 断)	密	良 好	ナゲ調整	花菱文

地図 番号	器種	出土地点	法 量 (m)	色 調	胎 土	施 成	技法の特徴	備 考
577	陶器底盤	A1区 南北トレンチ	口径 (底) 基高 (残)	13.8 2.5 外) 黄褐色 内) 黄褐色 断) 明顯灰色	密	堅 硬	ヘラナメ調整	常滑
578	陶器底盤	A1区 西側削溝	口径 (底) 基高 (残)	31.0 9.8 外) 黄褐色 内) 黄褐色 断) 黄褐色	密	堅 硬	ナメ調整	
579	陶器碗	A1区 西側削溝	口径 (底) 基高 (残)	35.0 4.4 外) 淡灰色 内) 淡灰色 断) 有い棕褐色	密	堅 硬	ナメ調整	輪削
580	陶器底盤	A1区 第1直構面直上層	口径 (底) 基高 (残)	33.0 3.0 外) 黄褐色 内) 黄褐色 断) 淡灰色	密	堅 硬	回転ナメ調整 スリム6本	東海糸糸常滑?
581	青磁碗	A1区 第1直構面直上層	口径 (底) 基高 (残)	17.0 4.7 外) 黄オーライブ色 内) 黄オーライブ色 断) 淡灰色	密	堅 硬	萬輪	蓮弁文
582	磁器碗	A1区 東側削溝	口径 (底) 基高 (残)	8.0 2.1 外) 黄オーライブ色 内) 黄オーライブ色 断) 淡灰色	密	堅 硬	萬輪	
583	染付小鉢	A1区 近世水路	口径 (底) 基高 (残)	13.8 4.7 外) 黄白色 内) 黄白色 断) 有い黄褐色	密	堅 硬		輪花、石舟花文
584	Lニチュア耳杯	A1区 第1直構面精査	口径 (底) 基高 (残)	5.8 1.7 外) 黄白色 内) 黄白色 断) 黄白色	密	堅 硬	施輪	磁器、青白磁?
585	磁器紅口	A1区 機械掘削後の精査	口径 (底) 基高 (残)	4.4 1.3 外) 黄白色 内) 黄白色 断) 黄白色	密	堅 硬	萬輪	菊花形
586	土器	A1区 南側削溝	瓶長 瓶幅 厚さ	3.7 0.9 0.8 外) 有い棕褐色 内) 有い棕褐色 断) 有い棕褐色	密	良 好	ナメ調整	土師質
587	土器	A1区 第1直構面精査	瓶長 瓶幅 厚さ	3.2 1.1 1.0 外) 有い赤褐色 内) 有い赤褐色 断) 有い赤褐色	密	良 好	ナメ調整	土師質
588	土器	A1区 東側削溝	瓶長 瓶幅 厚さ	3.2 0.9 0.9 外) 有い黄褐色 内) 有い黄褐色 断) 有い黄褐色	密	良 好	ナメ調整	土師質
589	土器	A1区 西側削溝	瓶長 瓶幅 厚さ	2.8 1.1 1.1 外) 棕褐色 内) 棕褐色 断) 棕褐色	密	良 好	ナメ調整	土師質
590	不明土製品	A1区 第1直構面直上層	瓶長 瓶幅 厚さ	4.0 2.0 2.5 外) 黄白色 内) 黄白色 断) 黄白色	密	良 好		
591	不明土製品	A1区 第1直構面精査	瓶長 瓶幅 厚さ	5.7 6.0 1.0 外) 黄褐色 内) 黄褐色 断) 棕褐色	密	良 好		穿孔有り
592	不明瓦質土器	A1区 地山直上	瓶長 瓶幅 厚さ	12.2 11.3 1.1 外) 黄褐色 内) 黄褐色 断) 淡灰色	密	良 好		穿孔有り
593	木製品	A1区 地山直上	瓶長 瓶幅 厚さ	22.3 29.8 4.5 外) 黄褐色 内) 黄褐色 断) 黄褐色				コウヤマキ
594	鏡	A1区 西側削溝	長さ 幅幅 厚さ	7.6 4.5 1.3 外) 淡褐色 内) 淡褐色 断) 淡褐色				側面漆塗布
595	磁石	A1区 第1直構面直上層	長さ 幅幅 厚さ	4.2 4.3 2.9 外) 黄褐色 内) 黄褐色 断) 黄褐色				
596	紙石	A1区 西側削溝	長さ 幅幅 厚さ	5.2 2.6 1.4 外) 黄褐色 内) 黄褐色 断) 黄褐色				
597	紙石	A1区 不明	瓶長 瓶幅 厚さ	4.3 3.6 1.4 外) 黄褐色 内) 黄褐色 断) 黄褐色				
598	紙石	A1区 南側削溝	瓶長 瓶幅 厚さ	5.5 3.4 0.9 外) 黄褐色 内) 黄褐色 断) 黄褐色				
599	紙石	A1区 機械掘削後の精査	瓶長 瓶幅 厚さ	2.6 4.0 0.7 外) 黄褐色 内) 黄褐色 断) 黄褐色				
600	瓦器蓋	A2区 SK-117	口径 (底) 基高 (残)	9.7 3.6 外) 黄褐色 内) 黄褐色 断) 黄褐色	密	良 好	外墨ナメ調整 内墨ナメガキ 灰磚集し、高台有り	大和型?
601	土器器蓋	A2区 SK-117	口径 (底) 基高 (残)	7.8 1.6 外) 淡黄色 内) 淡黄色 断) 淡黄色	密	良 好	ナメ調整	
602	土器	A2区 SX-101	瓶長 瓶幅 厚さ	2.4 1.1 0.7 外) 黄褐色 内) 黄褐色 断) 黄褐色	密	良 好	ナメ調整	土師質
603	磁石	A2区 SX-101	瓶長 瓶幅 厚さ	43.0 11.4 1.8 外) 黄褐色 内) 黄褐色 断) 黄褐色				

地図 番号	器種	出土地点	法量 (cm)	色調	胎土	焼成	技法の特徴		備考
							内	外	
604	瓦器 瓦	A2区 東端落込み101	口径 基高 （底）	11.9 3.5 外：灰色 内：灰色 底：灰白色	密	良 好	内外ヘラミガキ 沈錆有り、高台有り		大和型
605	瓦器 瓦	A2区 東端落込み101	口径 基高（底）	12.3 2.7 外：灰色 内：灰色 底：灰白色	密	良 好	外面指押さえ 内面ヘラミガキ 沈錆無し、高台有り		和泉型
606	瓦器 瓦	A2区 東端落込み101	口径 基高（底）	11.4 2.9 外：灰色 内：灰色 底：灰白色	密	良 好	外面指押さえ 内面ヘラミガキ 沈錆無し、高台無し		和泉型
607	土器 壺	A2区 東端落込み101	口径 基高 （底）	7.7 1.4 外：灰色 内：淡黄色 底：浅黄色	密	良 好	ナゲ調整		
608	陶器 楼 鍋	A2区 東端落込み101	口径 基高（底）	29.4 4.4 外：深灰色 内：灰白色 底：灰白色	密	良 好	ナゲ調整		
609	青磁 瓦	A2区 東端落込み101	口径 基高（底）	5.8 1.9 外：深灰色 内：暗灰色 底：灰白色	密	中や軟	施釉		
610	瓦器 瓦	A2区 SD-102	口径 基高（底）	11.8 2.5 外：灰色 内：灰色 底：灰白色	密	良 好	外面指押さえ 内面ヘラミガキ 沈錆無し		和泉型 重ね焼き痕
611	瓦質 羽釜	A2区 SD-102	口径 基高（底）	21.6 7.7 外：灰白色 内：灰白色 底：灰白色	密	良 好	ナゲ調整		唐孔有り 外面焼付帶
612	瓦質 羽釜	A2区 SD-102	口径 基高（底）	32.0 8.4 外：暗灰色 内：灰白色 底：灰白色	密	良 好	外面指押さえ 内面ヘケ調整		
613	瓦質 楼 鍋	A2区 SD-102	口径 基高（底）	27.0 11.5 外：灰白色 内：灰白色 底：灰白色	密	良 好	外面指押さえ 内面ナゲ調整 スリット本		
614	陶器 壺	A2区 SD-102	口径 基高（底）	12.2 7.9 外：灰褐色 内：赤褐色 底：灰褐色	密	堅 硬	ナゲ調整		薄前
615	陶器 壺	A2区 SD-102	口径 基高（底）	36.2 9.8 外：にいし褐色 内：にいし赤褐色 底：褐色	密	堅 硬	ナゲ調整		常滑
616	陶器 壺	A2区 SD-102	口径 基高（底）	15.2 10.7 外：灰褐色 内：灰褐色 底：灰褐色	密	堅 硬	ヘラナゲ調整、 口絞		常滑
617	陶器 壺	A2区 SD-102	口径 基高（底）	15.0 4.0 外：浅褐色 内：灰白色 底：灰白色	密	堅 硬	口絞部 外面及び内面施釉 内面削断のみ文様		越戸？ 片口
618	陶器 楼 鍋	A2区 SD-102	口径 基高（底）	24.3 7.4 外：にいし赤褐色 内：にいし赤褐色 底：にいし褐色	密	堅 硬	ナゲ調整 スリット本		丹波
619	陶器 楼 鍋	A2区 SD-102	口径 基高（底）	28.2 7.5 外：灰褐色 内：褐色 底：褐色	密	堅 硬	ナゲ調整 スリット本		備前
620	陶器 楼 鍋	A2区 SD-102	口径 基高（底）	16.0 4.5 外：明灰色 内：褐色 底：灰白色	密	堅 硬	ナゲ調整 スリット本		備前
621	白磁 瓦	A2区 SD-102	口径 基高（底）	4.8 1.6 外：灰色 内：白色 底：灰白色	密	堅 硬	施釉		
622	土 瓶	A2区 SD-102	口径 厚さ	3.5 2.5 外：にいし黄色 内：にいし黄色 底：にいし黄色	密	堅 硬	ナゲ調整		須恵質
623	瓦質 火鉢	A2区 SD-103	基高（底）	4.2 1.8 外：灰色 内：灰白色 底：灰白色	密	堅 硬	ナゲ調整		花菱文。
624	瓦器 瓦	A2区 SD-105	口径 基高 （底）	8.8 3.8 外：灰色 内：灰白色 底：灰白色	密	良 好	外面指押さえ 内面ヘラミガキ 沈錆有り、高台無し		大和型
625	瓦質 瓦釜	A2区 SD-105	口径 基高（底）	23.0 7.0 外：灰色 内：灰白色 底：灰白色	密	良 好	外面ナゲ調整 内面ハケ調整		
626	瓦質 羽釜	A2区 SD-105	口径 基高（底）	30.6 12.5 外：灰色 内：灰白色 底：灰白色	密	良 好	外面ナゲ調整 内面ハケ調整		
627	瓦器 瓦	A2区 SD-206	口径 基高 （底）	11.8 3.3 外：灰色 内：灰白色 底：灰白色	密	良 好	外面指押さえ 内面ヘラミガキ 沈錆無し、高台有り		和泉型 重ね焼き痕
628	土器 壺	A2区 SD-206	口径 基高 （底）	8.2 1.8 外：灰褐色 内：灰白色 底：灰白色	密	良 好	ナゲ調整		
629	土器 壺	A2区 SD-206	口径 基高 （底）	9.8 1.6 外：暗褐色 内：浅褐色 底：暗褐色	密	良 好	ナゲ調整		
630	土器 羽釜	A2区 SD-206	口径 基高（底）	24.9 9.8 外：暗褐色 内：浅褐色 底：暗褐色	密	良 好	外面ナゲ調整 内面ハケ調整		内外面ともに2次焼成

番号 系図	器種	出土地点	法 線 (cm)	色 調	胎 土	施 成	技法の特徴	備 考	
631	陶 器 壺	A2区 SD-206	口径 (底) 基高 (底)	37.0 7.8	外:褐褐色 内:灰褐色 施灰色	密	堅 磬	ナデ調整 スリ目日本	常滑
632	陶 器 楠鉢	A2区 SD-206	口径 (底) 基高 (底)	27.0 8.9	外:褐灰色 内:灰褐色 施灰色	密	堅 磬	回転ナデ調整 スリ目日本	備前
633	陶 器 楠鉢	A2区 SD-206	口径 (底) 基高 (底)	28.0 10.8	外:灰白色 内:灰白色 施灰色	密	不 良	ナデ調整 スリ目日本	備前
634	陶 器 楠鉢	A2区 SD-206	口径 (底) 基高 (底)	18.6 4.5	外:褐灰色 内:灰褐色 施灰色	密	堅 磬	ナデ調整 スリ目日本	備前
635	瓦 器 棒	A2区 SD-207	口径 (底) 基高 (底)	7.8 3.5	外:灰白色 内:灰褐色 施灰色	密	良 好	外面ナデ調整 内面ヘタ:ガキ 浅縫隙	丸角型 重ね焼き瓦
636	土 壁 盆	A2区 SD-207	口径 (底) 基高 (底)	10.6 1.7	外:浅黄褐色 内:灰白色 施灰色	密	良 好	ナデ調整	
637	須恵器 鋸鉢	A2区 SD-207	口径 (底) 基高 (底)	26.6 8.2	外:灰白色 内:灰褐色 施灰色	密	堅 磬	回転ナデ調整	東播奈 1枚壁部始
638	陶 器 壺	A2区 SD-207	口径 (底) 基高 (底)	33.6 9.1	外:褐色 内:灰褐色 施灰色	密	堅 磬	ナデ調整	常滑
639	平 瓦	A2区 SK-133	残長 残幅 厚さ	16.3 14.4 2.5	外:灰褐色 内:灰褐色 施灰色 にぶい桔梗	密	良 好	凹面市目? 凸面ナデ調整	土物質
640	瓦 賀羽 盆	A2区 SK-134	口径 (底) 基高 (底)	24.6 8.4	外:暗褐色 内:灰白色 施灰色	密	良 好	外面ナデ調整 内面ハヤ調整	
641	瓦 賀羽 盆	A2区 SK-134	口径 (底) 基高 (底)	20.2 6.2	外:灰～灰白色 内:灰褐色 施灰色	密	良 好	外面ナデ調整 内面ハヤ調整	
642	灰 鮎 周 器	A2区 SK-134	底径 (底) 基高 (底)	8.6 2.6	外:灰オリーブ色 内:灰白色 施灰色	密	堅 磬	ナデ調査	強説?
643	陶 器 部鉢	A2区 SK-134	口径 (底) 基高 (底)	25.8 5.9	外:赤褐色 内:赤褐色 施灰色	密	堅 磬	回転ナデ調整 スリ目日本	
644	陶 器 楠鉢	A2区 SK-134	底径 (底) 基高 (底)	12.4 4.3	外:灰～赤褐色 内:灰褐色 施灰色	密	堅 磬	ナデ調整 スリ目日本	備前
645	陶 器 壺	A2区 SK-134	口径 (底) 基高 (底)	4.0 9.9	外:灰白色 内:灰白色 施灰色	密	堅 磬	回転ナデ調整	信楽
646	平 瓦	A2区 SK-134	残長 残幅 厚さ	9.5 9.9 3.1	外:灰白色 内:灰褐色 施灰色	密	良 好	凹凸とともにナデ調整	瓦質
647	丸 瓦	A2区 SK-134	残長 残幅 厚さ	7.1 6.3 4.0	外:灰褐色 内:灰褐色 施灰色	密	良 好	凹面市目? 凸面ナデ調整	瓦質
648	石 製 品 ?	A2区 SK-134	残長 残幅 厚さ	4.9 3.3 4.1					
649	ナスクカイト片	A2区 SK-134	残長 残幅 厚さ	6.7 8.2 3.0					石核
650	土 壁 盆	A2区 SK-136	口径 基高	8.2 1.7	外:淡黄色 内:淡黄色 施灰色	密	良 好	ナデ調整	
651	土 壁 盆	A2区 SK-136	口径 基高	8.4 1.9	外:淡黄色 内:淡黄色 施灰色	密	良 好	ナデ調整	
652	土 壁 盆	A2区 SK-136	口径 基高	7.8 1.7	外:淡黄色 内:淡黄色 施灰色	密	良 好	ナデ調整	
653	瓦 製 鉢	A2区 SK-136	底径 (底) 基高 (底)	11.6 8.1	外:褐色 内:灰褐色 施灰色	密	良 好	外側指揮さめ 内面ナデ調整 スリ目日本	輪廓型 重ね焼き板 連結輪替培文
654	瓦 製 鉢	A2区 SK-147	口径 基高	12.6 3.8	外:灰 内:灰白色 施灰色	密	良 好	外面ナデ調整 内面ヘタ:ガキ 浅縫隙有り、高台有り	輪廓型
655	瓦 製 鉢	A2区 SK-147	口径 基高	12.5 3.9	外:灰～灰白色 内:灰白色 施灰色	密	良 好	外外側ヘタ:ガキ 内面ヘタ:ガキ 浅縫隙有り、高台有り	輪廓型
656	瓦 製 鉢	A2区 SK-147	口径 基高	13.0 4.0	外:灰～灰白色 内:灰白色 施灰色	密	良 好	内外側ヘタ:ガキ 浅縫隙有り、高台有り	輪廓型
657	瓦 製 鉢	A2区 SK-147	口径 基高	12.6 3.8	外:灰～灰白色 内:灰白色 施灰色	密	良 好	内外側ヘタ:ガキ 浅縫隙有り、高台有り	輪廓型

件目 番号	器種	出土地点	法 量(cm)	色 調	胎 土	燒 成	特徴	備 考
658	瓦 器 鋸	A2区 SK-147	口径 器高 3.7	外) 灰～灰白色 内) 灰～灰白色 断) ——	密	良 好	内外面へラミガキ 沈縛有り、高台有り	輪型 達ね焼き灰
659	瓦 器 鋸	A2区 SK-147	口径 器高 4.0	外) 灰白～灰褐色 内) 灰白～灰褐色 断) 灰白色	密	良 好	内外面へラミガキ 沈縛有り、高台有り	輪型 達ね焼き灰
660	瓦 器 鋸	A2区 SK-147	口径 器高 3.8	外) 灰色 内) 灰色 断) 灰白色	密	良 好	外面指印さえ 内面へラミガキ 沈縛有り、高台有り	輪型
661	瓦 器 鋸	A2区 SK-147	口径 器高 3.7	外) 灰色 内) 灰色 断) 灰白色	密	良 好	内外面へラミガキ 沈縛有り、高台有り	輪型
662	瓦 器 鋸	A2区 SK-147	口径 器高 3.8	外) 灰色 内) 灰色 断) 灰白色	密	良 好	外面指印さえ 内面へラミガキ 沈縛有り、高台有り	輪型
663	瓦 器 鋸	A2区 SK-147	口径 器高 3.9	外) 灰白色 内) 灰白色 断) 灰白色	密	良 好	内外面ともにヘラミガキ 沈縛有り、高台有り	輪型 内外面ともに炭素吸着 しない
664	瓦 器 鋸	A2区 SK-147	口径 器高 3.6	外) 灰色 内) 灰色 断) 灰白色	密	良 好	内外面ともにヘラミガキ 沈縛有り、高台有り	輪型 重ね焼き灰
665	瓦 器 鋸	A2区 SK-147	口径 器高 4.0	外) 灰色 内) 灰色 断) ——	密	良 好	外面指印さえ 内面へラミガキ 沈縛有り、高台有り	輪型
666	瓦 器 鋸	A2区 SK-147	口径 器高 3.5	外) 灰色 内) 灰色 断) ——	密	良 好	外面ナガサ堅 内面へラミガキ 沈縛有り、高台有り	輪型
667	瓦 裸 鋸	A2区 SK-147	口径 器高 3.8	外) 灰色 内) 灰色 断) 灰白色	密	良 好	内外面ともにヘラミガキ 沈縛有り、高台有り	輪型
668	瓦 器 鋸	A2区 SK-147	口径 器高 4.1	外) 灰色 内) 灰色 断) 灰白色	密	良 好	内外面ともにヘラミガキ 沈縛有り、高台有り	輪型
669	瓦 器 鋸	A2区 SK-147	口径 器高 4.0	外) 灰～灰白色 内) 灰～灰白色 断) 灰白色	密	良 好	内外面ともにヘラミガキ 沈縛有り、高台有り	輪型 重ね焼き灰
670	瓦 器 鋸	A2区 SK-147	口径 器高 3.8	外) 灰～灰白色 内) 灰～灰白色 断) 灰白色	密	良 好	内外面ともにヘラミガキ 沈縛有り、高台有り	輪型 重ね焼き灰
671	瓦 器 鋸	A2区 SK-147	口径 器高 3.5	外) 灰色 内) 灰色 断) ——	密	良 好	外面指印さえ 内面へラミガキ 沈縛無し、高台有り	和原型 重ね焼き灰 見込み平行編状暗文
672	瓦 裸 鋸	A2区 SK-147	口径 器高 1.3	外) 灰色 内) 灰色 断) ——	密	良 好	ナテ調整	見込みジグザグ状暗文
673	瓦 器 皿	A2区 SK-147	口径 器高 1.3	外) 灰色 内) 灰色 断) ——	密	良 好	ナテ調整	見込みジグザグ状暗文
674	瓦 器 皿	A2区 SK-147	口径 器高 1.4	外) 淡オリーブ色 内) 茄色 断) ——	密	良 好	ナテ調整	見込みジグザグ状暗文
675	土 師 器 盆	A2区 SK-147	口径 器高 2.0	外) 淡黄褐色 内) 淡黄褐色 断) 淡黄褐色	密	良 好	ナテ調整	
676	土 師 器 盆	A2区 SK-147	口径 器高 2.2	淡黄褐色 内) 淡黄褐色 断) 淡黄褐色	密	良 好	ナテ調整	
677	土 師 器 盆	A2区 SK-147	口径 器高 2.0	淡黄褐色 内) 淡黄褐色 断) 淡黄褐色	密	良 好	ナテ調整	
678	土 師 器 盆	A2区 SK-147	口径 器高 1.6	淡黄褐色 内) 淡黄褐色 断) 淡黄褐色	密	良 好	ナテ調整	
679	土 師 器 盆	A2区 SK-147	口径 器高 2.3	淡黄褐色 内) 淡黄褐色 断) 淡黄褐色	密	良 好	ナテ調整	
680	土 師 器 盆	A2区 SK-147	口径 器高 1.1	淡黄褐色 内) 淡黄褐色 断) 淡黄褐色	密	良 好	ナテ調整	
681	土 師 器 盆	A2区 SK-147	口径 器高 1.1	淡黄褐色 内) 淡黄褐色 断) 淡黄褐色	密	良 好	ナテ調整	
682	土 師 器 盆	A2区 SK-147	口径 器高 1.3	淡黄褐色 内) 淡黄褐色 断) 淡黄褐色	密	良 好	ナテ調整	
683	土 師 器 盆	A2区 SK-147	口径 器高 1.25	淡黄褐色 内) 淡黄褐色 断) ——	密	良 好	ナテ調整	
684	土 師 器 盆	A2区 SK-147	口径 器高 1.3	淡黄褐色 内) 淡黄褐色 断) ——	密	良 好	ナテ調整	

調査番号	器種	出土地点	法量(cm)	色調	釉土	焼成	技法の特徴	備考
685	土師器皿	A2区 SK-147	口径 基高 7.6 1.4	外) 淡褐色 (内) 淡芸色 断) —	密	良好	ナゲ調整	見込み2次焼成
686	土師器皿	A2区 SK-147	口径 基高 8.2 1.3	外) 淡褐色 (内) 淡褐色 断) —	密	良好	ナゲ調整	
687	土師器皿	A2区 SK-147	口径 基高 7.8 1.1	外) 淡褐色 (内) 淡黄色 断) —	密	良好	ナゲ調整	
688	土師器皿	A2区 SK-147	口径 基高 8.9 1.5	外) 淡褐色 (内) 淡黄色 断) —	密	良好	ナゲ調整	
689	土師器皿	A2区 SK-147	口径 基高 8.0 1.3	外) 淡褐色 (内) 淡黄色 断) —	密	良好	ナゲ調整	
690	土師器皿	A2区 SK-147	口径 基高 7.8 1.4	外) 淡褐色 (内) 淡褐色 断) —	密	良好	ナゲ調整	
691	土師器皿	A2区 SK-147	口径 基高 7.7 1.2	外) 淡褐色 (内) 淡褐色 断) —	密	良好	ナゲ調整	
692	土師器皿	A2区 SK-147	口径 基高 8.0 1.3	外) 淡褐色 (内) 淡褐色 断) —	密	良好	ナゲ調整	
693	土師器皿	A2区 SK-147	口径 基高 8.0 1.1	外) 淡褐色 (内) 淡褐色 断) —	密	良好	ナゲ調整	
694	土師器皿	A2区 SK-147	口径 基高 8.1 1.2	外) 淡褐色 (内) 淡黄色 断) —	密	良好	ナゲ崩壊	
695	土師器皿	A2区 SK-147	口径 基高 7.3 1.2	外) 淡褐色 (内) 淡褐色 断) —	密	良好	ナゲ調整	
696	土師器皿	A2区 SK-147	口径 基高 8.0 1.2	外) 淡褐色 (内) 淡褐色 断) —	密	良好	ナゲ調整	
697	土師器皿	A2区 SK-147	口径 基高 7.8 1.1	外) 淡褐色 (内) 淡褐色 断) —	密	良好	ナゲ調整	
698	土師器皿	A2区 SK-147	口径 基高 8.0 1.2	外) 淡褐色 (内) 淡褐色 断) —	密	良好	ナゲ調整	外周2次焼成
699	土師器皿	A2区 SK-147	口径 基高 7.8 1.0	外) 淡褐色 (内) 淡黄色 断) —	密	良好	ナゲ調整	
700	土師器皿	A2区 SK-147	口径 基高 8.0 1.6	外) 淡褐色 (内) 淡褐色 断) —	密	良好	ナゲ調整	
701	土師器皿	A2区 SK-147	口径 基高 8.0 1.1	外) 淡褐色 (内) 淡褐色 断) —	密	良好	ナゲ調整	
702	土師器皿	A2区 SK-147	口径 基高 8.0 1.3	外) 淡褐色 (内) 淡褐色 断) —	密	良好	ナゲ調整	
703	土師器皿	A2区 SK-147	口径 基高 8.2 1.7	外) 淡褐色 (内) 淡褐色 断) —	密	良好	ナゲ調整	
704	瓦質三足壺	A2区 SK-147	口径(底) 基高(底) 19.6 15.4	外) 雜褐色 (内) 雜褐色 断) 灰白色	密	良好	外面部押さえ 内面部ヶ調整	体部外面部付着
705	瓦質三足壺	A2区 SK-147	口径(底) 基高(底) 19.0 28.7	外) 雜褐色 (内) 雜褐色 断) 灰白色	密	良好	ナゲ調整	
706	瓦質三足壺	A2区 SK-147	口径(底) 基高(底) 18.8 11.5	外) 雜褐色 (内) 雜褐色 断) 灰白色	密	良好	外面部押さえ 内面部ヶ調整	体部外面部付着
707	瓦質三足壺	A2区 SK-147	口径(底) 基高(底) 18.0 9.3	外) 雜褐色 (内) 雜褐色 断) 灰白色	密	良好	外面部押さえ 内面部ヶ調整	
708	セミチャラ瓦質	A2区 SK-147	口径(底) 基高(底) 4.8 2.8	外) 雜褐色 (内) 雜褐色 断) 灰白色	密	良好	ナゲ調整	
709	土師器皿	A2区 SK-212	口径(底) 基高(底) 11.2 2.1	外) 淡褐色 (内) 淡褐色 断) 灰白色	密	良好	ナゲ調整	
710	須恵器縫跡	A2区 SK-212	口径(底) 基高(底) 32.2 4.8	外) 灰色 (内) 灰色 断) 灰色	密	堅硬	同軸ナゲ調整	東播系 口沿端部縫
711	土師器皿	A2区 SK-212	口径(底) 基高(底) 4.6 2.3	外) 灰色 (内) 灰色 断) 灰色	密	良好	ナゲ調整	

検査 番号	基 標	出土地点	法 量 (cm)	色 調	胎 土	地 成	技法の特徴	備 考
712	瓦 器 橋	A2区 SK-229	口径(裏) 高さ(残)	11.4 2.3 外)灰白色 内)灰白色 断)灰白色	密	良 好	外面指押さえ 内面へらしがま 沈線無し	和型
713	土 器 盆	A2区 SK-229	口径(裏) 高さ(残)	7.8 1.5 外)灰白色 内)灰白色 断)灰白色	密	良 好	ナゲ調整	
714	瓦 器 橋	A2区 SK-229	残長 残幅 厚さ	8.5 4.4 3.3 外)暗灰色 内)暗灰色 断)灰白色				
715	瓦 器 橋	A2区 SK-230	口径 高さ	9.9 3.6 外)灰白色 内)灰白色 断)灰白色	密	良 好	外面指押さえ 内面へらしがま 沈線有り、高台有り	大和型
716	土 器 器 盆	A2区 SK-230	口径 高さ	7.8 1.5 外)灰白色 内)灰白色 断)一	密	良 好	ナゲ調整	
717	瓦 器 橋	A2区 SK-231	口径 高さ	10.6 3.2 外)灰白色 内)灰白色 断)灰白色	密	良 好	外面指押さえ 内面へらしがま 沈線無し	橢圓型
718	土 器 器 盆	A2区 SK-231	口径(裏) 高さ(残)	7.8 1.2 外)浅青褐色 内)浅青褐色 断)にい様色	密	良 好	ナゲ調整	
719	土 器 器 盆	A2区 SK-235	口径 高さ	7.3 1.5 外)浅青色 内)浅青色 断)灰白色	密	良 好	ナゲ調整	
720	瓦 器 橋	A2区 SK-201	口径(裏) 高さ(残)	10.8 3.2 外)灰白色 内)暗褐色 断)灰白色	密	良 好	外面指押さえ 内面へらしがま 沈線有り、高台有り	大和型
721	土 器 器 盆	A2区 SK-201	口径 高さ	7.8 1.4 外)灰白色 内)灰白色 断)にい様色	密	良 好	ナゲ調整	
722	线 貨	A2区 SP-1113	径 厚さ	2.5 0.1 外)灰白色 内)灰白色 断)灰白色				不明
723	线 貨	A2区 SP-1113	径 厚さ	2.5 0.1 外)灰白色 内)灰白色 断)灰白色				不明
724	土器アコス	A2区 SP-1177	口径(裏) 高さ(残)	4.4 1.9 外)灰白色 内)灰白色 断)灰白色	密	良 好	ナゲ調整	
725	瓦 器 橋	A2区 SD-302	口径(裏) 高さ	13.6 3.7 外)灰白色 内)灰白色 断)灰白色	密	良 好	外面指押さえ 内面へらしがま 沈線無し、高台有り	橢圓型 見込み同心円状模文
726	瓦 器 橋	A2区 SD-302	口径 高さ	9.7 3.5 外)灰白色 内)灰白色 断)灰白色	密	良 好	外面指押さえ 内面へらしがま 沈線無し、高台有り	橢圓型
727	瓦 器 橋	A2区 SD-302	口径 高さ	9.8 3.7 外)灰白色 内)灰白色 断)灰白色	密	良 好	外面指押さえ 内面へらしがま 沈線無し、高台有り	大和型 重ね焼き痕
728	瓦 器 橋	A2区 SD-302	口径 高さ	9.4 3.5 外)灰黑色 内)灰黑色 断)灰白色	密	良 好	外面指押さえ 内面へらしがま 沈線無し、高台有り	大和型
729	瓦 器 橋	A2区 SD-302	口径 高さ	10.1 3.2 外)灰白色 内)灰黑色 断)灰白色	密	良 好	外面指押さえ 内面へらしがま 沈線無し、高台有り	橢圓型
730	瓦 器 橋	A2区 SD-302	口洋 高さ	9.6 3.9 外)灰白色 内)灰白色 断)灰白色	密	良 好	外面指押さえ 内面へらしがま 沈線無し、高台有り	大和型
731	瓦 器 橋	A2区 SD-302	口径 高さ	9.6 3.4 外)灰黑色 内)灰黑色 断)灰白色	密	良 好	外面指押さえ 内面へらしがま 沈線有り、高台有り	大和型
732	瓦 器 橋	A2区 SD-302	口径 高さ	8.6 3.8 外)灰白色 内)灰白色 断)一	密	良 好	内面ともにナゲ調整 沈線無し、高台有り	大和型 重ね焼き痕
733	瓦 器 橋	A2区 SD-302	口径 高さ	12.3 3.20 外)暗褐色 内)灰白色 断)灰白色	密	良 好	外面指押さえ 内面へらしがま 沈線無し、高台有り	和型
734	瓦 器 橋	A2区 SD-302	口径 高さ	12.3 3.1 外)暗褐色 内)灰黑色 断)灰白色	密	良 好	外面指押さえ 内面へらしがま 沈線無し	和型
735	土 器 器 盆	A2区 SD-302	口径 高さ	10.6 2.0 外)淡黄色 内)淡黄色 断)一	密	良 好	ナゲ調整	
736	土 器 器 盆	A2区 SD-302	口径 高さ	10.8 2.2 外)淡黄色 内)淡黄色 断)一	密	良 好	ナゲ調整	
737	土 器 器 盆	A2区 SD-302	口径 高さ	10.6 2.4 外)淡黄色 内)淡黄色 断)一	密	良 好	ナゲ調整	
738	土 器 器 盆	A2区 SD-302	口径(裏) 高さ(残)	7.3 1.3 外)灰白色 内)灰白色 断)灰白色	密	良 好	ナゲ調整	穿孔有り

測定 番号	器 儀	出土地點	法 量 (cm)	色 調	板 土	焼 成	技法の特徴	備 考
739	土 鋤 器 直	A2区 SD-302	口径 基高 8.0 1.7	外) 灰褐色 内) 灰白色 底) 灰白色	密	良 好	ナガ調整	
740	土 鋤 器 弧	A2区 SD-302	口径 基高 7.6 1.5	外) 灰白色 内) 灰白色 底) 灰白色	密	良 好	ナガ調整	内面見込付近に黒媒査
741	土 鋤 器 直	A2区 SD-302	口径 基高 7.6 1.6	外) 淡黄色 内) 淡黄色	密	良 好	ナガ調整	内面見込付近に黒媒査
742	土 鋤 器 直	A2区 SD-302	口径 基高 7.4 1.7	外) 淡黄色 内) 淡黄色 底) ——	密	良 好	ナガ調整	
743	土 鋤 器 直	A2区 SD-302	口径 基高 7.7 1.7	外) 淡黄色 内) 淡黄色 底) ——	密	良 好	ナガ調整	
744	須恵器 棒鉢	A2区 SD-302	口径 基高 28.6 11.7	外) 绿灰色 内) 灰色 底) 灰色	密	堅 織	回転ナガ調整	束縛系、片口 底部外側回転糸切り痕 口縁端部輪
745	須恵器 棒鉢	A2区 SD-302	口径 (復) 基高 (復) 26.0 8.0	外) 灰白色 内) 灰黑色 底) 灰黑色	密	堅 織	回転ナガ調整	束縛系 内外面ともに2次焼成
746	瓦質三足釜	A2区 SD-302	口径 基高 (残) 16.4 14.5	外) 灰黑色 内) 灰黑色 底) 灰白色	密	良 好	外面ナガ調整 内面ヘラタグリ	外側全体に煤付着
747	瓦質三足釜	A2区 SD-302	口径 基高 (残) 18.2 13.0	外) 砂黑色 内) 灰黑色 底) 灰白色	密	良 好	外面ナガ調整 内面ハケ調整	外側に塵大量に付着
748	瓦 質 羽 笈	A2区 SD-302	口径 (復) 基高 (残) 26.3 11.9	外) 灰黑色 内) 灰黑色 底) 灰白色	密	良 好	ナガ調整	外側脚部に煤付着
749	瓦 質 火 藤	A2区 SD-302	口径 (復) 基高 (残) 15.8 11.0	外) 灰黑色 内) 灰黑色 底) 灰白色	密	良 好	構方向のヘラミガキ	
750	瓦 質 筒	A2区 SD-302	口径 (復) 基高 (残) 34.6 7.1	外) 灰白色～灰黑色 内) 灰黑色 底) 灰白色	密	良 好	外面指押さえ 内面ナガ調整	
751	陶 器 罐	A2区 SD-302	口径 基高 9.5 22.7	外) 灰色 内) 灰色 底) 灰白色	密	堅 織	回転ナガ調整	糊美 体筋外側記号
752	陶 器 罐	A2区 SD-302	口径 基高 18.8 6.9	外) 灰色 内) 灰色 底) 灰白色	密	堅 織	ナガ調整	糊美 片口
753	青 磁 杯	A2区 SD-302	口径 (復) 基高 11.6 3.4	外) 灰白色 内) 灰白色 底) 灰白色	密	堅 織	全面施釉	糊美、花弁文
754	磁 器 瓶	A2区 SD-302	口径 基高 (残) 5.4 2.0	外) 明るいオーラーク 内) オーラーク 底) 灰色 底) 灰白色	密	やや軟	報付まで移動	
755	木 制 盆	A2区 SD-302	口径 基高 16.0 6.3					
756	木 制 品	A2区 SD-302	口径 基高 14.0 5.35					
757	木 制 品 中 敷 便	A2区 SD-302	長さ 横幅 厚さ 16.2 8.7 0.9					
758	木 制 品 中 敷 便 ?	A2区 SD-302	長さ 横幅 厚さ 13.8 5.1 0.2					
759	木 制 品 下	A2区 SD-302	長さ 横幅 厚さ 20.0 11.3 7.5					
760	木 制 品 製 机	A2区 SD-302	長さ 横幅 厚さ 17.5 5.0 0.6				大粒若経 「一日内外〇若經細孔」 又半	
761	不明木製品	A2区 SD-302	長さ 横幅 厚さ 28.9 14.1 2.2					
762	石 制 品 ?	A2区 SD-302	長さ 横幅 厚さ 9.5 8.0 5.5					
763	錢 貨	A2区 SD-302	径 厚さ 2.4 0.15				元祐通寶(北和1093)?	
764	瓦 器 拖	A2区 SD-303	口径 基高 10.8 3.9	外) 灰褐色 内) 灰黑色 底) 灰白色	密	良 好	外面指押さえ 内面ヘラミガキ 底線有り、萬台有り	核蓋型
765	瓦 器 拖	A2区 SD-304	口径 基高 3.2 3.6	外) 灰褐色 内) 灰色 底) ——	密	良 好	外面指押さえ 内面ヘラミガキ。ハケ削整 底線無し、萬台有り	大和型 黒ねじき模

標印 番号	器種	出土地点	法量(cm)	色調	胎土	施成	鉢法の特徴	備考
766	瓦器 線	A2区 SD-364	口径 器高 9.0 3.6	外)灰黑色 内)灰黑色 —	密	良 好	外面指押さえ 内面へうきガキ 弦線有り、高台有り	大和型
767	土器器皿	A2区 SD-304	口径 器高 11.1 2.2	淡黄色 —	密	良 好	ナデ調整	
768	土器器皿	A2区 SD-304	口径 器高 11.2 2.2	外)淡黄色 内)淡黄色 —	密	良 好	ナデ調整	
769	土器器皿	A2区 SD-304	口径 器高 10.8 2.3	灰白色 —	密	良 好	ナデ調整	
770	土器器皿	A2区 SD-304	口径 器高 10.2 2.4	外)浅黄褐色 内)浅黄褐色 —	密	良 好	ナデ調整	
771	土器器皿	A2区 SD-304	口径 器高 8.0 2.5	外)灰白色 内)灰白色 — にびく黄褐色	密	良 好	ナデ調整	
772	土器器皿	A2区 SD-304	口径 器高 7.7 1.7	淡黄色 —	密	良 好	ナデ調整	
773	土器器皿	A2区 SD-304	口径 器高 7.5 2.4	淡黄褐色 —	密	良 好	ナデ調整	
774	土器器皿	A2区 SD-304	口径 器高 8.0 1.6	淡黄褐色 —	密	良 好	ナデ調整	
775	土器器皿	A2区 SD-304	口径 器高 7.8 1.6	外)灰白色 内)灰白色 —	密	良 好	ナデ調整	
776	土器器皿	A2区 SD-304	口径 器高 7.8 1.5	にびく黄褐色 — 灰黄色	密	良 好	ナデ調整	穿孔有り
777	土器實羽釜	A2区 SD-304	口径(復) 器高(残) 31.8 7.1	外)淡黄色～黒褐色 内)オーラー黒褐色 — 淡黄色	密	良 好	ナデ調整	内外面ともに2次焼成
778	瓦質三足釜	A2区 SD-304	口径(復) 器高(残) 18.0 10.8	外)黑色 内)黑色 — 灰白色	密	良 好	ナデ調整	残存部全体は焼成
779	瓦質羽釜	A2区 SD-304	口径(復) 器高(残) 22.2 7.2	外)暗灰色 内)暗灰色 — 灰白色	密	良 好	ナデ調整	鋸齿部にスス付着
780	木製器皿	A2区 SD-304	口径(復) 器高 14.8 4.6					外側裏部に刻字アリ (不明)
781	木製器皿	A2区 SD-304	口径(復) 器高(残) 8.4 3.7					龜甲文
782	木製器皿	A2区 SD-304	底径(復) 器高(残) 5.9 4.8					
783	木製器皿	A2区 SD-304	口径 器高 8.0 2.0					ブナ
784	木製器皿	A2区 SD-304	口径 器高 8.3 0.6					
785	砥石	A2区 SD-304	残長 残幅 厚さ 13.1 4.0 2.2					
786	砥石	A2区 SD-304	残長 残幅 厚さ 6.8 4.8 4.3					
787	砥石	A2区 SD-304	残長 残幅 厚さ 23.5 6.1 8.3					
788	瓦器輪	A2区 SD-305	口径(復) 器高(残) 10.5 2.7	外)灰褐色 内)灰褐色 — 灰白色	密	良 好	外面指押さえ 内面へうきガキ 弦線有り、高台有り	大和型
789	瓦器輪	A2区 SD-305	口径(復) 器高(残) 8.8 4.1	灰～灰白色 — 灰白色	密	良 好	外面指押さえ 内面へうきガキ 弦線無し、高台無し	大和型 重ね焼き輪
790	土器器皿	A2区 SD-305	口径 器高 11.4 2.5	外)灰白色 内)灰白色 —	密	良 好	ナデ調整	
791	土器器皿	A2区 SD-305	口径 器高 10.3 2.3	外)灰白色 内)灰白色 —	密	良 好	ナデ調整	
792	土器器皿	A2区 SD-305	口径 器高 11.0 2.5	淡黄褐色 — 淡黄褐色	密	良 好	ナデ調整	

測定番号	器種	出土地点	法 番 (cm)	色 調	胎 土	焼 成	技法の特徴	備 考
793	土 鋸 器 Ⅲ	A2区 SD-305	口径 基高 8.2 1.8	外)灰白色 内)灰白色 (底)灰黄色	密	良 好	ナナ調整	
794	土 鋸 器 Ⅲ	A2区 SD-305	口径 (底) 基高 (底) 8.0 1.7	外)灰黄色 内)灰白色 (底)灰黄色	密	良 好	ナナ調整	穿孔有り
795	須恵器神体	A2区 SD-305	口径 基高 29.0 12.3	外)青灰色 内)青灰色 (底)——	密	堅 硬	回転ナナ調整	束縛系、片口 板部外筋回転糸切り板 内筋使用板
796	陶 器 深 盆	A2区 SD-305	口径 基高 16.0 4.8	外)灰白色 内)灰白色 (底)灰白色	密	堅 硬	外面部除き施釉	網戸
797	白 磁 壺	A2区 SD-305	底延 (底) 高さ (底) 7.2 2.2	外)灰白色 内)灰白色 (底)灰白色	密	堅 硬	高台は厚く、削り出しあわざか である波線状の段を見込にもつ	
798	磁 石	A2区 SD-305	残長 残幅 厚さ 10.2 6.1 3.6	——	——	——	——	
799	瓦 器 植	A2区 SD-306	口径 基高 13.1 3.7	外)暗灰色 内)暗灰色 (底)灰白色	密	良 好	内外面ともにヘラミガキ 洗練有り、高台有り	大和型 重ね焼き模
800	瓦 器 植	A2区 SD-306	口径 基高 13.7 3.8	外)暗灰色 内)暗灰色 (底)灰白色	密	良 好	外面部調整 内面ヘラミガキ 洗練無し、高台有り	燒造型
801	瓦 器 植	A2区 SD-306	口径 基高 12.5 3.1	外)灰白色～灰褐色 内)灰白色～灰褐色 (底)灰白色	密	良 好	外面部調整 内面ヘラミガキ 洗練無し、高台有り	和泉型 重ね焼き模
802	土 砧 器 盆	A2区 SD-306	口径 基高 7.8 1.6	外)灰白色 内)灰白色 (底)灰白色	密	良 好	ナナ調整	
803	土 砧 器 盆	A2区 SD-306	口径 基高 8.0 1.4	外)浅黄褐色 内)浅黄褐色 (底)灰白色	密	良 好	ナナ調整	
804	須恵器 漆	A2区 SD-306	口径 基高 15.6 5.4	外)灰褐色 内)灰褐色 (底)灰褐色	密	堅 硬	ナナ調整	山形燒or深堺 底面外筋回転糸切り板 外面2次焼成
805	白 磁 盆	A2区 SD-306	口径 (底) 高さ 9.0 2.5	外)灰白色 内)灰白色 (底)オリーブ灰褐色	密	堅 硬	施釉、口舟げ	
806	土 鋸 器 盆	A2区 SD-308	口径 基高 7.2 1.4	外)灰白色 内)灰白色 (底)灰黄色	密	良 好	ナナ調整	
807	土 鋸 器 盆	A2区 SD-308	口径 基高 7.2 1.4	外)灰白色 内)灰白色 (底)——	密	良 好	ナナ調整	
808	須恵器 漆	A2区 SD-308	口径 (底) 基高 (底) 31.0 6.4	外)灰褐色 内)稚灰色 (底)灰白色	密	堅 硬	外面部ヘラミガキ、内面ナナ調整 スリ目5本	
809	陶器注口付瓶	A2区 SD-308	底径 (底) 基高 (底) 7.4 8.8	外)灰白色 内)淡黄褐色 (底)淡黄褐色	密	堅 硬	体部外面に施釉	網戸
810	土 砧 器 盆	A2区 SD-309	口径 基高 14.8 2.5	外)浅黄褐色 内)浅黄褐色 (底)浅黄褐色	密	良 好	ナナ調整	
811	陶 器 壺	A2区 SD-309	口径 (底) 基高 (底) 26.7 5.3	外)オリーブ色 内)灰褐色 (底)灰白色	密	堅 硬	ナナ調整	常滑 外囲と内面口縁部に自 然輪
812	陶 器 壺	A2区 SD-309	口径 (底) 基高 (底) 40.8 5.8	外)灰褐色 内)灰褐色 (底)灰褐色	密	堅 硬	ナナ調整	備前
813	陶 器 植	A2区 SD-309	口径 (底) 基高 (底) 29.8 5.9	外)灰褐色 内)灰褐色 (底)灰褐色	密	堅 硬	ナナ調整、スリ目6本	備前
814	瓦 磁 冠 盆	A2区 SD-310	口径 (底) 基高 (底) 31.0 8.2	外)青灰色 内)黑褐色 (底)灰白色	密	良 好	ナナ調整	
815	瓦 磁 植	A2区 SD-313	口径 基高 11.7 3.7	外)暗紺灰色 内)暗紺灰色 (底)灰白色	密	良 好	内外面ともにヘラミガキ 洗練有り、高台有り	大和型
816	瓦 磁 植	A2区 SD-313	口径 基高 10.0 3.5	外)灰褐色 内)灰褐色 (底)灰白色	密	良 好	内面ナナ調整 内面ヘラミガキ 洗練無し、高台有り	大和型
817	瓦 磁 植	A2区 SD-313	口径 基高 9.8 3.1	外)灰褐色 内)灰褐色 (底)灰白色	密	良 好	内面ナナ調整 内面ヘラミガキ 洗練有り、高台有り	大和型
818	瓦 磁 植	A2区 SD-313	口径 基高 9.2 3.2	外)灰褐色～灰黑色 内)灰白色～灰黑色 (底)灰白色	密	良 好	内面ナナ調整 内面ヘラミガキ 洗練無し、高台有り	大和型 重ね焼き模
819	瓦 磁 植	A2区 SD-313	口径 (底) 基高 13.1 3.3	外)灰白色 内)灰白色 (底)——	密	良 好	外面部押さえ 内面ヘラミガキ 洗練無し、高台有り	和泉型 重ね焼き模

規格番号	器種	出土地点	法寸(㎝)	色調	胎土	焼成	技法の特徴	備考
820	瓦器類	A2区 SD-313	口径 高さ 3.1	外:暗灰色 内:灰白色 断:灰白色	密	良好	外面部押さえ 内面部ラミガキ 沈没無し、高台無し	和泉型 重ね焼き板
821	瓦器類	A2区 SD-313	口径 高さ 2.9	外:灰色 内:灰白色 断:オリーブ灰白色	密	良好	外面部押さえ 内面部ラミガキ 沈没無し、高台有り	和泉型
822	瓦器類	A2区 SD-313	口径 高さ 2.5	外:灰白色 内:灰白色 断:灰白色	密	良好	外面部押さえ 内面部ラミガキ 沈没無し、高台有り	和泉型 底面吸着していない
823	瓦器類	A2区 SD-313	口径 高さ 3.15	外:オリーブ黒色 内:灰白色 断:—	密	良好	外面部調整 内面部ラミガキ 沈没無し、高台有り	和泉型 重ね焼き板
824	瓦器類	A2区 SD-313	口径 高さ 3.1	外:灰色 内:灰白色 断:—	密	良好	外面部押さえ 内面部ラミガキ 沈没無し、高台有り	和泉型
825	瓦器類	A2区 SD-313	口径 高さ 2.9	外:暗灰色 内:灰白色 断:灰白色	密	良好	外面部押さえ 内面部ラミガキ 沈没無し、高台無し	和泉型
826	瓦器類	A2区 SD-313	口径 高さ 2.9	外:灰色 内:灰白色 断:灰白色	密	良好	外面部押さえ 内面部ラミガキ 沈没無し、高台無し	和泉型 重ね焼き板
827	土器器皿	A2区 SD-313	口径 高さ 2.1	外:灰白色 内:灰白色 断:—	密	良好	ナマ調整	
828	土器器皿	A2区 SD-313	口径 高さ 2.1	外:灰白色 内:灰白色 断:—	密	良好	ナマ調整	
829	土器器皿	A2区 SD-313	口径 高さ 2.0	外:灰~灰白色 内:黄褐色~黑色 断:—	密	良好	ナマ調整	様式に付着
830	土器器皿	A2区 SD-313	口径 高さ 1.2	外:浅黄褐色 内:浅黄褐色 断:—	密	良好	ナマ調整	
831	土器器皿	A2区 SD-313	口径 高さ 1.5	外:灰白色 内:灰白色 断:—	密	良好	ナマ調整	
832	土器器皿	A2区 SD-313	口径 高さ 1.4	外:灰白色 内:灰白色 断:—	密	良好	ナマ調整	
833	土器質羽釜	A2区 SD-313	口径(復) 高さ(復) 13.5	外:灰(復)~灰白色 内:灰白色 断:灰白色	密	良好	ナマ調整	外側付着
834	須恵器縄耳	A2区 SD-313	口径(復) 高さ(復) 5.6	外:灰褐色 内:深褐色 断:灰褐色	密	堅密	凹凸ナマ調整	堅密系、片口 内側加熱枠 内側全体に焼付着
835	瓦質壺	A2区 SD-313	口径(復) 高さ(復) 5.9	外:灰 内:灰白色 断:灰白色	密	良好	体部内外面とも墨化の為表面が 剥離	
836	瓦質壺	A2区 SD-313	口径(復) 高さ(復) 9.3	外:灰 内:灰褐色 断:灰褐色	密	良好	外面部押さえ 内面部ナマ調整	体部外壁面付着
837	陶器壺	A2区 SD-313	口径(復) 高さ(復) 9.4	外:灰オリーブ色 内:深褐色 断:灰褐色	密	堅密	ナマ調整	常滑 外曲に仄被り
838	陶器底部	A2区 SD-313	底径(復) 高さ(復) 5.5	外:灰 内:灰白色 断:灰白色	密	堅密	ナマ調整	前回
839	青磁碗	A2区 SD-313	口径(復) 高さ(復) 3.4	外:灰オリーブ色 内:灰オリーブ色 断:灰白色	密	堅密	輪は全回旋され盤面近くまでか かる	蓮弁文
840	L字チャコル	A2区 SD-313	口径(復) 高さ(復) 1.6	外:灰白色 内:灰白色 断:灰白色	密	良好	ナマ調整	
841	L字チャコル	A2区 SD-313	口径(復) 高さ(復) 2.9	外:灰白色 内:灰白色 断:灰白色	密	良好	ナマ調整	
842	Lニチャア 土器質羽釜	A2区 SD-313	口径(復) 高さ(復) 1.8	外:灰白色 内:灰白色 断:灰白色	密	やや不規	ナマ調整	
843	Lニチャア	A2区 SD-313	口径(復) 高さ(復) 4.6	外:灰白色 内:灰白色 断:灰白色	密	堅密	ナマ調整	
844	木製品	A2区 SD-313	口径 高さ 5.3	—	—	—	—	カツラ
845	木製品	A2区 SD-313	口径 高さ 1.35	—	—	—	—	
846	土玉	A2区 SD-313	長さ 幅 厚さ 2.7 2.3 2.2	外:灰黃色 内:灰褐色 断:灰褐色	密	良好		

編 號	器 種	出 土 地 點	法 量 (cm)	色 調	胎 土	燒 成	技 法 の 特 徴	備 考
847	土 玉	A2区 SK-313	長さ 2.7 幅2.2	外) に bei 棕色 内) に bei 棕色 底) に bei 棕色	密	良 好		
848	土 師 器 皿	A2区 SK-302	口径 7.6 高さ 1.5	外) 灰白色 内) 灰白色 底) 灰白色	密	良 好	ナガ調整	
849	瓦 質 火 鉢	A2区 SK-302	高さ(底) 10.8	外) 灰色 内) 灰色 底) 灰白色	密	良 好	内面輪方向のヘリガキ	
850	石 鏡	A2区 SK-302	口径(底) 19.6 厚さ(鏡) 3.0					磨石製
851	土 師 器 皿	A2区 SK-304	口径 9.4 高さ 2.2	外) 灰白色 内) 灰白色 底) —	密	良 好	ナガ調整	
852	須 恵 器 鏡 鉢	A2区 SK-304	口径(底) 28.8 高さ(底) 4.9	外) 灰白色 内) 銀灰 底) 銀灰色	密	堅 硬	回転ナガ調整	東播系 口縁端部釉
853	瓦 器 鏡	A2区 SK-307	口径(底) 11.8 高さ(底) 2.3	外) 灰色 内) 灰白色 底) 灰白色	密	良 好	外面部押さえ 内面ヘリガキ 沈線無し	和泉型 変ね突き底
854	須 恵 器 鏡 鉢	A2区 SK-307	口径(底) 27.2 高さ(底) 4.6	外) 灰色 内) 灰色 底) オリーブ灰色	密	堅 硬	回転ナガ調整	東播系
855	瓦 器 石	A2区 SK-307	柱長 4.8 底幅 3.8 厚さ 0.7					
856	瓦 器 鏡	A2区 SK-313	口径(底) 14.6 高さ 3.7	外) 灰色 内) 灰色 底) 灰白色	密	良 好	外面部押さえ 内面ヘリガキ 沈線無し、高台有り	和泉型 変ね突き底
857	瓦 器 鏡	A2区 SK-315	口径(底) 12.2 高さ 4.2	外) 灰色 内) 灰色 底) 灰白色	密	良 好	外面部押さえ 内面ヘリガキ 沈線有り、高台有り	和泉型 変ね突き底
858	瓦 器 鏡	A2区 SK-315	口径 13.3 高さ 4.3	外) 灰色 内) 灰色 底) 灰白色	密	良 好	外面部押さえ 内面ヘリガキ 沈線有り、高台無し	大和型 見込み連結輪状暗文
859	瓦 器 鏡	A2区 SK-315	口径 12.8 高さ 3.5	外) 灰白色 内) 灰白色 底) —	密	良 好	外面部押さえ 内面ヘリガキ 沈線無り、高台有り	和泉型、炭素着色しない 見込みに平行線状暗文
860	瓦 器 鏡	A2区 SK-315	口径 8.3 高さ 1.4	外) 増厚色 内) 増厚色 底) 灰白色	密	良 好	ナガ調整	見込みにジグザグ状暗文
861	土 師 器 皿	A2区 SK-315	口径(底) 7.7 高さ(底) 1.0	外) 灰白色 内) 灰白色 底) 灰白色	密	良 好	ナガ調整	
862	瓦 質 三足 釜	A2区 SK-315	口径(底) 15.8 高さ(底) 8.4	外) 黑色 内) 黑色 底) 黑褐色	密	良 好	外面部押さえ 内面ハラ調整	体部外側に漆付着
863	瓦 質 杯	A2区 SK-315	口径(底) 20.4 高さ(底) 6.2	外) 灰色 内) 灰色 底) 灰白色	密	良 好	外面部押さえ 内面ハラ調整	
864	土 師 器 皿	A2区 SK-315	口径(底) 26.4 高さ(底) 9.4	外) 增厚褐色 内) 增厚褐色 底) 灰白色	密	良 好	ナガ調整	
865	土 師 器 皿	A2区 SK-315	口径(底) 32.0 高さ(底) 6.3	外) に bei 黄褐色 内) に bei 黄褐色 底) 灰白色	密	良 好	ナガ調整	
866	土 師 器 皿	A2区 SK-316	口径 27.6 高さ(底) 9.3	外) 増厚褐色 内) リリップ黒色 底) 灰白色	密	良 好	ナガ調整	
867	瓦 質 皿	A2区 SK-316	口径(底) 34.0 高さ(底) 9.8	外) 灰色 内) 灰色 底) 灰白色	密	良 好	外面部押さえ 内面ナガ調整	内面の風化帯しきとこ ろどころ器壁剥離
868	瓦 器 鏡	A2区 SK-317	口径(底) 11.8 高さ(底) 3.0	外) 灰色 内) 灰色 底) 灰白色	密	良 好	外面部押さえ 内面ヘリガキ 沈線無し、高台無し	和泉型
869	土 師 器 皿	A2区 SK-317	口径(底) 7.6 高さ(底) 1.7	外) 灰白色 内) 灰白色 底) 从口部	密	良 好	ナガ調整	
870	須 恵 器 鏡	A2区 SK-317	口径(底) 31.6 高さ(底) 9.7	外) 灰白色 内) 灰白色 底) 从口部	密	堅 硬	外面部タタキ 内面ナガ調整	
871	須 恵 器 鏡	A2区 SK-317	口径(底) 32.0 高さ(底) 6.4	外) 灰色 内) 灰色 底) 灰色	密	堅 硬	回転ナガ調整	東播系 体部外側鉄分付着
872	須 恵 器 鏡	A2区 SK-317	口径(底) 32.4 高さ(底) 6.3	外) 灰白色 内) 灰白色 底) 灰色	密	堅 硬	回転ナガ調整	東播系 口縁端部釉
873	瓦 質 鏡	A2区 SK-317	高さ(底) 6.6	外) に bei 黄褐色 内) に bei 黄褐色 底) 灰白色	密	良 好	外面部タタキ 内面ナガ調整	外側大體に漆付着

件番 番号	器種	出土地点	法 縦(cm)	色 調	胎 土	焼 成	技法の特徴	考 査
874	陶器 瓢	A2区 SK-317	口径(復) 器高(残)	19.8 8.1	外) 内) 灰褐色 暗褐色	密	堅 微	回転ナガ調整 常滑
875	瓦器 棺	A2区 SE-301	口径 器高	8.0 4.0	外) 内) 灰褐色 浅灰色	密	良 好	外面部押さえ 内面へうきがき 芯焼無し、高台無し 大和型
876	土器 瓢	A2区 SE-301	口径 器高	8.1 1.9	外) 内) にぼり 黄褐色 黄褐色	密	良 好	ナガ調整
877	土器 瓢	A2区 SE-301	口径 器高	7.5 1.7	外) 内) 灰オーブ色 灰オーブ色 灰オーブ色	密	良 好	ナガ調整
878	須恵器 鋼鉢	A2区 SE-301	口径(復) 器高(残)	28.2 6.2	外) 内) 灰オーブ灰褐色 オーブ灰褐色 オーブ灰褐色	密	堅 微	回転ナガ調整 束縛系
879	瓦質 盆	A2区 SE-301	口径(復) 器高(残)	22.2 2.9	外) 内) 灰褐色 灰褐色 灰黄色	密	良 好	ナガ調整
880	陶器 盆	A2区 SE-301	底径(復) 器高(残)	25.6 5.3	外) 内) 灰褐色 灰褐色 灰褐色	密	堅 微	ナガ調整
881	平 盆	A2区 SE-301	底長 底幅 厚S	14.9 13.1 1.7	外) 内) 灰褐色 灰褐色 灰白色	密	良 好	内面凸起 凸凹ナガ調整 瓦質
882	木製 品	A2区 SE-301	底径(復) 器高(残)	7.0 1.6				
883	木製 備	A2区 SE-301	長さ 幅 厚さ	4.7 9.1 1.4				イヌノキ
884	木製 品	A2区 SE-301	長さ 幅 厚さ	36.0 2.6 1.5				
885	石製 品?	A2区 SE-301	長さ 幅 厚さ	4.9 3.5 1.1				
886	瓦器 橋	A2区 SX-301	口径(復) 器高	13.1 3.1	外) 内) 灰褐色 灰白色	密	良 好	内外部ともにへうきがき 芯焼有り、高台有り 大和型
887	瓦器 橋	A2区 SX-301	口径 器高	13.4 3.5	外) 内) 灰褐色 灰白色	密	良 好	外面部押さえ 内面へうきがき 芯焼無し、高台有り 和泉型
888	土器 壺	A2区 SX-301	口径(復) 器高(残)	7.8 1.1	外) 内) 灰白色 灰白色 灰白色	密	良 好	ナガ調整
889	瓦器 橋	A2区 南隅落込み301	口径(復) 器高(残)	8.8 3.6	外) 内) 灰白色 灰褐色 灰白色	密	良 好	外面部押さえ 内面へうきがき 芯焼無し、高台有り 大和型 實ね燒き目
890	陶器 鋼鉢	A2区 南隅落込み301	口径(復) 器高(残)	30.2 5.0	外) 内) 灰褐色 施灰褐色 にぼり 灰褐色	密	堅 微	ナガ調整 スリット日本 片口
891	丸 盆	A2区 SP-354	底長 底幅 厚さ	7.1 6.5 4.0	外) 内) 灰褐色 灰白色 灰白色	密	良 好	回転ナガ調整 凸凹ナガ調整 瓦質 打穴2ヶ所
892	土器蓋容器部	A2区 第1遺構面精査	底長 底幅 厚さ	4.8 6.7 0.5	外) 内) 灰白色 灰白色 灰白色	密	良 好	ナガ調整 底面中央に穿孔有り
893	上部買不品	A2区 第1遺構面ベース層	底長 底幅 厚さ	6.2 6.7 1.2	外) 内) 灰白色 灰白色 灰白色	密	良 好	体部上方に等間隔に埋 たと思われる孔あり
894	陶器 瓢	A2区 第1遺構面ベース層	口径(復) 器高(残)	34.6 9.9	外) 内) にぼり 灰褐色 灰褐色 灰褐色	密	堅 微	ナガ調整 舞明
895	陶器 瓢	A2区 第1遺構面ベース層	口径(復) 器高(残)	36.0 10.3	外) 内) 灰白色 施灰褐色 灰白色	密	堅 微	ナガ調整 常滑
896	陶器 推移	A2区 不明	口径(復) 器高(残)	24.7 12.3	外) 内) 施灰褐色 施灰褐色 灰白色	密	堅 微	ナガ調整 スリット日本
897	L字x7直立柱	A2区 墓乱	器高(残)	16.0	外) 内) 灰褐色 灰褐色 灰白色	密	良 好	ナガ調整 山文
898	陶器 瓢	A2区 第1遺構面嵌入上蓋	底径 器高(残)	4.8 2.1	外) 内) 灰オーブ色 灰オーブ色 灰白色	密	堅 微	施釉
899	陶器 瓢	A2区 第1遺構面直上面	口径(復) 器高(残)	15.8 2.3	外) 内) オーブ灰褐色 灰褐色 灰白色	密	堅 微	全面施釉
900	陶器 瓢	A2区 第1遺構面ベース層	底径 器高(残)	7.9 2.6	外) 内) 施オーブ灰褐色 施オーブ灰褐色 灰白色	密	堅 微	施釉

測定番号	器種	出土地点	法 直(cm)	色 調	地 土	焼 成	技術の特徴	備 考	
901	磁 器 瓢?	A2区 東側斜溝	底径(厘) 5.2 器高(厘) 3.1	外) オリーブ色 内) オリーブ灰色 灰白色 灰黑色	密	堅 硬	結構		
902	磁 器 瓢?	A2区 第2道溝面ベース層	底径(厘) 5.8 器高(厘) 1.0	外) オリーブ色 内) オリーブ灰色 灰黑色	密	堅 硬		底面裏に刻字	
903	磁 器 瓢?	A2区 横乱	底径(厘) 5.6 器高(厘) 3.6	外) に赤い褐色 内) に赤い褐色 灰白色	密	堅 硬	強熱		
904	磁 器 瓢?	A2区 第1道溝面土上層	底径(厘) 5.2 器高(厘) 2.2	外) オリーブ色 内) オリーブ灰色 灰白色	密	堅 硬	強熱		
905	青 青 瓶	A2区 第1道溝面ベース層	口径(厘) 12.3 器高(厘) 4.0	外) 緑色 内) 緑色 灰白色 灰黑色	密	やや軟	強熱	見込み双魚文	
906	白 瓶 目	A2区 第2道溝面底蓋	口径(厘) 9.1 器高(厘) 1.9	外) 明緑灰色 内) 明緑灰色 灰白色	密	堅 硬	全面施釉、口毛		
907	白 瓶 目	A2区 右側斜溝	口径(厘) 7.8 器高(厘) 1.5	外) 底白色 内) 底白色 灰白色	密	堅 硬	口毛		
908	白 瓶 目	A2区 第1道溝面ベース層	口径(厘) 8.1 器高(厘) 1.6	外) 灰綠灰色 内) 灰綠灰色 灰白色 灰白色	密	堅 硬	口毛		
909	軒 平 瓦	A2区 横乱	底長 厚さ	2.6 12.2	外) 底色 内) 底色 灰白色	密	良 好		瓦質 表草文
910	軒 九 瓦	A2区 第1道溝面ベース層	底長 厚さ 底当	9.8 7.8 2.4 12.2	外) 底白色 内) 底白色 底当 に赤い縫隙	密	良 好	四面布口條 凸面ナガ調整	瓦質 表文
911	平 瓦	A2区 横乱	底長 厚さ	15.7 12.4 1.7	外) 緑灰色 内) 緑灰色 灰白色	密	良 好	凹面ナガ調整 凸面ナガ調整	瓦質
912	丸 瓦	A2区 第1道溝面ベース層	底長 厚さ	13.8 18.1 7.7	外) 推灰色 内) 底白色 灰白色	密	良 好	凹面布口條 凸面ナガ調整	瓦質
913	丸 瓦	A2区 第1道溝面ベース層	底長 厚さ	22.3 10.8 2.0	外) 底色 内) 底色 底当 灰白色	密	良 好	凹面布口條 凸面ナガ調整	瓦質
914	ミニチュア瓦巻	A2区 第1道溝面ベース層	口径 器高	2.0 3.9	外) 底白色 内) 底白色 灰白色	密	良 好	ナガ調整	外側全体に風紋
915	L字型土器脚	A2区 第1道溝面ベース層	口径 器高	4.2 2.1	外) 淡青緑色 内) 淡青緑色 淡青緑色	密	良 好	ナガ調整	
916	磁系紅口器	A2区 第1道溝面土上層	口径(厘) 器高(厘)	4.5(1.4) 1.2	外) 底白色 内) 底白色 灰白色	密	良 好	全面施釉と外側全体下部まで施釉	菊花形
917	上 瓶	A2区 第1道溝面土上層	底長 厚さ	2.6 1.0 1.2	外) 淡青緑色 内) 淡青緑色 淡青緑色	密	良 好	ナガ調整	土師質
918	土 瓶	A2区 第1道溝面土上層	底長 厚さ	4.2 1.2 1.3	外) 底色 内) 底色 底色	密	良 好	ナガ調整	土師質
919	土 瓶	A2区 第1道溝面斜井	底長 厚さ	4.1 1.2 1.2	外) 底色 内) 底色 底色	密	良 好	ナガ調整	土師質
920	上 玉	A2区 機械削削	底さ 厚さ	1.6 1.4 1.4 1.4	外) に赤い縫隙 内) に赤い縫隙 に赤い縫隙 に赤い縫隙	密	良 好		土師質
921	土 製 品	A2区 機械削削	底長 厚さ	3.4 2.5 1.6	外) 底色 内) 底色 に赤い縫隙 に赤い縫隙	密	良 好	泥輪の為ところどころ 軸か剥れ落ちている	
922	土 製 品	A2区 第1道溝面土上層	底長 厚さ	3.1 2.5 1.9	外) 淡青緑色 内) 淡青緑色 淡青緑色	密	良 好		
923	土 製 品	A2区 第1道溝面土上層	底長 厚さ	6.4 4.0 3.1	外) に赤い縫隙 内) に赤い縫隙 に赤い縫隙	密	良 好		
924	木 制 品	A2区 横乱	底長 厚さ	21.8 8.6 0.5				針葉樹	
925	磁 石	A2区 第2道溝面ベース層	底長 厚さ	16.3 3.3 1.1					
926	磁 石	A2区 第1道溝面ベース層	底長 厚さ	9.9 4.9 4.0					
927	磁 石	A2区 第2道溝面ベース層	底長 厚さ	7.2 3.9 2.8					

標本番号	器種	出土地点	法量(cm)	色調	胎土	地成	様式の特徴	備考	
928	砥石	A2区 第1遺構面ベース層	鉈長 鉈幅 厚さ	5.0 3.9 1.6					
929	砥石	A2区 第1遺構面直上層	鉈長 鉈幅 厚さ	8.7 4.6 1.1					
930	砥石	A2区 第1遺構面直上層	鉈長 鉈幅 厚さ	9.6 4.8 3.8				砂岩	
931	サスカイト片	A3区 第1遺構面直上層	鉈長 鉈幅 厚さ	4.3 5.0 4.5					
932	鐵質	A2区 表採	径 厚さ	2.3 0.1				實永道室(日本1626年)	
933	鐵質	A2区 第1遺構面直上層	径 厚さ	2.5 0.1				不明	
934	キセル	A2区 混乱	鉈長 鉈幅 厚さ	7.7 2.0 1.5				木製品	
935	土師器皿	A3区 SD-163	口径 器高	10.6 2.2	外) 淡青褐色 内) 淡青褐色 断) 淡青色	密	良 好	ナテ調整	
936	土師器皿	A3区 SD-163	口径 器高	7.7 1.5	外) 灰白色 内) 灰白色 断) ——	密	良 好	ナテ調整	
937	陶器甕	A3区 SD-103	口径(復) 器高(残)	35.8 5.2	外) 暗灰色 内) 暗灰色 断) 暗灰色	密	堅 織	回転ナテ調整	常滑
938	陶器甕	A3区 SD-103	底径(復) 器高(残)	35.6 26.9	外) 暗灰色 内) 暗灰色 断) 暗灰色	密	堅 織	ナテ調整、内面押さえ 灰かぶり	
939	瓦器焼	A3区 SD-106	口径(復) 器高(残)	12.8 3.0	外) 灰白色 内) 灰白色 断) 灰白色	密	良 好	外曲面押さえ 内面へり(カキ 沈線有り)	大和型
940	瓦器焼	A3区 SD-106	口径(復) 器高(残)	8.8 3.0	外) 灰白色 内) 灰白色 断) 灰白色	密	良 好	外曲面押さえ 内面へり(カキ 沈線無し)	大和型
941	土師器皿	A3区 SD-106	口径(復) 器高(残)	10.9 2.0	外) 淡黄色 内) 淡黄色 断) 灰白色	密	良 好	ナテ調整	
942	土師器皿	A3区 SD-106	口径(復) 器高(残)	10.7 1.8	外) 暗褐色 内) 暗褐色 断) 灰白色	密	良 好	ナテ調整	内面2次焼成
943	青磁甕	A3区 SU-106	口径(復) 器高(残)	16.0 4.8	外) 青灰色 内) 青灰色 断) 灰白色 断) 灰白色	密	堅 織	施釉	蓮井文
944	瓦器焼	A3区 SD-109	口径(復) 器高(残)	9.0 3.5	外) 灰白色 内) 灰白色 断) 灰白色	密	良 好	外曲ナテ調整 内面へり(カキ 沈線有り、高台有り)	大和型
945	土師器皿	A3区 SK-103	口径(復) 器高(残)	7.5 2.0	外) 淡黄色 内) 淡黄色 断) にぶい黄緑色	密	良 好	ナテ調整	
946	砥石	A3区 SK-103	鉈長 鉈幅 厚さ	5.7 2.9 2.9					
947	七輪器皿	A3区 SK-107	口径 器高	10.8 2.7	外) 淡褐色 内) 淡白色 断) 淡黃褐色	密	良 好	ナテ調整	
948	土師器皿	A3区 SK-115	口径 器高	11.0 2.0	外) 灰白色 内) 淡赤褐色 断) 灰白色	密	良 好	ナテ調整	
949	土師器皿	A3区 SK-115	口径 器高	11.0 2.3	外) 淡黄色 内) 淡黄色 断) 灰白色	密	良 好	ナテ調整	内面2次焼成
950	陶器甕	A3区 SK-115	口径(復) 器高(残)	37.4 9.0	外) 暗灰色 内) 暗灰色 断) 灰白色	密	堅 織	回転ナテ調整 灰かぶり	常滑
951	瓦器焼	A3区 SK-128	口径 器高	11.1 2.3	外) 灰白色 内) 灰白色 断) 灰白色	密	良 好	外曲面押さえ 内面へり(カキ 沈線無し、高台有り)	和泉型 東ねじき目
952	瓦質猪瓶	A3区 SK-128	口径(復) 器高(残)	26.8 8.3	外) 灰色 内) 灰白色 断) 灰白色	密	良 好	外曲ナテ・ヘラケズリ 内面ナテ調整 スリ貝口2枚	
953	土師器皿	A3区 SK-147	口径 器高	8.5 1.9	外) 灰白色 内) 灰白色 断) にぶい黄緑色	密	良 好	ナテ調整	
954	白磁甕	A3区 SK-147	口径(復) 器高(残)	10.6 2.1	外) 灰白色 内) 灰白色 断) 灰白色	密	堅 織	均輪、口壳	

登録番号	器種	出土地点	法寸量(cm)	色調	胎土	焼成	技法の特徴	備考
955	瓦 瓦 檻	A3区 SK-150	口径 基面 8.8 4.7	外)灰褐色 内)灰白色 底)灰白色	密	良好	外面指押さえ 内面へらしがき 沈線無し、高台無し	大和型 重ね焼き窓
956	瓦 瓦 檻	A3区 SK-150	口径 基面 8.6 3.4	外)灰白色 内)灰白色 底)灰白色	密	良好	外面指押さえ 内面へらしがき 沈線無し、高台無し	大和型 重ね焼き窓
957	土 蒔 器 盆	A3区 SK-150	口径 基面 10.2 2.7	外)灰白色 内)灰白色 底)灰白色	密	良好	ナデ調整	
958	土 蒔 器 盆	A3区 SK-150	口径 基面 7.7 1.8	外)浅褐色 内)浅褐色 底)浅褐色	密	良好	ナデ調整	
959	土 蒔 器 盆	A3区 SK-150	口径 基面 7.6 1.8	外)灰白色 内)灰白色 底)灰白色	密	良好	ナデ調整	
960	土 蒔 器 盆	A3区 SK-150	口径 基面 7.8 2.0	外)浅黄色 内)浅黄色 底)浅黄色	密	良好	ナデ調整	
961	土 蒔 器 盆	A3区 SK-150	口径 基面 7.4 1.7	外)にいり褐色 内)にいり褐色 底)にいり褐色	密	良好	ナデ調整	
962	土 蒔 器 盆	A3区 SP-124	口径 基面 7.8 1.5	外)灰白色 内)灰白色 底)灰白色	密	良好	ナデ調整	
963	土 蒔 器 盆	A3区 SP-124	口径 基面 7.8 1.5	外)灰白色 内)灰白色 底)灰白色	密	良好	ナデ調整	
964	石 瓢	A3区 SP-134	口径(底) 基面(底) 20.8 3.2					滑石製
965	須恵器縫鉢	A3区 SD-203	口径(底) 基面(底) 29.7 5.7	外)灰褐色 内)灰褐色 底)モリーブ灰色	密	堅硬	回転ナデ調整	束縛糸 口縫施用
966	瓦質羽釜	A3区 SD-203	口径(底) 基面(底) 15.6 5.2	外)灰褐色 内)灰褐色 底)灰白色	密	良好	外面ナデ調整 内面ハケ調整	
967	陶 瓶 繩	A3区 SD-203	口径(底) 基面(底) 20.8 12.7	外)灰褐色 内)灰褐色 底)褐色	密	堅硬	ナデ調整	
968	陶 瓶 繩	A3区 SD-203	口径(底) 基面(底) 41.4 9.7	外)灰褐色 内)黒褐色 底)灰白色	密	堅硬	ナデ調整	繩前
969	陶 瓶 繩 鉢	A3区 SD-203	口径(底) 基面(底) 27.4 7.6	外)灰褐色 内)灰白色 底)灰白色	密	堅硬	ナデ調整 スリ日本4本	
970	土 蒔 器 盆	A3区 SD-204	口径 基面 10.8 2.5	外)にいり褐色 内)灰白色 底)灰白色	密	良好	ナデ調整	外面部部に木ノ葉文様
971	須恵器縫鉢	A3区 SD-204	口径(底) 基面(底) 18.6 7.3	外)灰褐色 内)モリーブ灰色 底)灰白色	密	堅硬	回転ナデ調整	
972	須恵器縫鉢	A3区 SD-204	口径(底) 基面(底) 28.0 5.1	外)灰褐色 内)灰褐色 底)灰白色	密	堅硬	回転ナデ調整	内側2次焼成
973	瓦質羽釜	A3区 SD-204	口径(底) 基面(底) 20.2 10.7	外)モリーブ褐色 内)モリーブ褐色 底)灰白色	密	良好	ナデ調整	体部外側縫付帯
974	瓦質羽釜	A3区 SD-204	口径(底) 基面(底) 23.3 6.6	外)灰褐色 内)灰褐色 底)灰白色	密	良好	外面ナデ調整 内面ハケ調整	
975	瓦質羽釜	A3区 SD-204	口径(底) 基面(底) 25.6 9.3	外)灰褐色 内)灰褐色 底)灰白色	密	良好	ナデ調整	輪筋下部～体部にかけ て保付帯
976	瓦質羽釜	A3区 SD-204	口径(底) 基面(底) 21.7 12.0	外)灰褐色 内)灰褐色 底)灰白色	密	良好	外面ナデ調整 内面ハケ調整	体部外側縫付帯
977	瓦質羽釜	A3区 SD-204	口径(底) 基面(底) 30.3 8.9	外)灰褐色 内)灰褐色 底)灰白色	密	良好	外面ナデ調整 内面ハケ調整	
978	瓦質縫鉢	A3区 SD-204	口径(底) 基面(底) 26.9 7.2	外)モリーブ灰褐色 内)モリーブ灰褐色 底)灰白色	密	良好	外面指押さえ 内面ナデ調整、スリ日本8本	
979	瓦質火鉢	A3区 SD-204	基面(底) 5.8	外)灰白色 内)灰白色 底)灰白色	密	良好	外面ナデ調整 内面横方向のへらしがき	菊花文
980	陶 器 罐	A3区 SD-204	口径(底) 基面(底) 38.6 7.8	外)灰褐色 内)にいり赤褐色 底)灰褐色	密	堅硬	ナデ調整	繩前 少し灰被り
981	陶 器 底 部	A3区 SD-204	底径(底) 基面(底) 34.4 4.7	外)灰褐色 内)にいり褐色 底)灰褐色	密	堅硬	ナデ調整	繩前

辨証番号	器種	出土位置	法量(cm)	色調	胎土	焼成	技法の特徴	備考
982	陶器底部	A3区 SD-394	底径(径) 34.0 器高(残) 7.2	外)灰褐色 内)灰褐色 断)灰褐色	密	堅 硬	ナゲ調整	底部に灰被り
983	白磁合子	A3区 SD-204	口径 器高 5.1 厚さ 1.6	外)灰白色 内)灰白色 断)灰白色	密	堅 硬	外面部上半及び内部特物	
984	木製品底	A3区 SD-204	径 厚さ 13.0 0.9					
985	木製品曲	A3区 SD-204	径 厚高 14.8 5.5 厚さ 0.2					
986	土器皿底	A3区 SD-258	口径(径) 12.7 器高 2.5	外)灰黄色 内)灰白色 断)灰白色	密	良 好	ナゲ調整	
987	土器皿底	A3区 SD-258	口径(径) 7.8 器高 1.5	外)にい黄褐色 内)灰白色 断)灰褐色	密	良 好	ナゲ調整	
988	須恵器縁井	A3区 SD-208	口径(径) 31.0 器高(残) 3.6	外)灰褐色 内)灰褐色 断)灰褐色	密	堅 硬	回転ナガ調整	東漢系 口経縁部地
989	土器質羽釜	A3区 SD-208	口径 器高 24.0 14.7	外)灰褐色 内)灰褐色 断)にい黄褐色	密	良 好	外面落印され 内面ナガ調整	全体に煤大量に付着
990	陶器盤鉢	A3区 SD-208	L1径(径) 53.8 器高(残) 7.3	外)青褐色 内)青褐色 断)青褐色	密	堅 硬	ナゲ調整 又日S本	
991	瓦器碗	A3区 SK-205	口径 器高 9.1 3.6	外)灰白~灰色 内)灰白~灰色 断)灰白色	密	良 好	外面指押され 内面ヘリ: ガタ 丸繋り有り、高台無し	大和型 重ね巻き瓶
992	土器皿底	A3区 SK-205	口径 器高 7.5 1.5	外)灰黄色 内)灰白色 断)にい黄褐色	密	良 好	ナゲ調整	
993	不明木製品 (棒状)	A3区 SK-215	残長 残幅 厚さ 32.0 3.1 1.7					等間隔に穿孔有り
994	青磁碗	A3区 第1遺構面直上層	口径(径) 15.0 器高(残) 3.8	外)モリーブ灰褐色 内)モリーブ灰褐色 断)灰白色	密	堅 硬	接触	能原系、達併文
995	青磁碗	A3区 第2遺構面積木	口径(径) 15.6 器高(残) 3.8	外)モリーブ色 内)モリーブ色 断)灰白色	密	堅 硬	接觸	達併文
996	青磁碗	A3区 北側側溝	口径(径) 15.8 器高(残) 3.0	外)明緑色 内)明緑色 断)灰白色	密	堅 硬	接觸	
997	白磁碗	A3区 第1遺構面精査	口径(径) 17.0 器高(残) 4.8	外)明緑灰色 内)明緑灰色 断)灰白色	密	堅 硬	口壳	
998	磁器紅漆口	A3区 第2遺構面精査	口径 器高 4.5 1.3	外)灰白色 内)灰白色 断)灰白色	密	堅 硬	内面と外面部半ばから口縁付 近まで施物	菊花形
999	土 瓶	A3区 第1遺構面ベース層	残長 残幅 厚さ 2.6 1.0 1.0	外)鮮綠色 内)鮮綠色 断)鮮綠色	密	良 好		上部質
1000	不明土製品	A3区 第1遺構面直上層	残長 残幅 厚さ 2.3 2.5 1.6	外)灰白色 内)灰白色 断)灰白色	密	良 好		
1001	石 棘	A3区 第1遺構面直上層	器高(残) 1.7 厚さ 1.4				口縁が平らではあるが全体的に は内窓	滑石製
1002	砾 石	A3区 第2遺構面ベース層	残長 残幅 厚さ 6.1 3.9 1.9					
1003	キ ベ ル	A3区 第1遺構面直上層	残長 残幅 7.4 1.9					金銀製
1004	核 貨	A3区 第1遺構面	径 厚さ 2.5 0.1					元祐通寶(北宋1086年) 裏面
1005	核 貨	A3区 第1遺構面	径 厚さ 2.5 0.1					大觀通寶(北宋1107年)
1006	土 陶 器	A4区 SD-101	口径 器高 7.8 1.8	外)淡黃褐色 内)灰褐色 断)灰褐色	密	良 好	ナゲ調整	
1007	土 陶 器	A4区 SD-101	口径 器高 7.8 1.8	外)灰白色 内)灰白色 断)にい褐色	密	良 好	ナゲ調整	
1008	核 貨	A4区 SD-101	径 厚さ 2.5 0.1					政和通寶(北宋1111年)

辨証番号	器種	出土地点	法量(cm)	色調	軸上	焼成	技法の特徴	備考
1009	土師器皿	A4区 SD-202	口径 基高 2.4	外)灰白色 内)灰白色 断)灰黑色	密	良好	ナガ調整	
1010	土師器皿	A4区 SD-202	口径 基高 2.2	外)灰白色 内)灰白色 断)灰白色	密	良好	ナガ調整	
1011	土師器皿	A4区 SD-202	口径 基高 2.6	外)灰白色 内)灰白色 断)灰白色	密	良好	ナガ調整	
1012	須恵器縁鉢	A4区 SD-202	口径(底) 基高(底) 5.0	外)灰白色 内)灰白色 断)灰白色	密	堅密	回転ナガ調整	束縛系
1013	丸瓦	A4区 SD-202	長径 短幅 厚さ 5.6 5.6	外)灰白色 内)灰白色 断)灰白色	密	良好	回転布目痕 凸面ナガ調整	瓦質
1014	木製品 系縄巻の心棒	A4区 SD-202	長径 短幅 厚さ 3.2 3.2 1.4					木手
1015	土師器皿	A4区 SK-202	口径 基高 2.4	外)灰白色 内)灰白色 断)灰白色	密	良好	ナガ調整	
1016	土師器皿	A4区 SK-202	口径 基高 1.8	外)灰白色 内)灰白色 断)暗褐色	密	良好	ナガ調整	
1017	木製品 縄	A4区 SK-202	長径 短幅 厚さ 3.7 3.7 1.2					解縄
1018	瓦器	A4区 南端落込み201	口径(底) 基高(底) 3.4	外)灰白色 内)暗褐色 断)灰白色	密	良好	外表面押さえ 内面ラミガキ 火照有り	大和型
1019	土師器皿	A4区 南端落込み201	口径(底) 基高(底) 2.3	外)灰白色 内)灰白色 断)灰白色	密	良好	ナガ調整	
1020	陶器おし戻 南端落込み201	基高(底) 1.4	外)灰白色 内)灰白色 断)灰白色	密	良好	回転ナガ調整	廻戻	
1021	瓦質引釜	A4区 西端落込み201	口径(底) 基高(底) 14.8	外)灰白色 内)灰白色 断)灰白色	密	良好	外表面押さえ 内面ナガ調整	体形背面に媒付蓋
1022	砥石	A4区 第1面直上面	長径 短幅 厚さ 6.7 4.5 2.9					
1023	瓦質縁鉢	B地区 SD-105	口径(底) 基高(底) 4.9	外)灰白色 内)灰白色 断)灰白色	密	良好	ナガ調整 スリ日本	
1024	陶器	B地区 SD-105	基高(底) 5.0	外)にいわゆる 内)灰黄色 断)灰白色	密	堅密	ナガ調整	滑稽 菊花文
1025	陶器裏	B地区 SD-105	口径(底) 基高(底) 8.6	外)灰白色 内)にいわゆる 断)暗褐色	密	堅密	ナガ調整	備前
1026	陶器裏	B地区 SD-105	口径(底) 基高(底) 10.4	外)灰白色 内)灰白色 断)灰色	密	堅密	ナガ調整	備前
1027	陶器裏	B地区 SD-105	口径(底) 基高(底) 12.5	外)灰白色 内)にいわゆる 断)にいわゆる	密	堅密	ナガ調整	備前
1028	陶器底帯	B地区 SD-105	口径(底) 基高(底) 7.6	外)灰白色 内)灰白色 断)灰白色	密	堅密	ナガ調整	
1029	半瓦	B地区 SD-105	長径 短幅 厚さ 19.6 13.0 1.7	外)灰白色 内)灰白色 断)灰白色	密	良好	凹面ナガ調整 凸面ナガ調整	瓦質
1030	半瓦	B地区 SD-105	長径 短幅 厚さ 19.4 11.8 4.5	外)灰白色 内)灰白色 断)灰白色	密	良好	凹面ナガ調整 凸面ナガ調整	瓦質
1031	土師質羽口瓶	B地区 SK-114	基高(底) 4.5	外)灰白色 内)灰白色 断)灰白色	密	良好	ナガ調整	口縁近くに穿孔有り
1032	青磁碗?	B地区 SK-122	口径(底) 基高 6.1	外)セリーブ灰白色 内)セリーブ灰白色 断)灰白色	密	堅密	施輪	見込みに文様
1033	瓦器	B地区 SP-1211	口径 基高 10.6 3.3	外)灰白色 内)灰白色 断)灰白色	密	良好	外表面押さえ 内面ラミガキ 火照有り、高台有り	被覆型 見込みにジヤザグ状文様
1034	瓦器	B地区 SP-1211	口径 基高 9.8 3.5	外)灰白色 内)灰白色 断)灰白色	密	良好	外表面押さえ 内面ラミガキ 火照有り、高台有り	被覆型 ほとんど被覆後着しない
1035	瓦器縁	B地区 SD-203	口径 基高 11.7 3.2	外)灰白色 内)灰白色 断)灰白色	密	良好	外内面ともにヘラミガキ 火照有り、高台有り	被覆型 重ね焼き板

序号 番号	器種	出土地点	法量(cm)	色調	胎土	焼成	種法の特徴		参考
							ナガ調整	内面ヘラミガキ 洗練化し、高台無り	
1036	瓦器輪	B地区 SD-201	口径 高さ 厚さ(残)	7.4 2.9 —	密	良 好		人和型? 見込みにジダザグ試掘文	
1037	瓦器輪	B地区 SD-201	口径(復) 高さ(残)	12.6 3.4	密	良 好	外面指押さえ 内面ヘラミガキ 洗練化し、高台無し	和樂型	
1038	瓦器輪	B地区 SD-201	口径 高さ 厚さ	14.4 3.1 —	密	良 好	外面指押さえ 内面ヘラミガキ 洗練化し、高台無し	和樂型 候素吸着しない	
1039	土師器皿	B地区 SD-201	口径 高さ 厚さ	7.8 1.3 —	密	良 好	ナガ調整		
1040	土師器皿	B地区 SD-201	口径 高さ 厚さ	7.8 1.2 —	密	良 好	ナガ調整		
1041	土師器皿	B地区 SD-201	口径 高さ 厚さ	8.1 1.5 —	密	良 好	ナガ調整		
1042	土師器皿	B地区 SD-201	口径 高さ 厚さ	8.0 1.4 —	密	良 好	ナガ調整		
1043	土師器皿	B地区 SD-201	口径 高さ 厚さ	7.8 1.5 —	密	良 好	ナガ調整		見込みに2次焼成
1044	土師器皿	B地区 SD-201	口径 高さ 厚さ	8.4 0.9 —	密	良 好	ナガ調整		
1045	土師器皿	B地区 SD-201	口径 高さ 厚さ	7.5 1.3 —	密	良 好	ナガ調整		
1046	土師器皿	B地区 SD-201	口径 高さ 厚さ	7.8 1.0 —	密	良 好	ナガ調整		
1047	土師器皿	B地区 SD-201	口径 高さ 厚さ	8.3 1.2 —	密	良 好	ナガ調整		
1048	土師器皿	B地区 SD-201	口径 高さ 厚さ	7.4 1.3 —	密	良 好	ナガ調整		
1049	須志器輪鉢	B地区 SD-201	口径 高さ 厚さ	27.4 10.8 —	密	堅 壓	回転ナガ調整		東播系 底部外面向配糸切り痕
1050	瓦質羽釜	B地区 SD-201	口径(復) 高さ(残)	22.4 6.1	密	良 好	外面指押さえ 内面ナガ調整		
1051	青磁瓶	B地区 SD-201	口径(復) 高さ(残)	18.0 4.6	密	堅 壓	施釉		蓬井文
1052	青磁瓶	B地区 SD-201	口径(復) 高さ(残)	15.8 4.6	密	堅 壓	施釉		蓬井文
1053	丸瓦	B地区 SD-201	長径 幅径 厚さ	6.8 4.2 2.0	密	良 好	回面ナガ調整 凸面ナガ調整		蓬井文
1054	丸瓦	B地区 SD-202	口径 高さ 厚さ	4.9 4.0 1.5	密	堅 壓	回転ナガ調整		
1055	陶器輪	B地区 SD-202	口径(復) 高さ(残)	39.2 6.8	密	堅 壓	ナガ調整		常滑
1056	陶器輪	B地区 SD-202	直径(復) 高さ(残)	14.6 4.9	密	堅 壓	外面指押さえ 内面ナガ調整 スリット10本		
1057	丸瓦	B地区 SD-202	長径 幅径 厚さ	11.7 13.5 5.6	密	良 好	回面有目輪 凸面輪		釘穴有り
1058	鉢	B地区 SD-202	口径(復) 高さ(残)	9.9 1.7					サビ村看
1059	木製品 人形?	B地区 SK-205	長径 幅径 厚さ	4.2 6.9 0.7					スギ
1060	土師器皿	B地区 SP-258	口径 高さ	7.8 1.4	密	良 好	ナガ調整		
1061	瓦質火鉢	B地区 家庭倒溝	高さ(残)	10.1	密	良 好	内外面ともに横方向のヘラミガキ	菊花文	
1062	陶器輪	B地区 家庭倒溝	直径(復) 高さ(残)	19.0 7.8	密	堅 壓	ナガ調整		内面底面、底被り

標印番号	器種	出土地名	法量(cm)	色調	胎土	焼成	技法の特徴	備考
1063	陶器 級 壺	B地区 第1遺構面積 盛	口径(残) 28.6 器高(残) 7.0	外) にぶい褐色 内) にぶい褐色 筋) 灰白色	密	堅 硬	ナラ調整	常滑、片口
1064	白底小皿	B地区 第1遺構面ベース層	口径(復) 10.9 厚さ 2.1	外) 灰色 内) 灰白色 筋) 灰白色	密	堅 硬	純輪、口丸	
1065	軒丸瓦	B地区 第1遺構面ベース層	残長 2.1 残幅 12.8	外) 灰色 内) 灰色 筋) 灰色	密	良 好		巴文、珠文
1066	軒丸瓦	B地区 第1遺構面ベース層	残長 3.0 残幅 9.4	外) 灰色 内) 灰色 筋) 灰色	密	良 好		巴文、珠文
1067	軒丸瓦	B地区 第1遺構面ベース層	残長 2.2 残幅 5.4	外) 黑灰色 内) 黑灰色 筋) 黑灰色	密	良 好		巴文、珠文
1068	軒丸瓦	B地区 第1遺構面粘合	残長 2.6 残幅 3.4	外) 灰色 内) 灰色 筋) 灰色	密	良 好		珠文
1069	磁器紅猪口	B地区 東側斜溝	口径 器高 4.4 1.3	外) にぶい黃褐色 内) 灰白色 筋) —————	密	堅 硬	内面赤絞	菊花形
1070	木製品子	B地区 横溝	残長 20.2 残幅 6.6 厚さ 0.5					

報告書抄録

ふりがな	ごりょういせき
書名	御領遺跡
副書名	御領地区土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
卷次	
シリーズ名	大東市埋蔵文化財調査報告
シリーズ番号	第15集
編著者名	中達健一
編集機関	大東市教育委員会
所在地	〒574-8555 大阪府大東市谷川1-1-1 ☎ 0720-72-2181
発行年月日	1999年(平成11年) 3月31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
御領遺跡	大阪府大東市 御領	27218	50	34度 42分 52秒	135度 37分 15秒	第1次調査 (A地区・A1区) -道路部分- 1995年3月1日～ 1995年4月27日 第2次調査 (A地区・A2～4区) -宅地部分- 1995年5月29日～ 1995年9月22日 (B地区)-宅地部分- 1995年9月4日～ 1995年10月16日	608m ² 1606.15m ² 810.52m ²	土地区画整 理事業

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
御領遺跡	集落跡	鎌倉 南北朝 室町	溝 土坑 井戸 掘立柱建物 櫛	瓦器 土師器 須恵器 瓦質土器 陶器 輸入陶磁器 瓦 土製品 木製品 石製品 金属製品	